

東大和市転入転出者  
アンケート調査

報告書

平成31年3月

東大和市



# 目 次

I 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
3 回収状況.....	3
4 地域区分図.....	4
5 標本誤差.....	4
6 図表の見方.....	5
7 属性.....	6
II 調査結果.....	13
(i) 転入者.....	13
1. あなたご自身について.....	15
(1) 性別.....	15
(2) 年齢.....	15
(3) 職業.....	17
(4) 世帯構成.....	17
① 転入前の世帯構成.....	17
② 転入後の世帯構成.....	18
(5) 同居している子どもの人数.....	19
(6) 子どもについて.....	20
(7) 転入前の居住地.....	21
(8) 転入後の居住地.....	23
2. 転入において、世帯の中で最も大きな要因となった方について.....	25
(1) 東大和市から転入した最も大きな要因となった方.....	25
(2) 最も大きな要因となった方の性別.....	26
(3) 最も大きな要因となった方の年齢.....	27
(4) 最も大きな要因となった方の職業.....	28
(5) 最も大きな要因となった方が以前に東大和市に住んだことがあるか.....	29
(6) 以前に東大和市に住んでいた方の居住年数.....	31
3. 世帯での転入理由等.....	32
(1) 東大和市へ転入した理由.....	32
(2) 東大和市を選んだ理由.....	36
① 第1位.....	36
② 第2位.....	40
③ 第1位と第2位の合計.....	44
(3) 通勤・通学先について.....	48
(4) 東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由.....	52

（５） 転入前に東大和市以外の市区町村でも住まいを探したか .....	55
（６） どの地域を検討したか .....	56
（７） 転入先の地域を探したときの情報源 .....	60
（８） 転入先自治体の行政サービスや施策を調べたか .....	61
（９） 東大和市へ転入する前の東大和市との関係について .....	63
（10） 東大和市に住んでみて感じた印象 .....	64
① 通勤・通学の利便性 .....	65
② 買い物等の日常生活の利便性 .....	67
③ 都心へのアクセス .....	69
④ 住宅価格・家賃 .....	71
⑤ 子育て環境 .....	74
⑥ 学校教育環境 .....	77
⑦ 治安などの住環境 .....	80
⑧ 地域コミュニティ・地域活動 .....	83
⑨ 医療・福祉の充実 .....	84
⑩ 自然災害の少なさ .....	85
⑪ 公園や自然環境の良さ .....	86
⑫ 道路などの都市整備基盤 .....	89
⑬ 街のイメージ .....	92
⑭ 行政サービスの充実 .....	95
⑮ 図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設 .....	96
（11） 住居所有状況 .....	97
① 転入前の住居所有状況 .....	97
② 転入後の住居所有状況 .....	100
（12） 転入前と後での住居の床面積 .....	103
① 転入前の住宅の床面積 .....	103
② 転入後の住宅の床面積 .....	107
（13） 自由回答 .....	112
II 調査結果 .....	117
(ii) 転出者 .....	117
1. あなたご自身について .....	119
(1) 性別 .....	119
(2) 年齢 .....	119
(3) 職業 .....	121
(4) 世帯構成 .....	121
① 転出前の世帯構成 .....	121
② 転出後の世帯構成 .....	122
(5) 同居している子どもの人数 .....	122

(6) 子どもについて.....	123
(7) 転出後の居住地.....	124
(8) 転出前の居住地.....	126
2. 転出において、世帯の中で最も大きな要因となった方について.....	128
(1) 東大和市から転出した最も大きな要因となった方.....	128
(2) 最も大きな要因となった方の性別.....	129
(3) 最も大きな要因となった方の年齢.....	130
(4) 最も大きな要因となった方の職業.....	131
(5) 最も大きな要因となった方の東大和市での居住年数.....	132
(6) 要因となった方が以前に現市区町村に住んだことがあるか.....	133
(7) 以前に現市区町村に住んでいた方の居住年数.....	134
3. 世帯での転出理由等.....	135
(1) 東大和市から転出した理由.....	135
(2) 現市区町村を選んだ理由.....	139
① 第1位.....	139
② 第2位.....	143
③ 第1位と第2位の合計.....	147
(3) 通勤・通学先について.....	151
(4) 現市区町村で子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由.....	155
(5) 転出前に東大和市内で住まいを探したか.....	158
(6) 転出先の地域を探したときの情報源.....	159
(7) 転出先自治体の行政サービスや施策を調べたか.....	160
(8) 東大和市に住んでいたときに感じた印象.....	162
① 通勤・通学の利便性.....	163
② 買い物等の日常生活の利便性.....	165
③ 都心へのアクセス.....	167
④ 住宅価格・家賃.....	169
⑤ 子育て環境.....	172
⑥ 学校教育環境.....	175
⑦ 治安などの住環境.....	178
⑧ 地域コミュニティ・地域活動.....	181
⑨ 医療・福祉の充実.....	182
⑩ 自然災害の少なさ.....	183
⑪ 公園や自然環境の良さ.....	184
⑫ 道路などの都市整備基盤.....	188
⑬ 街のイメージ.....	191
⑭ 行政サービスの充実.....	194
⑮ 図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設.....	195

(9) 住居所有状況 .....	196
① 転出前の住居所有状況.....	196
② 転出後の住居所有状況.....	199
(10) 転出前と後での住居の床面積 .....	202
① 転出前の住宅の床面積.....	202
② 転出後の住宅の床面積.....	206
(11) 自由回答 .....	211
III 調査結果の考察 .....	215
IV 調査票 .....	219
1. 転入者向けアンケート調査票 .....	221
2. 転出者向けアンケート調査票 .....	229

# I 調査概要





## 1 調査の目的

本調査は、転入者及び転出者の移動理由、居住地選択理由、その前後の生活環境変化について調査・分析を行い、その動向を把握し、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基礎資料とする。

## 2 調査の内容

- (1) 調査対象地域 : 東大和市全域
- (2) 調査対象者 : ①東大和市への転入者 ②東大和市からの転出者  
(転出入時期は平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)
- (3) 標本の抽出 : 平成 29 年度中に関東圏から東大和市へ転入、東大和市から関東圏に転出した 20 歳以上 49 歳以下の方から、それぞれ 1,000 人ずつ無作為抽出
- (4) 配布・回収方法 : 郵送配布－郵送回収法
- (5) 標本数 : ①東大和市への転入者 1,000 標本  
②東大和市からの転出者 1,000 標本
- (6) 調査期間 : 平成 30 年 9 月 14 日～10 月 8 日
- (7) 調査委託機関 : 株式会社アストジェイ

## 3 回収状況

### ① 転入者

- (1) 調査件数 : 1,000 件
- (2) 有効回収数 : 276 件
- (3) 有効回収率 : 27.6%

### ② 転出者

- (1) 調査件数 : 1,000 件
- (2) 有効回収数 : 239 件
- (3) 有効回収率 : 23.9%

## 4 地域区分図



報告書での記載	地区
芋窪・蔵敷地区	芋窪 蔵敷
奈良橋・湖畔・高木地区	奈良橋 湖畔 高木
狭山・清水地区	狭山 多摩湖 清水
立野・上北台地区	立野 上北台
中央・南街地区	中央 南街
仲原・向原地区	仲原 向原
清原・新堀地区	清原 新堀
桜が丘地区	桜が丘

## 5 標本誤差

本調査は、調査対象となる母集団（東大和市の転出・転入者）から一部を抽出し実施した「標本調査」である。したがって母集団に対する「標本誤差」が生じることになる。

本調査において標本誤差（サンプル誤差）は次の数式によって統計学的に算出される（信頼度 95%として信頼区間を算出）。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）及び②回答の比率（P）によって異なるものとなる。

$$b = \pm \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 信頼度 95%の標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 比率算出の基数（サンプル数）  
 P = 回答の比率（%）

数式を今回の調査結果に当てはめて算出した標本誤差は次表のとおりである。

＜転入者調査における標本誤差早見表（信頼度 95%）＞

回答者の比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%また は60%前後	50%前後
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
276 <sup>1)</sup>	±3.5%	±4.7%	±5.4%	±5.8%	±5.9%

＜転出者調査における標本誤差早見表（信頼度 95%）＞

回答者の比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%また は60%前後	50%前後
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
239 <sup>1)</sup>	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%

注1) 転出・転入者の有効回収数のことを指す。

注2) 上表は、転出者調査を参考にすると、ある設問の回答者数が239人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±6.2%

以内であることを表している。例えば、問 20（回答者数 239）において、転出するにあたって、東大和市内でもお住まいを探しましたかという問いに対して「最初から他の市区町村に住もうと考えていたので、東大和市内は探さなかった」との回答は 41.8%であり、この結果を実際の母集団の傾向として評価する際には、41.8%ではなく、 $41.8 \pm 6.2\%$ （=35.6~48.0%）という一定の幅を持った値（信頼区間）として取り扱う必要がある。同様に、「転居先が東大和市以外に決まっていた」（29.7%）の信頼区間は  $29.7 \pm 5.8\%$ （=23.9~35.5%）、「東大和市内でも探したが、他の市区町村に決めた」（23.8%）は  $23.8 \pm 5.1\%$ （=18.7~28.9%）となる。

上表では  $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$  として算出した。

## 6 図表の見方

- (1) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。なお、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%を上下する場合がある。
- (2) 複数回答の設問の場合は、回答が 2 つ以上あるため、全ての比率を合計すると 100%を超えることがある。
- (3) 各回答において、回答者数が著しく少ないもの等は、比率が動きやすく分析には適さないため、サンプル数が 20 より少ない項目は参考として表示し、分析から除外している。
- (4) 数の表現  
全体＝調査対象者の全数      n＝質問ごとの回答者数
- (5) 統計の数値を考察するにあたり、次の表現を用いている。

例	表現
39.0~40.9%	約 4 割
40.0%	4 割
41.0~44.0%	4 割強
44.1~45.9%	4 割台半ば
46.0~48.9%	5 割弱

## 7 属性

### (1) 年代

#### 【転入者】

	件数	%
20～29歳	110	39.9
30～39歳	100	36.2
40歳以上	66	23.9
無回答	0	0.0
調査数	276	100.0

#### 【転出者】

	件数	%
20～29歳	92	38.5
30～39歳	99	41.4
40歳以上	47	19.7
無回答	1	0.4
調査数	239	100.0

### (2) 地域

問7において、東大和市への転入前居住地、転出後居住地を尋ねた。多摩地域（隣接4市）とは、東大和市に隣接する東村山市、小平市、立川市、武蔵村山市を表す。

#### 【転入者】

##### 転入前居住区域

	件数	%
多摩地域（隣接4市）	93	33.7
多摩地域（隣接4市以外）	72	26.1
東京23区内	46	16.7
都外	62	22.5
無回答	3	1.1
調査数	276	100.0

#### 【転出者】

##### 転出後居住区域

	件数	%
多摩地域（隣接4市）	66	27.6
多摩地域（隣接4市以外）	72	30.1
東京23区内	39	16.3
都外	58	24.3
無回答	4	1.7
調査数	239	100.0

また、問8において、東大和市への転入後居住地域、転出前居住地域を尋ねた。集計は、4地域区分図を元に行った。

**【転入者】**

転入後居住区域

	件数	%
芋窪・蔵敷地区	28	10.1
奈良橋・湖畔・高木地区	20	7.2
狭山・清水地区	32	11.6
立野・上北台地区	31	11.2
中央・南街地区	47	17.0
仲原・向原地区	37	13.4
清原・新堀地区	21	7.6
桜が丘地区	57	20.7
無回答	3	1.1
調査数	276	100.0

**【転出者】**

転出前居住区域

	件数	%
芋窪・蔵敷地区	26	10.9
奈良橋・湖畔・高木地区	29	12.1
狭山・清水地区	21	8.8
立野・上北台地区	35	14.6
中央・南街地区	35	14.6
仲原・向原地区	33	13.8
清原・新堀地区	13	5.4
桜が丘地区	47	19.7
無回答	0	0.0
調査数	239	100.0

### (3) 世帯構成による区分

問4において、東大和市への転入、または東大和市からの転出前後の世帯構成を尋ねた。

世帯構成の変化状況のうち、転入者の調査結果では、対象の多い「単身→単身」、「単身→夫婦のみ」、「単身→その他」、「夫婦のみ→夫婦のみ」、「親との二世帯→夫婦のみ」、「子との二世帯→子との二世帯」の6区分に着目して分析を行う。

また、転出者の調査結果では、対象の多い「単身→単身」、「単身→夫婦のみ」、「夫婦のみ→夫婦のみ」、「子との二世帯→子との二世帯」、「親との二世帯→単身」、「親との二世帯→夫婦のみ」の6区分に着目して分析を行う。

#### 【転入者】

「子との二世帯→子との二世帯」が18.3%と最も高く、次いで「単身→夫婦のみ」が14.5%、「夫婦のみ→夫婦のみ」が9.5%の順となっている。

東大和市転入前			東大和市在住時		世帯構成変更	
ひとり暮らし	22	56.4%	ひとり暮らし	39 14.1%	単身→単身	8.4%
夫婦のみ	2	5.1%			夫婦のみ→単身	0.8%
自分(夫婦)と子の二世帯	1	2.6%			子との二世帯→単身	0.4%
自分(夫婦)と親の二世帯	10	25.6%			親との二世帯→単身	3.8%
親と自分(夫婦)と子の三世帯	1	2.6%			三世帯→単身	0.4%
その他	3	7.7%			その他→単身	1.1%
ひとり暮らし	38	43.7%	夫婦のみ	87 31.5%	単身→夫婦のみ	14.5%
夫婦のみ	25	28.7%			夫婦のみ→夫婦のみ	9.5%
自分(夫婦)と子の二世帯	1	1.1%			子との二世帯→夫婦のみ	0.4%
自分(夫婦)と親の二世帯	15	17.2%			親との二世帯→夫婦のみ	5.7%
親と自分(夫婦)と子の三世帯	2	2.3%			三世帯→夫婦のみ	0.8%
その他	6	6.9%			その他→夫婦のみ	2.3%
ひとり暮らし	7	9.9%	自分(夫婦)と子の二世帯	72 26.1%	単身→子との二世帯	2.7%
夫婦のみ	8	11.3%			夫婦のみ→子との二世帯	3.1%
自分(夫婦)と子の二世帯	48	67.6%			子との二世帯→子との二世帯	18.3%
自分(夫婦)と親の二世帯	6	8.5%			親との二世帯→子との二世帯	2.3%
親と自分(夫婦)と子の三世帯	0	0.0%			三世帯→子との二世帯	0.0%
その他	2	2.8%			その他→子との二世帯	0.8%
ひとり暮らし	10	55.6%	自分(夫婦)と親の二世帯	19 6.9%	単身→親との二世帯	3.8%
夫婦のみ	2	11.1%			夫婦のみ→親との二世帯	0.8%
自分(夫婦)と子の二世帯	1	5.6%			子との二世帯→親との二世帯	0.4%
自分(夫婦)と親の二世帯	5	27.8%			親との二世帯→親との二世帯	1.9%
親と自分(夫婦)と子の三世帯	0	0.0%			三世帯→親との二世帯	0.0%
その他	0	0.0%			その他→親との二世帯	0.0%
ひとり暮らし	0	0.0%	親と自分(夫婦)と子の三世帯	12 4.3%	単身→三世帯	0.0%
夫婦のみ	1	8.3%			夫婦のみ→三世帯	0.4%
自分(夫婦)と子の二世帯	9	75.0%			子との二世帯→三世帯	3.4%
自分(夫婦)と親の二世帯	2	16.7%			親との二世帯→三世帯	0.8%
親と自分(夫婦)と子の三世帯	0	0.0%			三世帯→三世帯	0.0%
その他	0	0.0%			その他→三世帯	0.0%
ひとり暮らし	17	48.6%	その他	37 13.4%	単身→その他	6.5%
夫婦のみ	4	11.4%			夫婦のみ→その他	1.5%
自分(夫婦)と子の二世帯	3	8.6%			子との二世帯→その他	1.1%
自分(夫婦)と親の二世帯	1	2.9%			親との二世帯→その他	0.4%
親と自分(夫婦)と子の三世帯	0	0.0%			三世帯→その他	0.0%
その他	10	28.6%			その他→その他	3.8%
合計			266			
無回答			10			

【転出者】

「子との二世代→子との二世代」が21.3%と最も高く、次いで「親との二世代→夫婦のみ」が10.2%、「単身→単身」と「親との二世代→単身」が9.4%の順となっている。

東大和市在住時		東大和市転出後		世帯構成変更		
ひとり暮らし	52 21.8%	ひとり暮らし	22	42.3%	単身→単身	9.4%
		夫婦のみ	18	34.6%	単身→夫婦のみ	7.7%
		自分(夫婦)と子の二世代	1	1.9%	単身→子との二世代	0.4%
		自分(夫婦)と親の二世代	5	9.6%	単身→親との二世代	2.1%
		親と自分(夫婦)と子の三世代	0	0.0%	単身→三世代	0.0%
		その他	6	11.5%	単身→その他	2.6%
夫婦のみ	32 13.4%	ひとり暮らし	3	9.4%	夫婦のみ→単身	1.3%
		夫婦のみ	18	56.3%	夫婦のみ→夫婦のみ	7.7%
		自分(夫婦)と子の二世代	8	25.0%	夫婦のみ→子との二世代	3.4%
		自分(夫婦)と親の二世代	2	6.3%	夫婦のみ→親との二世代	0.9%
		親と自分(夫婦)と子の三世代	1	3.1%	夫婦のみ→三世代	0.4%
		その他	0	0.0%	夫婦のみ→その他	0.0%
自分(夫婦)と子の二世代	61 25.5%	ひとり暮らし	4	6.6%	子との二世代→単身	1.7%
		夫婦のみ	2	3.3%	子との二世代→夫婦のみ	0.9%
		自分(夫婦)と子の二世代	50	82.0%	子との二世代→子との二世代	21.3%
		自分(夫婦)と親の二世代	0	0.0%	子との二世代→親との二世代	0.0%
		親と自分(夫婦)と子の三世代	5	8.2%	子との二世代→三世代	2.1%
		その他	0	0.0%	子との二世代→その他	0.0%
自分(夫婦)と親の二世代	57 23.8%	ひとり暮らし	22	39.3%	親との二世代→単身	9.4%
		夫婦のみ	24	42.9%	親との二世代→夫婦のみ	10.2%
		自分(夫婦)と子の二世代	3	5.4%	親との二世代→子との二世代	1.3%
		自分(夫婦)と親の二世代	5	8.9%	親との二世代→親との二世代	2.1%
		親と自分(夫婦)と子の三世代	0	0.0%	親との二世代→三世代	0.0%
		その他	2	3.6%	親との二世代→その他	0.9%
親と自分(夫婦)と子の三世代	5 2.1%	ひとり暮らし	2	40.0%	三世代→単身	0.9%
		夫婦のみ	0	0.0%	三世代→夫婦のみ	0.0%
		自分(夫婦)と子の二世代	1	20.0%	三世代→子との二世代	0.4%
		自分(夫婦)と親の二世代	1	20.0%	三世代→親との二世代	0.4%
		親と自分(夫婦)と子の三世代	1	20.0%	三世代→三世代	0.4%
		その他	0	0.0%	三世代→その他	0.0%
その他	30 12.6%	ひとり暮らし	9	31.0%	その他→単身	3.8%
		夫婦のみ	11	37.9%	その他→夫婦のみ	4.7%
		自分(夫婦)と子の二世代	2	6.9%	その他→子との二世代	0.9%
		自分(夫婦)と親の二世代	0	0.0%	その他→親との二世代	0.0%
		親と自分(夫婦)と子の三世代	0	0.0%	その他→三世代	0.0%
		その他	7	24.1%	その他→その他	3.0%
合計	237					
無回答	2					

(4) 住居形態による区分

転入調査では問 25、転出調査では問 24 において、東大和市への転入、または東大和市からの転出前後の住居形態を尋ねた。

II 調査結果では、住居形態の変化によって、対象者を「持ち家→持ち家」「持ち家(一戸建て)を入手」「持ち家(マンション)を入手」「民間の借家→民間の借家」「持ち家以外→持ち家以外」「持ち家を手放す」の6区分に分類し分析を行っている。なお、「持ち家以外」とは、「公営・公共住宅」、「民間の借家」、「給与住宅」、「その他」のことを指す。

【転入者】

東大和市転入前			東大和市在住時		世帯構成変更			
持家(一戸建)	11	12.5%	持家(一戸建)	31.9%	持ち家→持ち家	4.0%		
持家(分譲マンション)	4	4.5%			持ち家→持ち家	1.5%		
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	5	5.7%			持ち家(一戸建て)を入手	1.8%		
民間の借家(一戸建)	2	2.3%			持ち家(一戸建て)を入手	0.7%		
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	55	62.5%			持ち家(一戸建て)を入手	20.2%		
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	10	11.4%			持ち家(一戸建て)を入手	3.7%		
その他	1	1.1%			持ち家(一戸建て)を入手	0.4%		
持家(一戸建)	4	22.2%			持家(分譲マンション)	6.5%	持ち家→持ち家	1.5%
持家(分譲マンション)	3	16.7%					持ち家→持ち家	1.1%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	0	0.0%					持ち家(マンション)を入手	0.0%
民間の借家(一戸建)	0	0.0%	持ち家(マンション)を入手	0.0%				
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	10	55.6%	持ち家(マンション)を入手	3.7%				
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	1	5.6%	持ち家(マンション)を入手	0.4%				
その他	0	0.0%	持ち家(マンション)を入手	0.0%				
持家(一戸建)	1	9.1%	公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	4.0%			持ち家を手放す	0.4%
持家(分譲マンション)	1	9.1%					持ち家を手放す	0.4%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	3	27.3%					持ち家以外→持ち家以外	1.1%
民間の借家(一戸建)	0	0.0%			持ち家以外→持ち家以外	0.0%		
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	5	45.5%			持ち家以外→持ち家以外	1.8%		
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	0	0.0%			持ち家以外→持ち家以外	0.0%		
その他	1	9.1%			持ち家以外→持ち家以外	0.4%		
持家(一戸建)	0	0.0%			民間の借家(一戸建)	1.8%	持ち家を手放す	0.0%
持家(分譲マンション)	0	0.0%					持ち家を手放す	0.0%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	0	0.0%					持ち家以外→持ち家以外	0.0%
民間の借家(一戸建)	2	40.0%	民間の借家→民間の借家	0.7%				
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	2	40.0%	民間の借家→民間の借家	0.7%				
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	1	20.0%	持ち家以外→持ち家以外	0.4%				
その他	0	0.0%	持ち家以外→持ち家以外	0.0%				
持家(一戸建)	28	25.0%	民間の借家(アパート・賃貸マンション)	40.6%			持ち家を手放す	10.3%
持家(分譲マンション)	2	1.8%					持ち家を手放す	0.7%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	5	4.5%					持ち家以外→持ち家以外	1.8%
民間の借家(一戸建)	6	5.4%			民間の借家→民間の借家	2.2%		
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	62	55.4%			民間の借家→民間の借家	22.8%		
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	6	5.4%			持ち家以外→持ち家以外	2.2%		
その他	3	2.7%			持ち家以外→持ち家以外	1.1%		
持家(一戸建)	8	25.0%			給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	11.6%	持ち家を手放す	2.9%
持家(分譲マンション)	2	6.3%					持ち家を手放す	0.7%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	1	3.1%					持ち家以外→持ち家以外	0.4%
民間の借家(一戸建)	0	0.0%	持ち家以外→持ち家以外	0.0%				
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	8	25.0%	持ち家以外→持ち家以外	2.9%				
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	12	37.5%	持ち家以外→持ち家以外	4.4%				
その他	1	3.1%	持ち家以外→持ち家以外	0.4%				
持家(一戸建)	0	0.0%	その他	2.5%			持ち家を手放す	0.0%
持家(分譲マンション)	0	0.0%					持ち家を手放す	0.0%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	0	0.0%					持ち家以外→持ち家以外	0.0%
民間の借家(一戸建)	0	0.0%			持ち家以外→持ち家以外	0.0%		
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	5	83.3%			持ち家以外→持ち家以外	1.8%		
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	0	0.0%			持ち家以外→持ち家以外	0.0%		
その他	1	16.7%			持ち家以外→持ち家以外	0.4%		
					合計	273		
					無回答	3		



【転出者】

東大和市在住時		東大和市転出後		世帯構成変更		
持家(一戸建)	63 26.4%	持家(一戸建)	9	14.3%	持家→持家	3.8%
		持家(分譲マンション)	4	6.3%	持家→持家	1.7%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	2	3.2%	持家を手放す	0.8%
		民間の借家(一戸建)	2	3.2%	持家を手放す	0.8%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	38	60.3%	持家を手放す	16.1%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	8	12.7%	持家を手放す	3.4%
		その他	0	0.0%	持家を手放す	0.0%
持家(分譲マンション)	32 13.4%	持家(一戸建)	7	21.9%	持家→持家	3.0%
		持家(分譲マンション)	8	25.0%	持家→持家	3.4%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	1	3.1%	持家を手放す	0.4%
		民間の借家(一戸建)	0	0.0%	持家を手放す	0.0%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	11	34.4%	持家を手放す	4.7%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	5	15.6%	持家を手放す	2.1%
		その他	0	0.0%	持家を手放す	0.0%
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	14 5.9%	持家(一戸建)	5	35.7%	持家(一戸建て)を入手	2.1%
		持家(分譲マンション)	1	7.1%	持家(マンション)を入手	0.4%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	1	7.1%	持家以外→持家以外	0.4%
		民間の借家(一戸建)	1	7.1%	持家以外→持家以外	0.4%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	6	42.9%	持家以外→持家以外	2.5%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		その他	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
民間の借家(一戸建)	5 2.1%	持家(一戸建)	3	60.0%	持家(一戸建て)を入手	1.3%
		持家(分譲マンション)	0	0.0%	持家(マンション)を入手	0.0%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		民間の借家(一戸建)	1	20.0%	民間の借家→民間の借家	0.4%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	1	20.0%	民間の借家→民間の借家	0.4%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		その他	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	96 40.2%	持家(一戸建)	31	32.3%	持家(一戸建て)を入手	13.1%
		持家(分譲マンション)	10	10.4%	持家(マンション)を入手	4.2%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	3	3.1%	持家以外→持家以外	1.3%
		民間の借家(一戸建)	1	1.0%	民間の借家→民間の借家	0.4%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	44	45.8%	民間の借家→民間の借家	18.6%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	4	4.2%	持家以外→持家以外	1.7%
		その他	3	3.1%	持家以外→持家以外	1.3%
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	23 9.6%	持家(一戸建)	13	56.5%	持家(一戸建て)を入手	5.5%
		持家(分譲マンション)	3	13.0%	持家(マンション)を入手	1.3%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		民間の借家(一戸建)	1	4.3%	持家以外→持家以外	0.4%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	2	8.7%	持家以外→持家以外	0.8%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	4	17.4%	持家以外→持家以外	1.7%
		その他	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
その他	3 1.3%	持家(一戸建)	0	0.0%	持家(一戸建て)を入手	0.0%
		持家(分譲マンション)	0	0.0%	持家(マンション)を入手	0.0%
		公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		民間の借家(一戸建)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		民間の借家(アパート・賃貸マンション)	3	100.0%	持家以外→持家以外	1.3%
		給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
		その他	0	0.0%	持家以外→持家以外	0.0%
合計	236					
無回答	3					



## Ⅱ 調査結果

### ( i ) 転入者



# 1. あなたご自身について

## (1) 性別

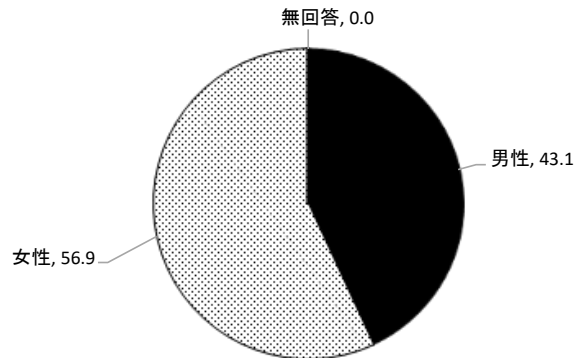
問1 あなたの性別は、どちらですか。

<図表1-1-1>性別/全体

(n=276)

(%)

	件数	%
男性	119	43.1
女性	157	56.9
無回答	0	0.0
調査数	276	100.0



## (2) 年齢

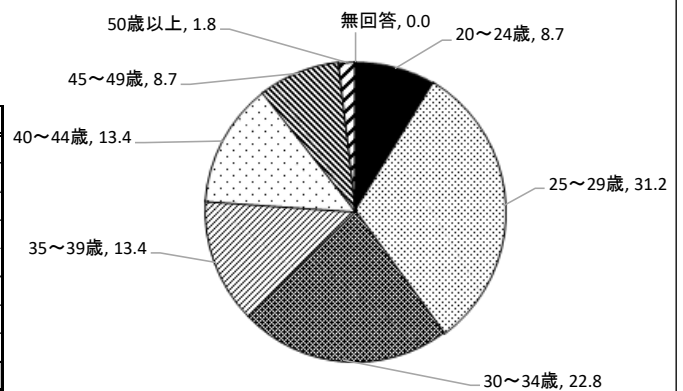
問2 東大和市に転入したときのあなたの年齢は、次のうちどれですか。

<図表1-1-2>年齢/全体

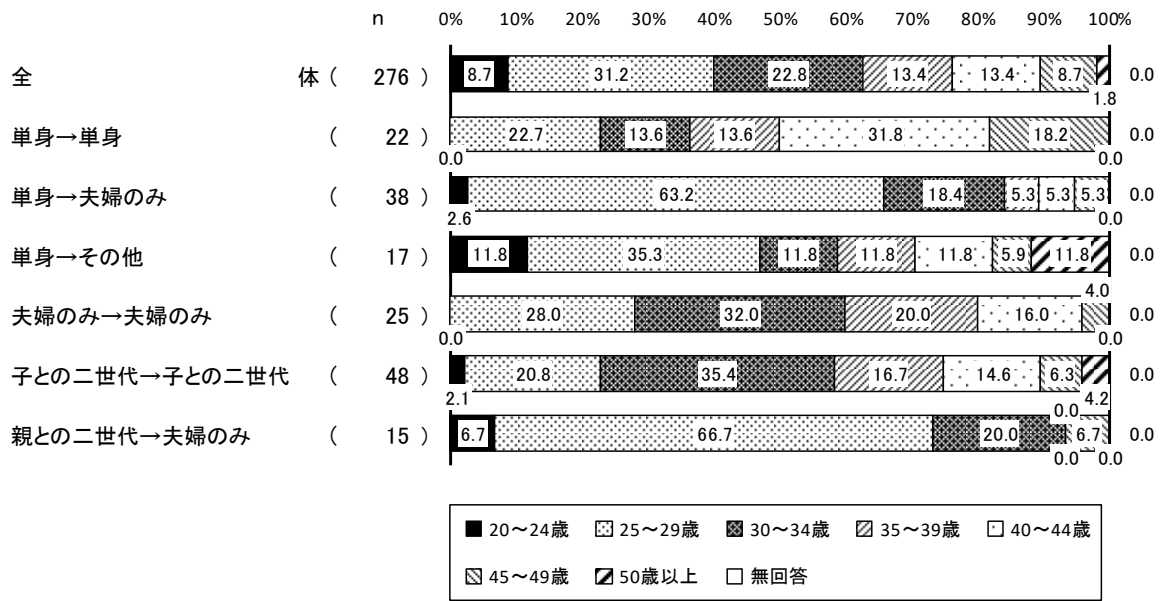
(n=276)

(%)

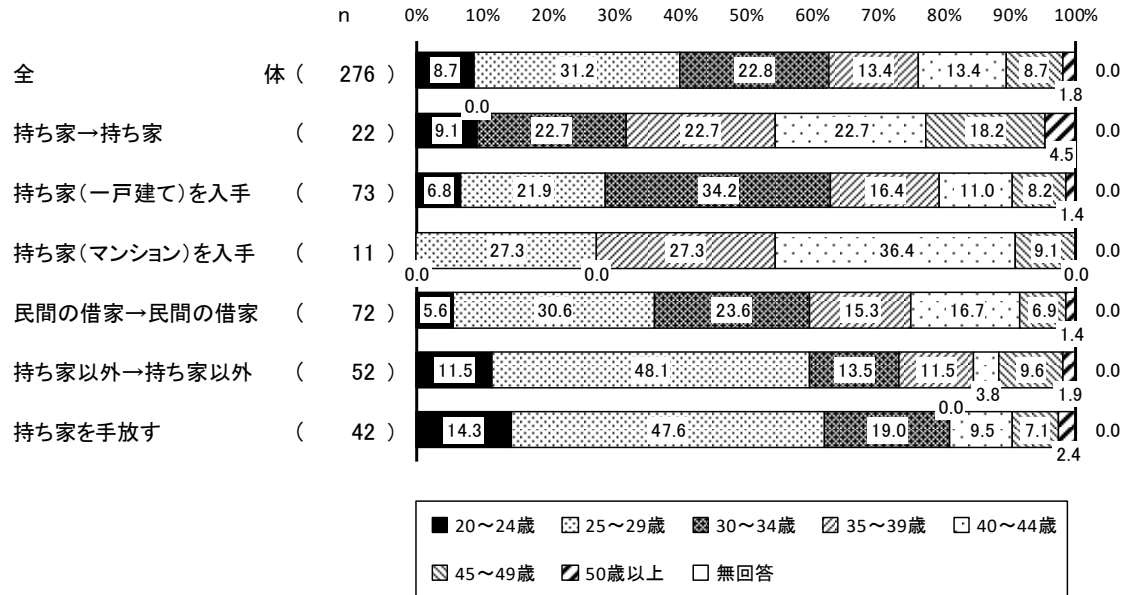
	件数	%
20～24歳	24	8.7
25～29歳	86	31.2
30～34歳	63	22.8
35～39歳	37	13.4
40～44歳	37	13.4
45～49歳	24	8.7
50歳以上	5	1.8
無回答	0	0.0
調査数	276	100.0



<図表 1-1-3> 年齢/世帯構成 転入前→転入後別



<図表 1-1-4> 年齢/住居区分 転入前→転入後別



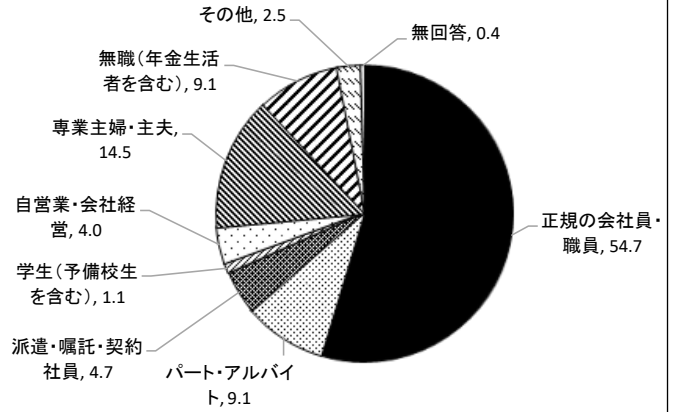
(3) 職業

問3 東大和市に転入したときのあなたのご職業は、次のうちどれですか。

<図表1-1-5> 職業/全体

(n=276)

(%)



	件数	%
正規の会社員・職員	151	54.7
パート・アルバイト	25	9.1
派遣・嘱託・契約社員	13	4.7
学生(予備校生を含む)	3	1.1
自営業・会社経営	11	4.0
専業主婦・主夫	40	14.5
無職(年金生活者を含む)	25	9.1
その他	7	2.5
無回答	1	0.4
調査数	276	100.0

「その他の回答」	件数
公務員	6
幼稚園教諭	1
転職活動中	1
アパート経営	1

(4) 世帯構成

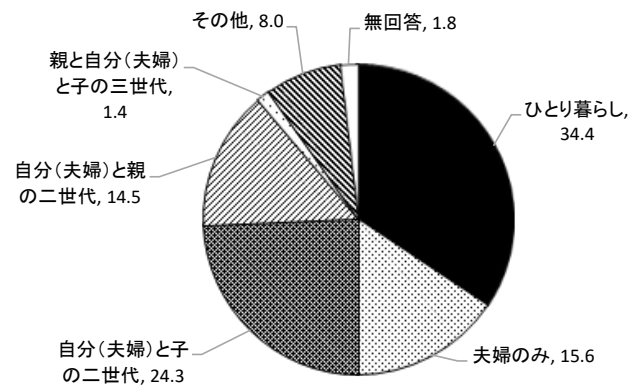
問4 東大和市に転入した前後の世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。

① 転入前の世帯構成

<図表1-1-6> 転入前の世帯構成/全体

(n=276)

(%)



	件数	%
ひとり暮らし	95	34.4
夫婦のみ	43	15.6
自分(夫婦)と子の二世帯	67	24.3
自分(夫婦)と親の二世帯	40	14.5
親と自分(夫婦)と子の三世帯	4	1.4
その他	22	8.0
無回答	5	1.8
調査数	276	100.0

「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数
親と自分	3	父・母・妹	1	自分・親・祖父母	1
親と自分と兄弟	3	未婚	1	親+親の親+自分+自分のきょうだい	1
同居	3	母子	1		
自分と親	2	親と弟	1		
自分と母と祖母	1	姉妹で2人暮らし	1		

問4 東大和市に転入した前後の世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。

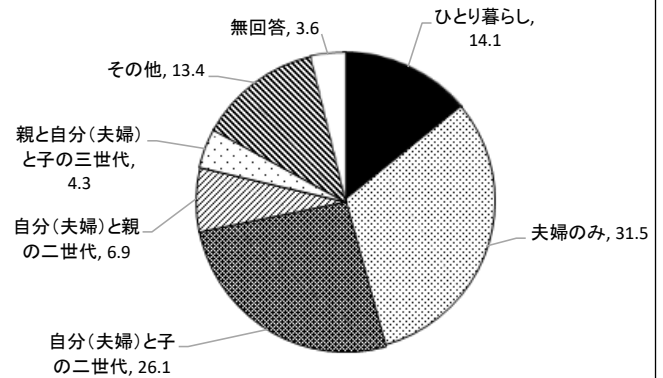
② 転入後の世帯構成

<図表1-1-7>② 転入後の世帯構成／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
ひとり暮らし	39	14.1
夫婦のみ	87	31.5
自分(夫婦)と子の二世帯	72	26.1
自分(夫婦)と親の二世帯	19	6.9
親と自分(夫婦)と子の三世帯	12	4.3
その他	37	13.4
無回答	10	3.6
調査数	276	100.0



「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数
同居・同棲	7	親と兄妹	1	グループホーム	1
自分と親	6	親1人	1	親と同居だが世帯分離している。	1
親、自分、弟	2	未婚	1	親・自分・子(夫は単身赴任)	1
祖父母、親、自分	1	自分(本人)、母、祖母	1	夫婦と息子夫婦、孫2人3世代	1
兄夫婦・義母	1	彼氏	1	親+親の親+自分+自分のきょうだい	1
自分と次男	1	親と兄	1		
両親 祖母	1	母子	1		
祖母と親と妹	1	親・弟・祖父母	1		



(5) 同居している子どもの人数

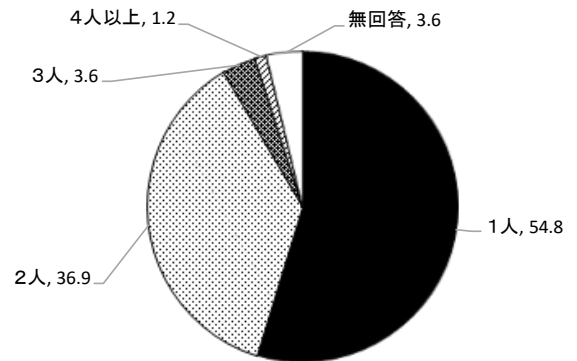
【問4 転入後の世帯構成で「3 自分（夫婦）と子の二世帯」または「5 親と自分（夫婦）と子の三世帯」とお答えの方に】

問5 現在、あなたと同居しているお子さんは何人いますか。（1つを選択）

<図表1-1-8>同居している子どもの人数/全体

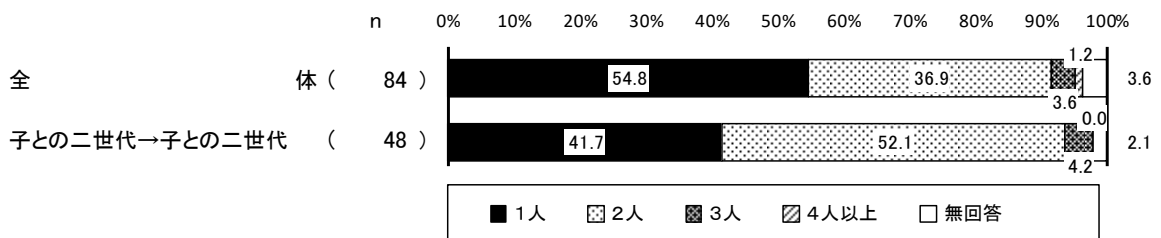
(n=84)

(%)



	件数	%
1人	46	54.8
2人	31	36.9
3人	3	3.6
4人以上	1	1.2
無回答	3	3.6
調査数	84	100.0

<図表1-1-9>同居している子どもの人数/世帯構成 転入前→転入後別

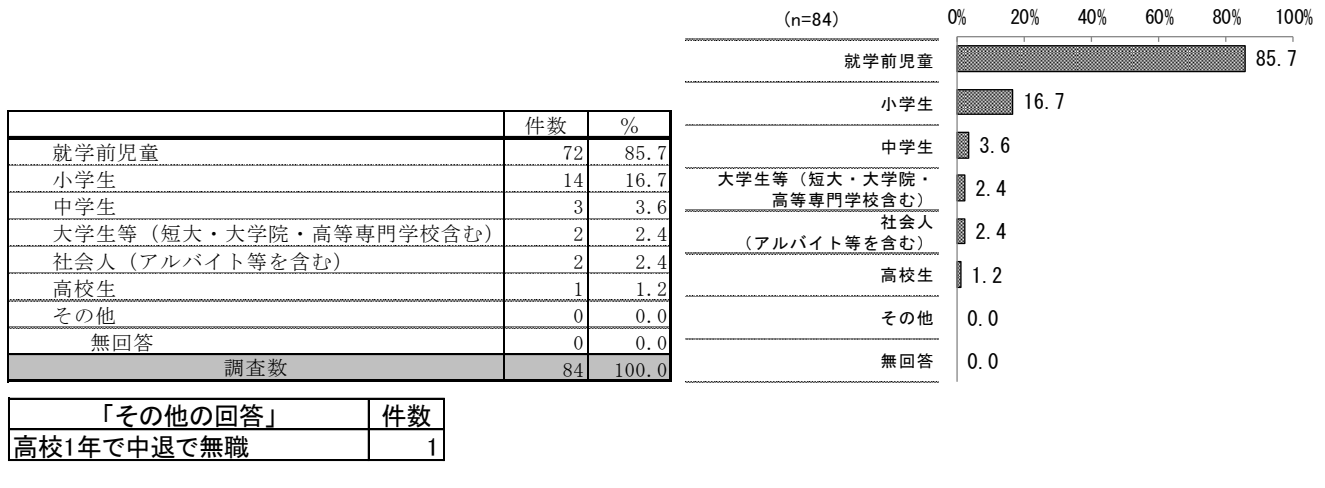


(6) 子どもについて

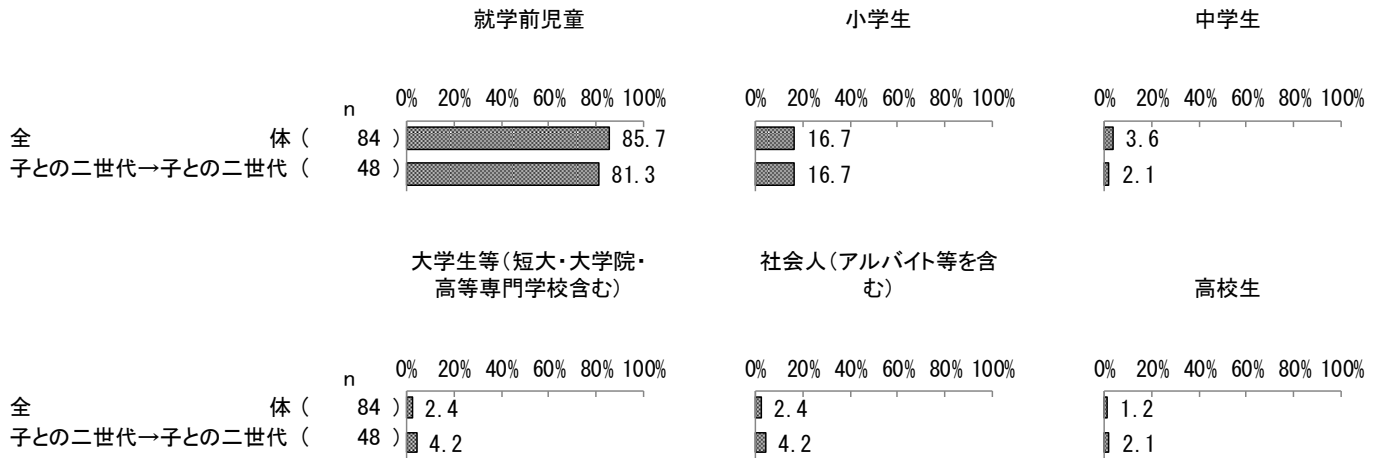
【問4 転入後の世帯構成で「3 自分（夫婦）と子の二世帯」または「5 親と自分（夫婦）と子の三世帯」とお答えの方に】

問6 お子さんはどちらにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

<図表1-1-10>子どもについて／全体



<図表1-1-11>子どもについて／世帯構成 転入前→転入後別



(7) 転入前の居住地

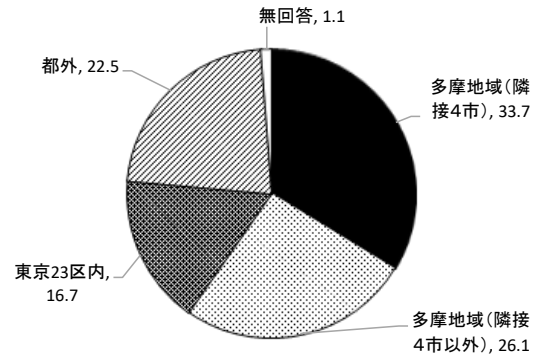
問7 東大和市に転入する前は、どちらにお住まいでしたか。

<図表1-1-12> 転入前の居住地／全体

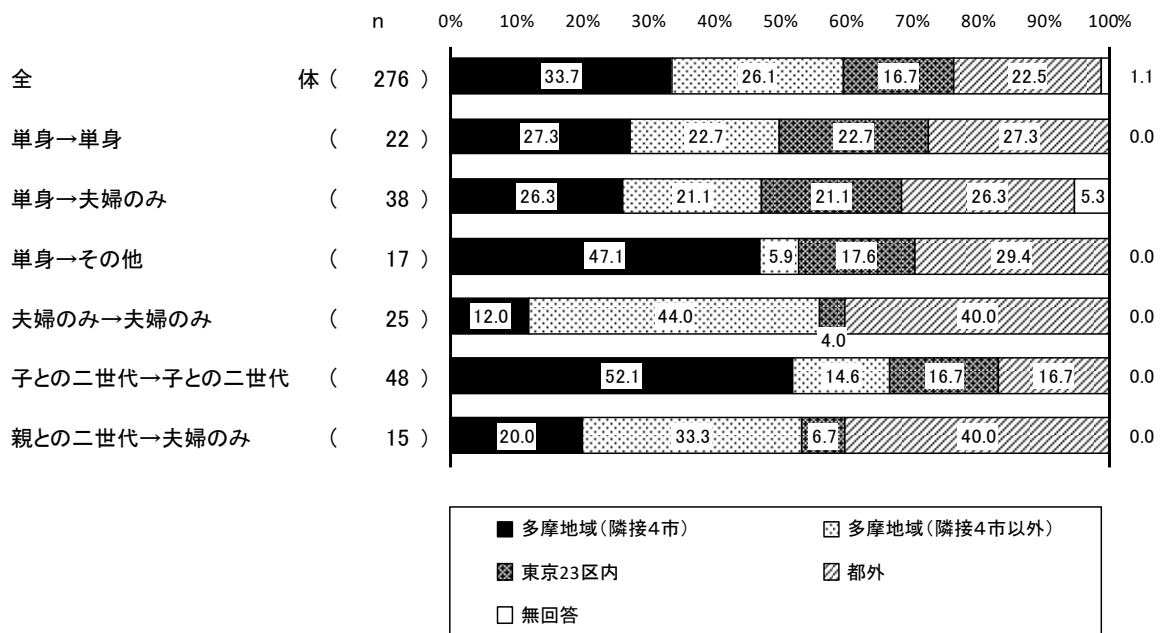
(n=276)

(%)

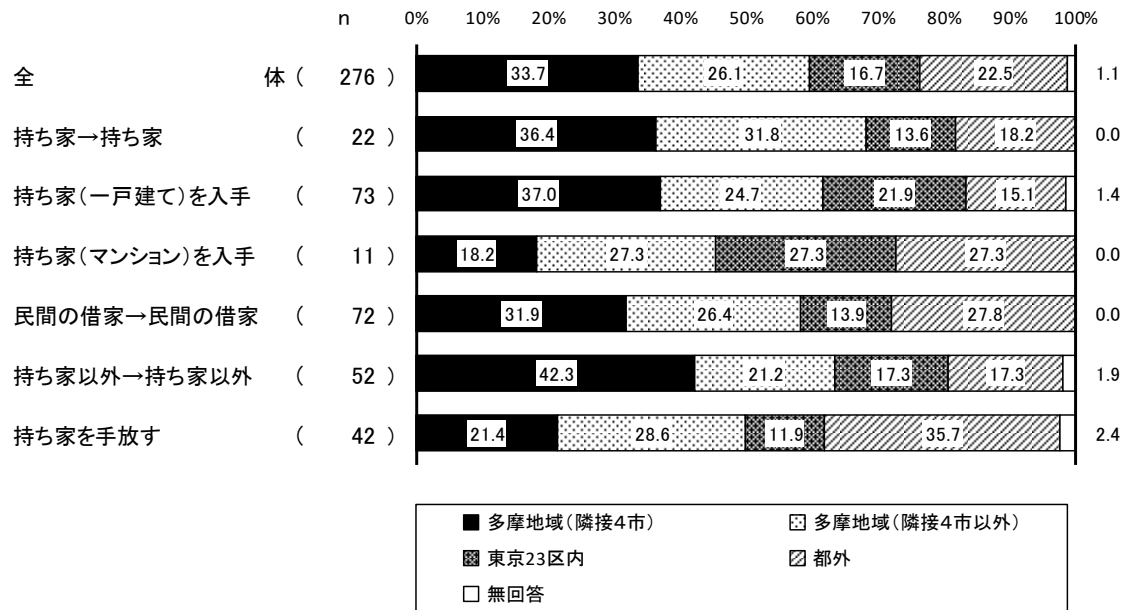
	件数	%
多摩地域 (隣接4市)	93	33.7
多摩地域 (隣接4市以外)	72	26.1
東京23区内	46	16.7
都外	62	22.5
無回答	3	1.1
調査数	276	100.0



<図表1-1-13> 転入前の居住地／世帯構成 転入前→転入後別



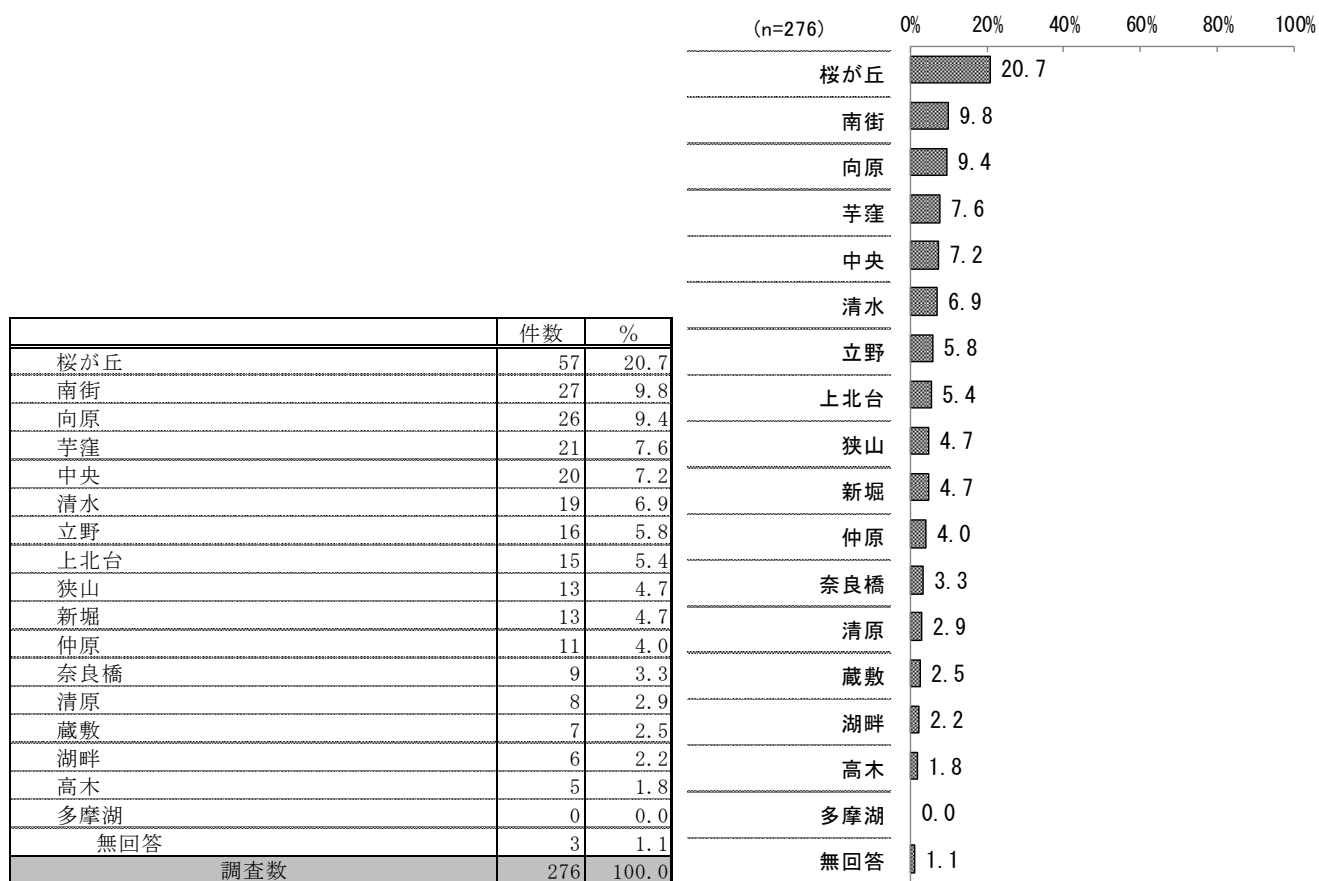
<図表 1-1-14> 転入前の居住地域／住居区分 転入前→転入後別



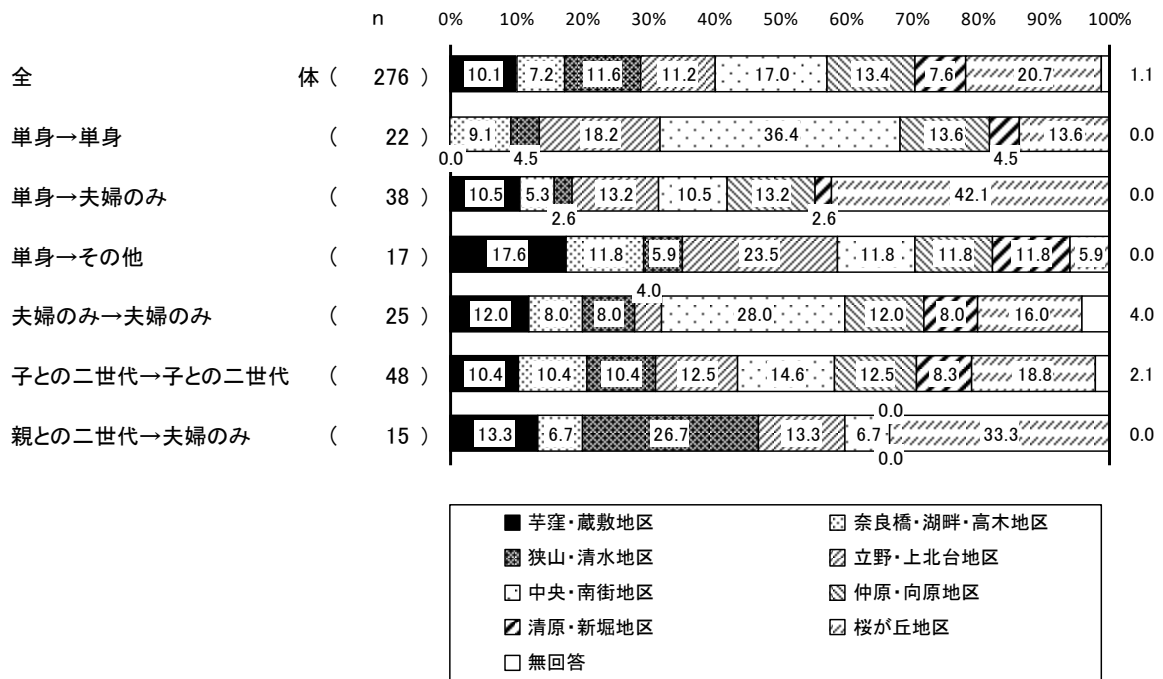
(8) 転入後の居住地

問8 あなたは東大和市に転入したときどちらにお住まいでしたか。(1つを選択)

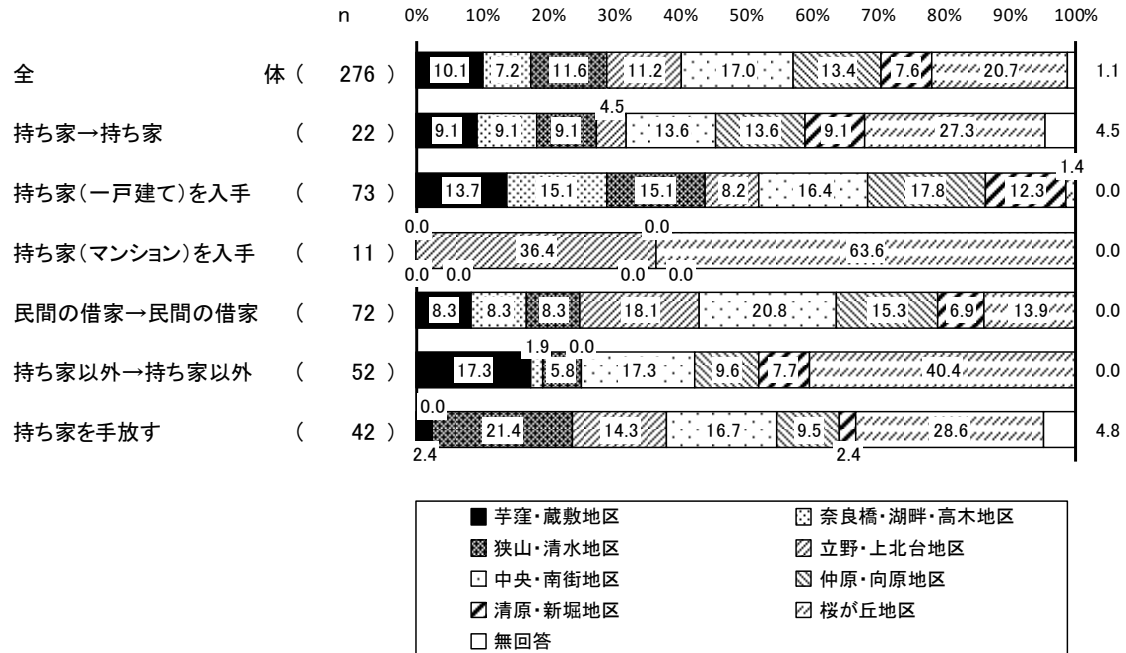
<図表1-1-15> 転入後の居住地/全体



<図表 1-1-16> 転入後の居住地域／世帯構成 転入前→転入後別



<図表 1-1-17> 転入後の居住地域／住居区分 転入前→転入後別



## 2. 転入において、世帯の中で最も大きな要因となった方について

### (1) 東大和市から転入した最も大きな要因となった方

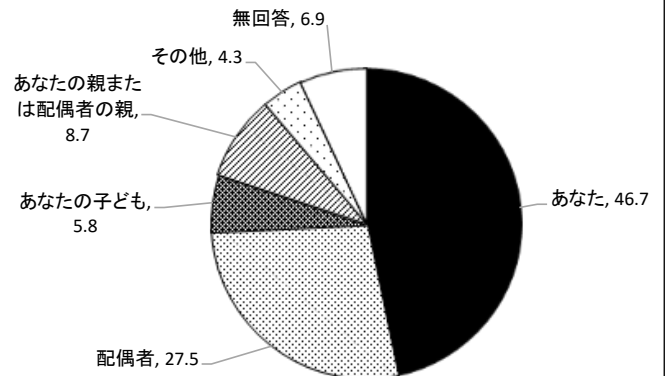
問9 東大和市へ転入した最も大きな要因となった方はどなたですか。(1つを選択)

<図表1-2-1>東大和市へ転入した最も大きな要因となった方／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
あなた	129	46.7
配偶者	76	27.5
あなたの子ども	16	5.8
あなたの親または配偶者の親	24	8.7
その他	12	4.3
無回答	19	6.9
調査数	276	100.0



「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数
同居人	2	新築の家を建てたため	1
家族で相談	1	人が要因ではない	1
結婚の際、主人の地元だったため	1	病院	1
交際相手	1		
婚約者	1		

全体では「あなた」(46.7%)が5割弱で最も高く、次いで「配偶者」(27.5%)が3割弱となっている。(図表1-2-1)

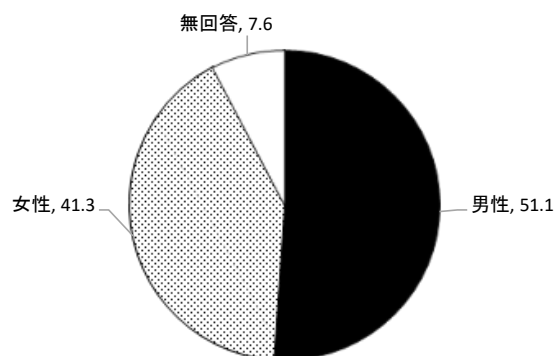
## (2) 最も大きな要因となった方の性別

問10 問9で選択した方の性別はどちらですか。

<図表1-2-2>最も大きな要因となった方の性別／全体

(n=276)

(%)



	件数	%
男性	141	51.1
女性	114	41.3
無回答	21	7.6
調査数	276	100.0

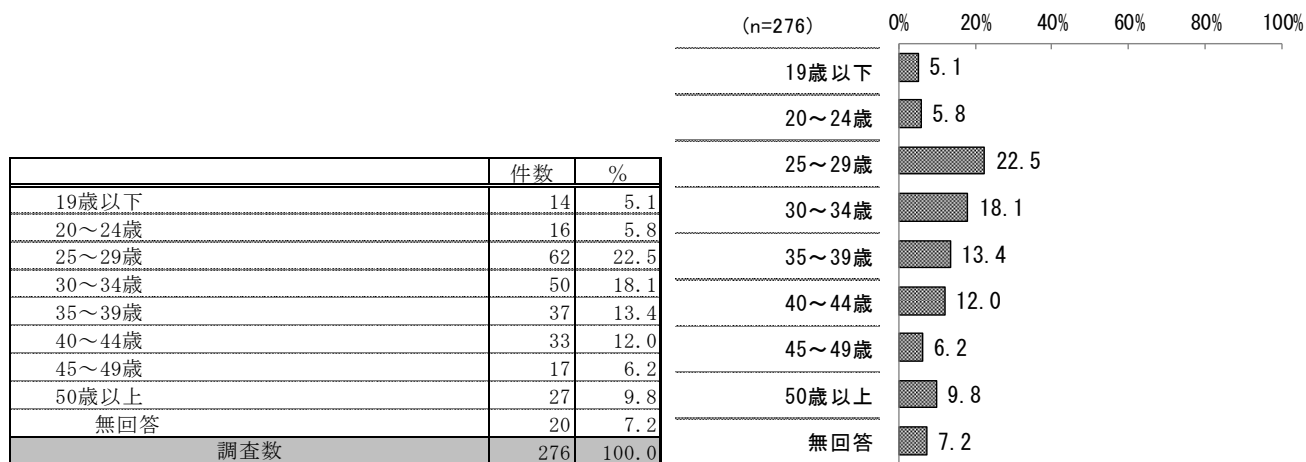
全体では『最も大きな要因となった方の性別が「男性』』(51.1%)が5割強で、『最も大きな要因となった方の性別が「女性』』(41.3%)の4割強より高くなっている。(図表1-2-2)



(3) 最も大きな要因となった方の年齢

問11 問9で選択した方の年齢は、どちらになりますか。(1つを選択)

<図表1-2-3>最も大きな要因となった方の年齢/全体



全体では「25~29歳」(22.5%)が2割強で最も高く、次いで「30~34歳」(18.1%)が2割弱となっている。(図表1-2-3)

(4) 最も大きな要因となった方の職業

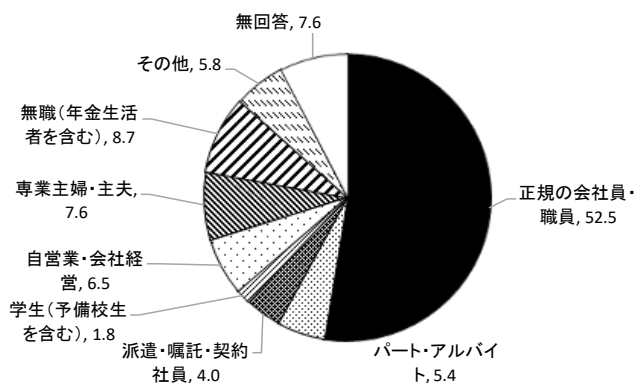
問 12 問9で選択した方の職業はどちらになりますか。(1つを選択)

<図表 1-2-4>最も大きな要因となった方の職業/全体

(n=276)

(%)

	件数	%
正規の会社員・職員	145	52.5
パート・アルバイト	15	5.4
派遣・嘱託・契約社員	11	4.0
学生(予備校生を含む)	5	1.8
自営業・会社経営	18	6.5
専業主婦・主夫	21	7.6
無職(年金生活者を含む)	24	8.7
その他	16	5.8
無回答	21	7.6
調査数	276	100.0



「その他の回答」	件数
未就学児	5
乳幼児	2
公務員	1
農業、アパート経営	1

全体では「正規の会社員・職員」(52.5%)が5割強で最も高く、次いで「無職(年金生活者を含む)」(8.7%)が1割弱となっている。(図表 1-2-4)

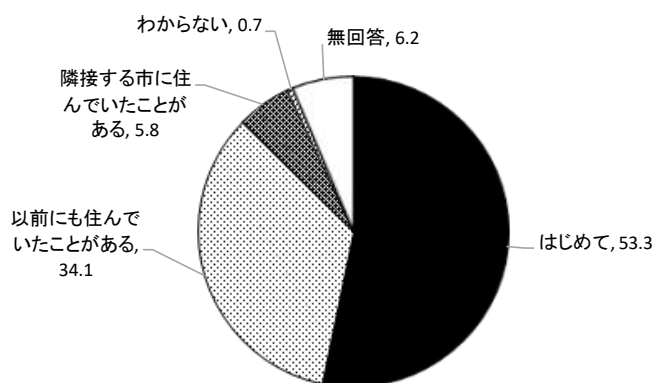
(5) 最も大きな要因となった方が以前に東大和市に住んだことがあるか

問 13 問9で選択した方は、以前にも東大和市に住んだことがありますか。(1つを選択)

<図表 1-2-5>最も大きな要因となった方が以前に東大和市に住んだことがあるか/全体

(n=276)

(%)



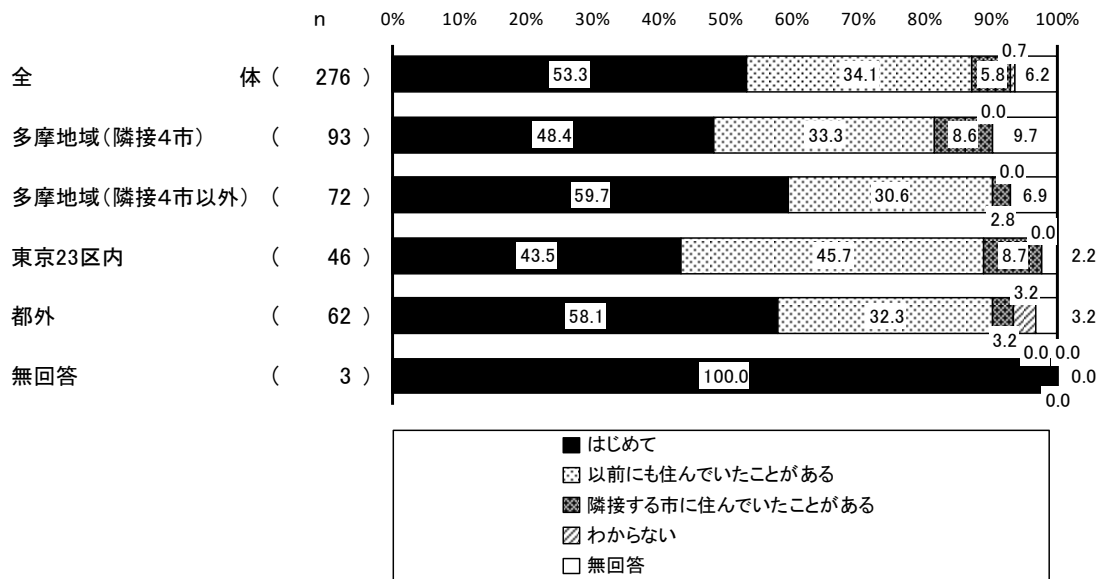
	件数	%
はじめて	147	53.3
以前にも住んでいたことがある	94	34.1
隣接する市に住んでいたことがある	16	5.8
わからない	2	0.7
無回答	17	6.2
調査数	276	100.0

全体では「はじめて」(53.3%)が5割強で最も高く、次いで「以前にも住んでいたことがある」(34.1%)が3割台半ばとなっている。(図表 1-2-5)

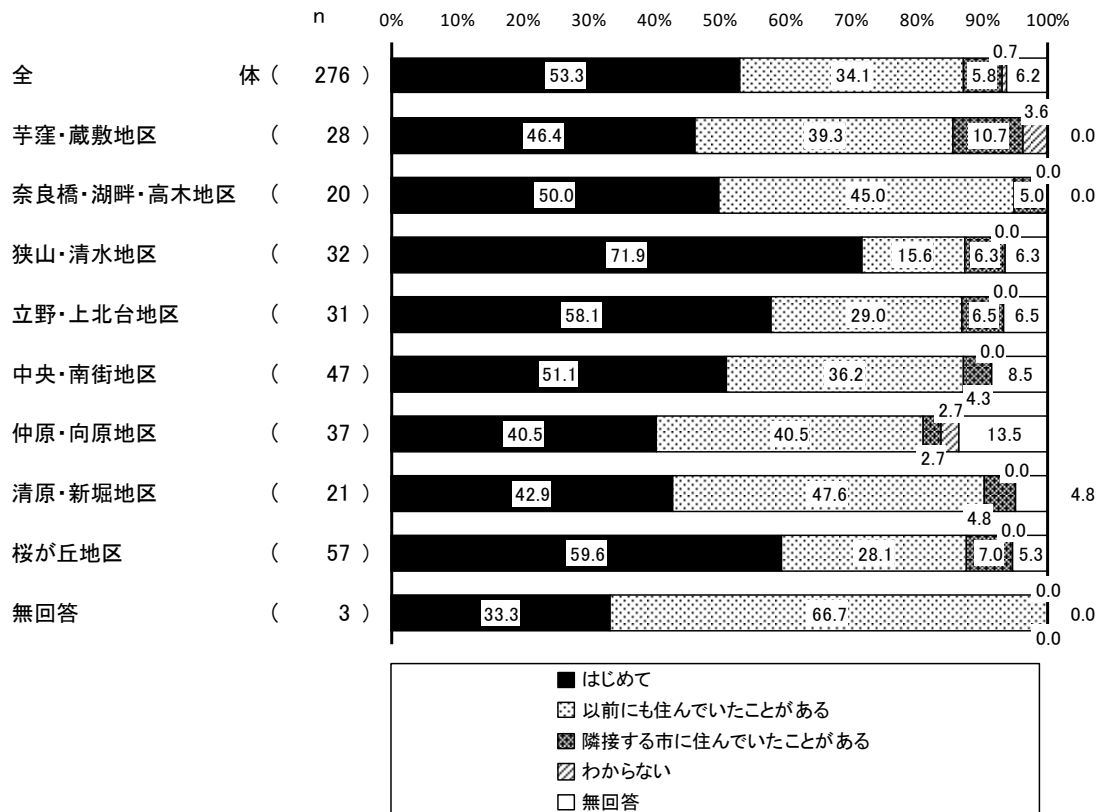
転入前の居住地域別にみると、「はじめて」は多摩地域(隣接4市以外)(59.7%)で約6割と最も高く、都外(58.1%)でも6割弱と高くなっている。「以前にも住んでいたことがある」は東京23区内(45.7%)で4割台半ばと最も高くなっている。(図表 1-2-6)

転入後の居住地域別にみると、「はじめて」は狭山・清水地区(71.9%)で7割強と最も高く、「以前にも住んでいたことがある」は清原・新堀地区(47.6%)で5割弱と最も高くなっている。(図表 1-2-7)

＜図表 1－2－6＞最も大きな要因となった方が以前に東大和市に住んだことがあるか  
／転入前の居住地域別



＜図表 1－2－7＞最も大きな要因となった方が以前に東大和市に住んだことがあるか  
／転入後の居住地域別



(6) 以前に東大和市に住んでいた方の居住年数

【問 13 で「2 以前にも住んでいたことがある」とお答えの方に】

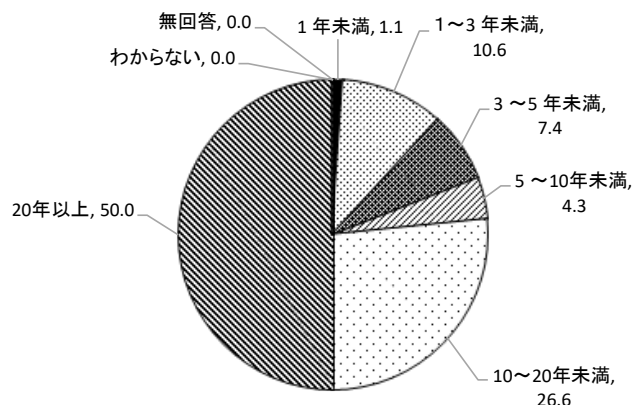
問 14 以前には何年東大和市に住んでいましたか。(1 つを選択)

<図表 1-2-8> 以前に東大和市に住んでいた方の居住年数 / 全体

(n=94)

(%)

	件数	%
1 年未満	1	1.1
1～3 年未満	10	10.6
3～5 年未満	7	7.4
5～10年未満	4	4.3
10～20年未満	25	26.6
20年以上	47	50.0
わからない	0	0.0
無回答	0	0.0
調査数	94	100.0



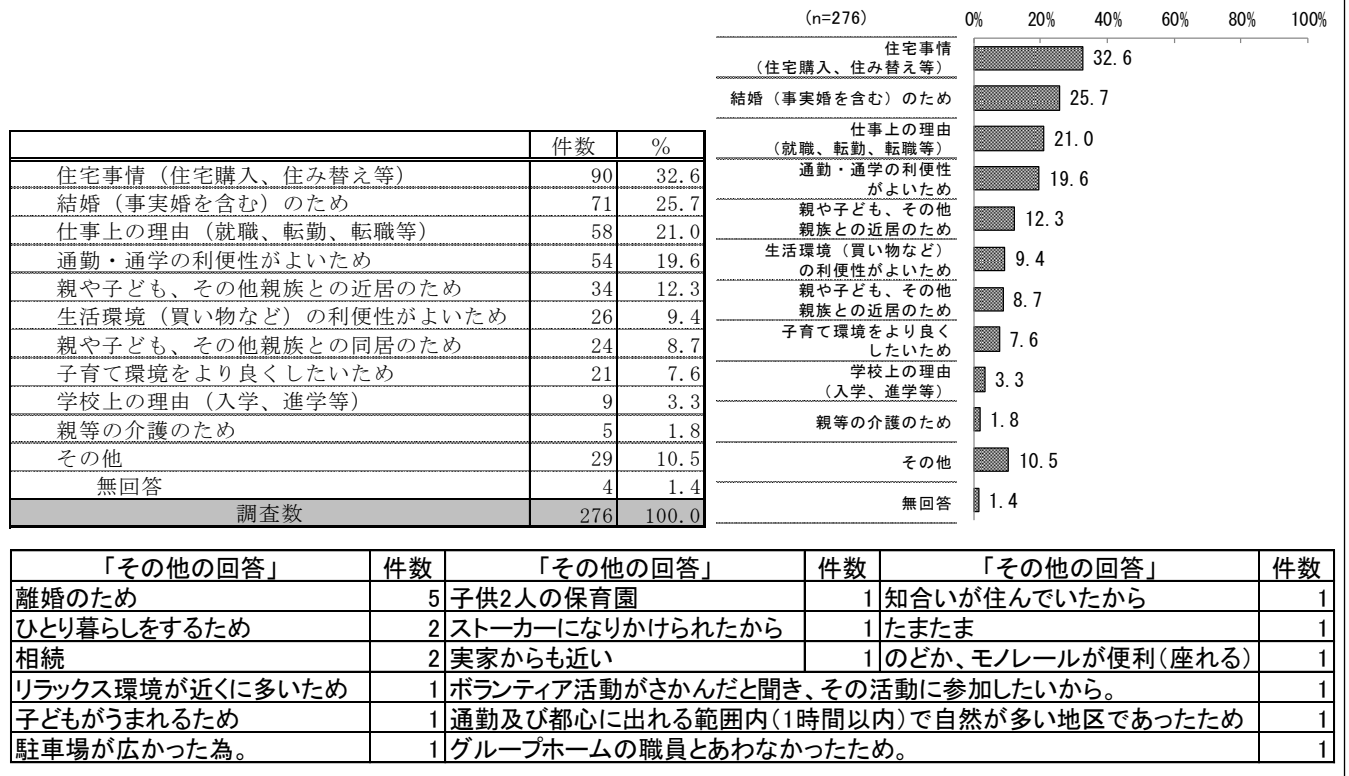
全体では「20年以上」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「10～20年未満」(26.6%)が3割弱、「1～3年未満」(10.6%)が約1割となっている。(図表 1-2-8)

### 3. 世帯での転入理由等

#### (1) 東大和市へ転入した理由

問 15 東大和市へ転入した理由を下記の中からすべて選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

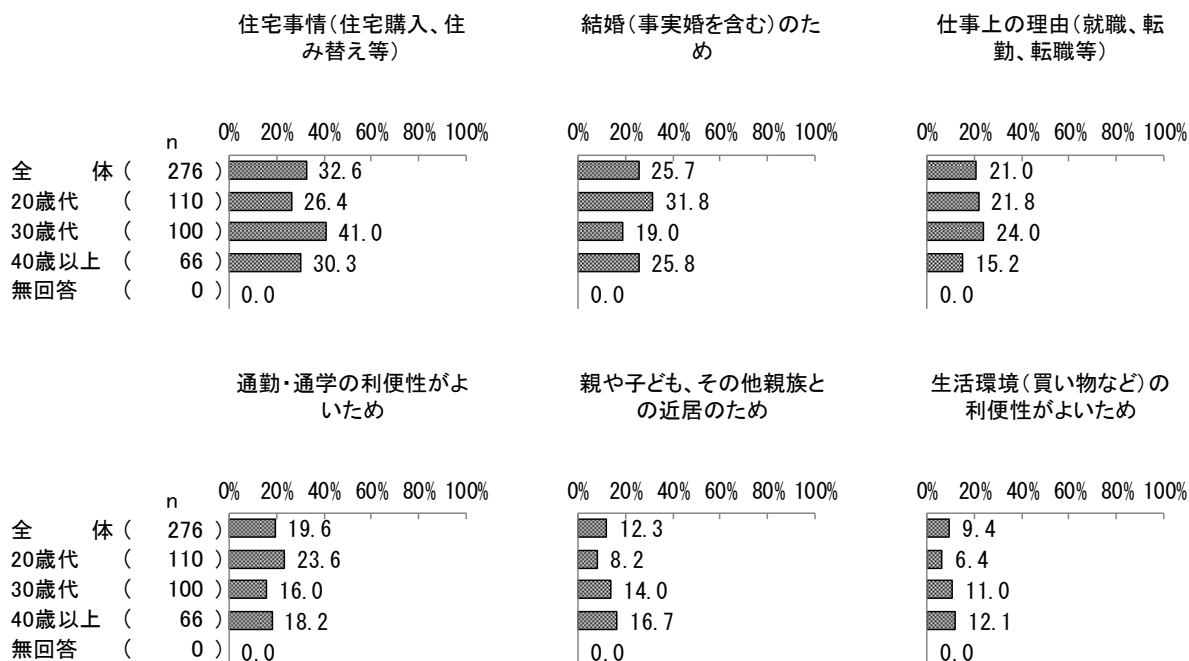
<図表 1-3-1> 東大和市へ転入した理由 / 全体



全体では「住宅事情 (住宅購入、住み替え等)」(32.6%) が3割強で最も高く、次いで「結婚 (事実婚を含む) のため」(25.7%) が2割台半ば、「仕事上の理由 (就職、転勤、転職等)」(21.0%) が2割強、「通勤・通学の利便性がよいため」(19.6%) が約2割となっている。(図表 1-3-1)

年代別でみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は30歳代（41.0%）で4割強と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は20歳代（31.8%）で3割強と最も高くなっている。（図表1-3-2）

<図表1-3-2>東大和市へ転入した理由／年代別（上位6項目）



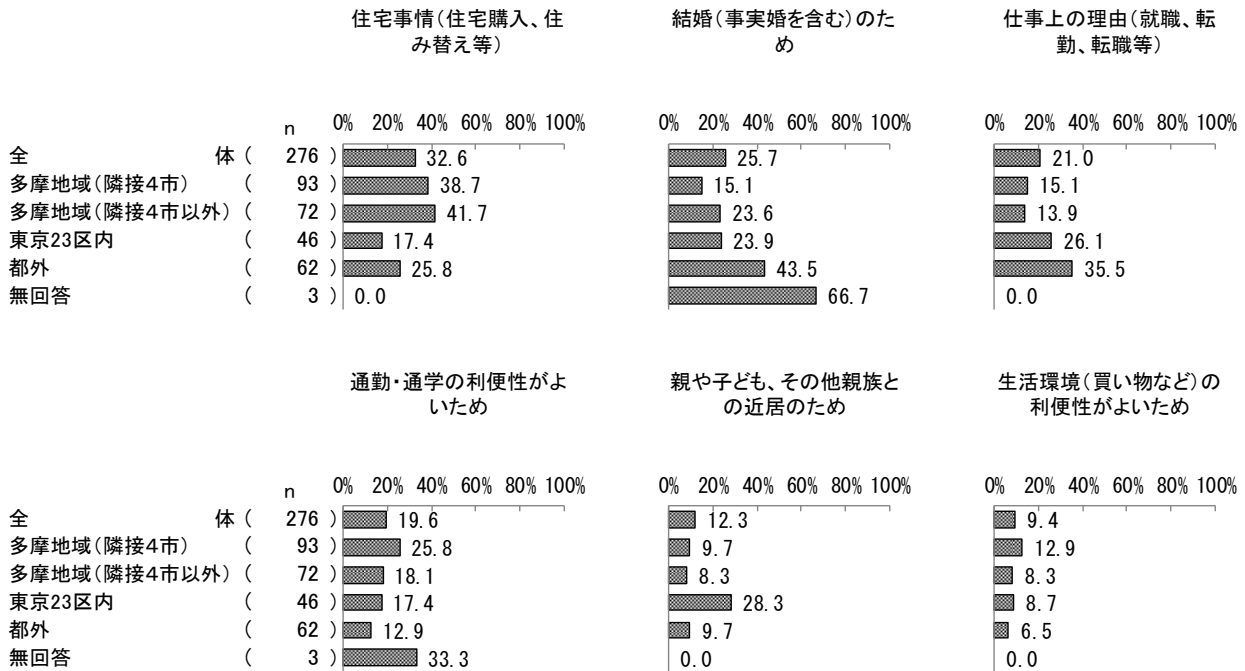
転入前の居住地域別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は多摩地域（隣接4市以外）（41.7%）で4割強と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は都外（43.5%）で4割強と最も高くなっている。（図表1-3-3）

転入後の居住地域別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は奈良橋・湖畔・高木地区（50.0%）で5割と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は桜が丘地区（33.3%）で3割強と最も高くなっている。また、「仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」は立野・上北台地区（32.3%）で3割強と最も高くなっている。（図表1-3-4）

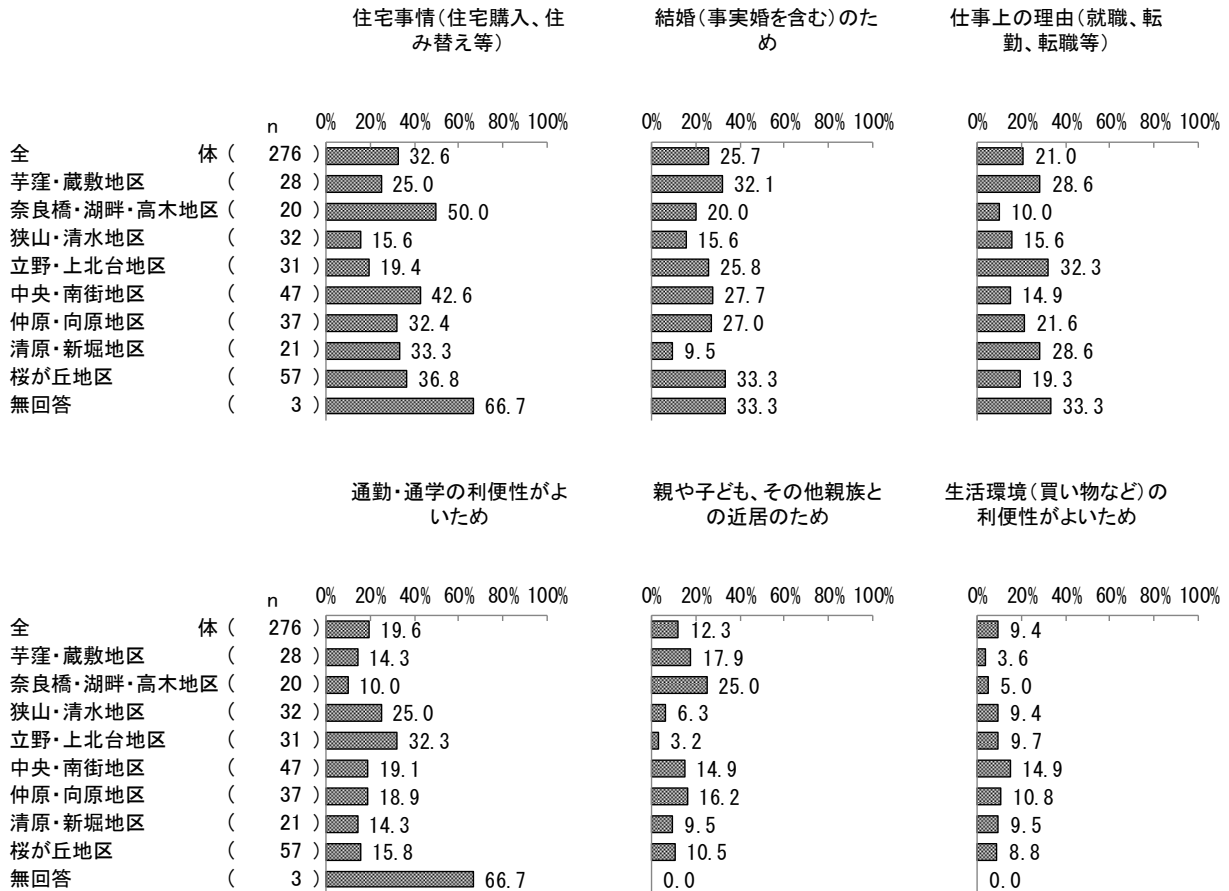
世帯構成別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は子との二世帯→子との二世帯（54.2%）で5割台半ばと最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は単身→夫婦のみ（68.4%）で7割弱と最も高くなっている。（図表1-3-5）

住居区分別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は持ち家（一戸建て）を入手（54.8%）で5割台半ばと最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は持ち家を手放す（42.9%）で4割強と最も高くなっている。（図表1-3-6）

<図表 1-3-3> 東大和市へ転入した理由／転入前の居住地域別（上位6項目）

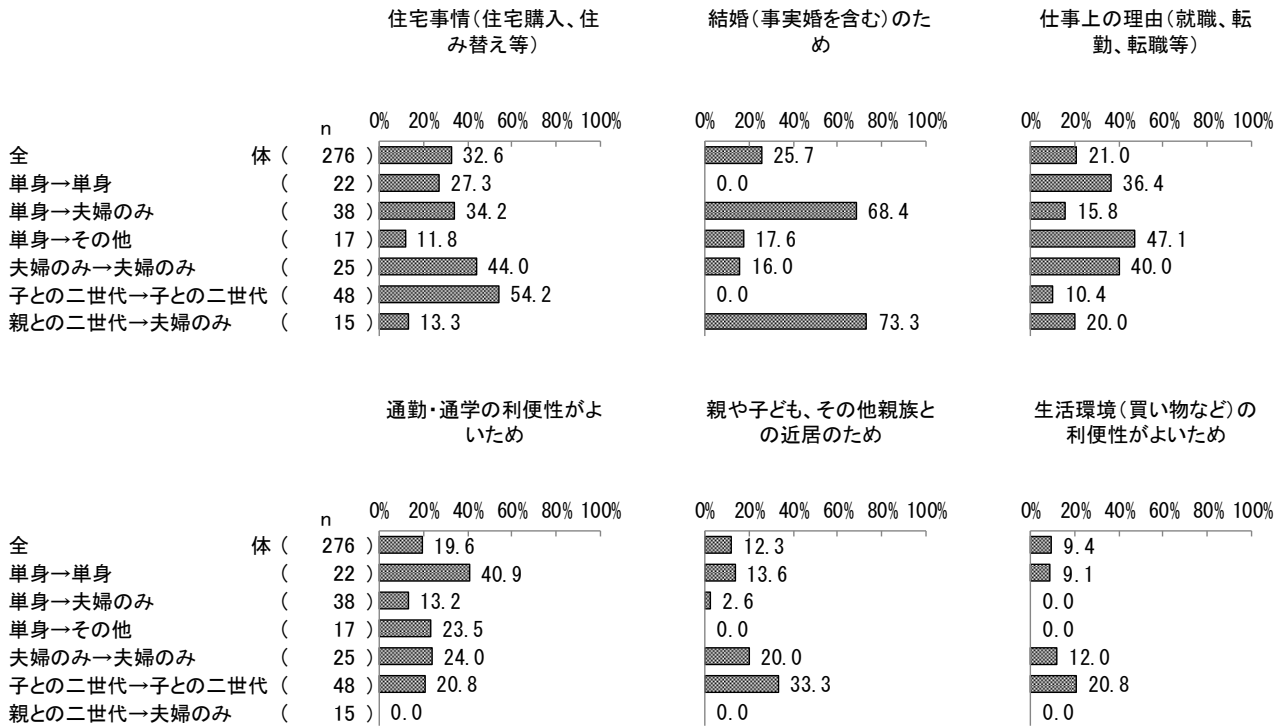


<図表 1-3-4> 東大和市へ転入した理由／転入後の居住地域別（上位6項目）

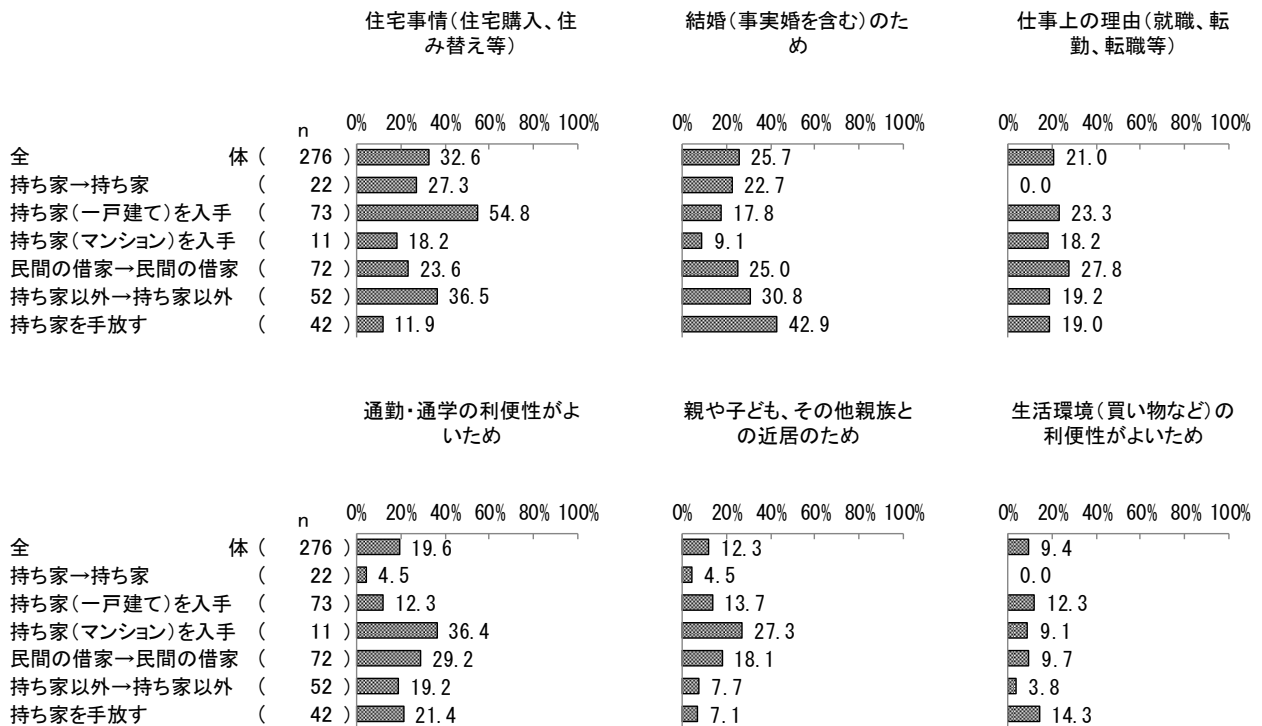




<図表 1-3-5> 東大和市へ転入した理由／世帯構成 転入前→転入後（上位 6 項目）



<図表 1-3-6> 東大和市へ転入した理由／住居区分 転入前→転入後（上位 6 項目）



(2) 東大和市を選んだ理由

問 16 居住地として他の市区町村ではなく東大和市を選択した理由について、選択肢より上位2つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

① 第1位

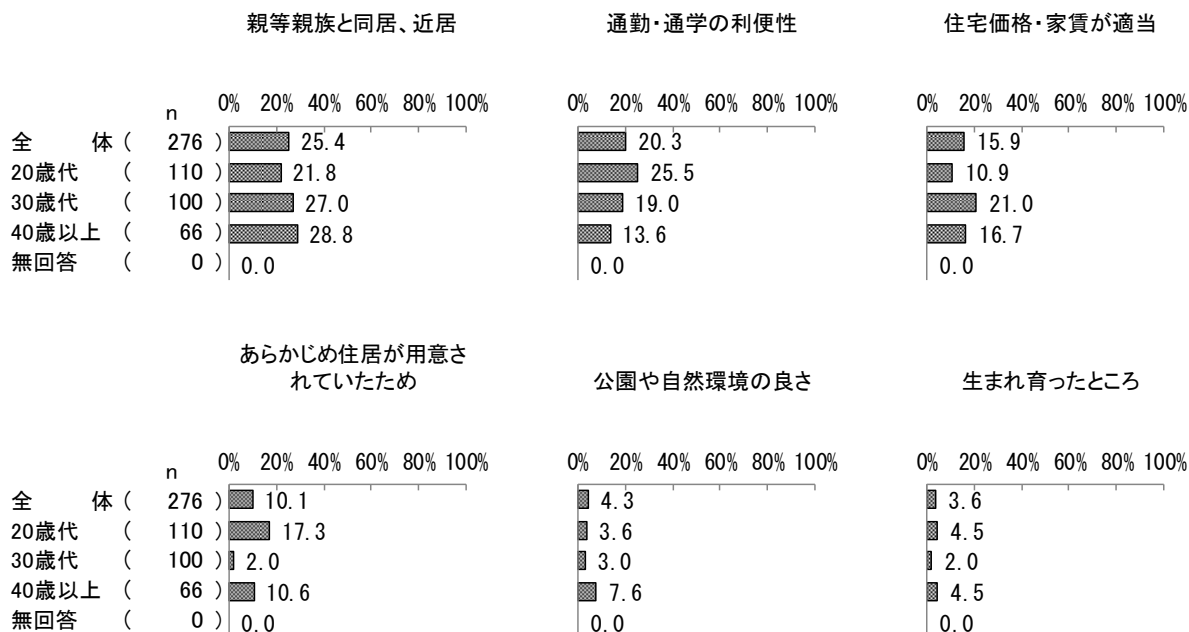
<図表1-3-7>東大和市を選んだ理由(第1位) / 全体



全体では「親等親族と同居、近居」(25.4%)が2割台半ばで最も高く、次いで「通勤・通学の利便性」(20.3%)が約2割、「住宅価格・家賃が適当」(15.9%)が1割台半ばとなっている。(図表1-3-7)

年代別でみると、「親等親族と同居、近居」は40歳以上（28.8%）で3割弱と最も高く、「通勤・通学の利便性」は20歳代（25.5%）で2割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-8）

＜図表1-3-8＞東大和市を選んだ理由（第1位）／年代別（上位6項目）



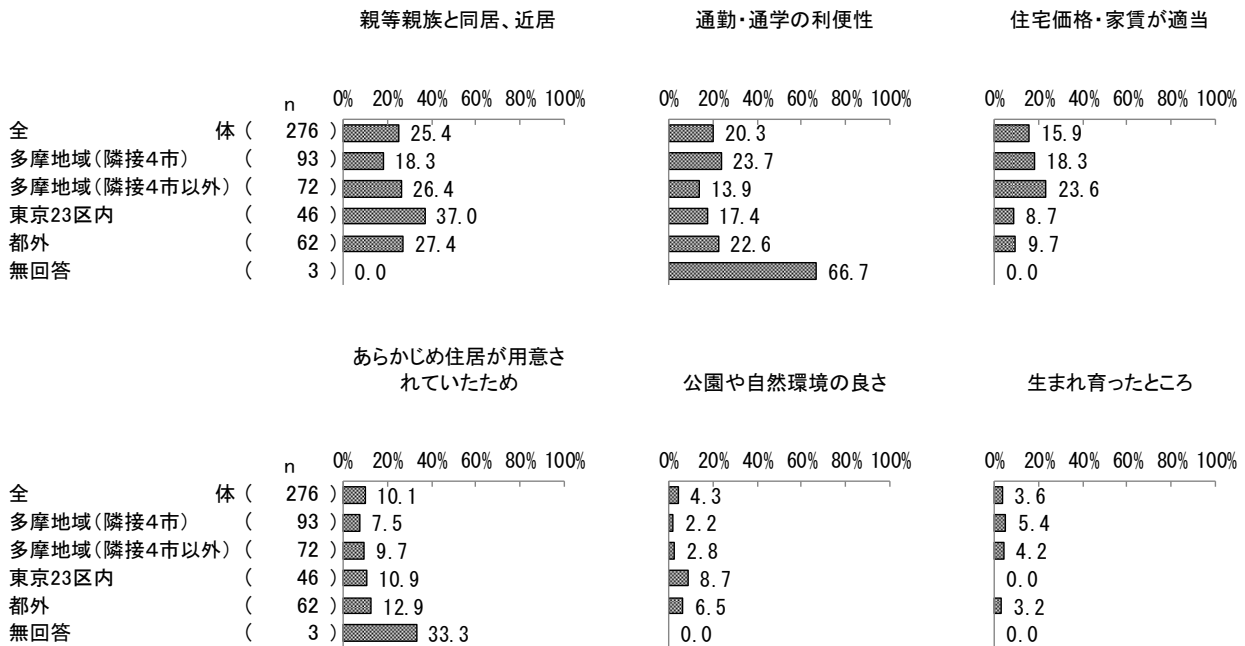
転入前の居住地域別にみると、「親等親族と同居、近居」は東京23区内（37.0%）で4割弱と最も高く、「通勤・通学の利便性」は多摩地域（隣接4市）（23.7%）、都外（22.6%）で2割強と高くなっている。（図表1-3-9）

転入後の居住地域別にみると、「親等親族と同居、近居」は芋窪・蔵敷地区（46.4%）で5割弱と最も高くなっている。「通勤・通学の利便性」は仲原・向原地区（29.7%）で約3割と最も高く、立野・上北台地区（29.0%）でも3割弱と最も高くなっている。（図表1-3-10）

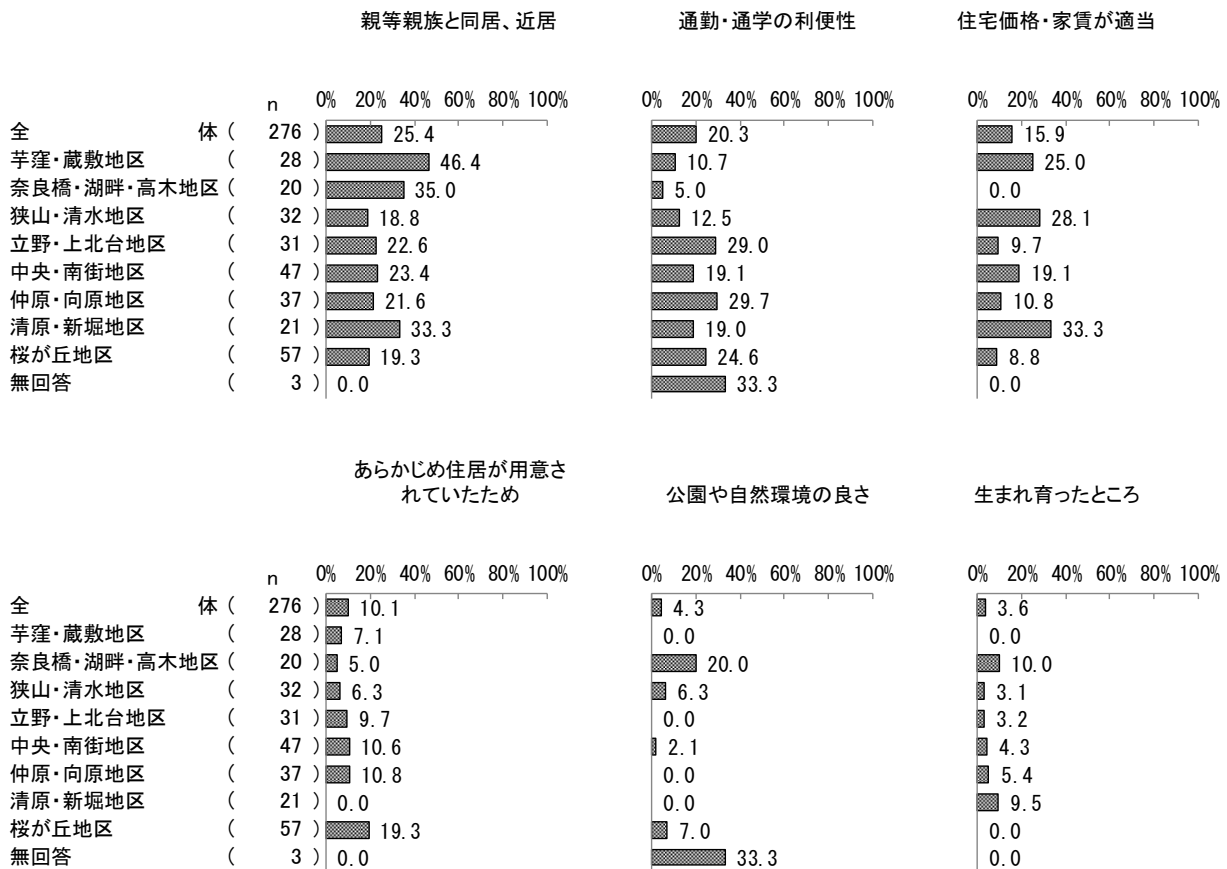
世帯構成別にみると、「親等親族と同居、近居」は子との二世帯→子との二世帯（29.2%）で約3割と最も高く、「通勤・通学の利便性」は単身→夫婦のみ（36.8%）で4割弱と最も高くなっている。（図表1-3-11）

住居区分別にみると、「親等親族と同居、近居」は持ち家（一戸建て）を入手（34.2%）で3割台半ばと最も高く、「通勤・通学の利便性」は持ち家以外→持ち家以外（32.7%）で3割強と最も高くなっている。（図表1-3-12）

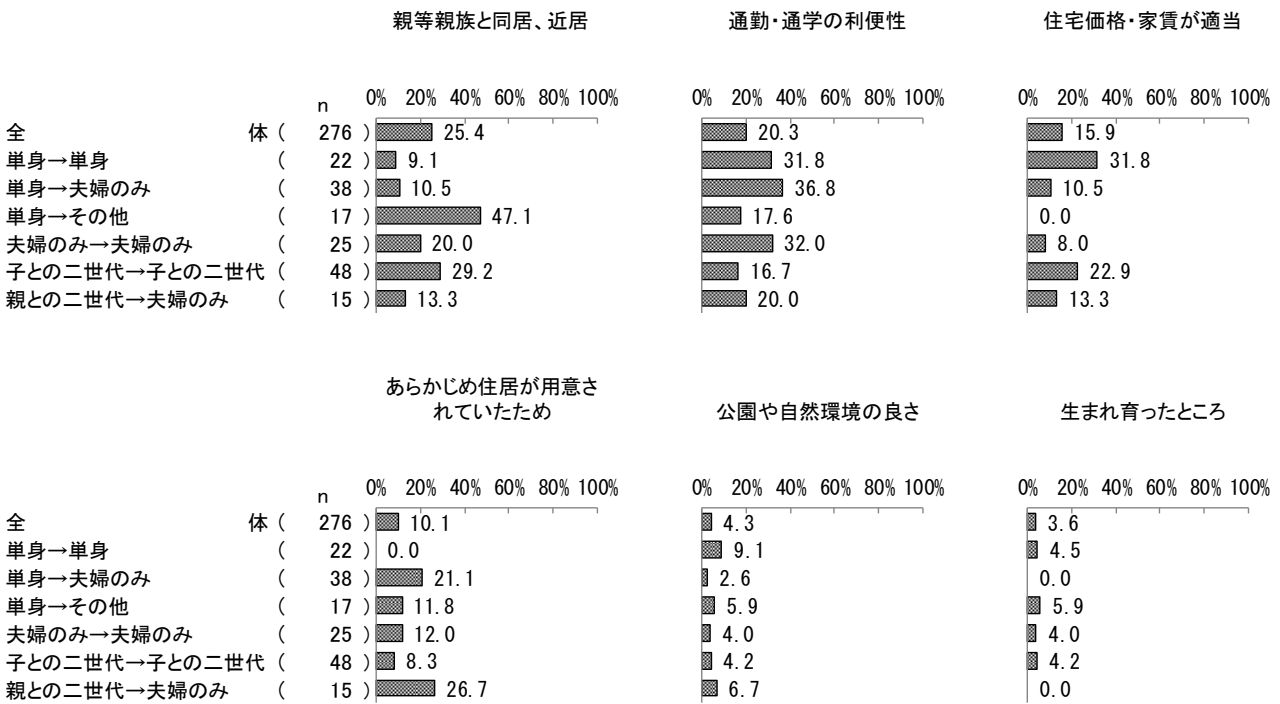
<図表1-3-9>東大和市を選んだ理由（第1位）／転入前の居住地域別（上位6項目）



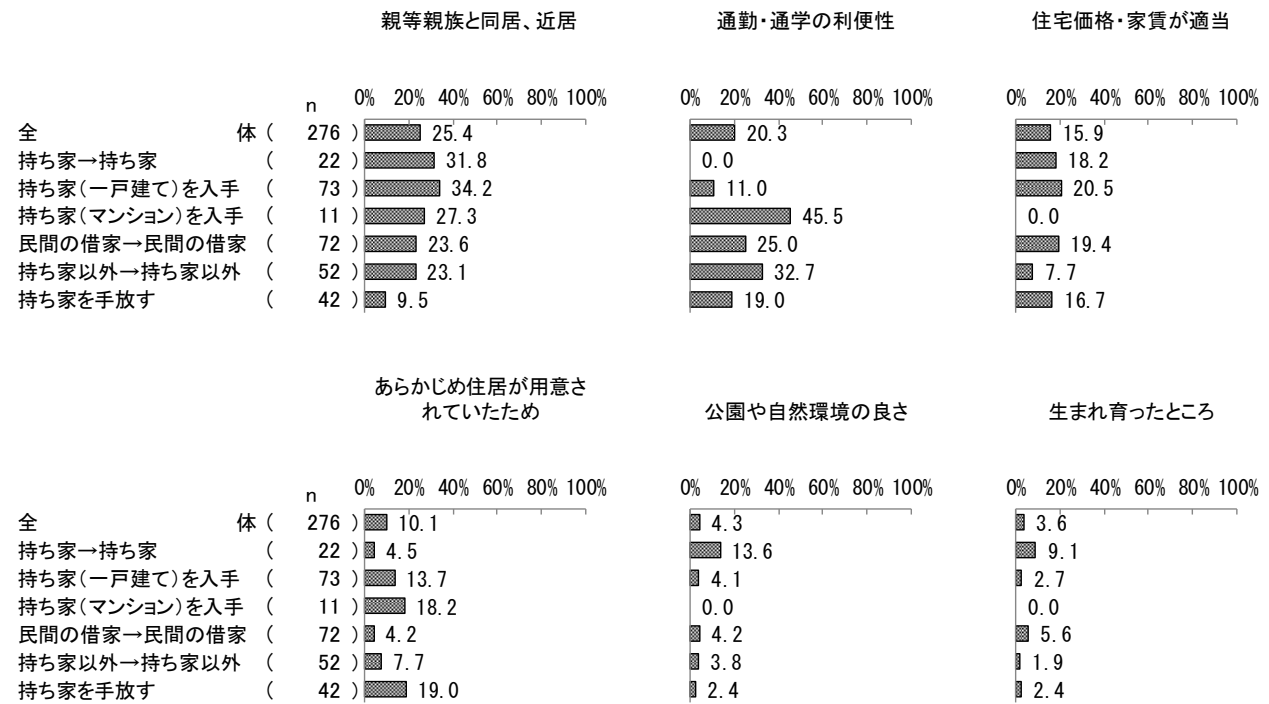
<図表1-3-10>東大和市を選んだ理由（第1位）／転入後の居住地域別（上位6項目）



<図表 1-3-11> 東大和市を選んだ理由（第1位）／世帯構成 転入前→転入後（上位6項目）



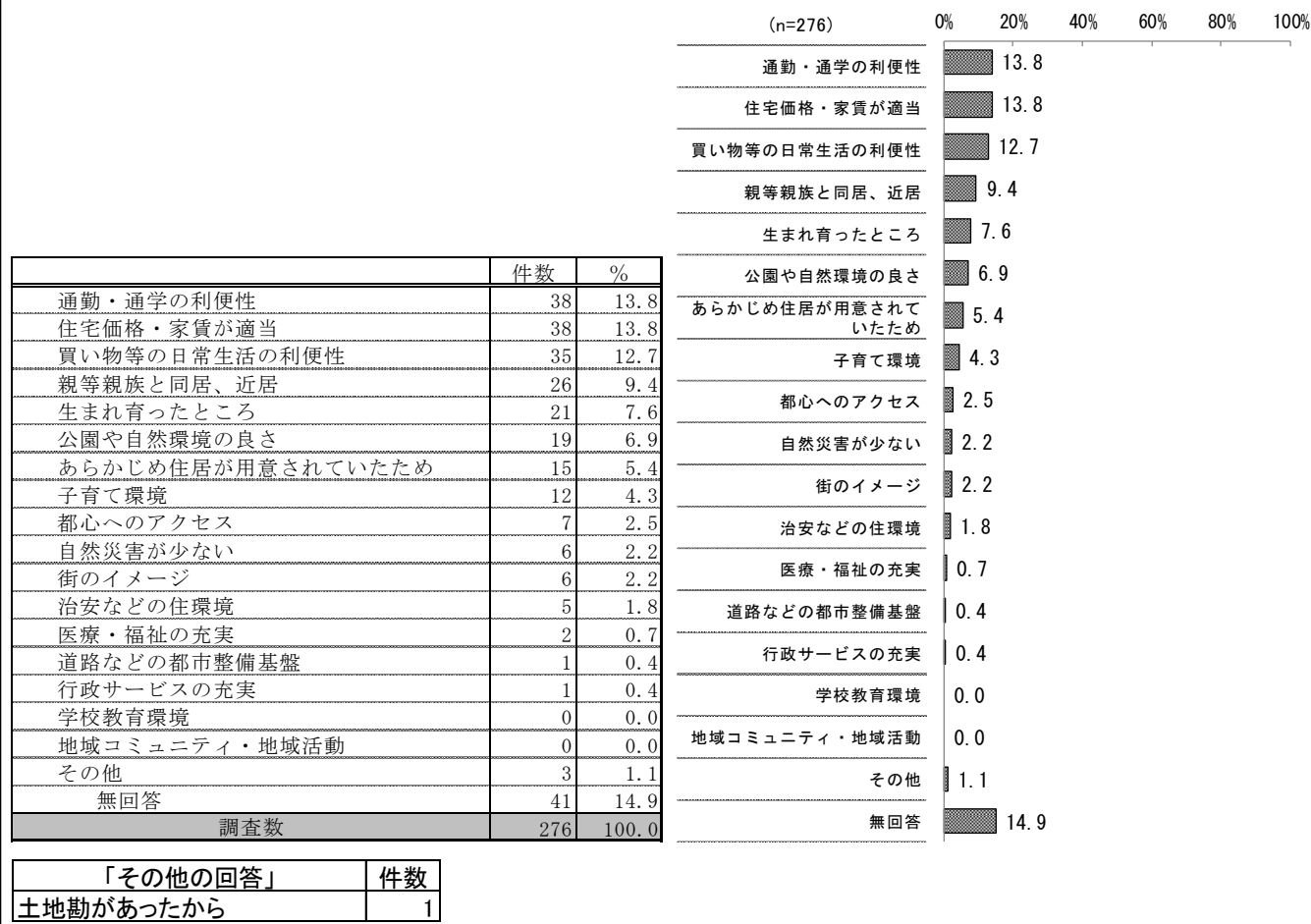
<図表 1-3-12> 東大和市を選んだ理由（第1位）／住居区分 転入前→転入後（上位6項目）



問 16 居住地として他の市区町村ではなく東大和市を選択した理由について、選択肢より上位2つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

② 第2位

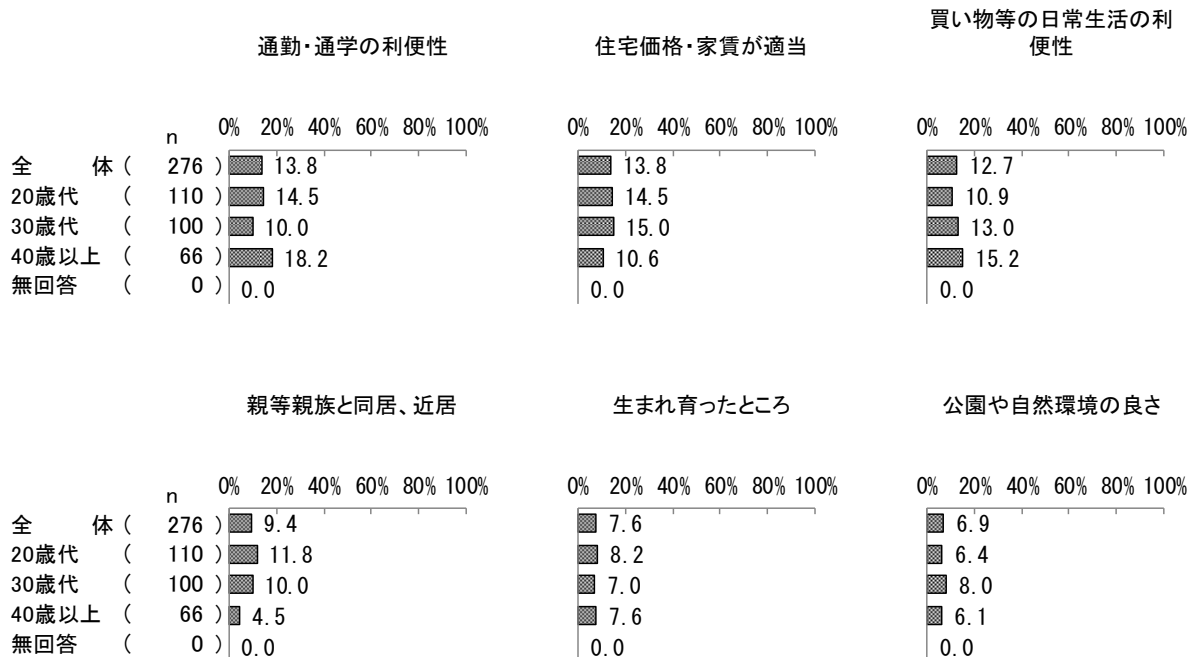
<図表 1-3-13> 東大和市を選んだ理由（第2位）／全体



全体では「通勤・通学の利便性」と「住宅価格・家賃が適当」（13.8%）が1割強で最も高く、次いで「買い物等の日常生活の利便性」（12.7%）が1割強となっている。（図表 1-3-13）

年代別でみると、「通勤・通学の利便性」は40歳以上（18.2%）で2割弱と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は20歳代（14.5%）、30歳代（15.0%）で高くなっている。（図表1-3-14）

＜図表1-3-14＞東大和市を選んだ理由（第2位）／年代別（上位6項目）



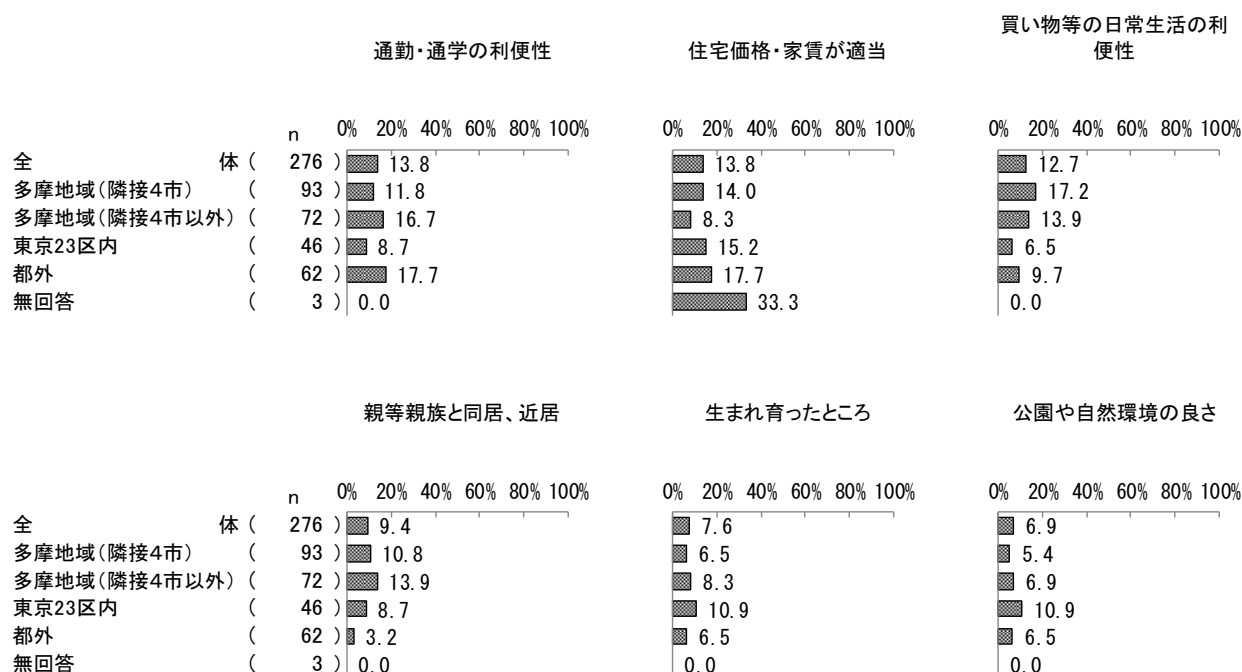
転入前の居住地域別にみると、「通勤・通学の利便性」と「住宅価格・家賃が適当」は都外（17.7%）で2割弱と最も高く、「買い物等の日常生活の利便性」は多摩地域（隣接4市）（17.2%）で2割弱と最も高くなっている。（図表1-3-15）

転入後の居住地域別にみると、「通勤・通学の利便性」は狭山・清水地区（21.9%）と芋窪・蔵敷地区（21.4%）が2割強と高くなっている。「住宅価格・家賃が適当」は奈良橋・湖畔・高木地区（25.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-16）

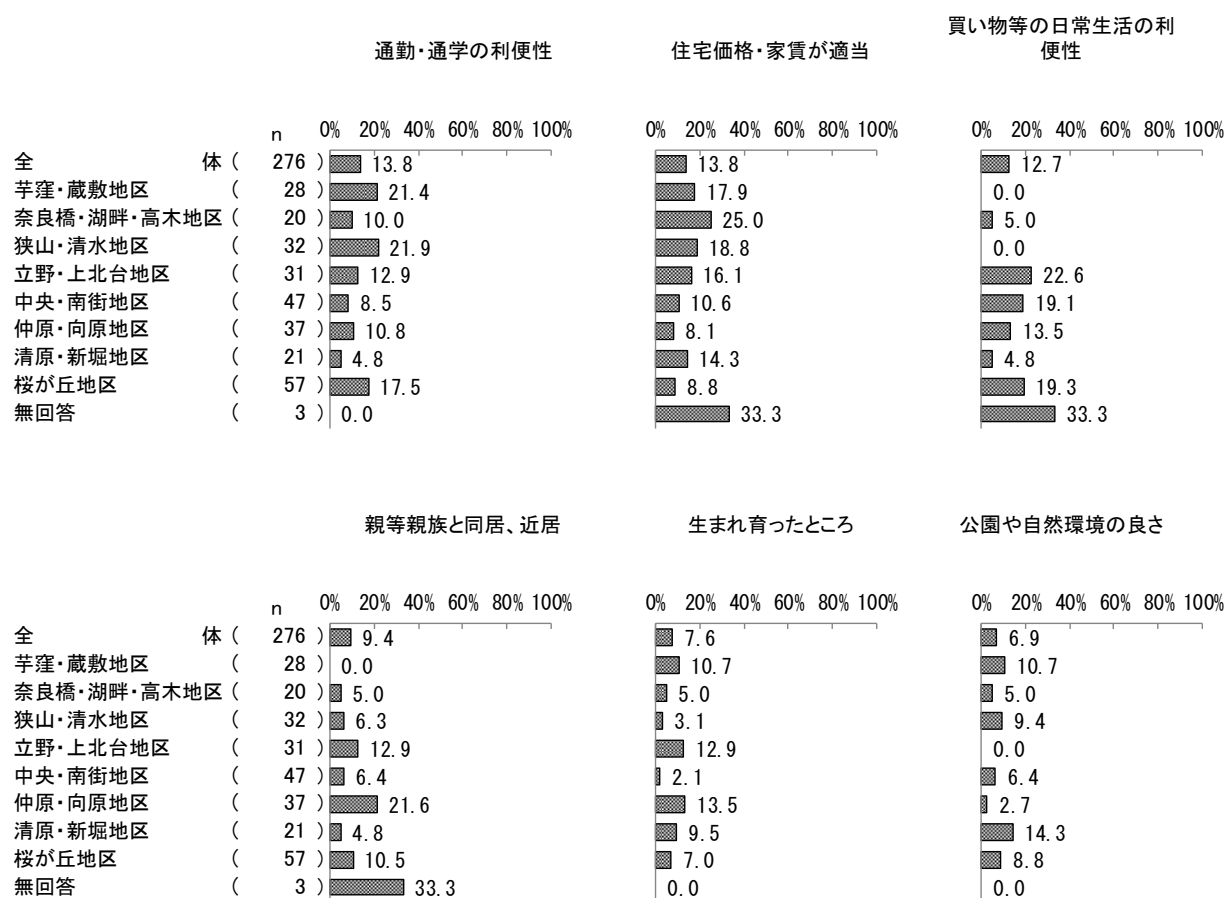
世帯構成別にみると、「通勤・通学の利便性」は子との二世帯→子との二世帯（14.6%）が1割台半ばと最も高くなっている。「住宅価格・家賃が適当」は単身→単身（22.7%）で2割強と最も高くなっている。（図表1-3-17）

住居区分別にみると、「通勤・通学の利便性」は持ち家を手放す（23.8%）が2割強と最も高くなっている。「住宅価格・家賃が適当」は持ち家を手放す（16.7%）と「持ち家（一戸建て）を入手」（16.4%）が2割弱と高くなっている。（図表1-3-18）

<図表 1-3-15> 東大和市を選んだ理由（第2位）／転入前の居住地域別（上位6項目）

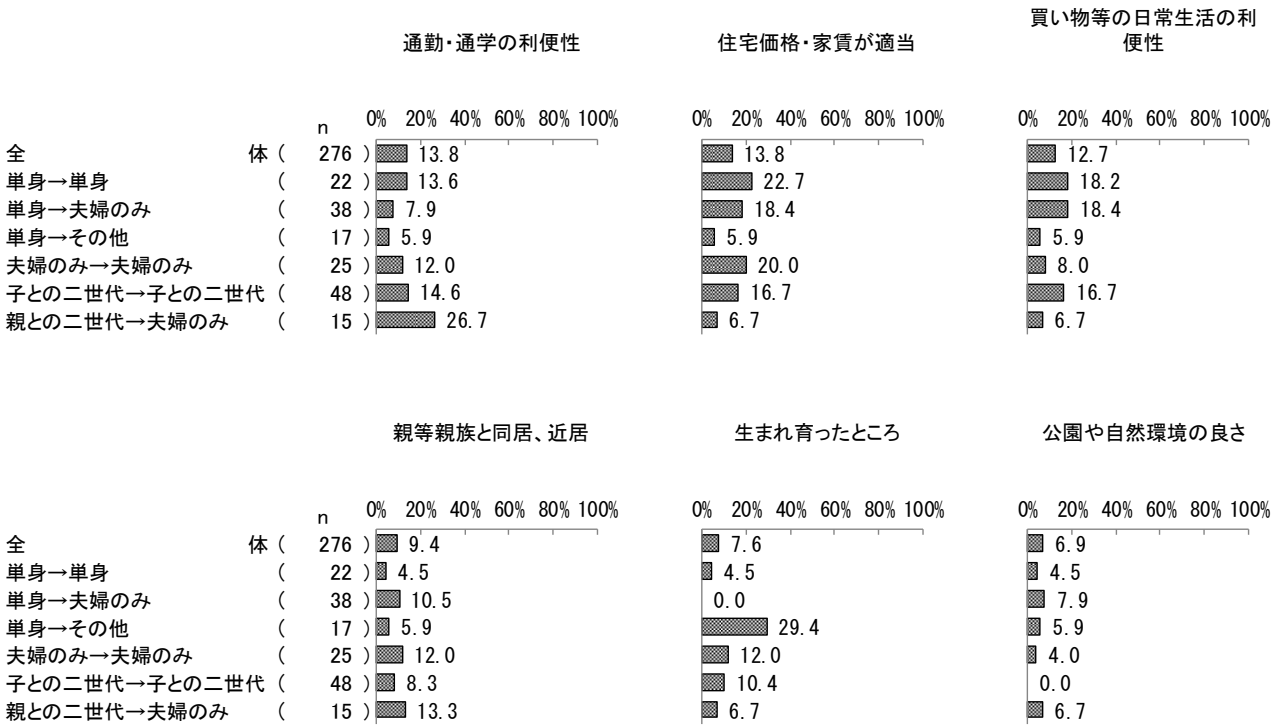


<図表 1-3-16> 東大和市を選んだ理由（第2位）／転入後の居住地域別（上位6項目）

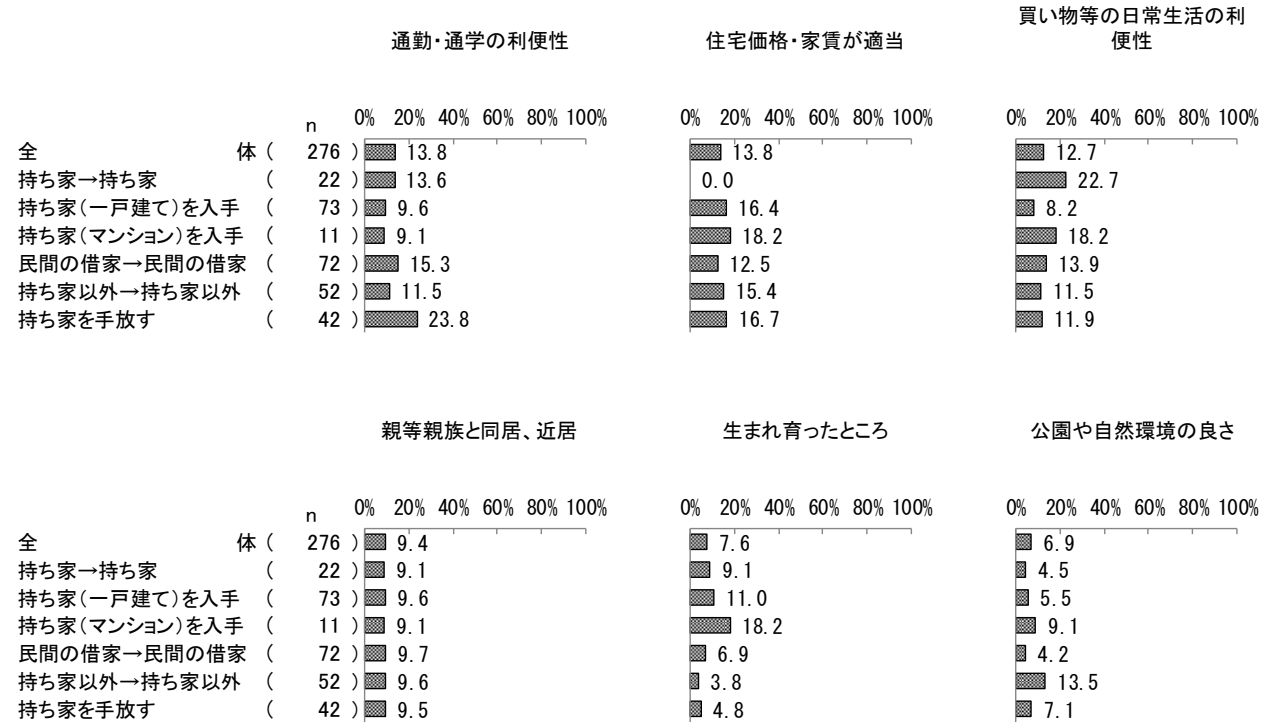




<図表 1-3-17> 東大和市を選んだ理由（第2位）／世帯構成 転入前→転入後（上位6項目）



<図表 1-3-18> 東大和市を選んだ理由（第2位）／住居区分 転入前→転入後（上位6項目）



問 16 居住地として他の市区町村ではなく東大和市を選択した理由について、選択肢より上位2つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

③ 第1位と第2位の合計

<図表 1-3-19> 東大和市を選んだ理由 (合計) / 全体



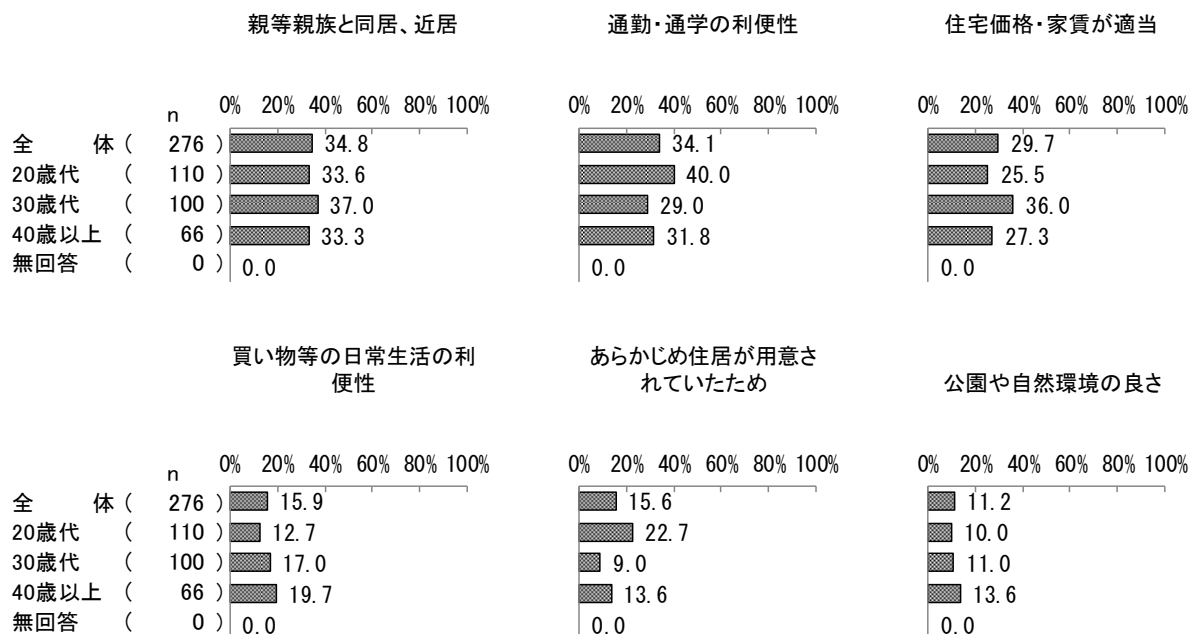
	件数	%
親等親族と同居、近居	96	34.8
通勤・通学の利便性	94	34.1
住宅価格・家賃が適当	82	29.7
買い物等の日常生活の利便性	44	15.9
あらかじめ住居が用意されていたため	43	15.6
公園や自然環境の良さ	31	11.2
生まれ育ったところ	31	11.2
子育て環境	21	7.6
都心へのアクセス	9	3.3
自然災害が少ない	7	2.5
治安などの住環境	6	2.2
街のイメージ	6	2.2
医療・福祉の充実	2	0.7
道路などの都市整備基盤	2	0.7
学校教育環境	1	0.4
地域コミュニティ・地域活動	1	0.4
行政サービスの充実	1	0.4
その他	21	7.6
無回答	13	4.7
調査数	276	100.0

「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数
社宅があったから	4	友達が住んでいるから	1	以前住んでいたのと、家族住宅の良さ	1
実家の建てかえ	1	自然の多さ	1		
職場がある	1	物件があったから	1		
保育園	1	相続	1		
主人の地元	1	土地勘があったから	1		

全体では「親等親族と同居、近居」(34.8%)が3割台半ばで最も高く、次いで「通勤・通学の利便性」(34.1%)が3割台半ば、「住宅価格・家賃が適当」(29.7%)が約3割となっている。(図表 1-3-19)

年代別でみると、「親等親族と同居、近居」は30歳代（37.0%）で4割弱と最も高く、「通勤・通学の利便性」は20歳代（40.0%）で4割と最も高くなっている。（図表1-3-20）

＜図表1-3-20＞東大和市を選んだ理由（合計）／年代別（上位6項目）



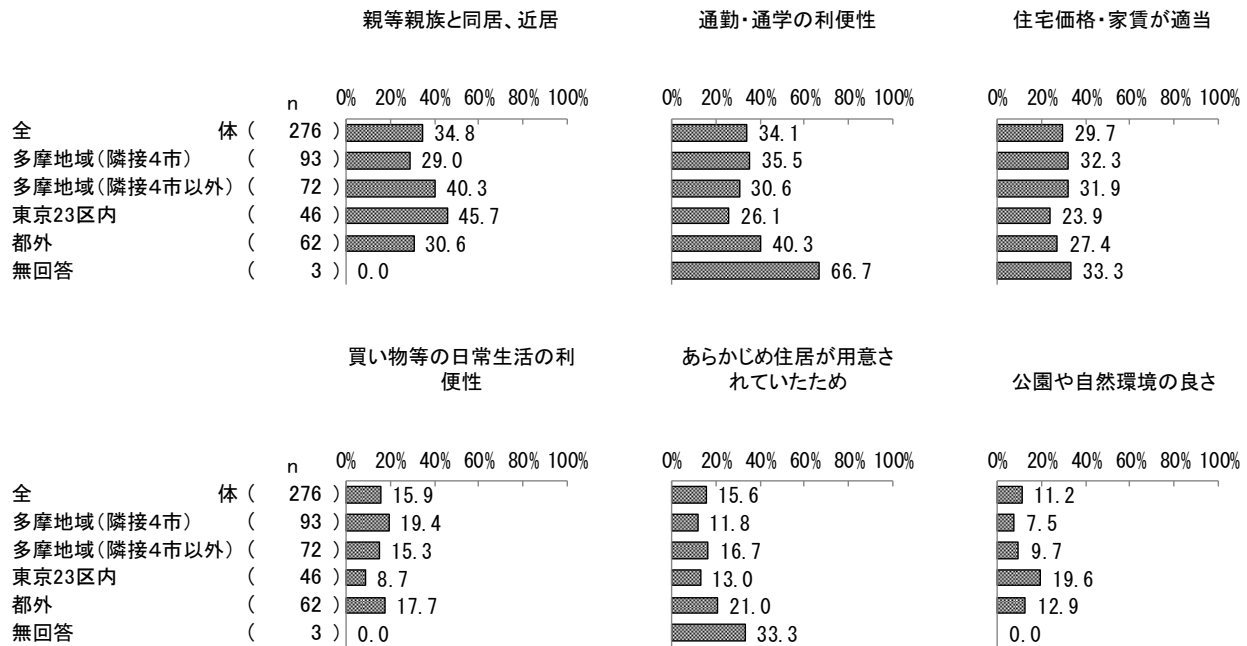
転入前の居住地域別にみると、「親等親族と同居、近居」は東京23区内（45.7%）で4割台半ばと最も高く、「通勤・通学の利便性」は都外（40.3%）で約4割と最も高くなっている。（図表1-3-21）

転入後の居住地域別にみると、「親等親族と同居、近居」は芋窪・蔵敷地区（46.4%）で5割弱と最も高く、仲原・向原地区（43.2%）で4割強と高くなっている。（図表1-3-22）

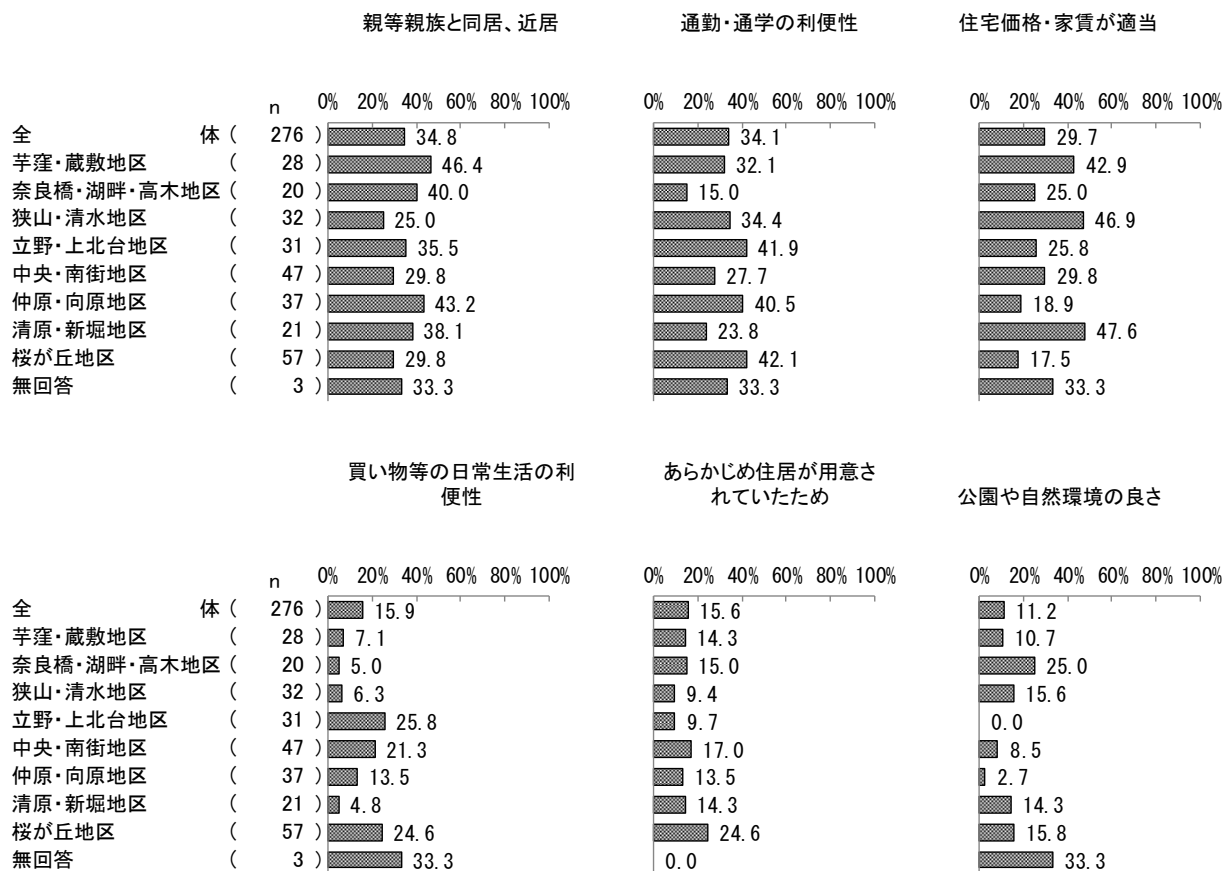
世帯構成別にみると、「親等親族と同居、近居」は子との二世帯→子との二世帯（37.5%）で4割弱と最も高く、「通勤・通学の利便性」は単身→単身（45.5%）と単身→夫婦のみ（44.7%）で4割台半ばと高くなっている。（図表1-3-23）

住居区分別にみると、「親等親族と同居、近居」は持ち家（一戸建て）を入手（43.8%）で4割強と最も高くなっている。（図表1-3-24）

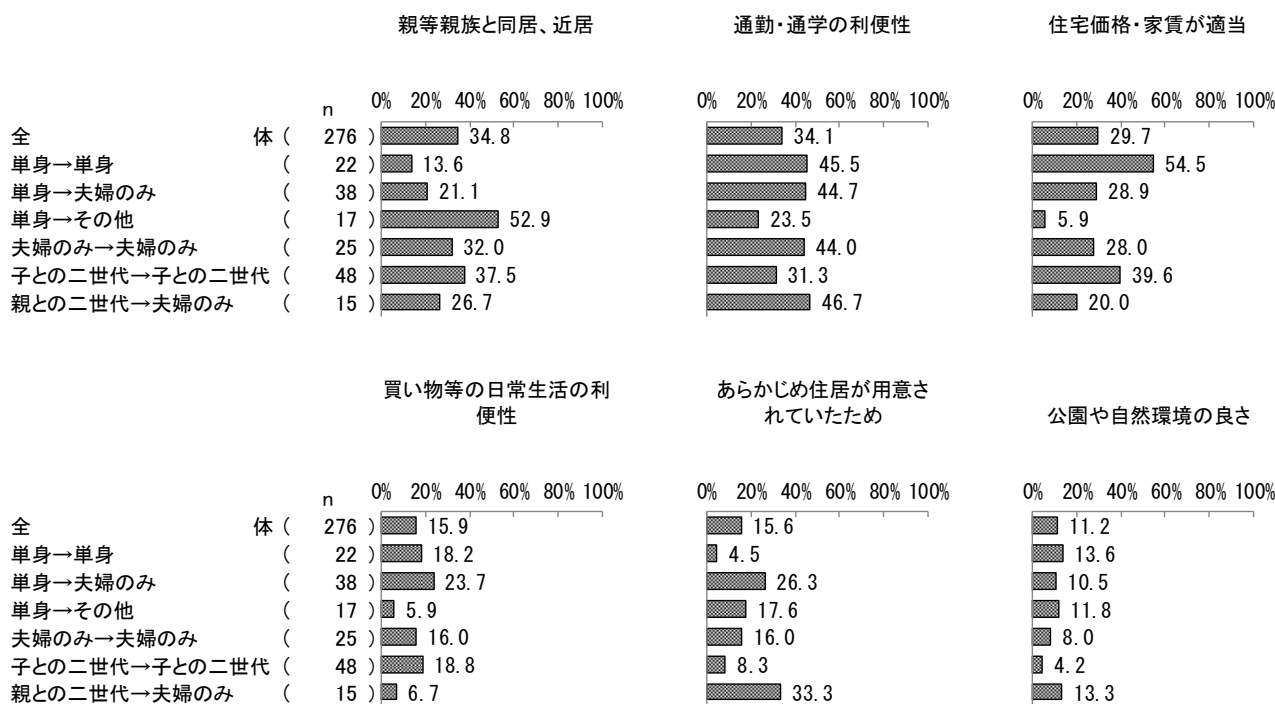
<図表 1-3-21> 東大和市を選んだ理由（合計）／転入前の居住地地域別（上位6項目）



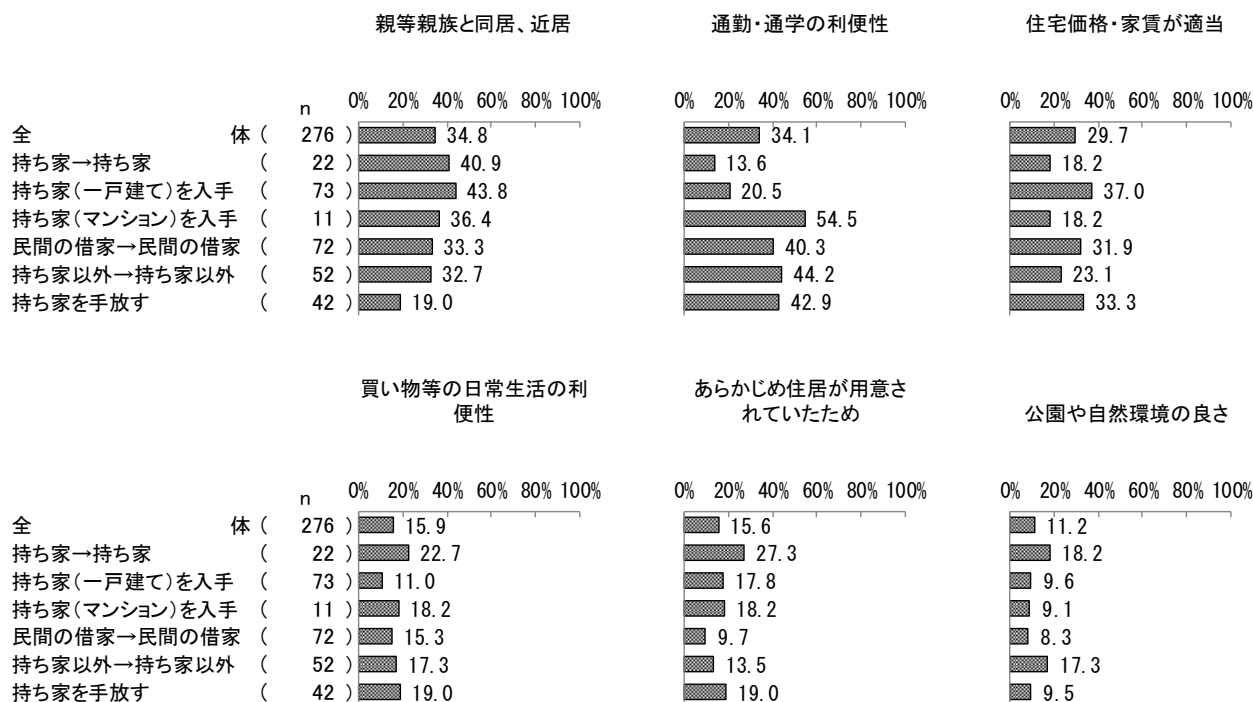
<図表 1-3-22> 東大和市を選んだ理由（合計）／転入後の居住地地域別（上位6項目）



<図表 1-3-23> 東大和市を選んだ理由（合計）／世帯構成 転入前→転入後（上位 6 項目）



<図表 1-3-24> 東大和市を選んだ理由（合計）／住居区分 転入前→転入後（上位 6 項目）



### (3) 通勤・通学先について

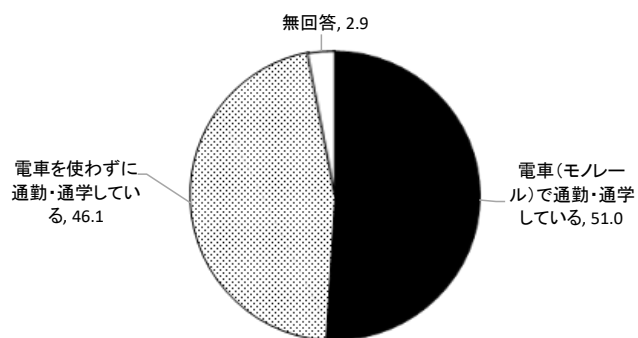
【問 15 で「4 通勤・通学の利便性」もしくは、問 16 で「1 通勤・通学の利便性」とお答えの方に】  
問 17 通勤・通学先についてお答え下さい。(1つを選択し、枠内に詳細を記入)

＜図表 1-3-25＞通勤・通学先について／全体

(n=102)

(%)

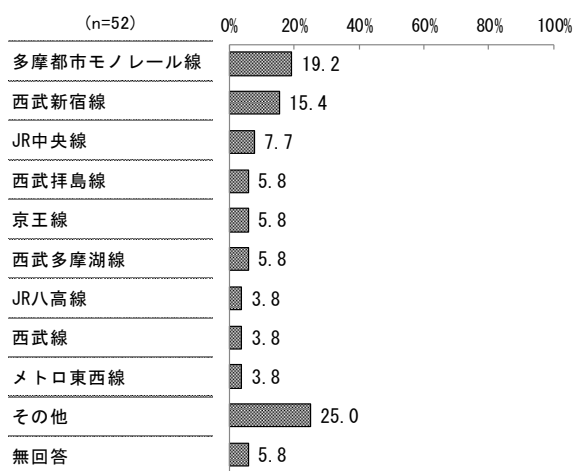
	件数	%
電車(モノレール)で通勤・通学している	52	51.0
電車を使わずに通勤・通学している	47	46.1
無回答	3	2.9
調査数	102	100.0



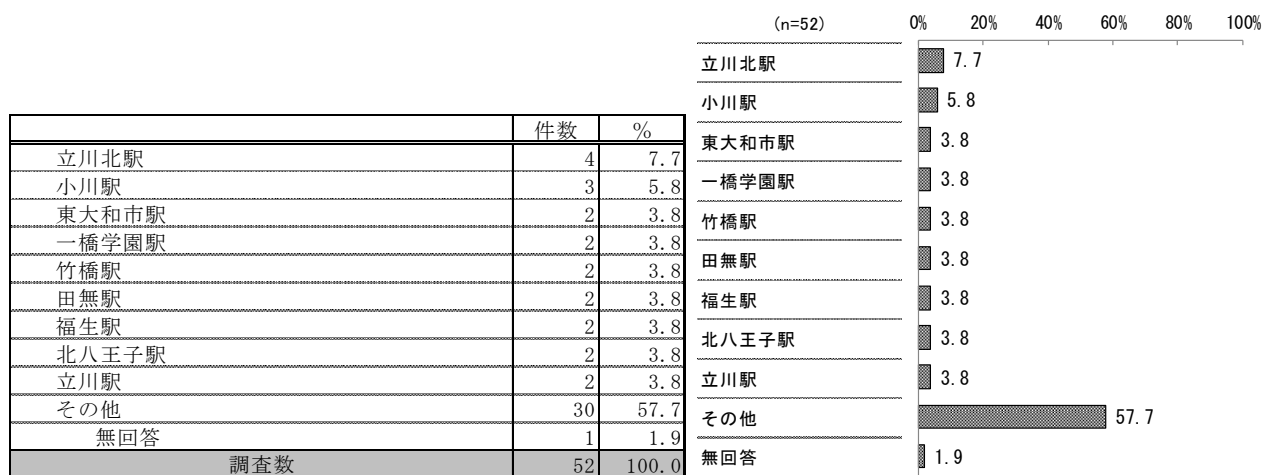
全体では「電車(モノレール)で通勤・通学している」(51.0%)が5割強で「電車を使わずに通勤・通学している」(46.1%)が5割弱よりも高かった。(図表 1-3-25)

＜図表 1-3-26＞電車(モノレール)で通勤・通学していると回答した方の通勤・通学先の路線一覧

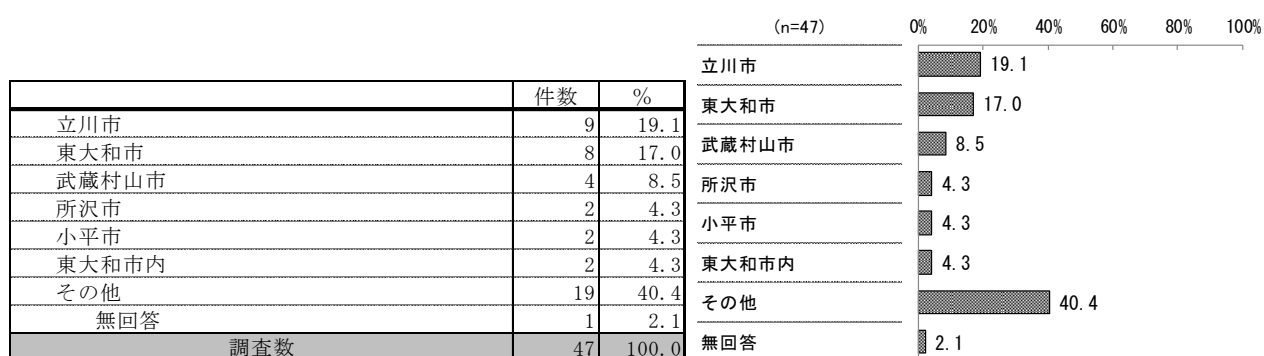
	件数	%
多摩都市モノレール線	10	19.2
西武新宿線	8	15.4
JR中央線	4	7.7
西武拝島線	3	5.8
京王線	3	5.8
西武多摩湖線	3	5.8
JR八高線	2	3.8
西武線	2	3.8
メトロ東西線	2	3.8
その他	13	25.0
無回答	2	5.8
調査数	52	100.0



＜図表 1－3－27＞電車（モノレール）で通勤・通学していると  
回答した方の通勤・通学先の最寄り駅一覧

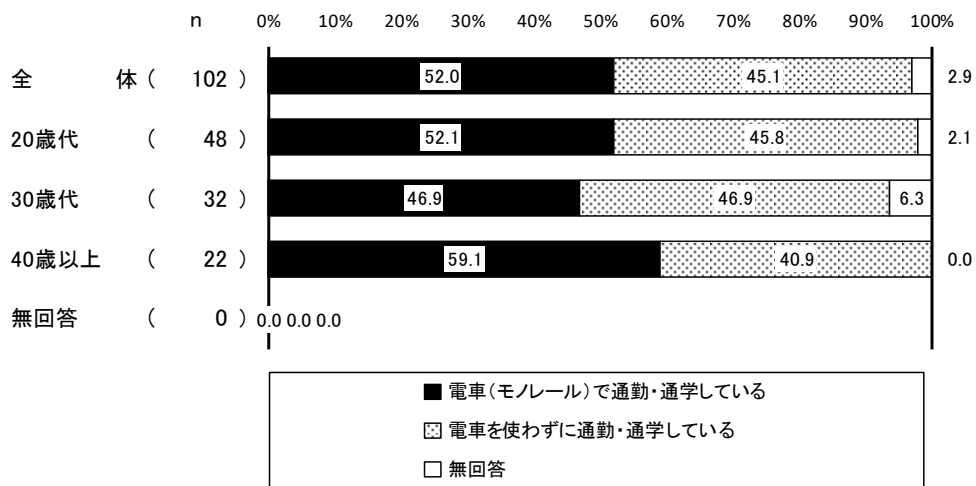


＜図表 1－3－28＞電車を使わずに通勤・通学していると  
回答した方の通勤・通学先の市区町村名



年代別でみると、「電車（モノレール）で通勤・通学している」は40歳以上（59.1%）で約6割となっている。（図表1-3-29）

＜図表1-3-29＞通勤・通学先について／年代別

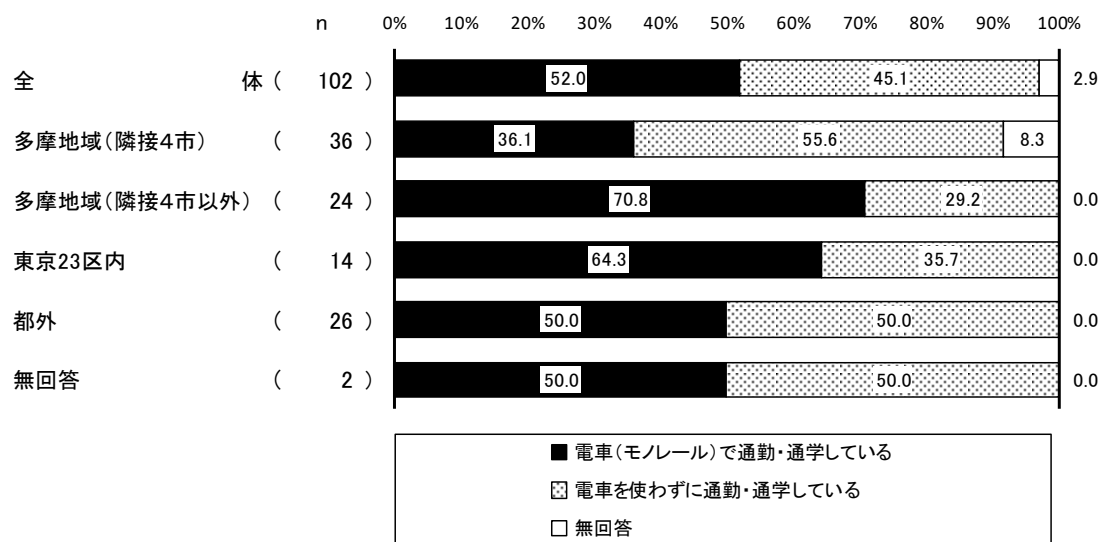




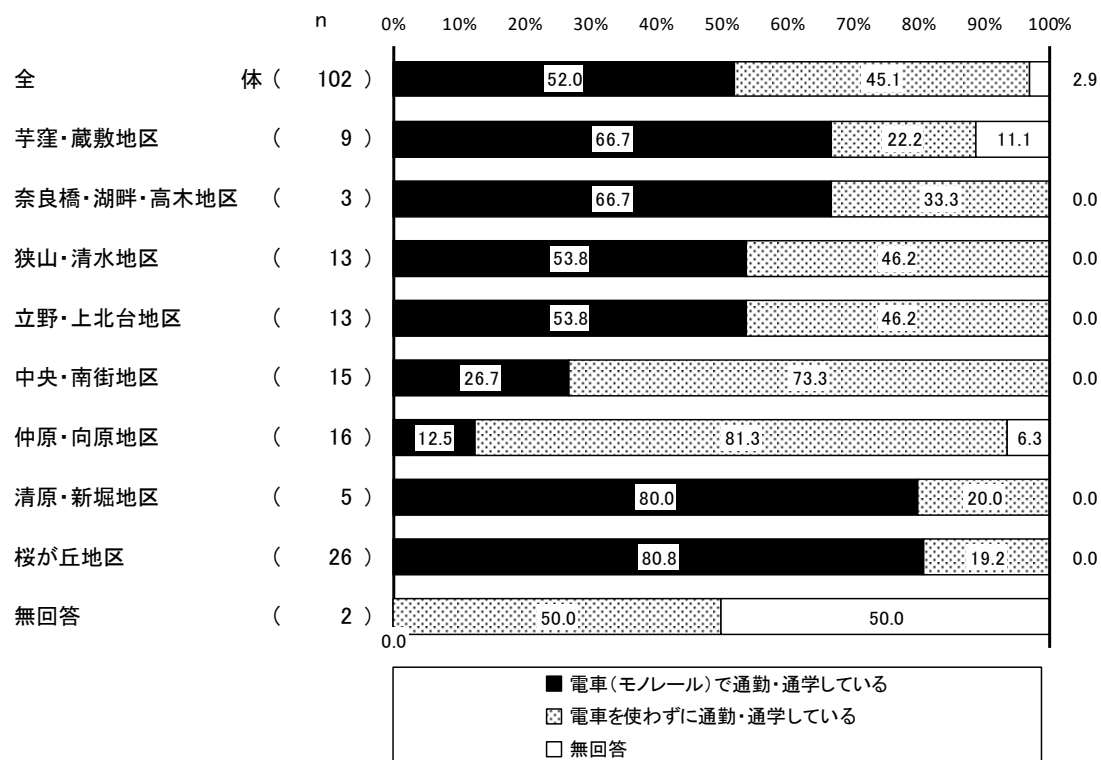
転入前の居住地域別にみると、「電車（モノレール）で通勤・通学している」は多摩地域（隣接4市以外）（70.8%）で約7割となっている。（図表1-3-30）

転入後の居住地域別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。（図表1-3-31）

<図表1-3-30>通勤・通学先について／転入前の居住地域別



<図表1-3-31>通勤・通学先について／転入後の居住地域別

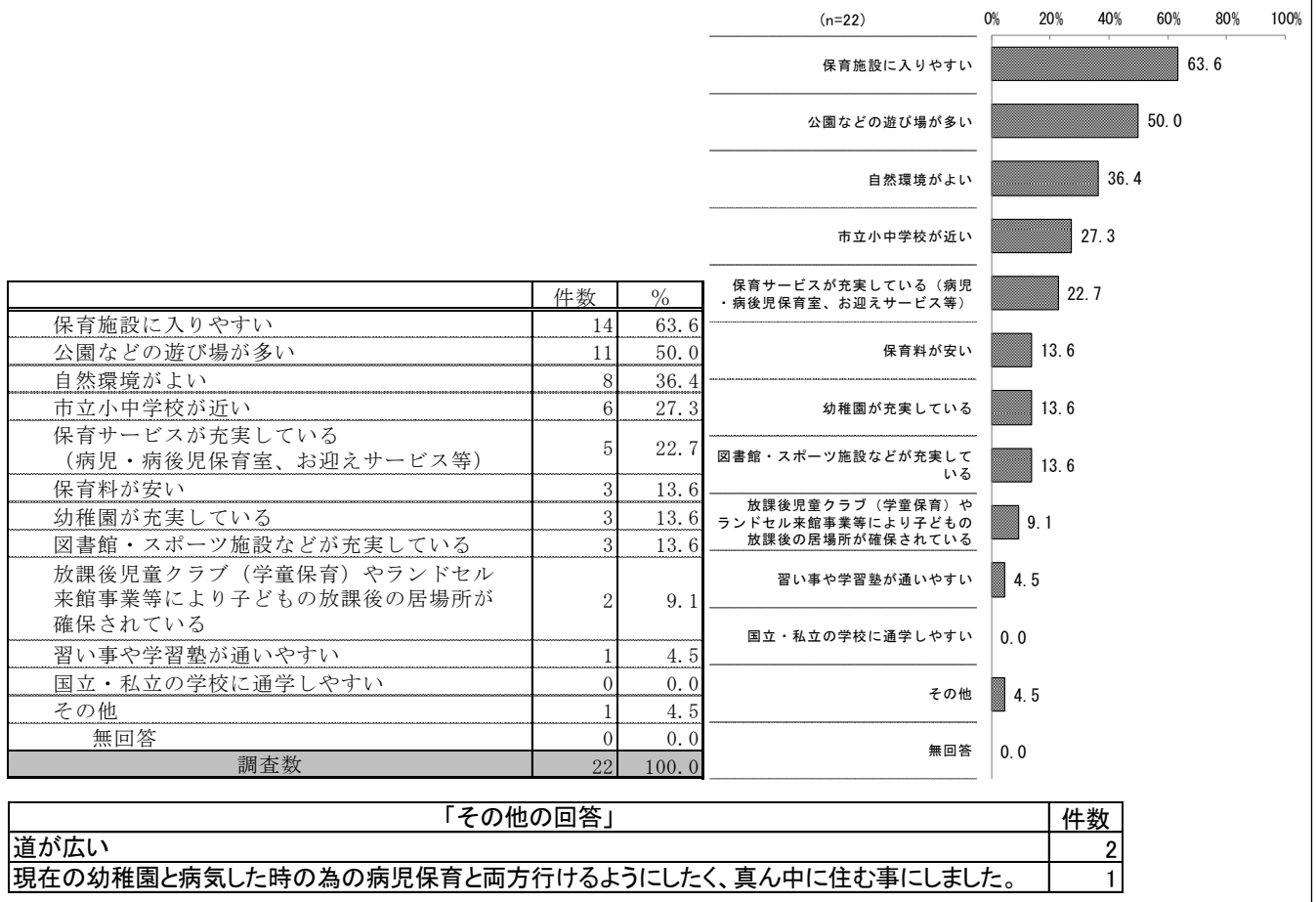


(4) 東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由

【問 16 で「5 子育て環境」または「6 学校教育環境」とお答えの方に】

問 18 あなたが、東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思ったのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてを選択)

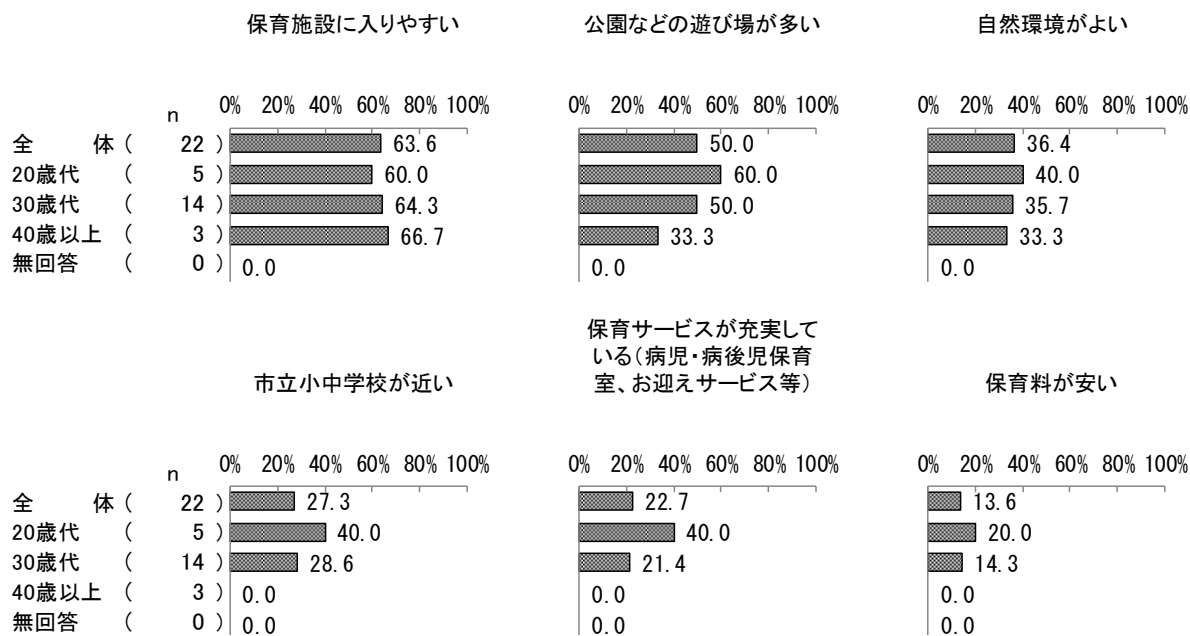
<図表 1-3-32> 東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由／全体



全体では「保育施設に入りやすい」(63.6%)が6割強で最も高く、次いで「公園などの遊び場が多い」(50.0%)が5割、「自然環境がよい」(36.4%)が4割弱、「市立小中学校が近い」(27.3%)が3割弱となっている。(図表 1-3-32)

年代別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表 1-3-33)

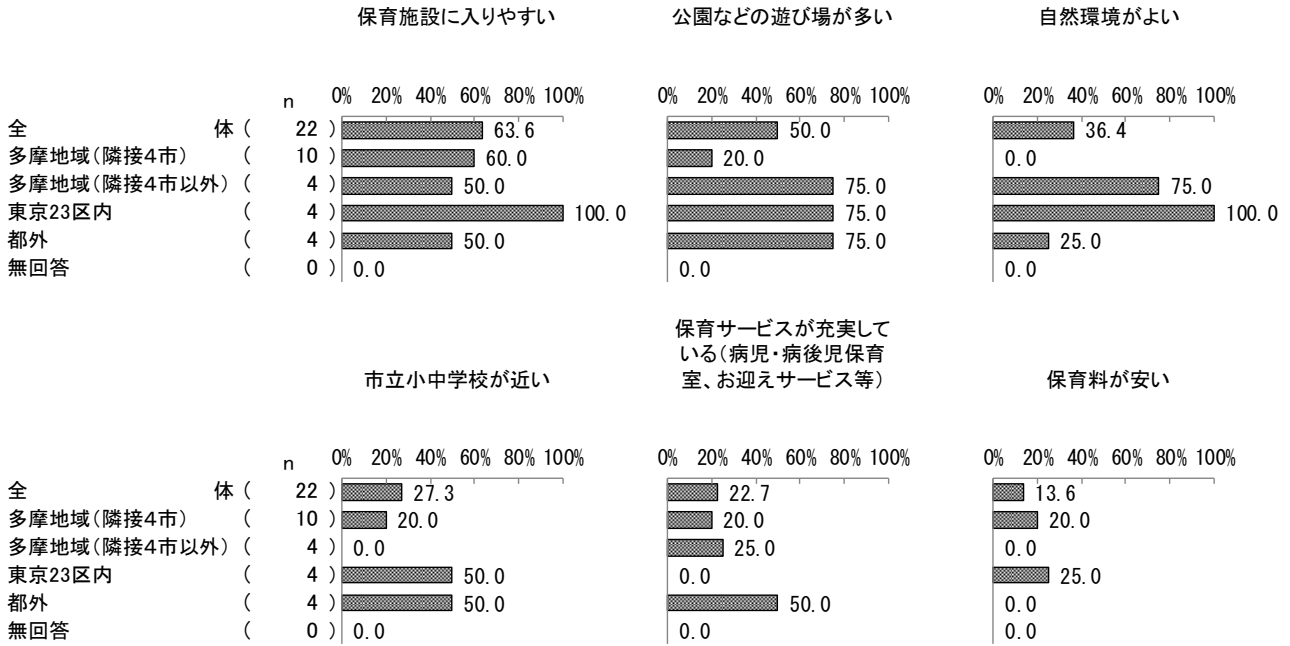
＜図表 1-3-33＞東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由／年代別（上位 6 項目）



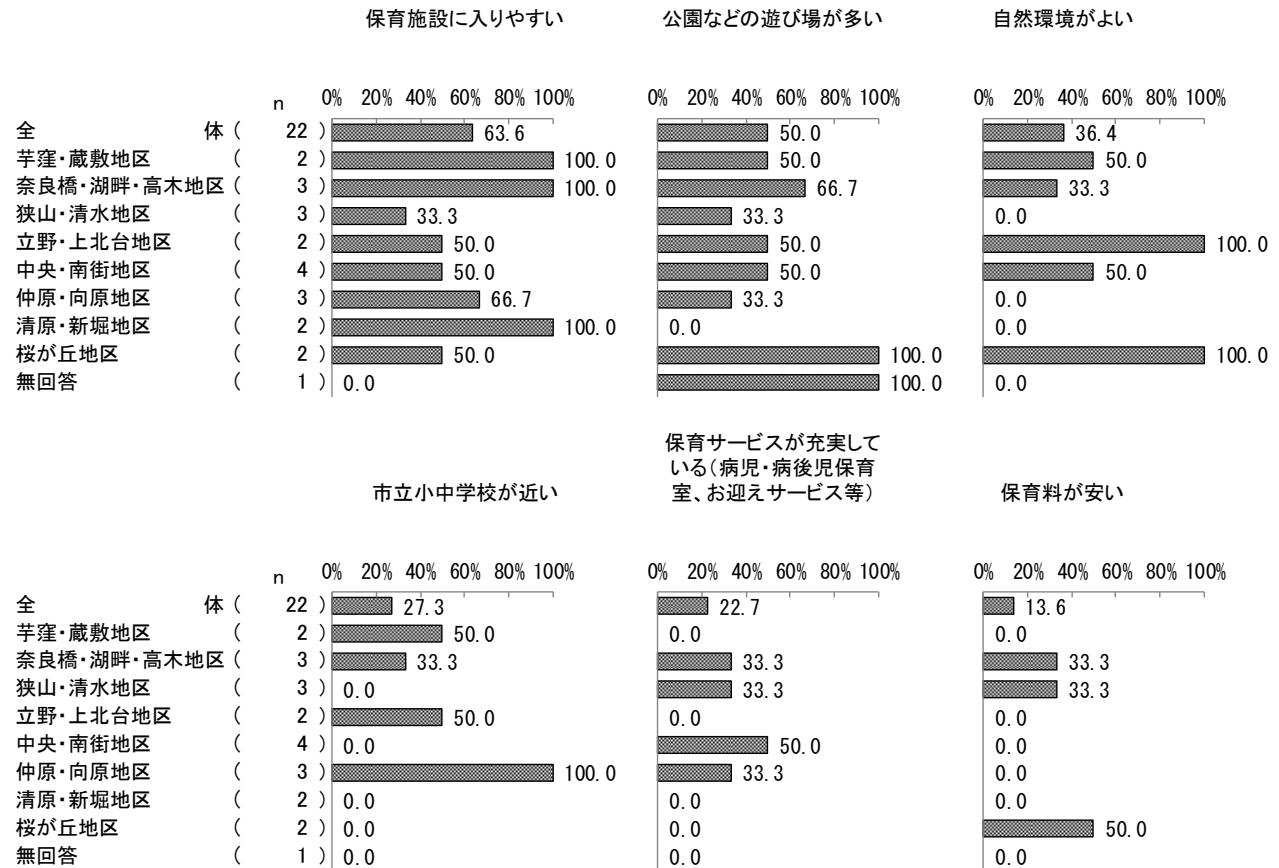
転入前の居住地域別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表 1-3-34)

転入後の居住地域別についても、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表 1-3-35)

＜図表 1-3-34＞東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由  
 ／転入前の居住地別（上位6項目）



＜図表 1-3-35＞東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由  
 ／転入後の居住地別（上位6項目）



(5) 転入前に東大和市以外の市区町村でも住まいを探したか

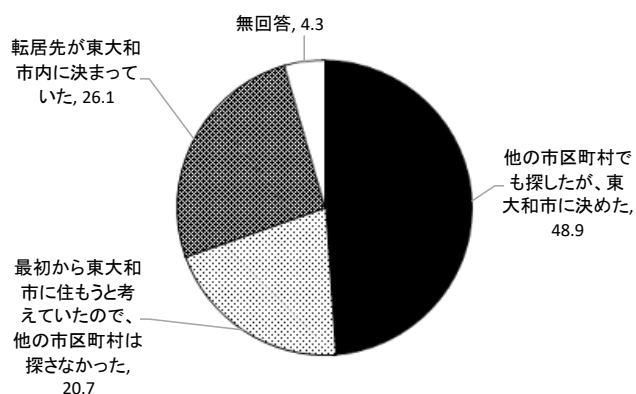
問 19 転入するにあたって、東大和市以外の市区町村でもお住まいを探しましたか。(1つを選択)

<図表 1-3-36> 転入前に東大和市以外の市区町村でも住まいを探したか / 全体

(n=276)

(%)

	件数	%
他の市区町村でも探したが、東大和市に決めた	135	48.9
最初から東大和市に住もうと考えていたので、他の市区町村は探さなかった	57	20.7
転居先が東大和市内に決まっていた	72	26.1
無回答	12	4.3
調査数	276	100.0

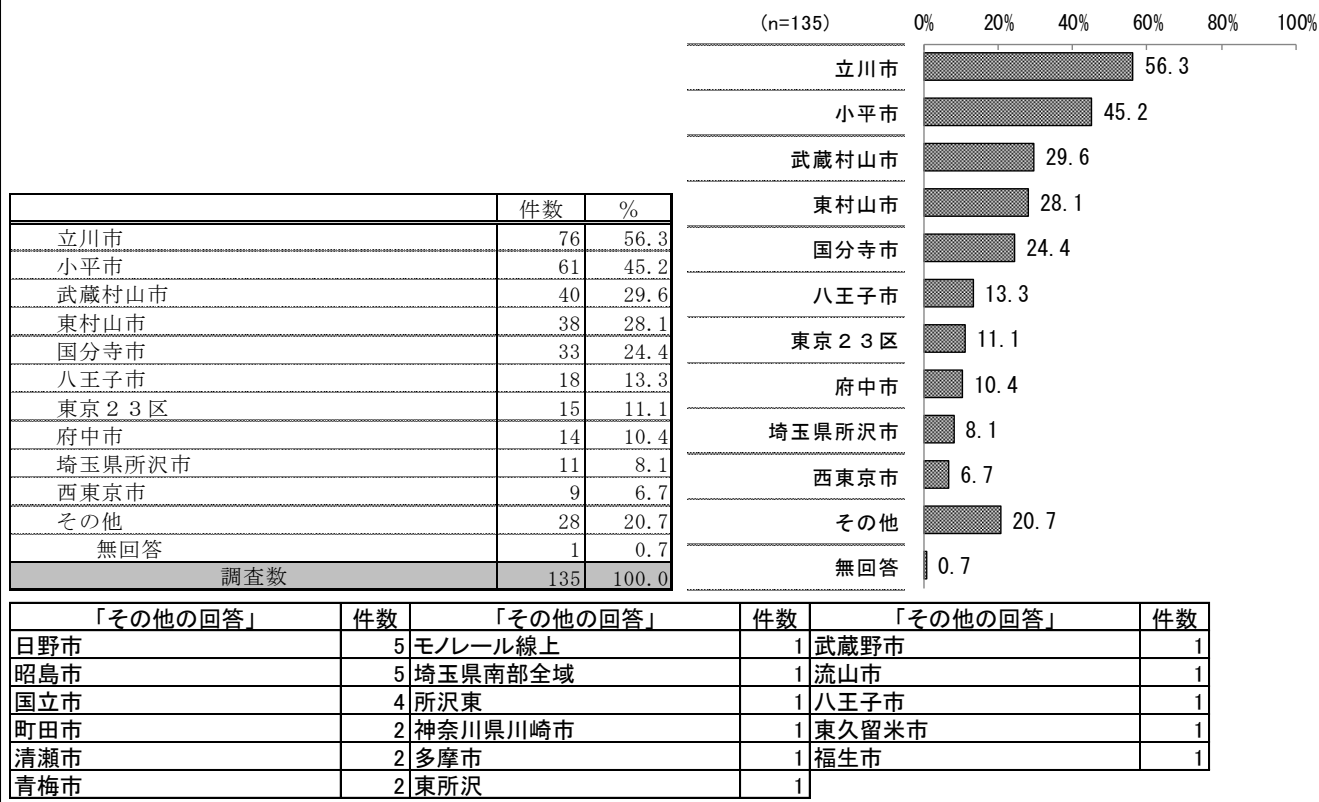


全体では「他の市区町村でも探したが、東大和市に決めた」(48.9%)が5割弱で最も高く、次いで「転居先が東大和市内に決まっていた」(26.1%)が3割弱、「最初から東大和市に住もうと考えていたので、他の市区町村は探さなかった」(20.7%)が約2割となっている。(図表 1-3-36)

(6) どの地域を検討したか

問 20 居住地を検討するにあたり、どちらの地域を探しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

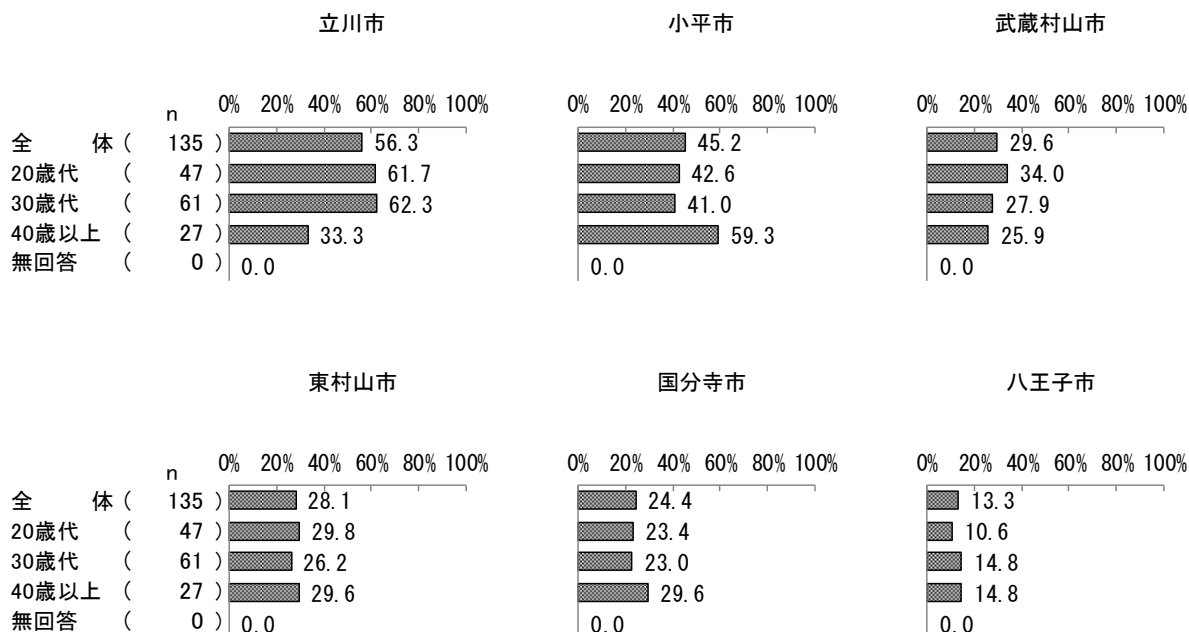
<図表 1-3-37> どの地域を検討したか / 全体



全体では「立川市」(56.3%)が6割強で最も高く、次いで「小平市」(45.2%)が4割台半ば、「武蔵村山市」(29.6%)が約3割、「東村山市」(28.1%)が3割弱となっている。(図表 1-3-37)

年代別でみると、「立川市」は20歳代(61.7%)、30歳代(62.3%)で高く、「小平市」は40歳以上(59.3%)が約6割と最も高くなっている。(図表1-3-38)

＜図表1-3-38＞どの地域を検討したか／年代別（上位6項目）



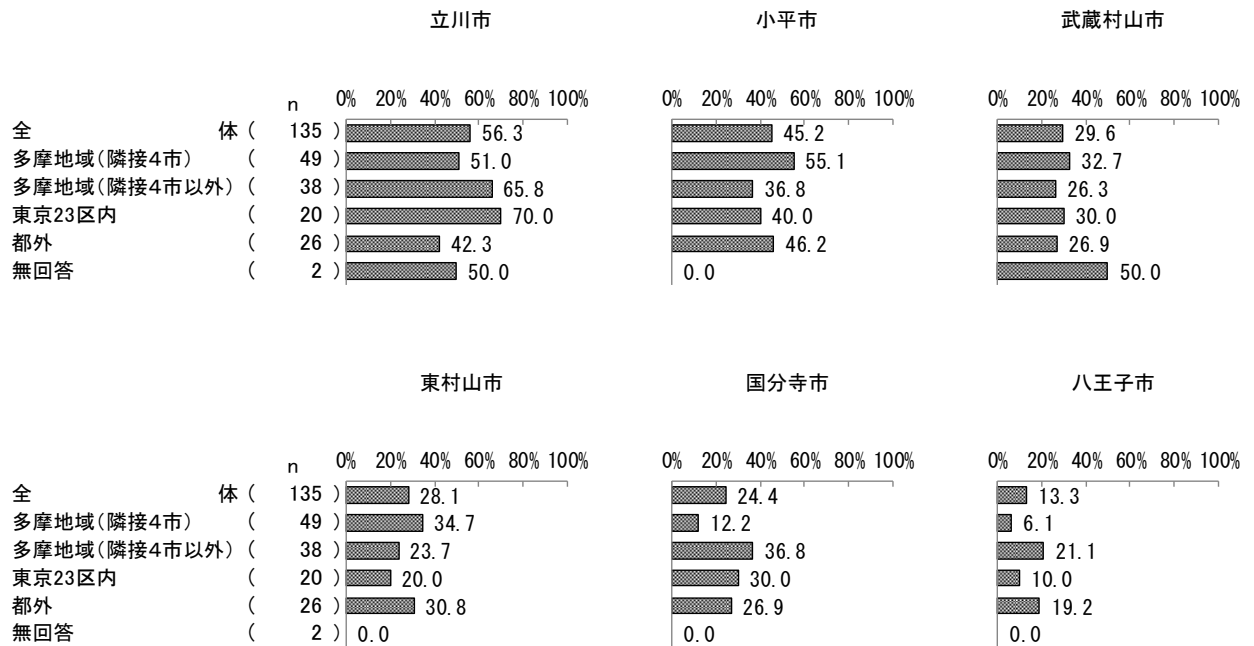
転入前の居住地域別にみると、「立川市」は東京23区内(70.0%)で7割と最も高くなっており、多摩地域(隣接4市以外)(65.8%)でも6割台半ばと高くなっている。(図表1-3-39)

転入後の居住地域別にみると、「立川市」は桜が丘地区(62.5%)で6割強と高くなっている。(図表1-3-40)

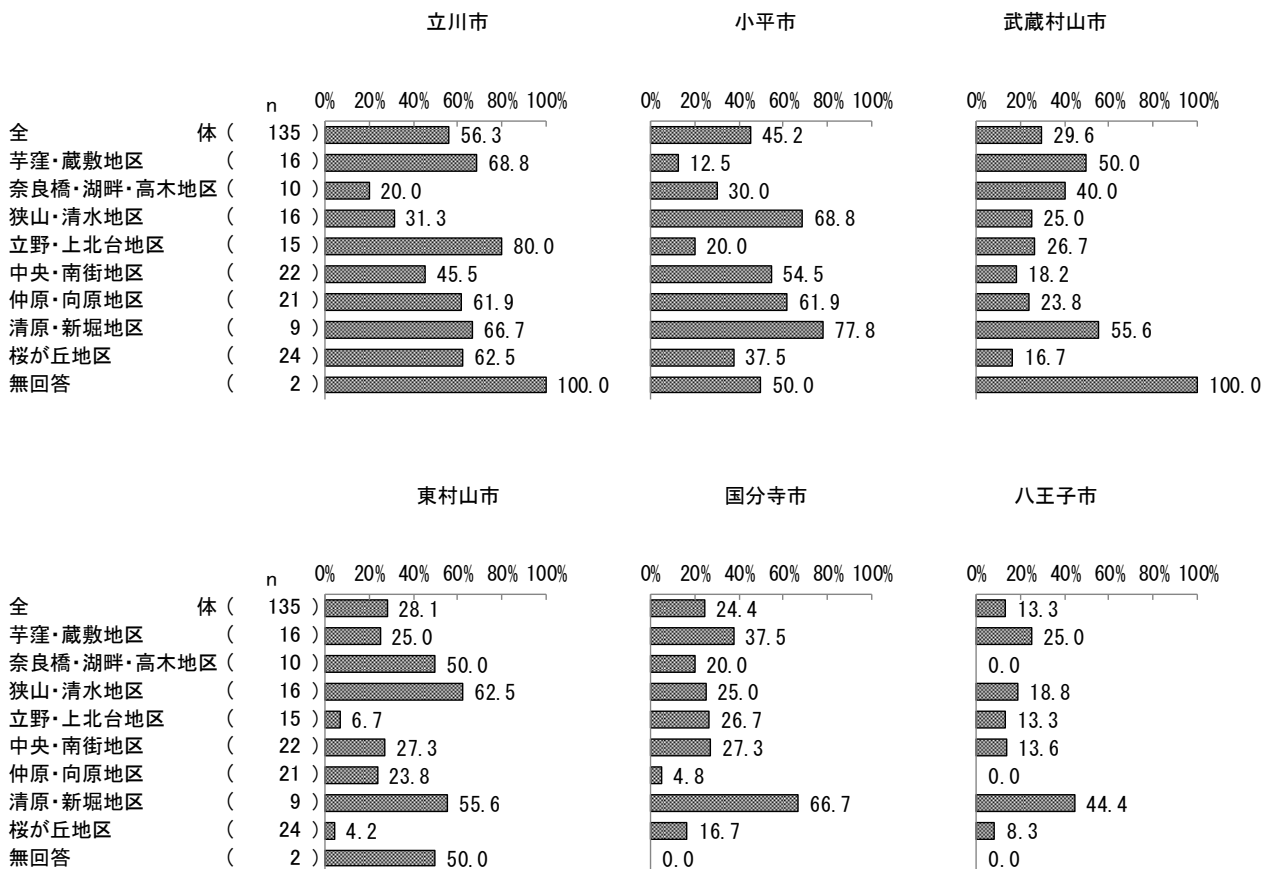
世帯構成別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表1-3-41)

住居区分別にみると、「立川市」は持ち家を手放す(65.0%)で6割台半ばと最も高く、「小平市」は民間の借家→民間の借家(52.4%)で5割強と最も高くなっている。(図表1-3-42)

<図表1-3-39> どの地域を検討したか／転入前の居住地域別（上位6項目）

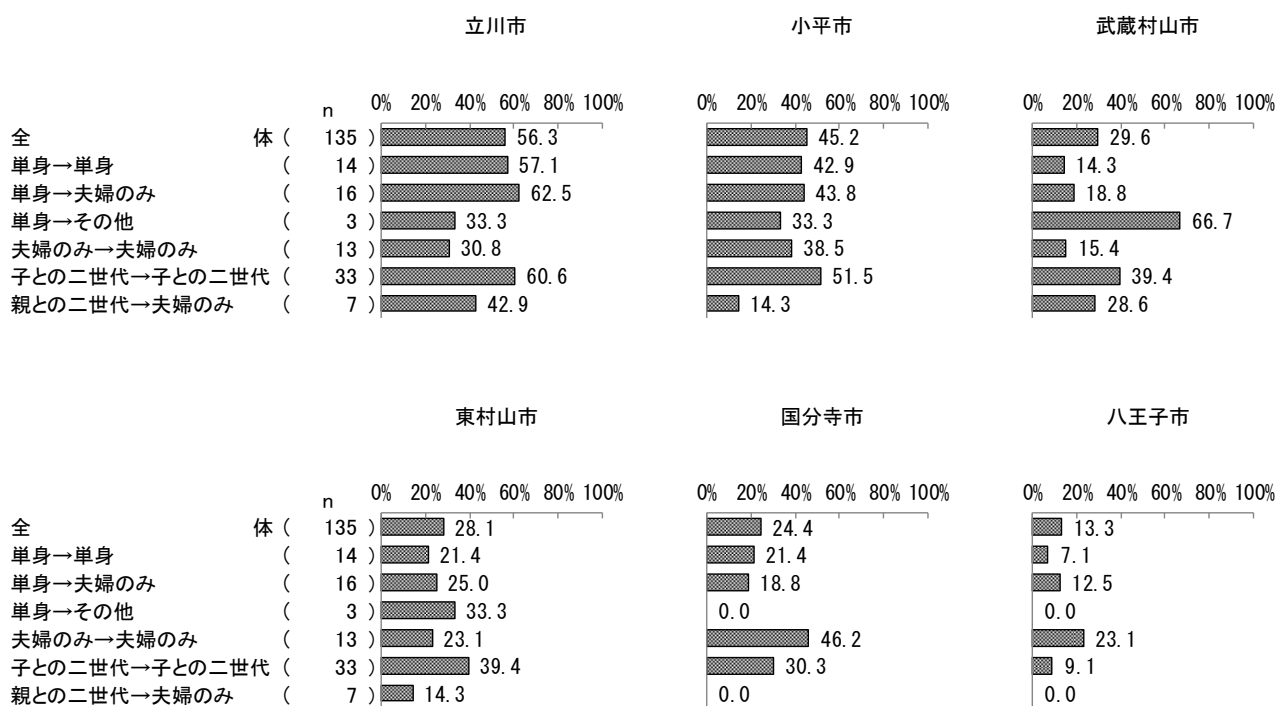


<図表1-3-40> どの地域を検討したか／転入後の居住地域別（上位6項目）

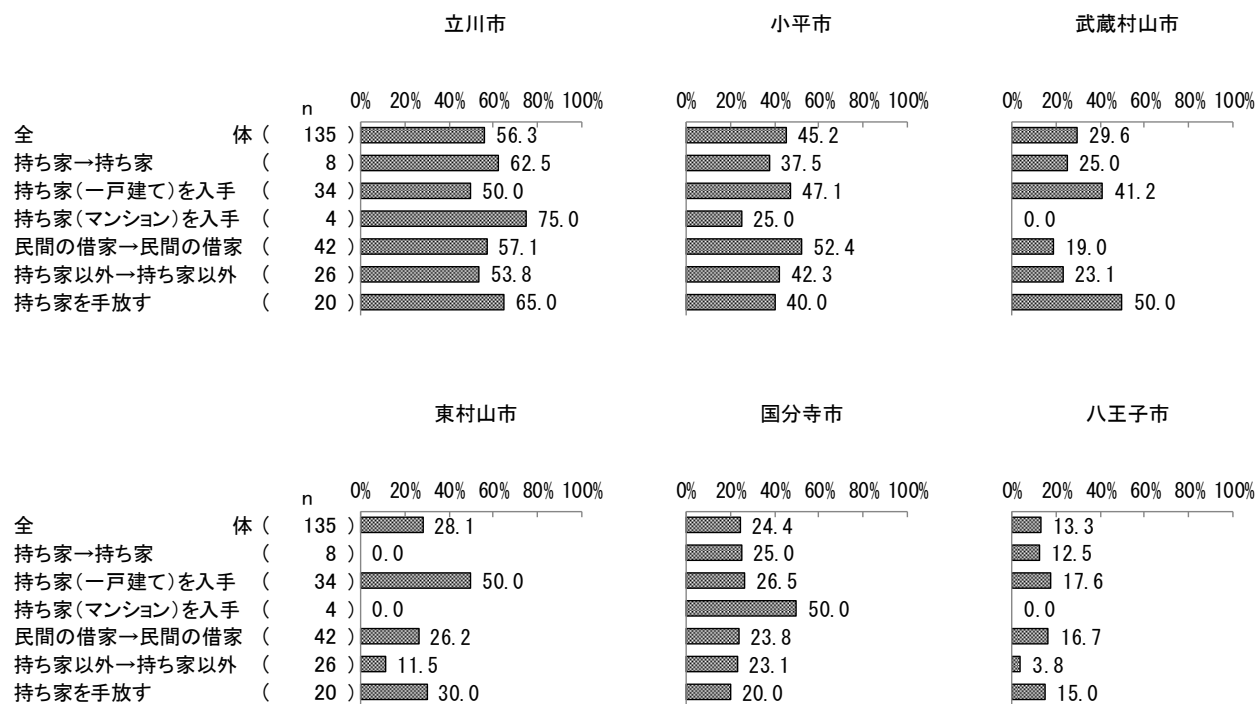




<図表1-3-41> どの地域を検討したか／世帯構成 転入前→転入後（上位6項目）



<図表1-3-42> どの地域を検討したか／住居区分 転入前→転入後（上位6項目）

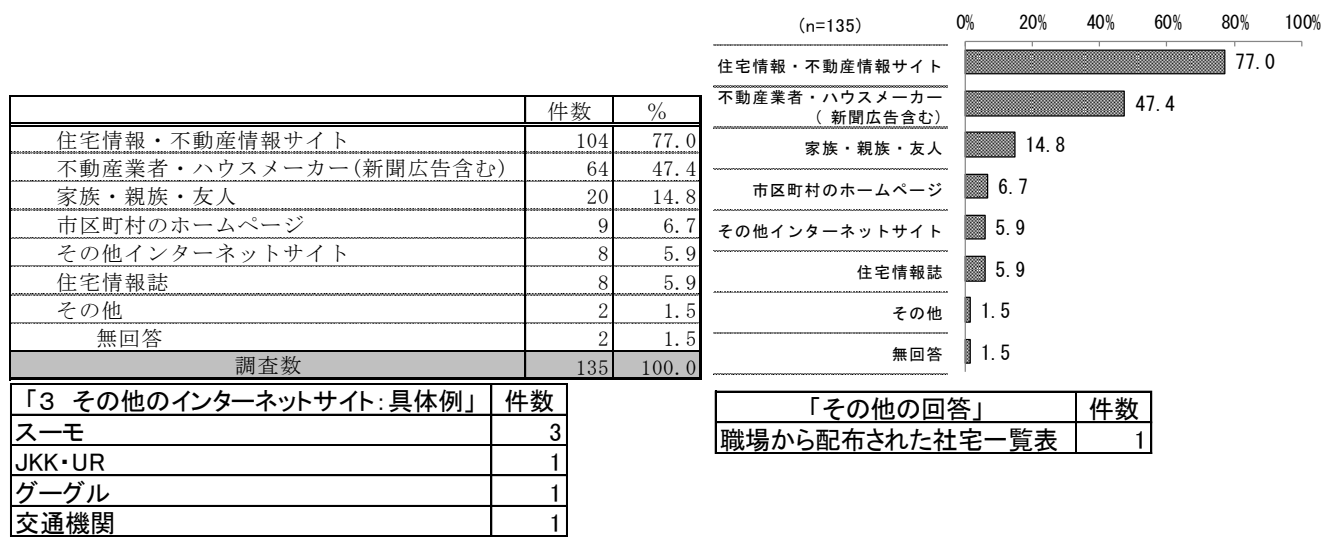


(7) 転入先の地域を探したときの情報源

【問 19 で「1 他の市区町村でも探した」とお答えの方に】

問 21 転入先の地域を探したときの情報源は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

<図表 1-3-43> 転入先の地域を探したときの情報源／全体



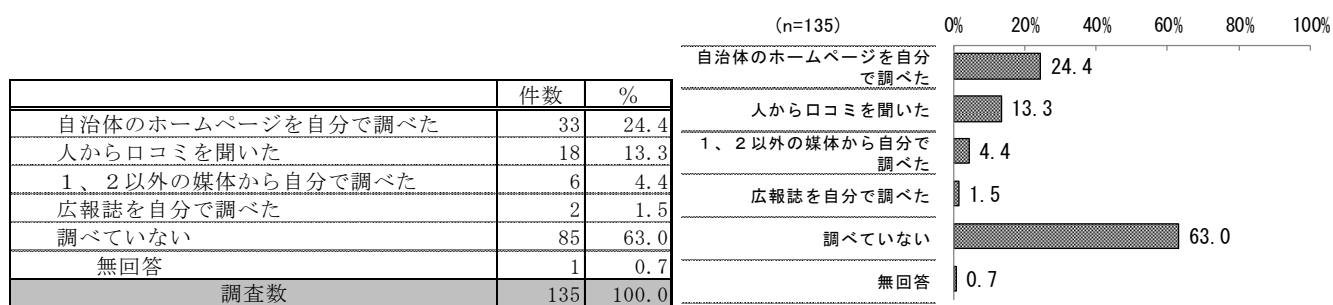
全体では「住宅情報・不動産情報サイト」(77.0%)が8割弱で最も高く、次いで「不動産業者・ハウスメーカー(新聞広告含む)」(47.4%)が5割弱、「家族・親族・友人」(14.8%)が1割台半ばとなっている。(図表 1-3-43)

(8) 転入先自治体の行政サービスや施策を調べたか

【問 19 で「1 他市区町村でも探した」とお答えの方に】

問 22 転入先を決めるにあたり、転入先自治体の行政サービスや施策を調べましたか。(あてはまるものすべてを選択)

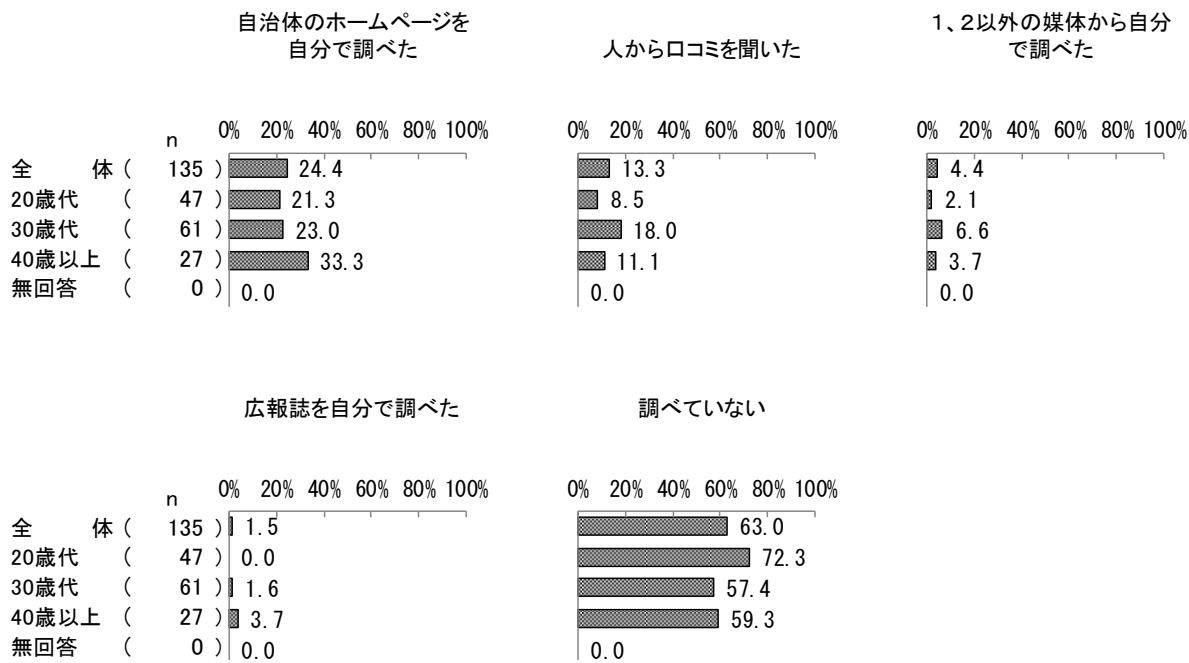
<図表 1-3-44> 転入先自治体の行政サービスや施策を調べたか / 全体



全体では「調べていない」(63.0%)が6割強で最も高く、調べたと回答の中では「自治体のホームページを自分で調べた」(24.4%)が2割台半ばで最も高く、「人から口コミを聞いた」(13.3%)が1割強となっている。(図表 1-3-44)

年代別で見ると、「自治体のホームページを自分で調べた」は40歳以上（33.3%）が3割強と最も高くなっている。一方、「調べていない」は20歳代（72.3%）が7割強と最も高くなっている。（図表1-3-45）

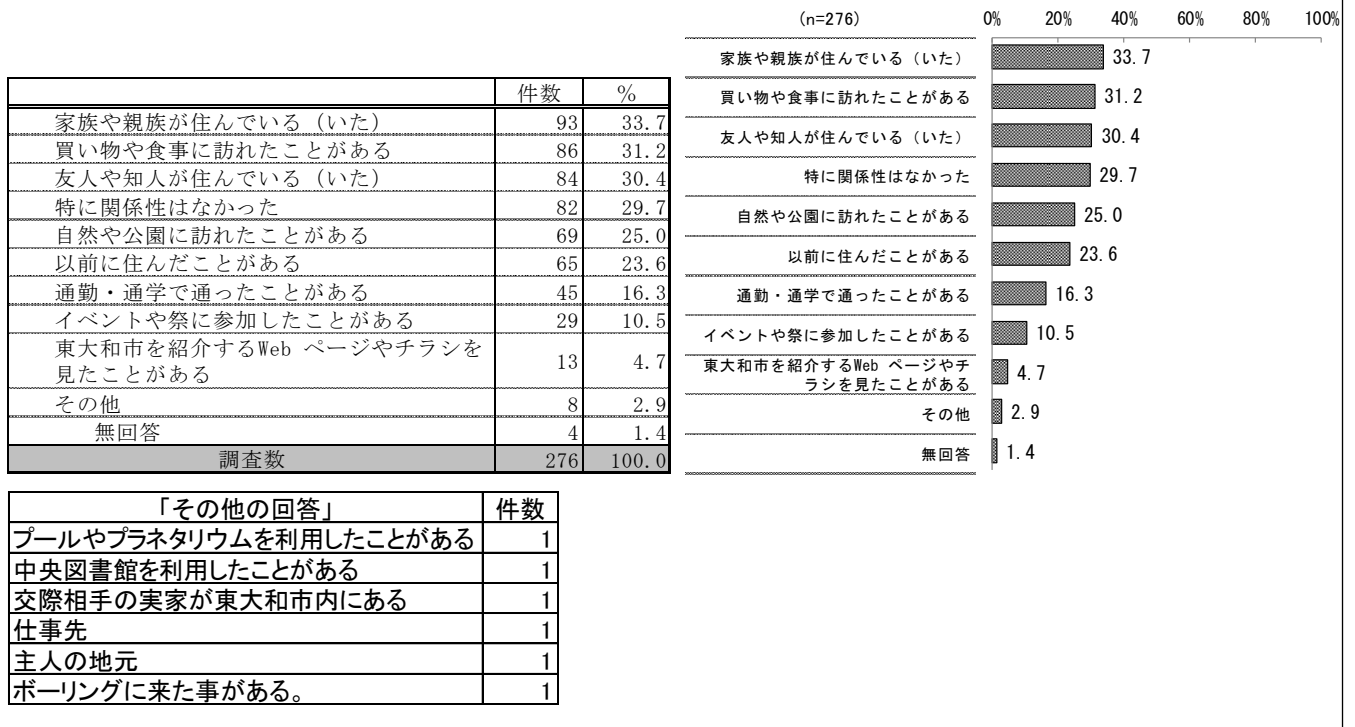
＜図表1-3-45＞ 転入先自治体の行政サービスや施策を調べたか／年代別



(9) 東大和市へ転入する前の東大和市との関係について

問 23 東大和市へ転入する前の東大和市との関係について教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

<図表 1-3-46> 東大和市へ転入する前の東大和市との関係について / 全体

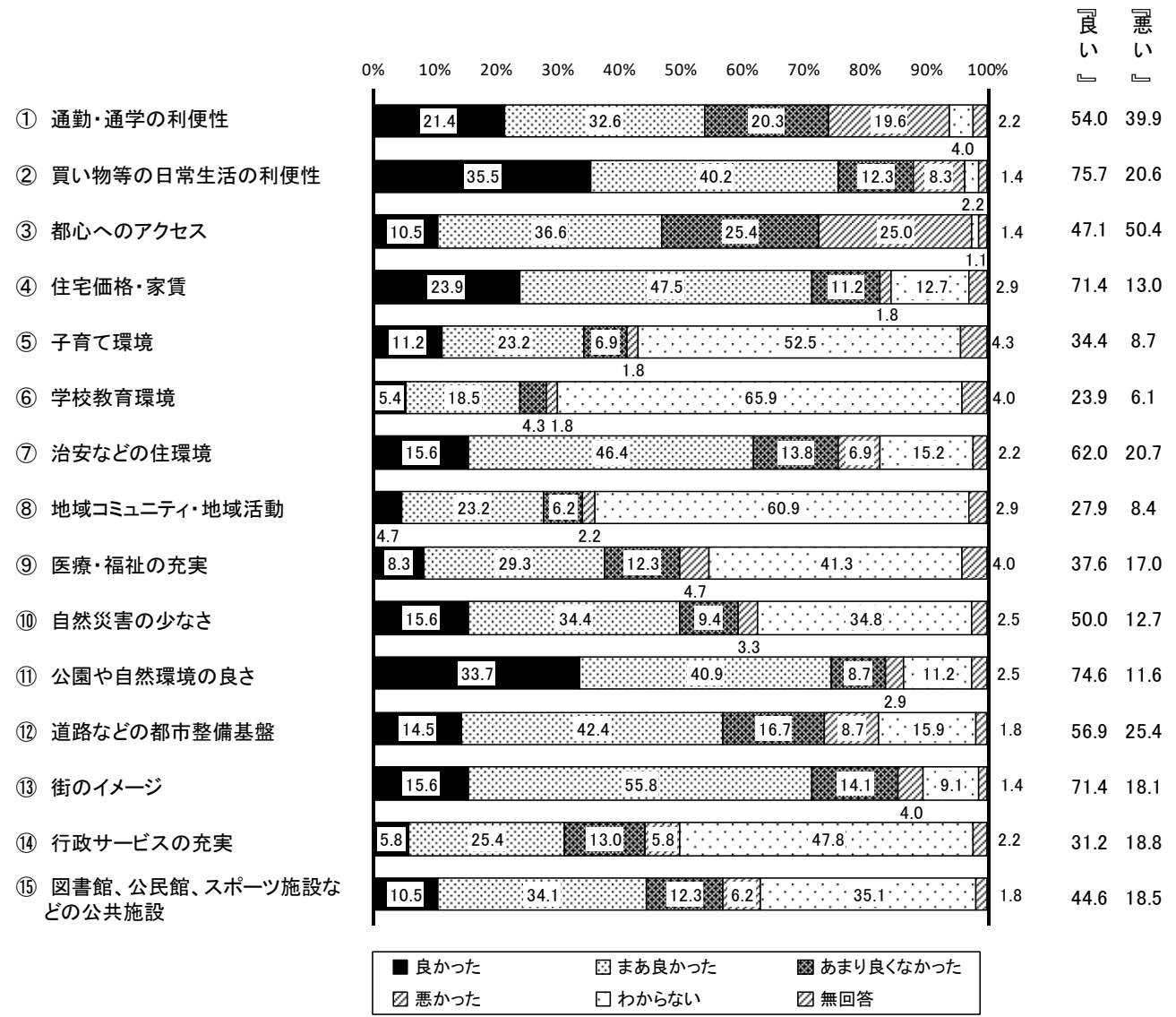


全体では「家族や親族が住んでいる (いた)」(33.7%) が3割強で最も高く、「買い物や食事に訪れたことがある」(31.2%) が3割強、「友人や知人が住んでいる (いた)」(30.4%) が約3割、「特に関係性はなかった」(29.7%) が約3割となっている。(図表 1-3-46)

(10) 東大和市に住んでみて感じた印象

問 24 前住所地と比較して、東大和市に住んでみて感じた印象をお聞きます。(それぞれ1つ選択)

<図表 1-3-47> 東大和市に住んでみて感じた印象/全体



東大和市に住んでみて感じた印象について15項目に分けて聞いたところ、「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』の項目は、②買い物等の日常生活の利便性（75.7%）が7割台半ばで最も高く、次いで⑪公園や自然環境の良さ（74.6%）が7割台半ば、④住宅価格・家賃（71.4%）が7割強となっている。

一方、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』の項目は、③都心へのアクセス（50.4%）が約5割で最も高く、次いで①通勤・通学の利便性（39.9%）が約4割、⑫道路などの都市整備基盤（25.4%）が2割台半ばとなっている。（図表1-3-47）

① 通勤・通学の利便性

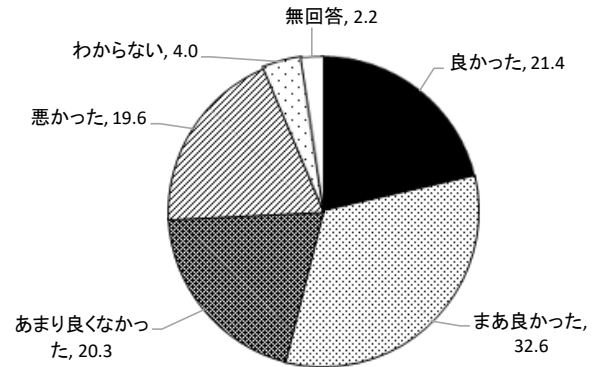
<図表 1-3-48>①通勤・通学の利便性／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	59	21.4
まあ良かった	90	32.6
あまり良くなかった	56	20.3
悪かった	54	19.6
わからない	11	4.0
無回答	6	2.2
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』(良かった+まあ良かった)	149	54.0
『悪い』(あまり良くなかった+悪かった)	110	39.9



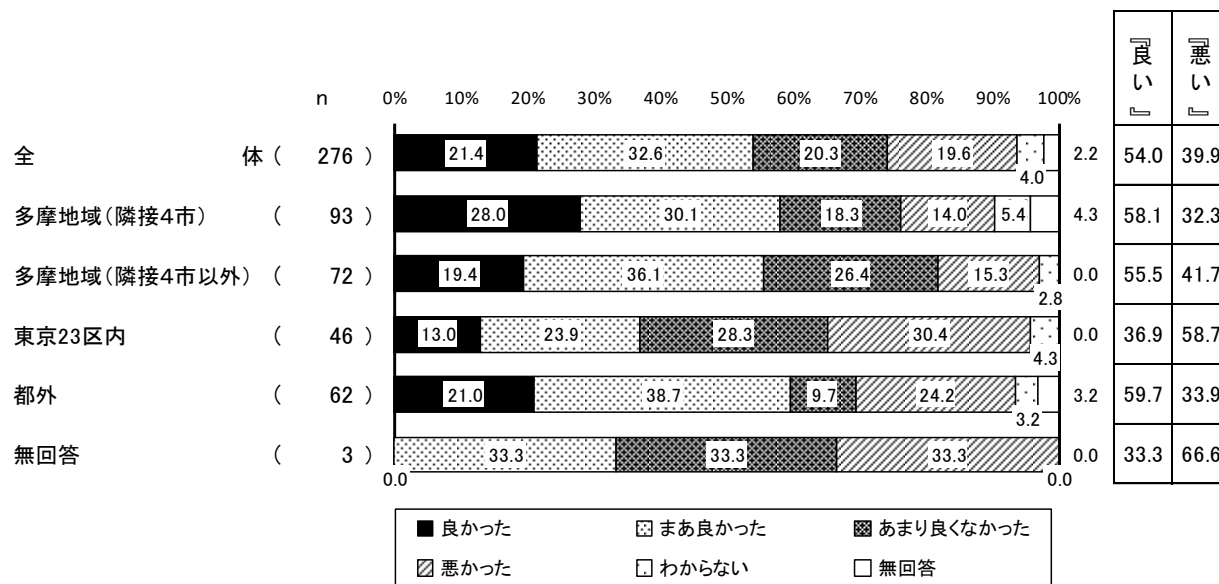
全体では「まあ良かった」(32.6%)が3割強で最も高く、次いで「良かった」(21.4%)が2割強、「あまり良くなかった」(20.3%)が約2割となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(54.0%)は5割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(39.9%)は約4割となっている。(図表1-3-48)

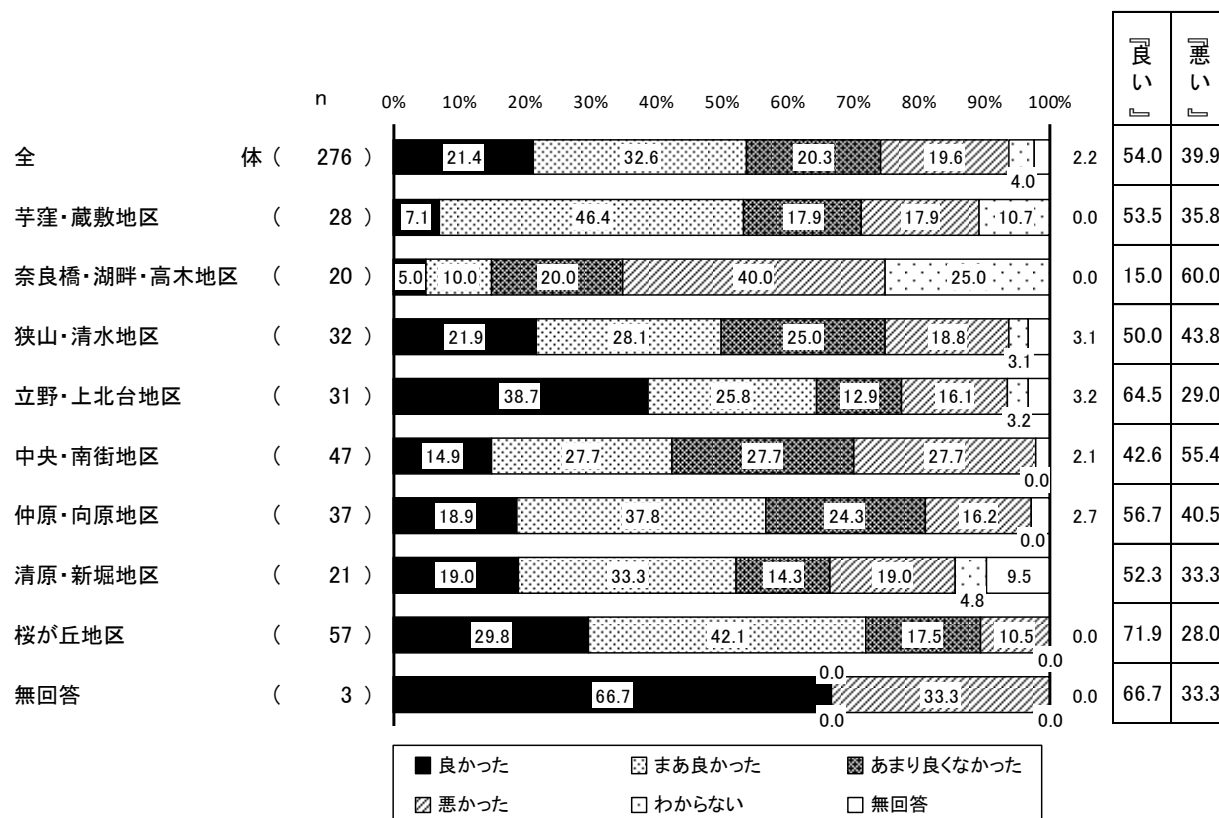
転入前の居住地域別にみると、『良い』は都外（59.7%）が約6割と最も高く、『悪い』は東京23区内（58.7%）が6割弱と最も高くなっている。（図表1-3-49）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（71.9%）が7割強と最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区（60.0%）が6割と最も高くなっている。（図表1-3-50）

<図表1-3-49>①通勤・通学の利便性／転入前の居住地域別



<図表1-3-50>①通勤・通学の利便性／転入後の居住地域別





② 買い物等の日常生活の利便性

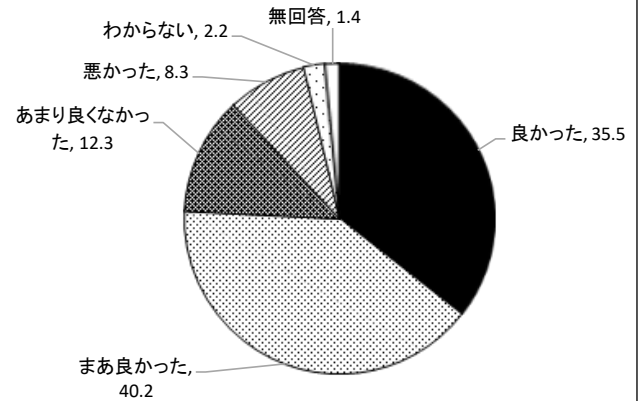
＜図表 1－3－51＞②買い物等の日常生活の利便性／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	98	35.5
まあ良かった	111	40.2
あまり良くなかった	34	12.3
悪かった	23	8.3
わからない	6	2.2
無回答	4	1.4
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	209	75.7
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	57	20.6



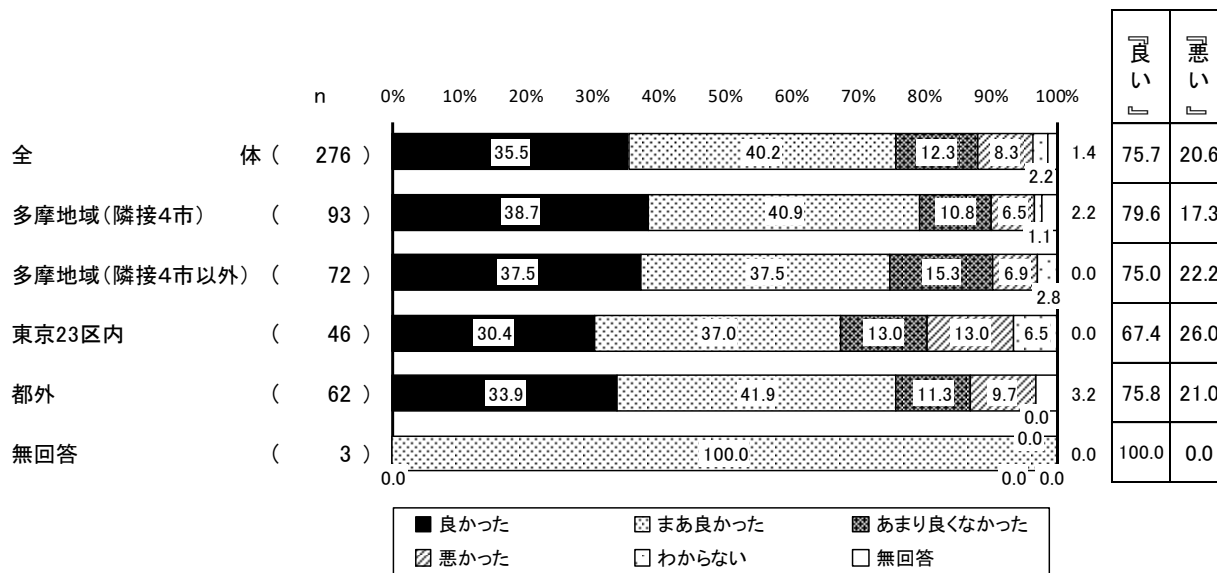
全体では「まあ良かった」（40.2%）が約4割で最も高く、次いで「良かった」（35.5%）が3割台半ば、「あまり良くなかった」（12.3%）が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』（75.7%）は7割台半ば、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』（20.6%）は約2割となっている。（図表 1－3－51）

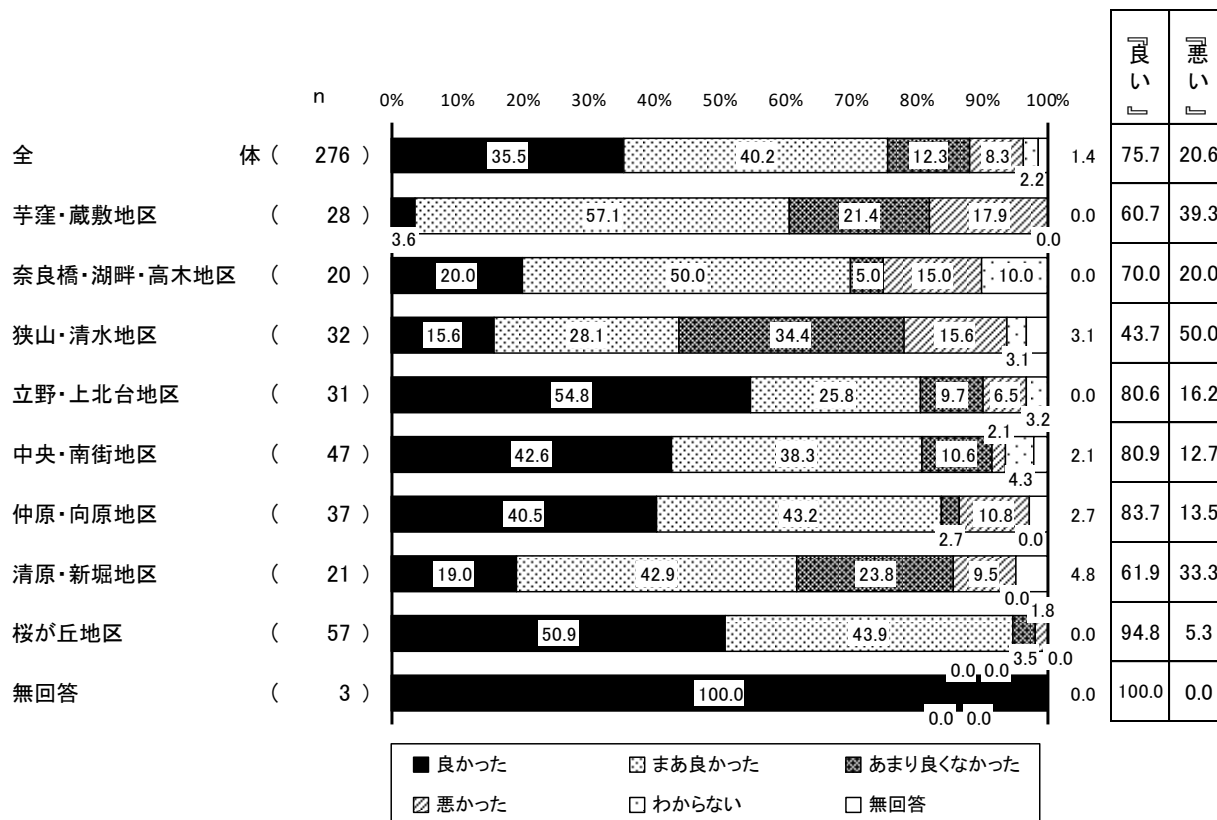
転入前の居住地域別にみると、『良い』は多摩地域（隣接4市）（79.6%）が約8割と最も高く、『悪い』は東京23区内（26.0%）が3割弱と最も高くなっている。（図表1-3-52）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（94.8%）が9割台半ばと最も高く、『悪い』は狭山・清水地区（50.0%）が5割半と最も高くなっている。（図表1-3-53）

<図表1-3-52>②買い物等の日常生活の利便性／転入前の居住地域別



<図表1-3-53>②買い物等の日常生活の利便性／転入後の居住地域別



### ③ 都心へのアクセス

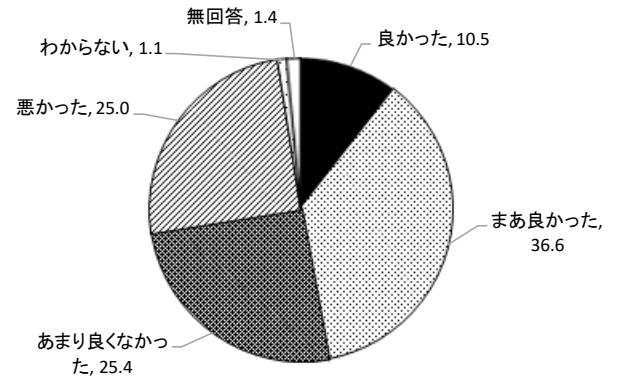
＜図表 1－3－54＞③都心へのアクセス／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	29	10.5
まあ良かった	101	36.6
あまり良くなかった	70	25.4
悪かった	69	25.0
わからない	3	1.1
無回答	4	1.4
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	130	47.1
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	139	50.4



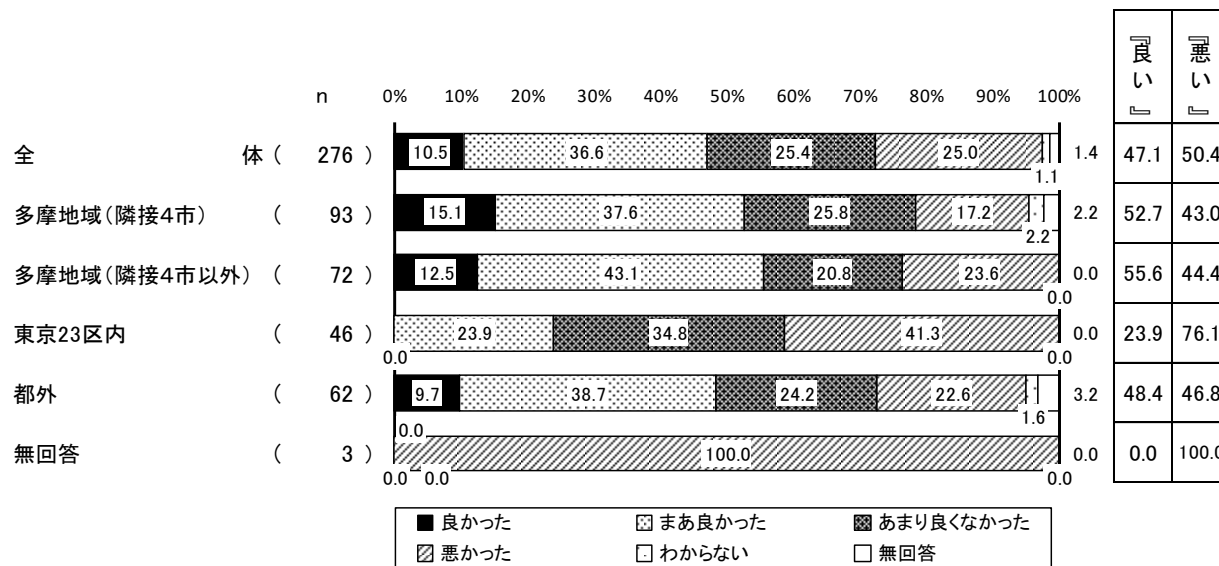
全体では「まあ良かった」(36.6%)が4割弱で最も高く、次いで「あまり良くなかった」(25.4%)が2割台半ば、「悪かった」(25.0%)が2割半となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(47.1%)は5割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(50.4%)は約5割となっている。(図表 1－3－54)

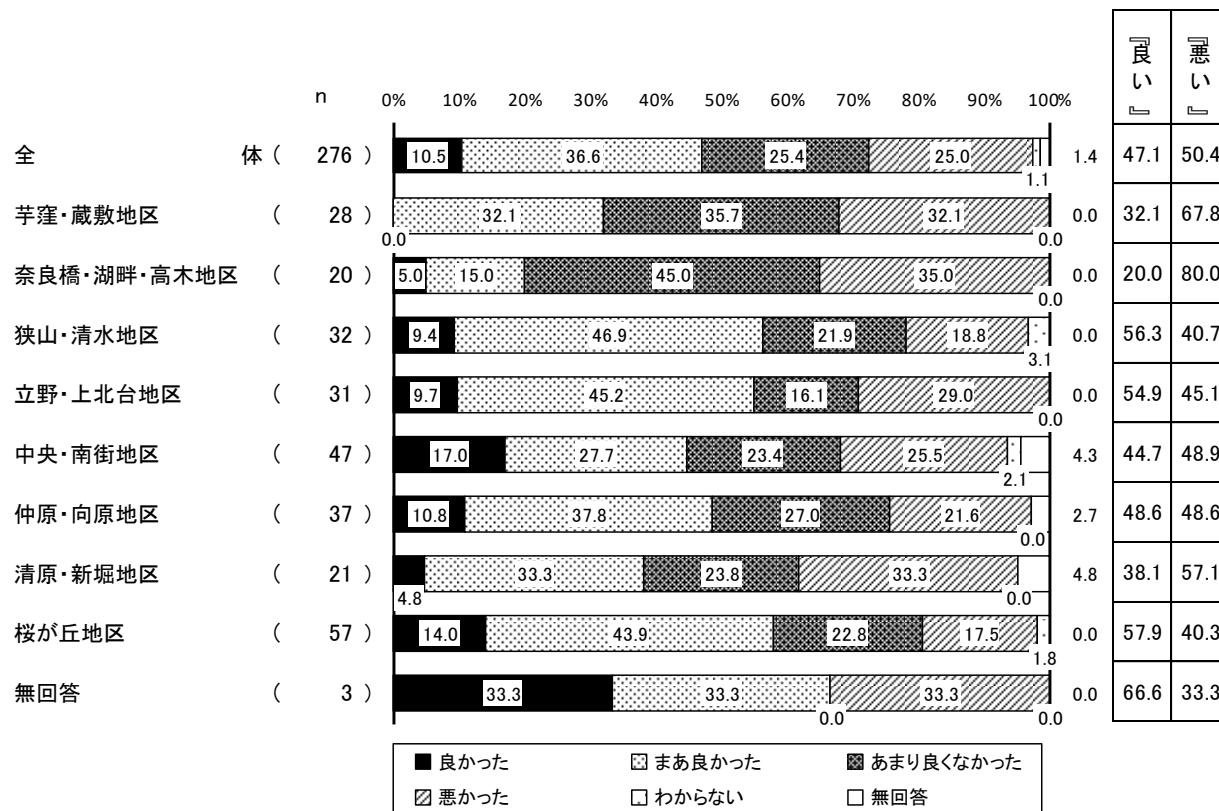
転入前の居住地域別にみると、『良い』は多摩地域（隣接4市以外）（55.6%）が5割台半ばと最も高く、『悪い』は東京23区内（76.1%）が8割弱と最も高くなっている。（図表1-3-55）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（57.9%）が6割弱と最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区（80.0%）が8割と最も高くなっている。（図表1-3-56）

<図表1-3-55>③都心へのアクセス／転入前の居住地域別



<図表1-3-56>③都心へのアクセス／転入後の居住地域別



#### ④ 住宅価格・家賃

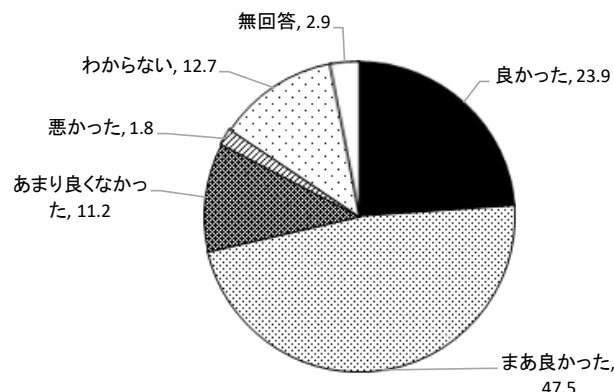
＜図表 1－3－57＞④住宅価格・家賃／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	66	23.9
まあ良かった	131	47.5
あまり良くなかった	31	11.2
悪かった	5	1.8
わからない	35	12.7
無回答	8	2.9
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	197	71.4
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	36	13.0



全体では「まあ良かった」（47.5%）が5割弱で最も高く、次いで「良かった」（23.9%）が2割強、「わからない」（12.7%）が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』（71.4%）は7割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』（13.0%）は1割強となっている。（図表 1－3－57）

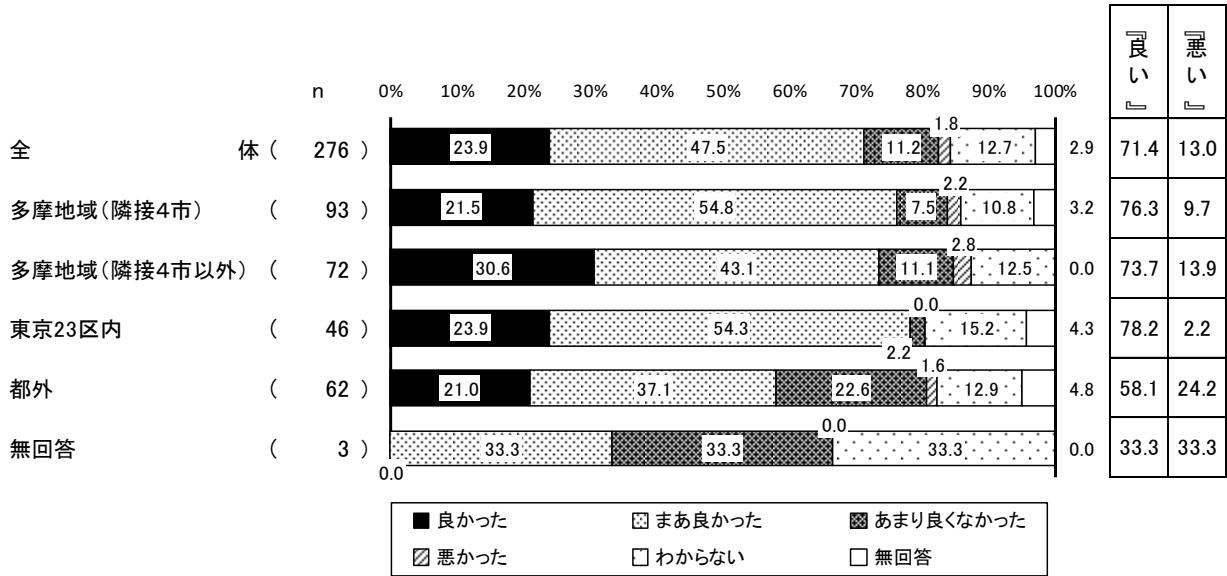
転入前の居住地域別にみると、『良い』は東京23区内（78.2%）が8割弱と最も高く、『悪い』は都外（24.2%）が2割台半ばと最も高くなっている。（図表 1－3－58）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は狭山・清水地区（81.2%）が8割強と最も高く、『悪い』は仲原・向原地区（24.3%）が2割台半ばと最も高くなっている。（図表 1－3－59）

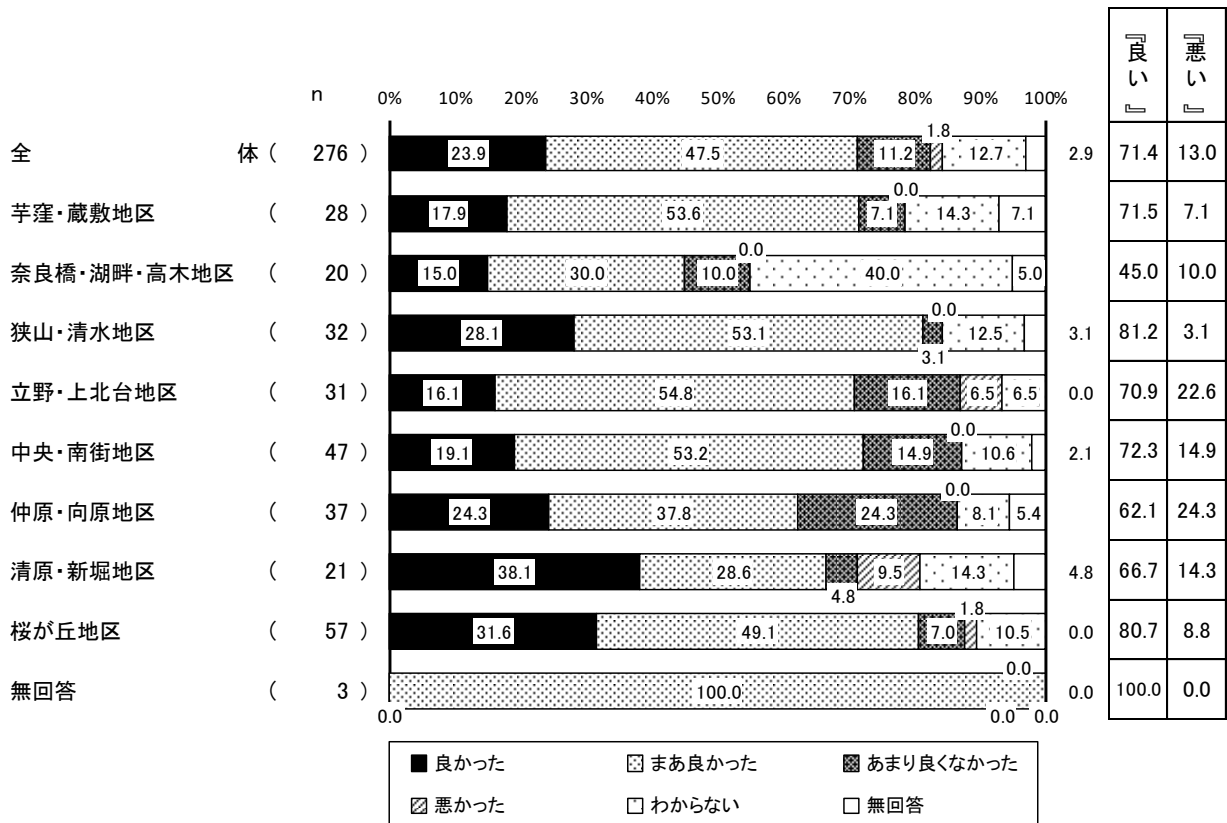
世帯構成別にみると、『良い』は親との二世帯→単身（81.3%）が8割強と最も高く、『悪い』は子との二世帯→子との二世帯（16.0%）が2割弱と最も高くなっている。（図表 1－3－60）

住居区分別にみると、『良い』は持ち家以外→持ち家以外（77.0%）が8割弱と最も高く、『悪い』は民間の借家→民間の借家（19.5%）が約2割と最も高くなっている。（図表 1－3－61）

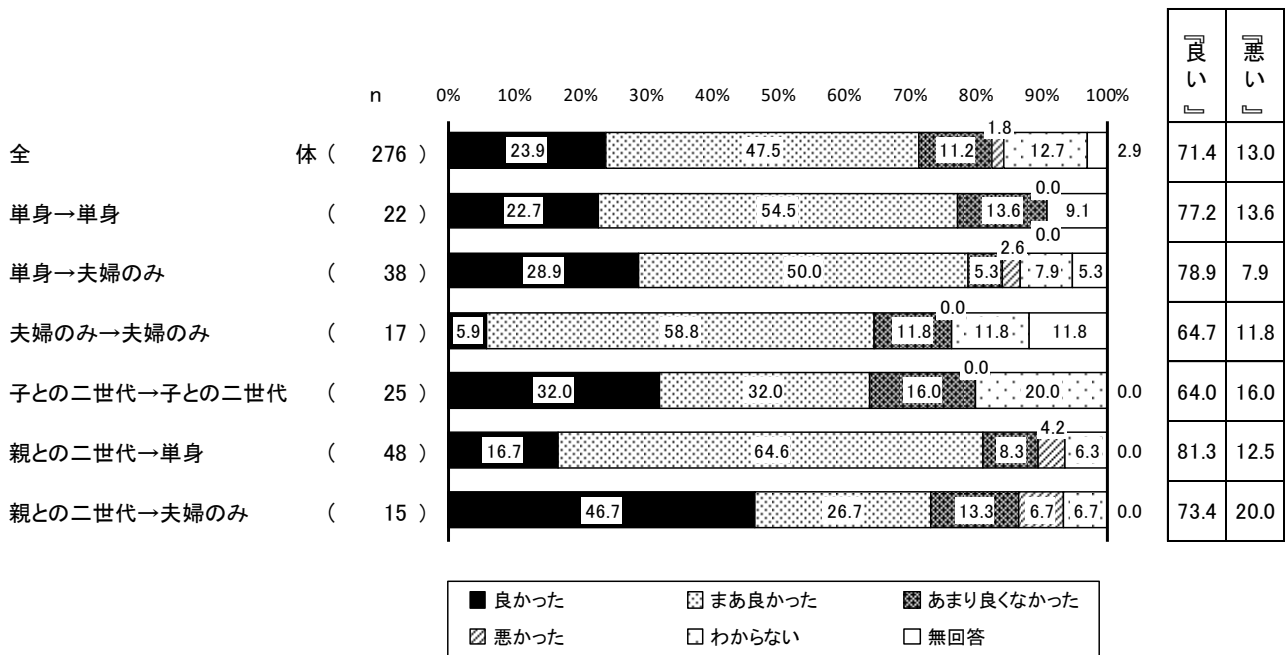
<図表 1-3-58>④住宅価格・家賃／転入前の居住地域別



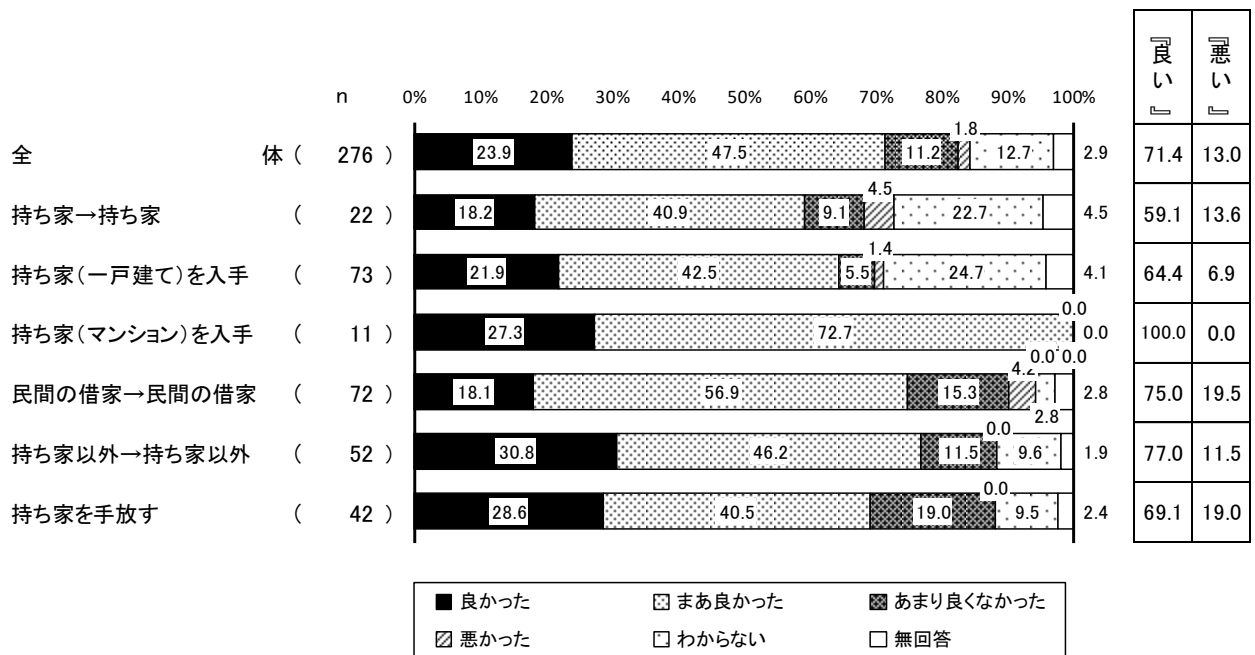
<図表 1-3-59>④住宅価格・家賃／転入後の居住地域別



<図表 1-3-60>④住宅価格・家賃／世帯構成 転入前→転入後別



<図表 1-3-61>④住宅価格・家賃／住居区分 転入前→転入後別



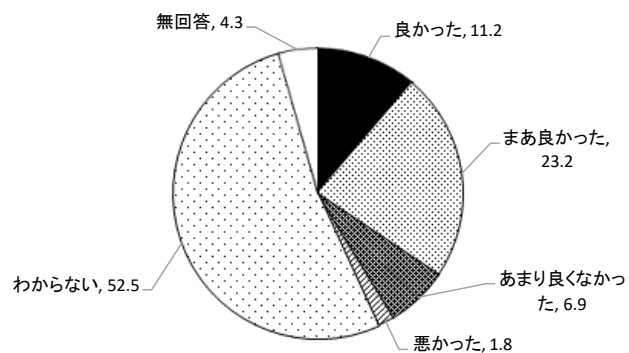
⑤ 子育て環境

<図表 1-3-62> ⑤子育て環境／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	31	11.2
まあ良かった	64	23.2
あまり良くなかった	19	6.9
悪かった	5	1.8
わからない	145	52.5
無回答	12	4.3
調査数	276	100.0



	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	95	34.4
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	24	8.7

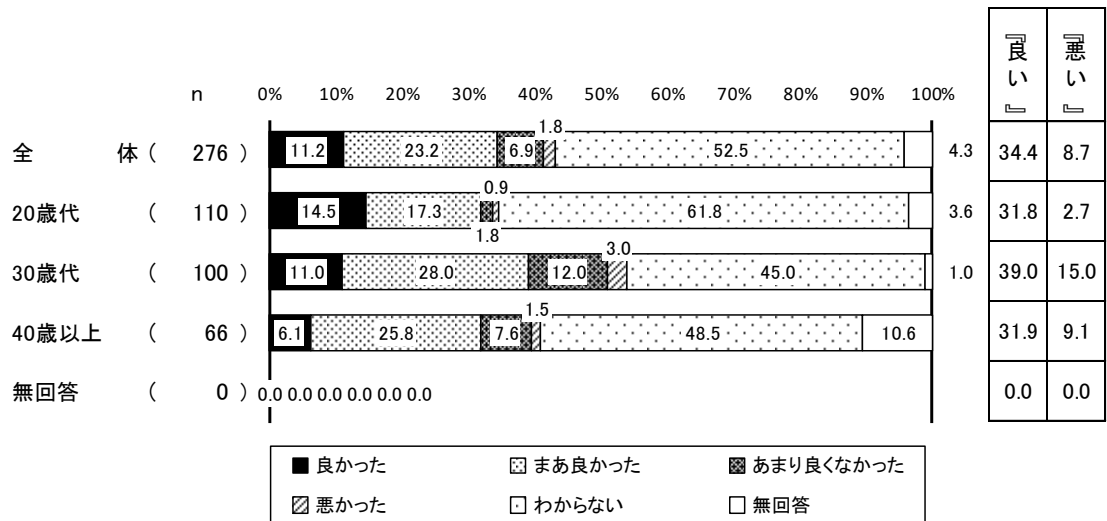
全体では「わからない」(52.5%)が5割強と最も高く、次いで「まあ良かった」(23.2%)が2割強、「良かった」(11.2%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(34.4%)は3割台半ば、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(8.7%)は1割弱となっている。(図表 1-3-62)



年代別でみると、『良い』は30歳代（39.0%）が約4割と最も高く、『悪い』も30歳代（15.0%）が1割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-63）

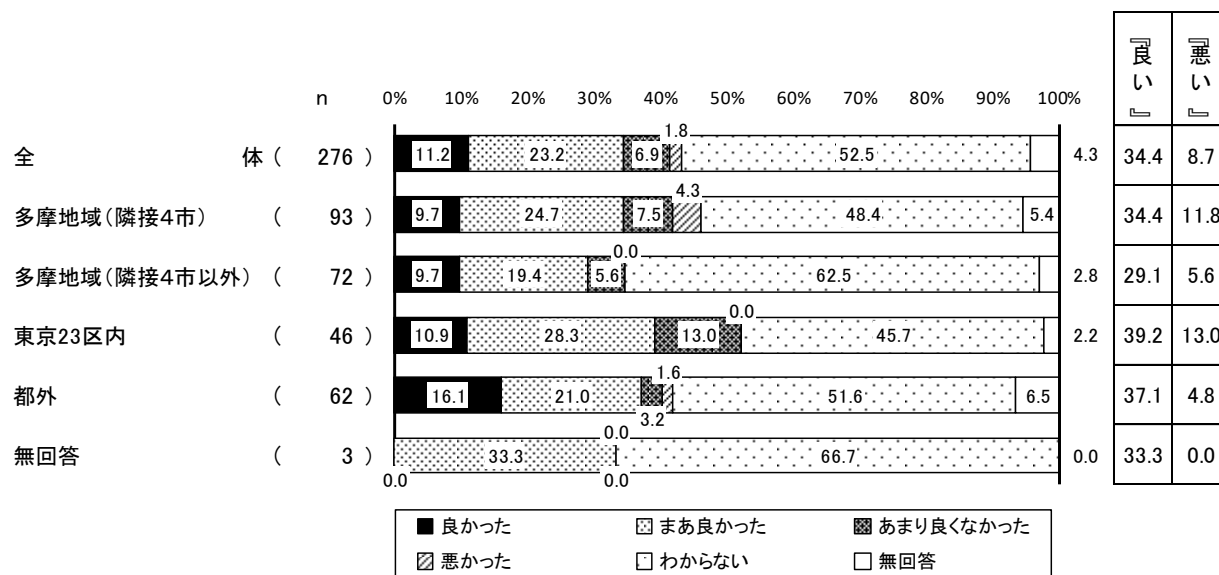
<図表1-3-63>⑤子育て環境／年代別



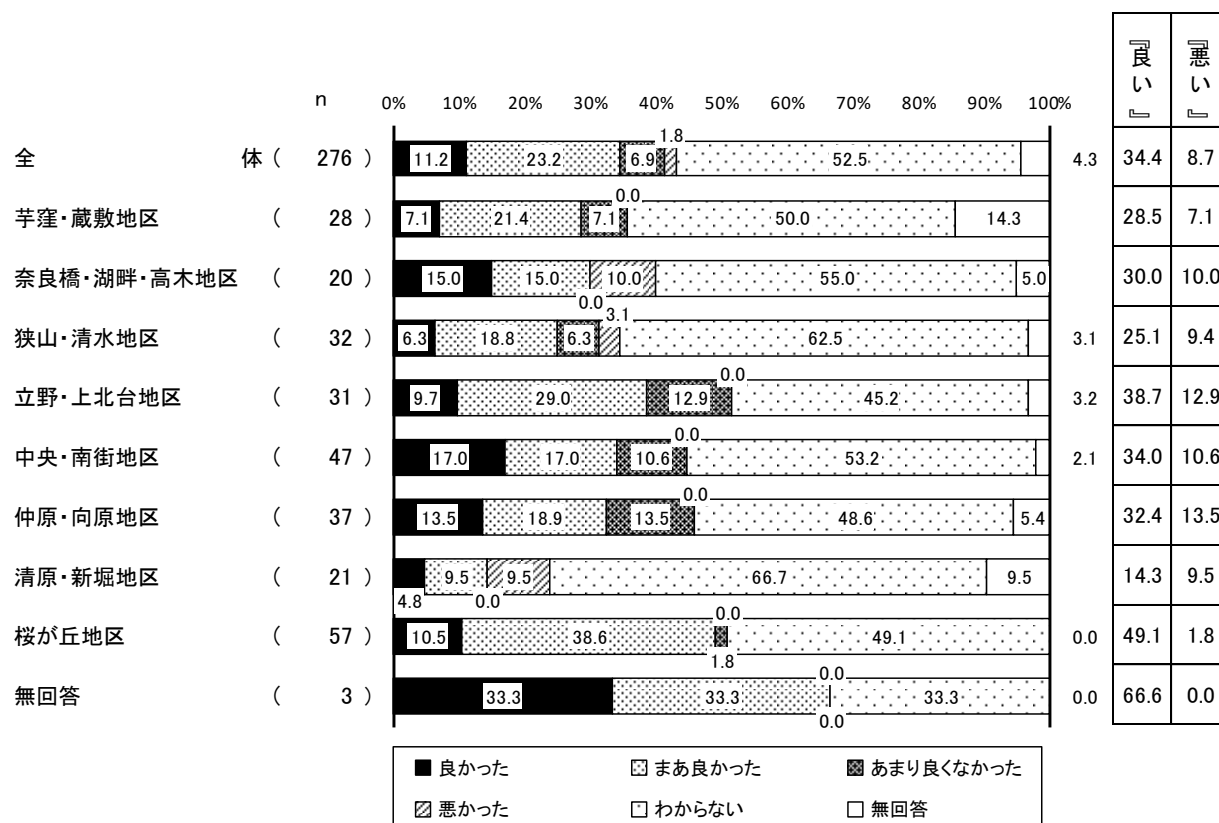
転入前の居住地域別にみると、『良い』は東京23区内（39.2%）が約4割と最も高く、『悪い』も東京23区内（13.0%）が1割強と最も高くなっている。（図表1-3-64）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（49.1%）が約5割と最も高く、『悪い』は仲原・向原地区（13.5%）が1割強と最も高くなっている。（図表1-3-65）

<図表1-3-64>⑤子育て環境／転入前の居住地域別



<図表1-3-65>⑤子育て環境／転入後の居住地域別



⑥ 学校教育環境

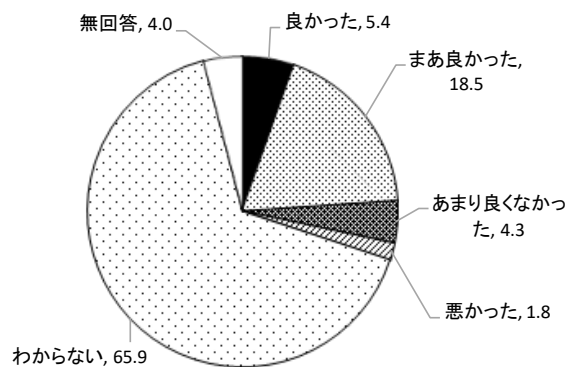
<図表 1 - 3 - 66> ⑥学校教育環境／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	15	5.4
まあ良かった	51	18.5
あまり良くなかった	12	4.3
悪かった	5	1.8
わからない	182	65.9
無回答	11	4.0
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	66	23.9
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	17	6.1

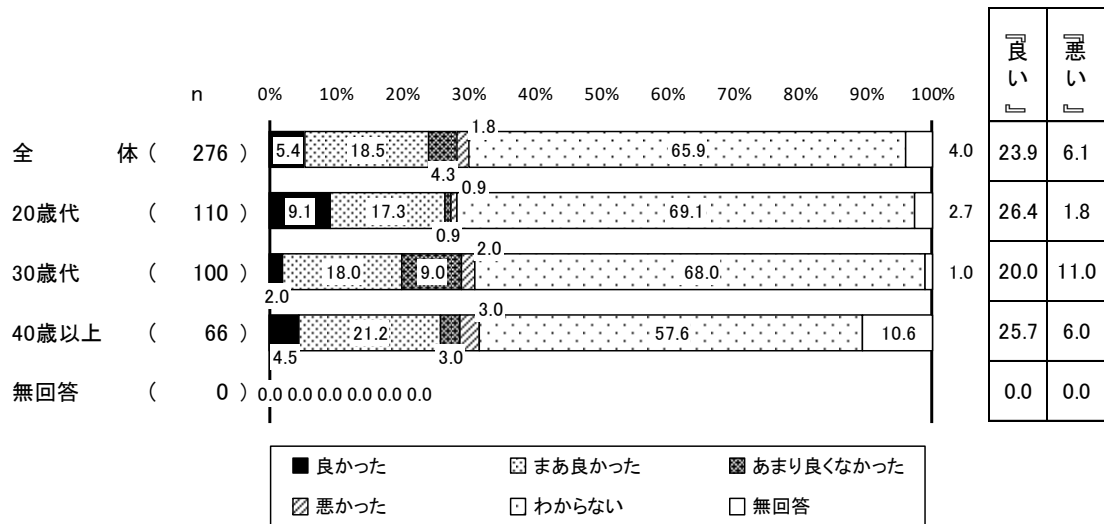


全体では「わからない」(65.9%)が6割台半ばと最も高く、次いで「まあ良かった」(18.5%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(23.9%)は2割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(6.1%)は1割弱となっている。(図表 1 - 3 - 66)

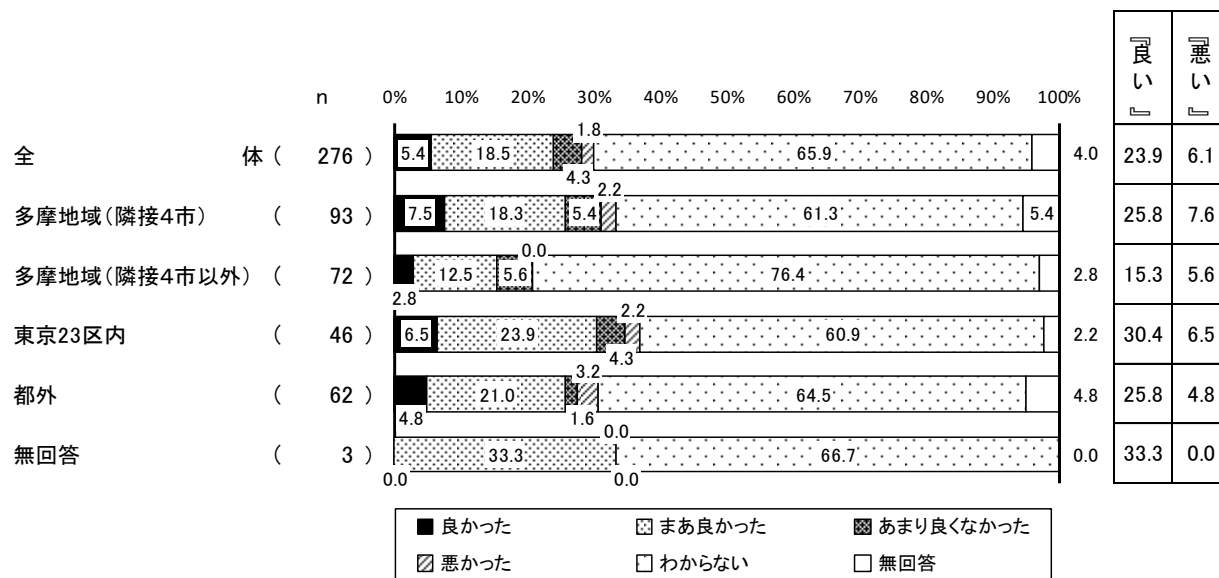
年代別でみると、『良い』は20歳代（26.4%）が3割弱と最も高く、『悪い』は30歳代（11.0%）が1割強と最も高くなっている。（図表1-3-67）

<図表1-3-67>⑥学校教育環境／年代別



転入前の居住地域別にみると、『良い』は東京23区内（30.4%）が約3割と最も高く、『悪い』は多摩地域（隣接4市）（7.6%）が1割未満であるが最も高くなっている。（図表1-3-68）

<図表1-3-68>⑥学校教育環境／転入前の居住地域別



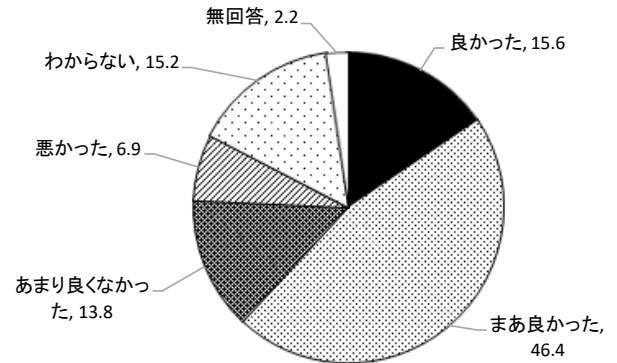
⑦ 治安などの住環境

<図表 1-3-69> ⑦治安などの住環境／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	43	15.6
まあ良かった	128	46.4
あまり良くなかった	38	13.8
悪かった	19	6.9
わからない	42	15.2
無回答	6	2.2
調査数	276	100.0



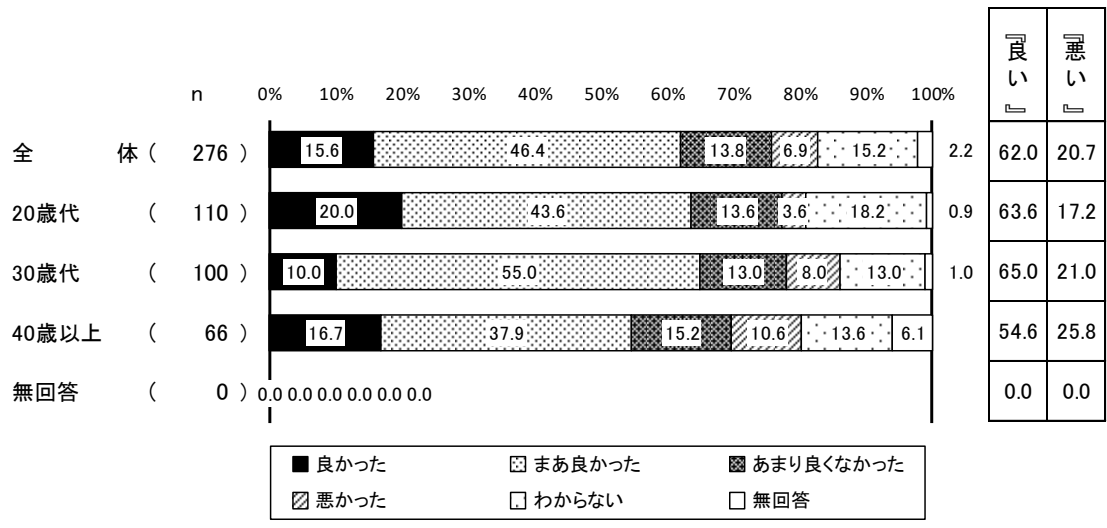
	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	171	62.0
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	57	20.7

全体では「まあ良かった」(46.4%)が5割弱で最も高く、次いで「良かった」(15.6%)が1割台半ば、「わからない」(15.2%)が1割台半ばとなっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(62.0%)は6割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(20.7%)は約2割となっている。(図表 1-3-69)

年代別でみると、『良い』は30歳代（65.0%）が6割台半ばと最も高く、『悪い』は40歳以上（25.8%）が2割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-70）

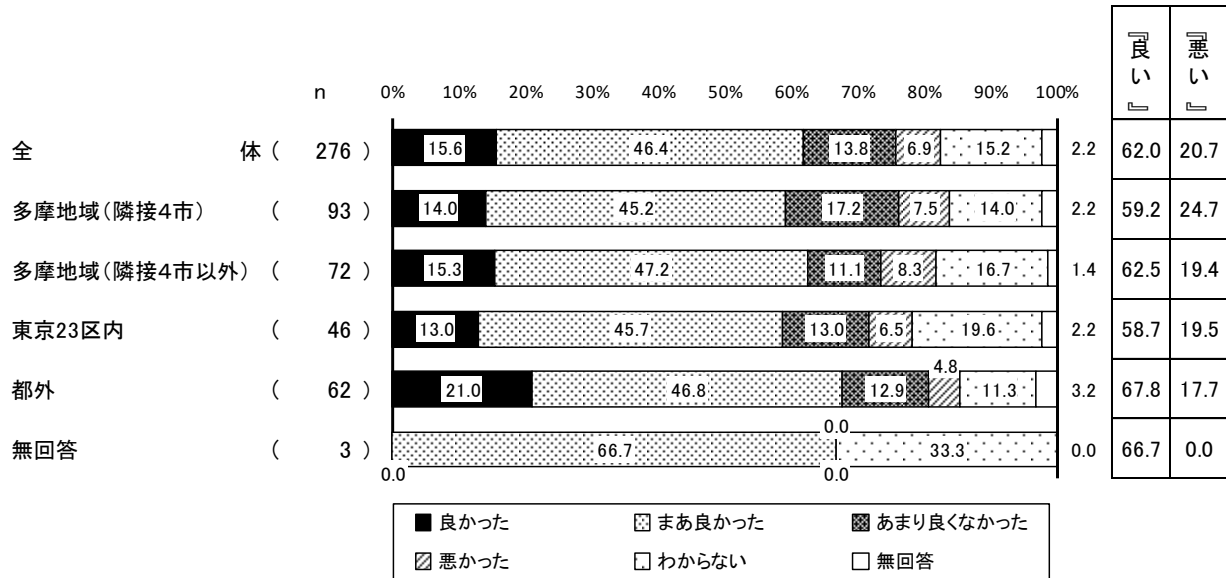
＜図表1-3-70＞⑦治安などの住環境／年代別



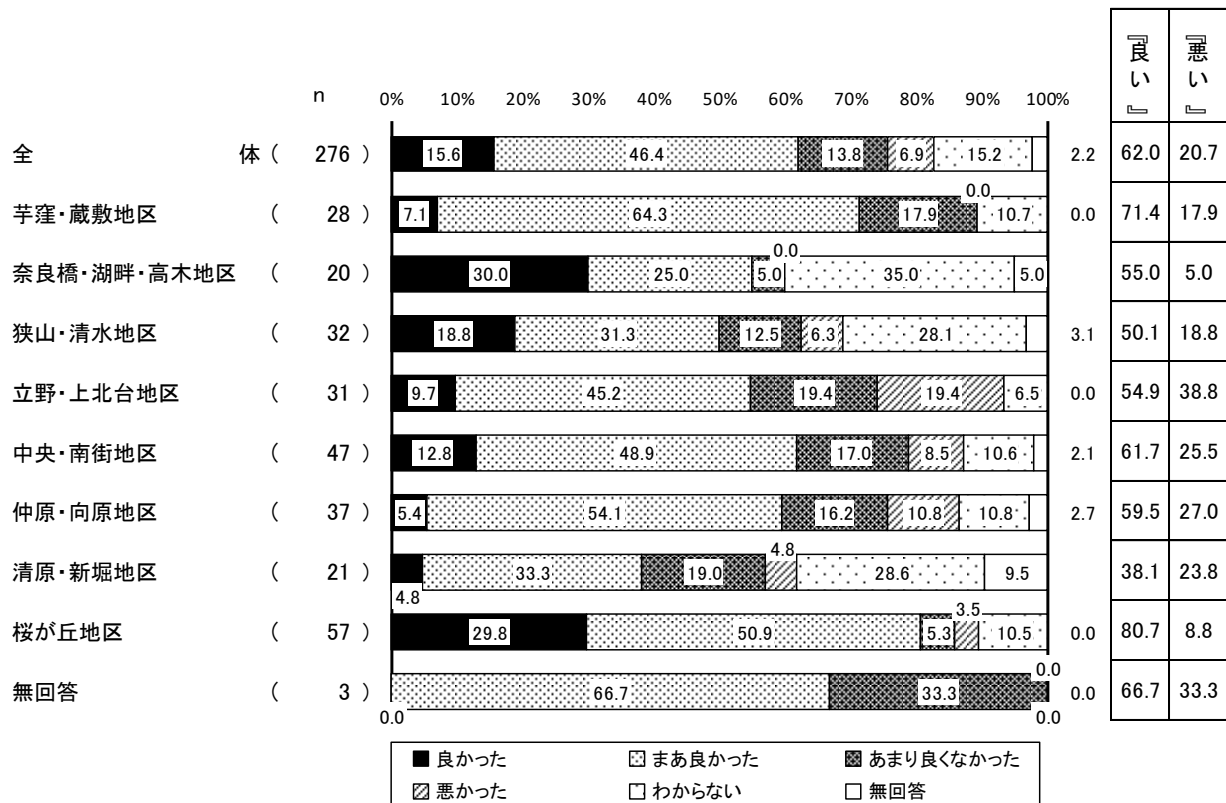
転入前の居住地域別にみると、『良い』は都外（67.8%）が7割弱と最も高く、『悪い』は多摩地域（隣接4市）（24.7%）が2割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-71）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（80.7%）が約8割と最も高く、『悪い』は立野・上北台地区（38.8%）が4割弱と最も高くなっている。（図表1-3-72）

<図表1-3-71>⑦治安などの住環境／転入前の居住地域別



<図表1-3-72>⑦治安などの住環境／転入後の居住地域別





⑧ 地域コミュニティ・地域活動

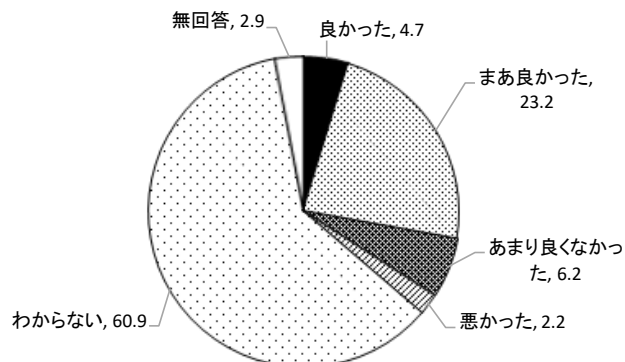
<図表 1-3-73> ⑧地域コミュニティ・地域活動／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	13	4.7
まあ良かった	64	23.2
あまり良くなかった	17	6.2
悪かった	6	2.2
わからない	168	60.9
無回答	8	2.9
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	77	27.9
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	23	8.4



全体では「わからない」(60.9%)が約6割で最も高く、次いで「まあ良かった」(23.2%)が2割強、「あまり良くなかった」(6.2%)が1割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(27.9%)は3割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(8.4%)は1割弱となっている。(図表 1-3-73)

⑨ 医療・福祉の充実

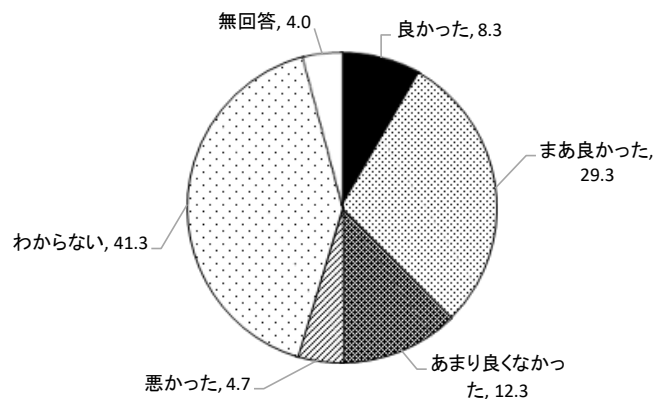
<図表1-3-74>⑨医療・福祉の充実／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	23	8.3
まあ良かった	81	29.3
あまり良くなかった	34	12.3
悪かった	13	4.7
わからない	114	41.3
無回答	11	4.0
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』(良かった+まあ良かった)	104	37.6
『悪い』(あまり良くなかった+悪かった)	47	17.0



全体では「わからない」(41.3%)が4割強で最も高く、次いで「まあ良かった」(29.3%)が約3割、「あまり良くなかった」(12.3%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(37.6%)は4割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(17.0%)は2割弱となっている。(図表1-3-74)

⑩ 自然災害の少なさ

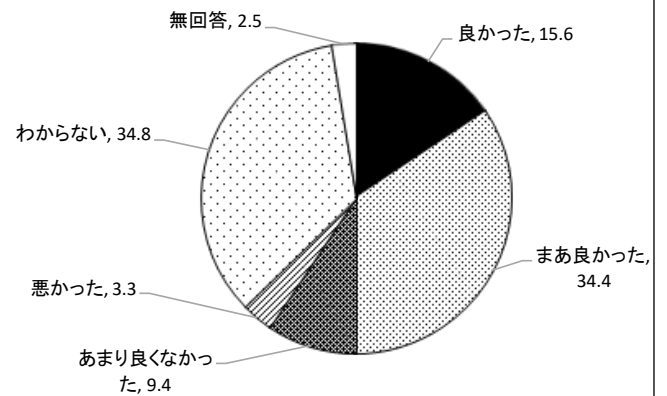
<図表 1-3-75> ⑩自然災害の少なさ／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	43	15.6
まあ良かった	95	34.4
あまり良くなかった	26	9.4
悪かった	9	3.3
わからない	96	34.8
無回答	7	2.5
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	138	50.0
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	35	12.7



全体では「わからない」(34.8%)が3割台半ばで最も高く、次いで「まあ良かった」(34.4%)が3割台半ば、「良かった」(15.6%)が1割台半ばとなっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(50.0%)は5割、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(12.7%)は1割強となっている。(図表 1-3-75)

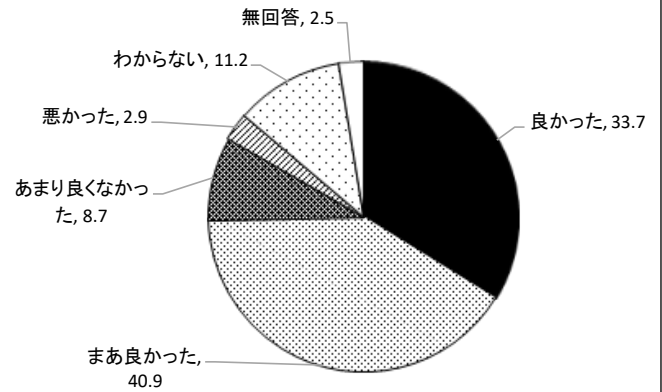
⑪ 公園や自然環境の良さ

<図表 1-3-76> ⑪公園や自然環境の良さ／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	93	33.7
まあ良かった	113	40.9
あまり良くなかった	24	8.7
悪かった	8	2.9
わからない	31	11.2
無回答	7	2.5
調査数	276	100.0



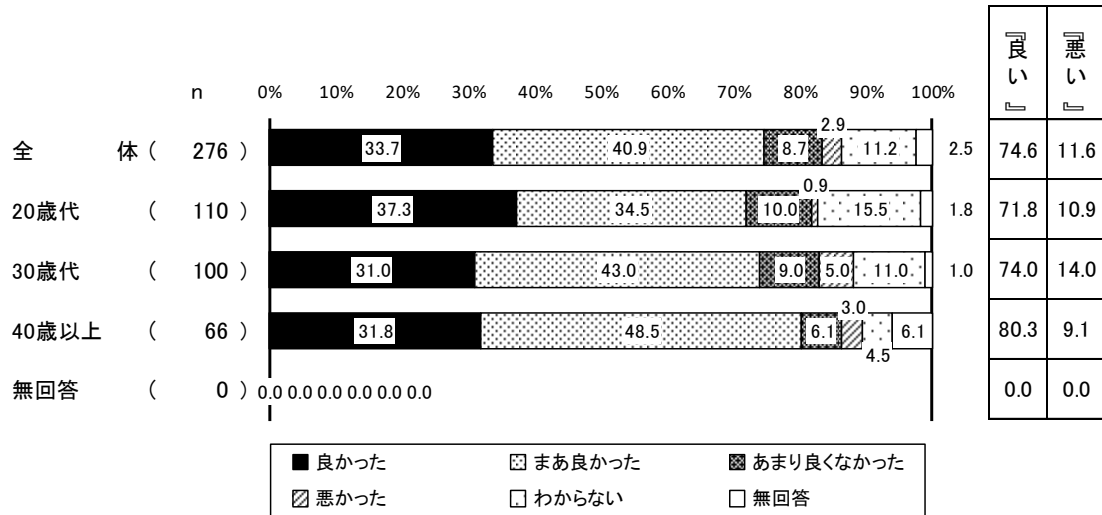
	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	206	74.6
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	32	11.6

全体では「まあ良かった」(40.9%)が約4割で最も高く、次いで「良かった」(33.7%)が3割強、「わからない」(11.2%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(74.6%)は7割台半ば、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(11.6%)は1割強となっている。(図表1-3-76)

年代別でみると、『良い』は40歳以上（80.3%）が約8割と最も高く、『悪い』は30歳代（14.0%）が1割強と最も高くなっている。（図表1-3-77）

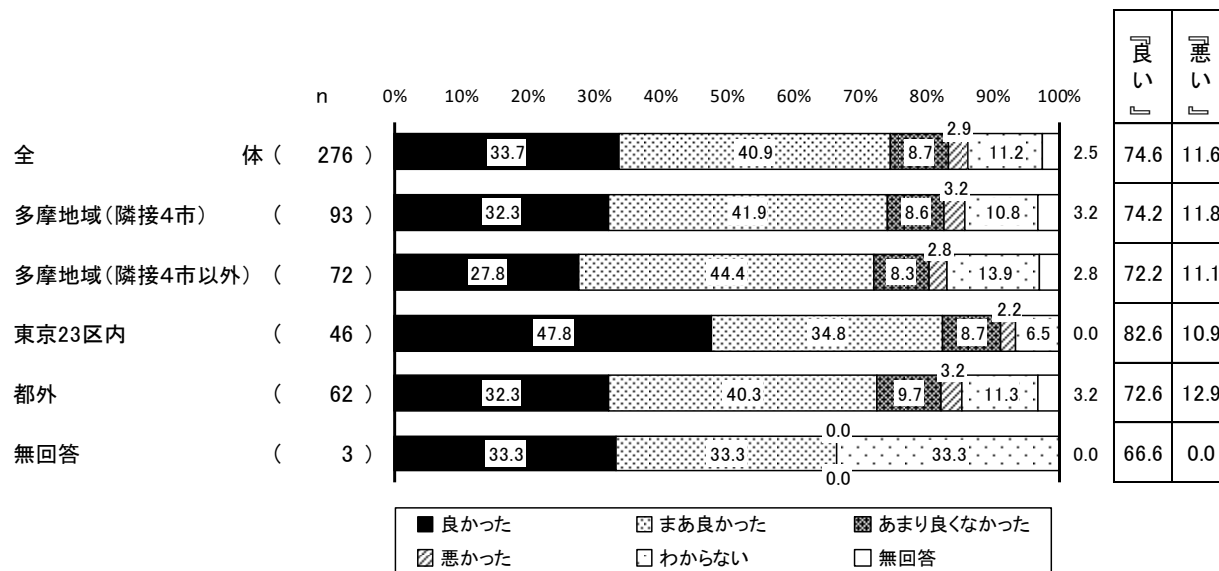
＜図表1-3-77＞⑪公園や自然環境の良さ／年代別



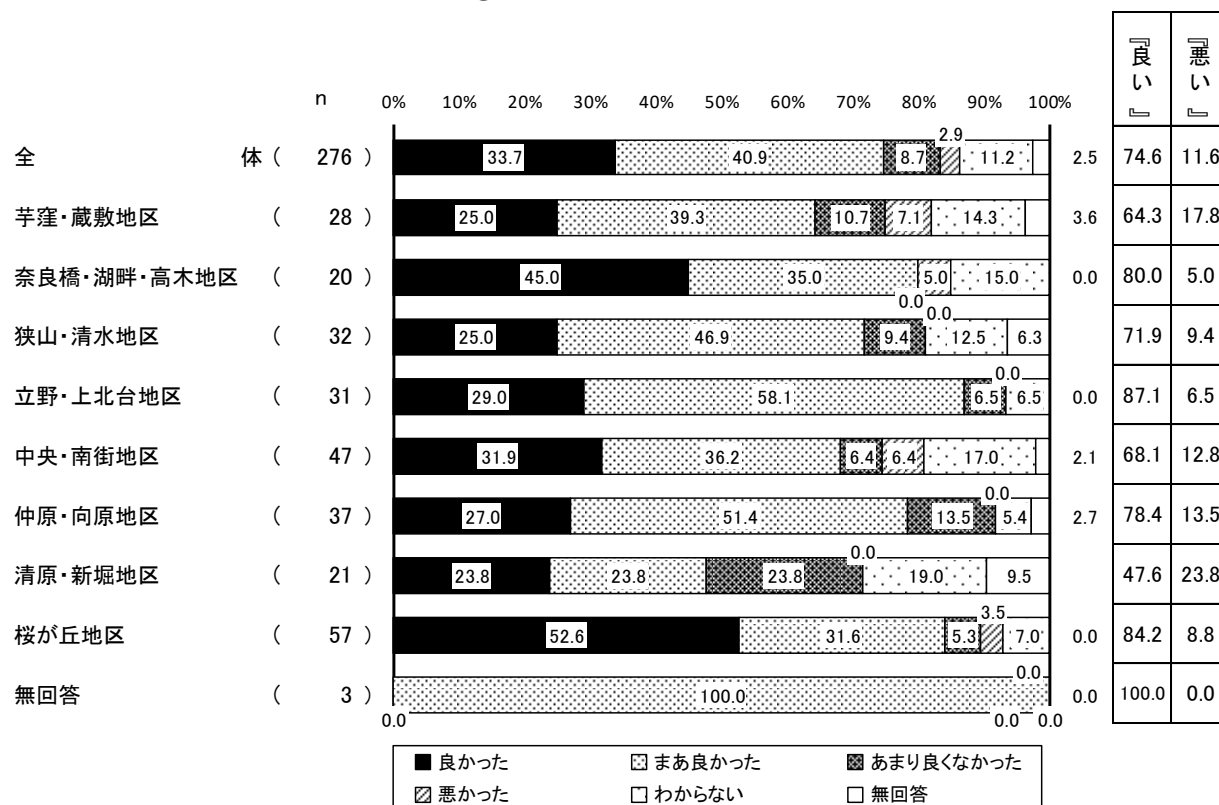
転入前の居住地域別にみると、『良い』は東京23区内（82.6%）が8割強と最も高く、『悪い』は都外（12.9%）が1割強と最も高くなっている。（図表1-3-78）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は立野・上北台地区（87.1%）が9割弱と最も高く、『悪い』は清原・新堀地区（23.8%）が2割強と最も高くなっている。（図表1-3-79）

<図表1-3-78> ⑪公園や自然環境の良さ／転入前の居住地域別



<図表1-3-79> ⑪公園や自然環境の良さ／転入後の居住地域別



⑫ 道路などの都市整備基盤

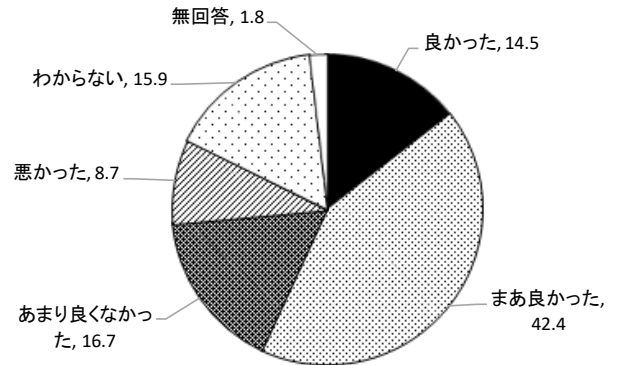
＜図表 1－3－80＞道路などの都市整備基盤／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	40	14.5
まあ良かった	117	42.4
あまり良くなかった	46	16.7
悪かった	24	8.7
わからない	44	15.9
無回答	5	1.8
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』（良かった＋まあ良かった）	157	56.9
『悪い』（あまり良くなかった＋悪かった）	70	25.4

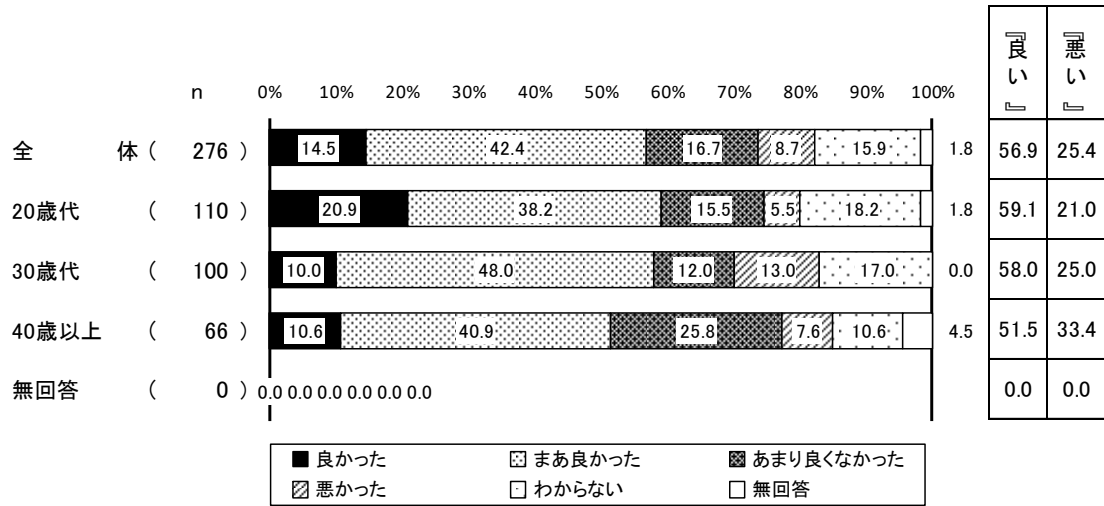


全体では「まあ良かった」（42.4%）が4割強で最も高く、次いで「あまり良くなかった」（16.7%）が2割弱、「わからない」（15.9%）が1割台半ばとなっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』（56.9%）は6割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』（25.4%）は2割台半ばとなっている。（図表 1－3－80）

年代別でみると、『良い』は20歳代（59.1%）が約6割と最も高く、『悪い』は40歳以上（33.4%）が3割強と最も高くなっている。（図表1-3-81）

<図表1-3-81>⑫道路などの都市整備基盤／年代別

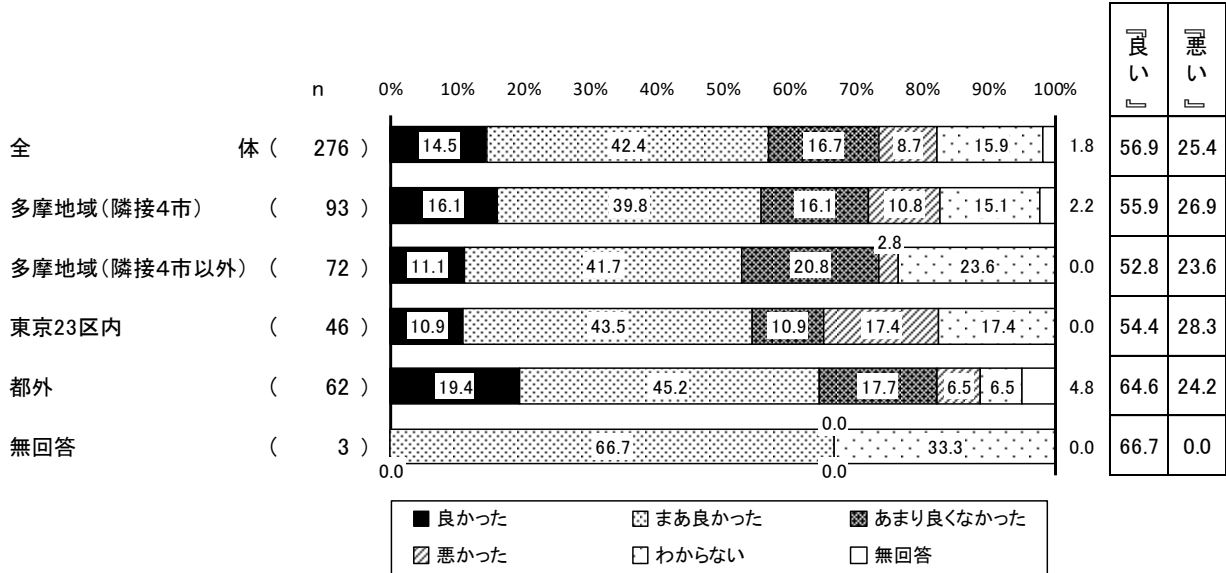




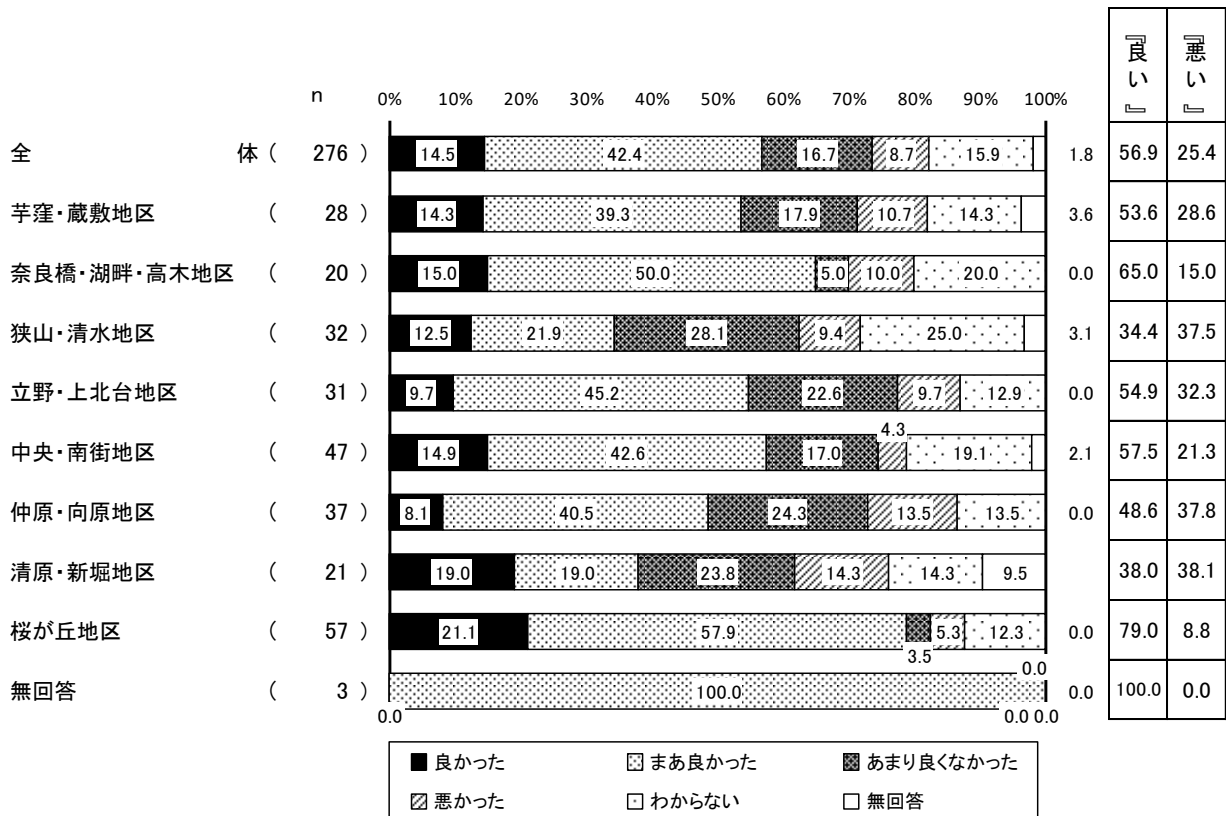
転入前の居住地域別にみると、『良い』は都外（64.6%）が6割台半ばと最も高く、『悪い』は東京23区内（28.3%）が3割弱と最も高くなっている。（図表1-3-82）

転入後の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（79.0%）が8割弱と最も高く、『悪い』は清原・新堀地区（38.1%）が4割弱と最も高くなっている。（図表1-3-83）

<図表1-3-82>⑫道路などの都市整備基盤／転入前の居住地域別



<図表1-3-83>⑫道路などの都市整備基盤／転入後の居住地域別



⑬ 街のイメージ

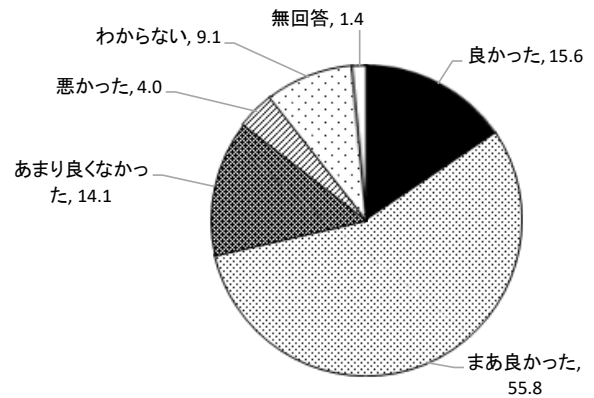
<図表 1-3-84> ⑬街のイメージ／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	43	15.6
まあ良かった	154	55.8
あまり良くなかった	39	14.1
悪かった	11	4.0
わからない	25	9.1
無回答	4	1.4
調査数	276	100.0

	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	197	71.4
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	50	18.1

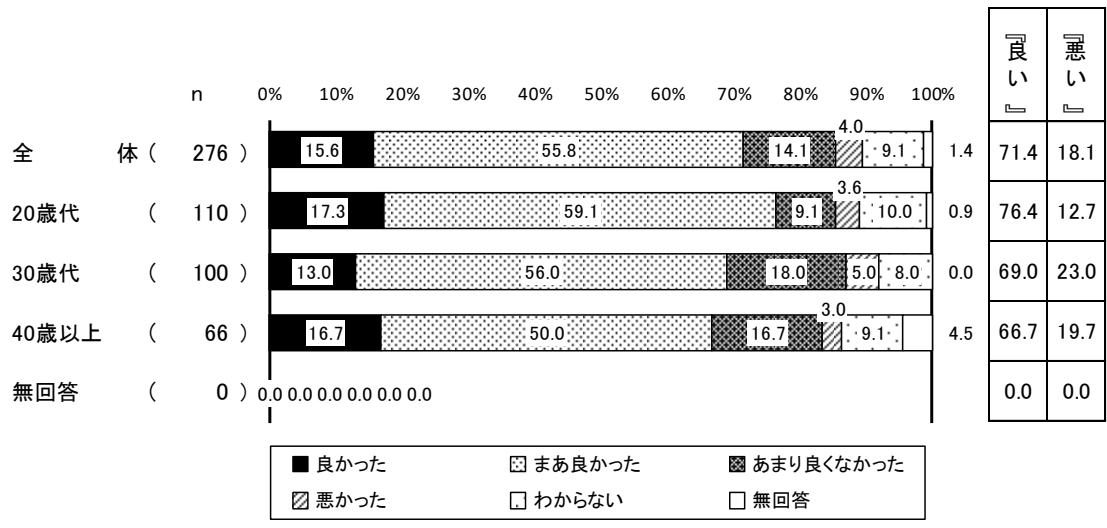


全体では「まあ良かった」(55.8%)が5割台半ばで最も高く、次いで「良かった」(15.6%)が1割台半ば、「あまり良くなかった」(14.1%)が1割台半ばとなっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(71.4%)は7割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(18.1%)は2割弱となっている。(図表 1-3-84)

年代別でみると、『良い』は20歳代（76.4%）が8割弱と最も高く、『悪い』は30歳代（23.0%）が2割強と最も高くなっている。（図表1-3-85）

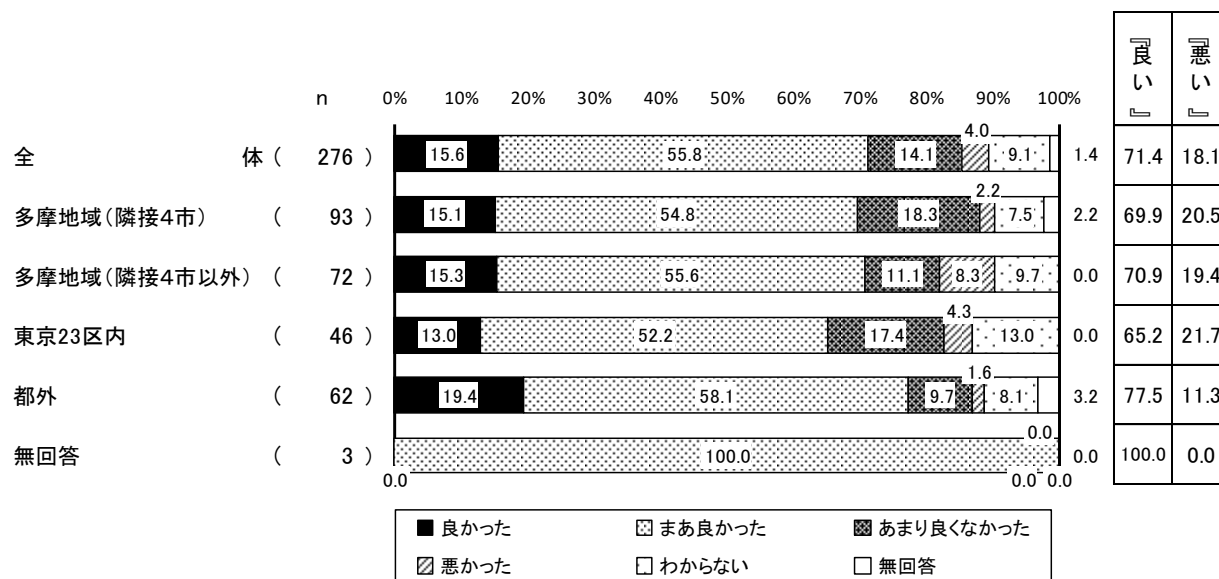
<図表1-3-85> ⑬街のイメージ／年代別



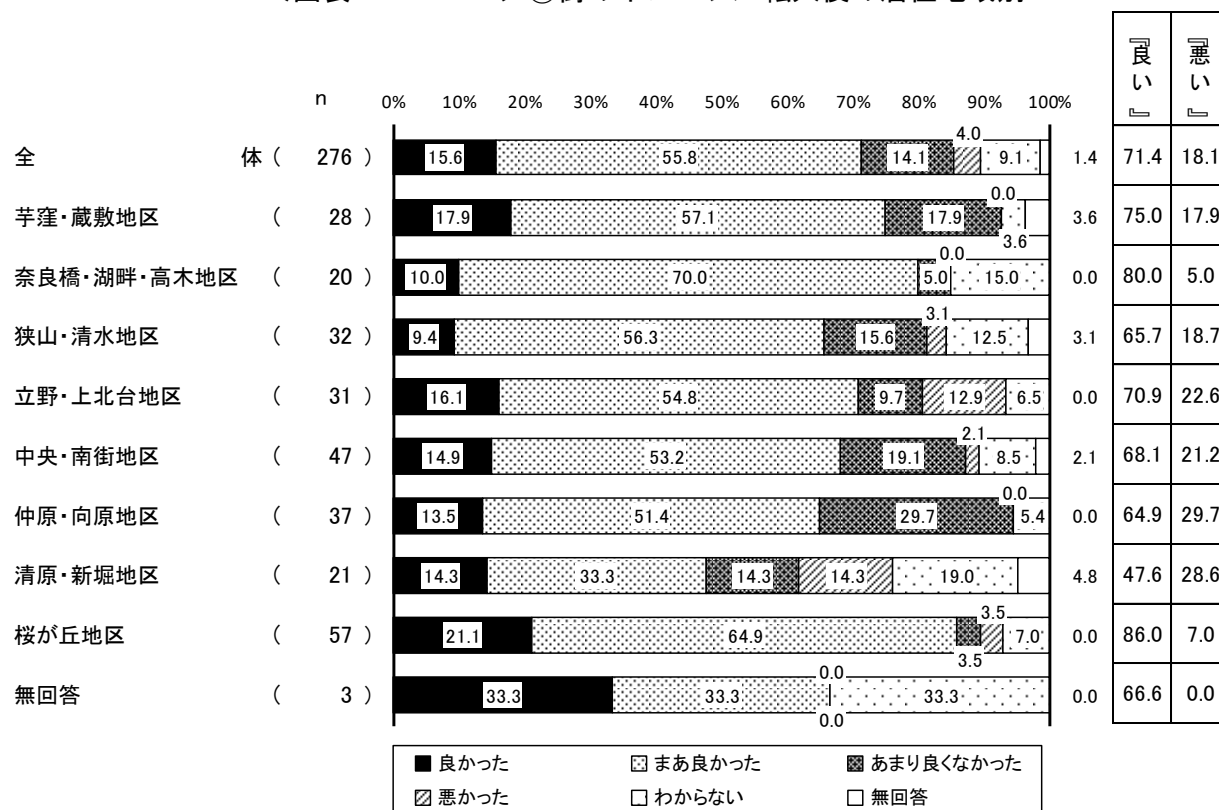
転入前の居住地地域別にみると、『良い』は都外（77.5%）が8割弱と最も高く、『悪い』は東京23区内（21.7%）が2割強と最も高くなっている。（図表1-3-86）

転入後の居住地地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（86.0%）が9割弱と最も高く、『悪い』は仲原・向原地区（29.7%）が約3割と最も高くなっている。（図表1-3-87）

<図表1-3-86>⑬街のイメージ／転入前の居住地地域別



<図表1-3-87>⑬街のイメージ／転入後の居住地地域別



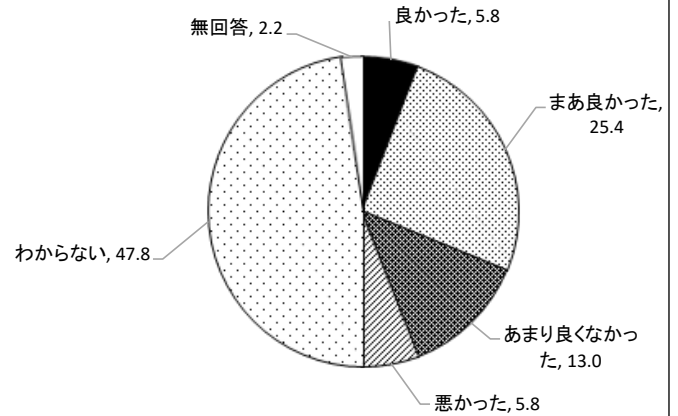
⑭ 行政サービスの充実

＜図表 1－3－88＞⑭行政サービスの充実／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	16	5.8
まあ良かった	70	25.4
あまり良くなかった	36	13.0
悪かった	16	5.8
わからない	132	47.8
無回答	6	2.2
調査数	276	100.0



	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	86	31.2
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	52	18.8

全体では「わからない」(47.8%)が5割弱で最も高く、次いで「まあ良かった」(25.4%)が2割台半ば、「あまり良くなかった」(13.0%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(31.2%)は3割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(18.8%)は2割弱となっている。(図表 1－3－88)

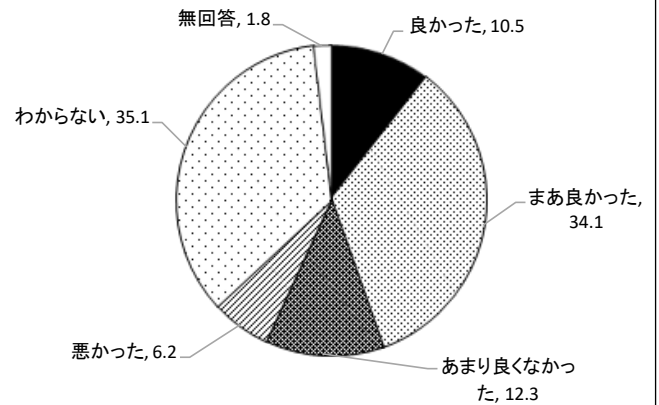
⑮ 図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設

<図表 1-3-89> ⑮図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
良かった	29	10.5
まあ良かった	94	34.1
あまり良くなかった	34	12.3
悪かった	17	6.2
わからない	97	35.1
無回答	5	1.8
調査数	276	100.0



	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	123	44.6
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	51	18.5

全体では「わからない」(35.1%)が3割台半ばで最も高く、次いで「まあ良かった」(34.1%)が3割台半ば、「あまり良くなかった」(12.3%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(44.6%)は4割台半ば、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(18.5%)は2割弱となっている。(図表 1-3-89)

(11) 住居所有状況

問 25 転入前と後でのあなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（それぞれ1つ選択）

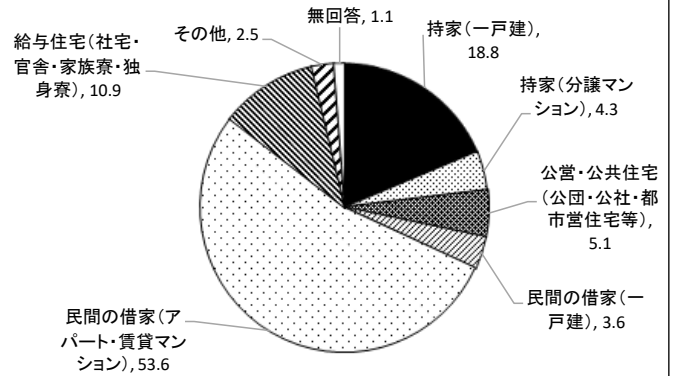
① 転入前の住居所有状況

＜図表 1－3－90＞転入前の住居所有状況／全体

(n=276)

(%)

	件数	%
持家（一戸建）	52	18.8
持家（分譲マンション）	12	4.3
公営・公共住宅（公団・公社・都市営住宅等）	14	5.1
民間の借家（一戸建）	10	3.6
民間の借家（アパート・賃貸マンション）	148	53.6
給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）	30	10.9
その他	7	2.5
無回答	3	1.1
調査数	276	100.0

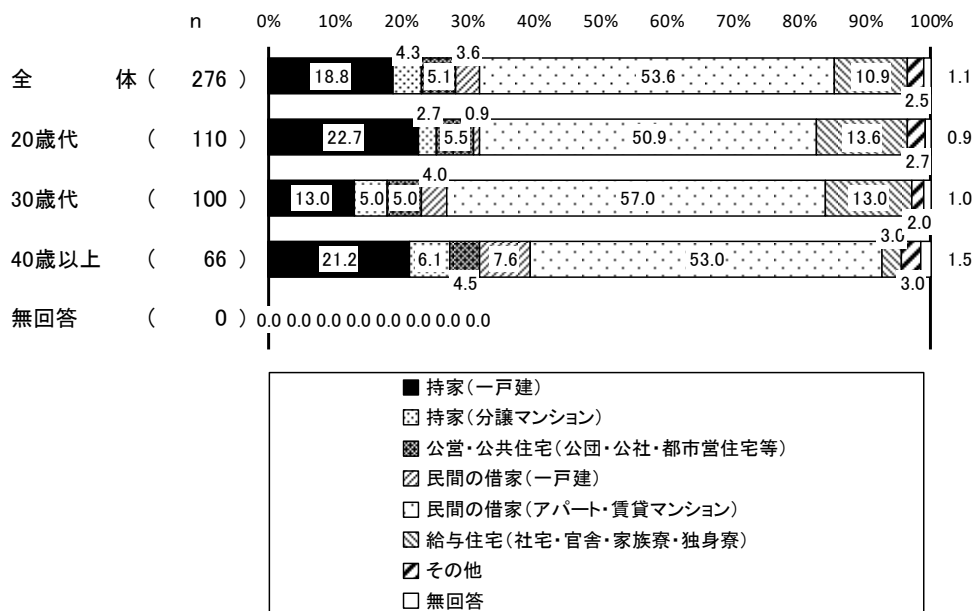


「その他の回答」	件数
グループホーム	2
実家	2
団地	1
一戸建（父持家）	1
シェアハウス	1

全体では「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」（53.6%）が5割強で最も高く、次いで「持家（一戸建）」（18.8%）が2割弱、「給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）」（10.9%）が約1割となっている。（図表 1－3－90）

年代別でみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は30歳代（57.0%）で6割弱と最も高く、「持家（一戸建）」は20歳代（22.7%）で2割強と最も高くなっている。（図表1-3-91）

＜図表1-3-91＞転入前の住居所有状況／年代別

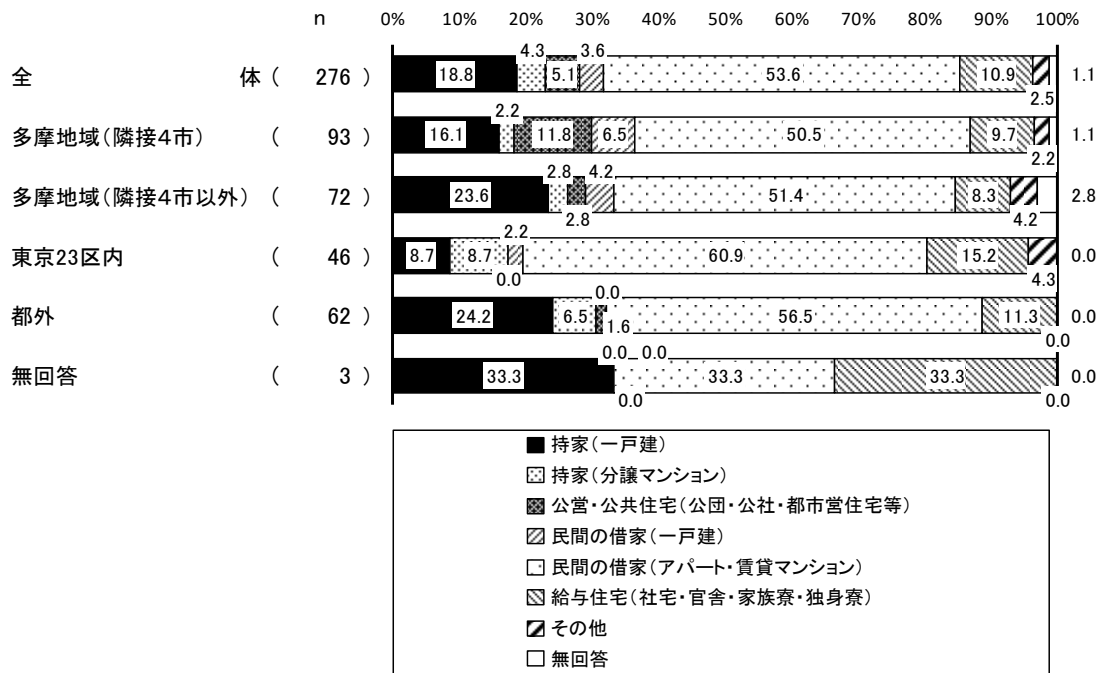


転入前の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は東京23区内（60.9%）で約6割と最も高く、「持家（一戸建）」は都外（24.2%）で2割台半ばと高くなっている。（図表1-3-92）

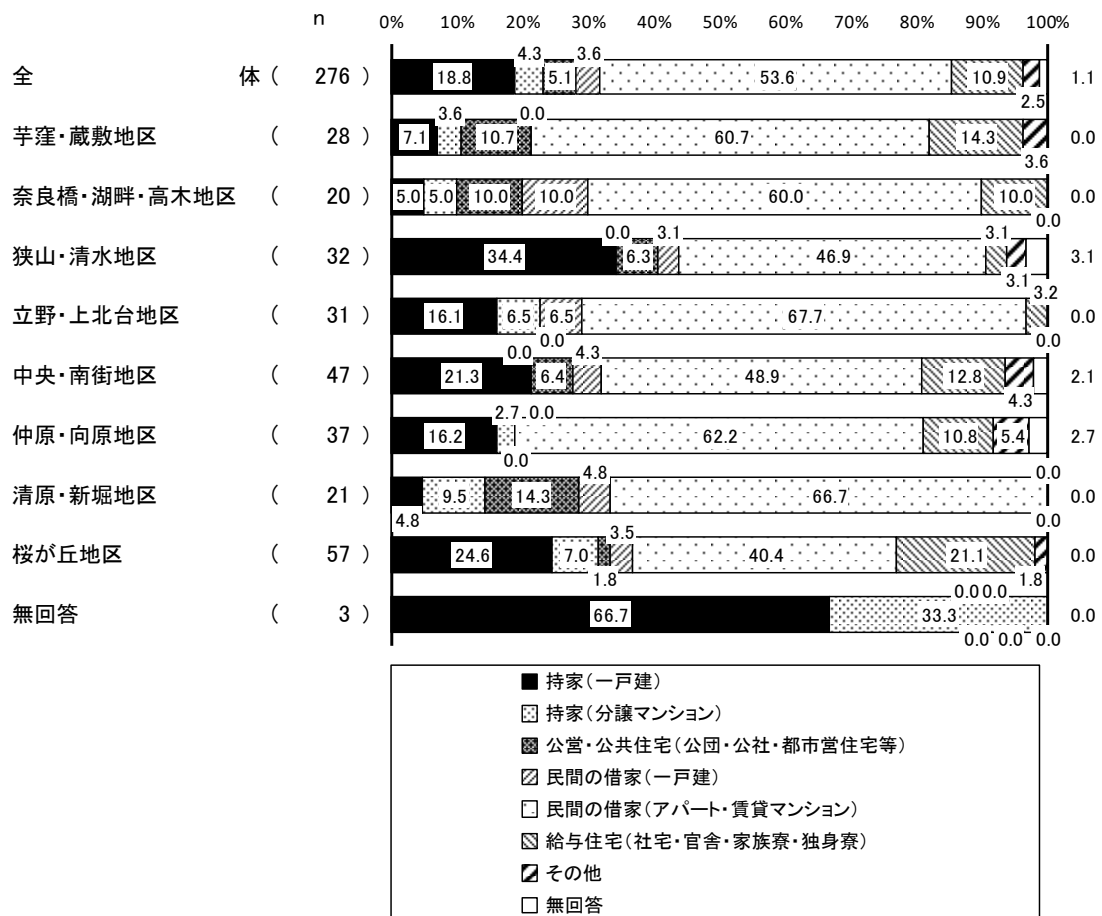
転入後の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は立野・上北台地区（67.7%）で7割弱と最も高く、清原・新堀地区（66.7%）でも7割弱と高くなっている。また、「持家（一戸建）」は狭山・清水地区（34.4%）で3割台半ばと最も高く、「給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）」は桜が丘地区（21.1%）で2割強と最も高くなっている。（図表1-3-93）



<図表 1-3-92> 転入前の住居所有状況／転入前の居住地域別



<図表 1-3-93> 転入前の住居所有状況／転入後の居住地域別



問 25 転入前と後でのあなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（それぞれ1つ選択）

② 転入後の住居所有状況

＜図表 1－3－94＞転入後の住居所有状況／全体

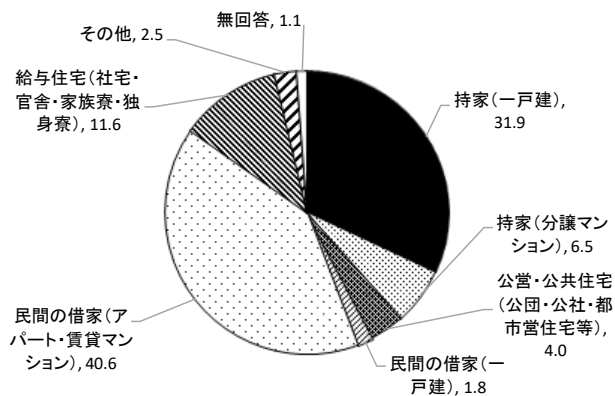
(n=276)

(%)

	件数	%
持家（一戸建）	88	31.9
持家（分譲マンション）	18	6.5
公営・公共住宅（公団・公社・都市営住宅等）	11	4.0
民間の借家（一戸建）	5	1.8
民間の借家（アパート・賃貸マンション）	112	40.6
給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）	32	11.6
その他	7	2.5
無回答	3	1.1
調査数	276	100.0

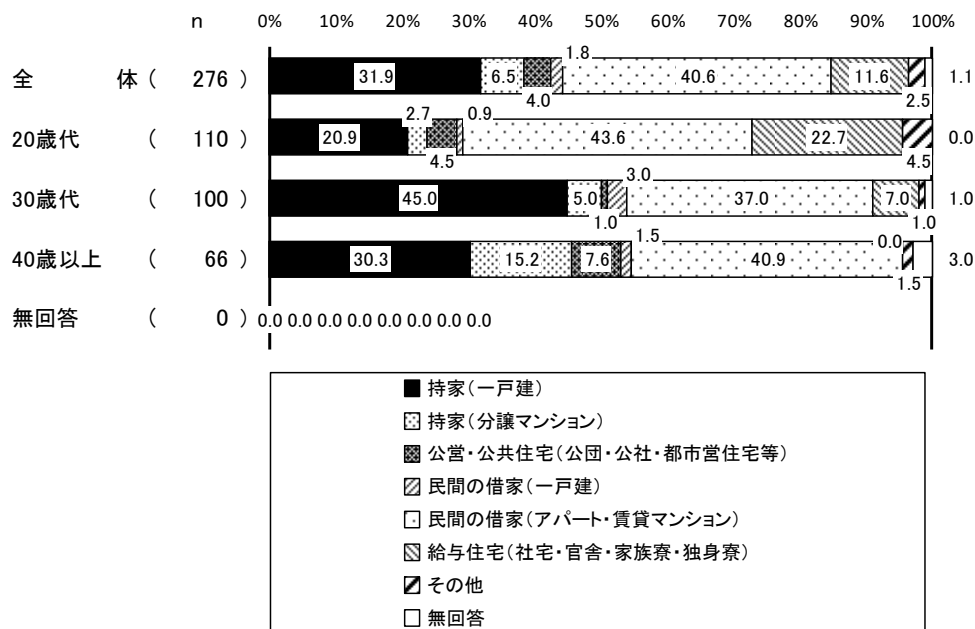
「その他の回答」	件数
親の持家	2
グループホーム	2
祖父の持家で親と同居、二世帯。一戸建。	1
実家	1



全体では「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」（40.6%）が約4割で最も高く、次いで「持家（一戸建）」（31.9%）が3割強、「給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）」（11.6%）が1割強となっている。（図表 1－3－94）

年代別でみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は20歳代（43.6%）が4割強と最も高く、「持家（一戸建）」は30歳代（45.0%）が4割台半ばで最も高くなっている。（図表1-3-95）

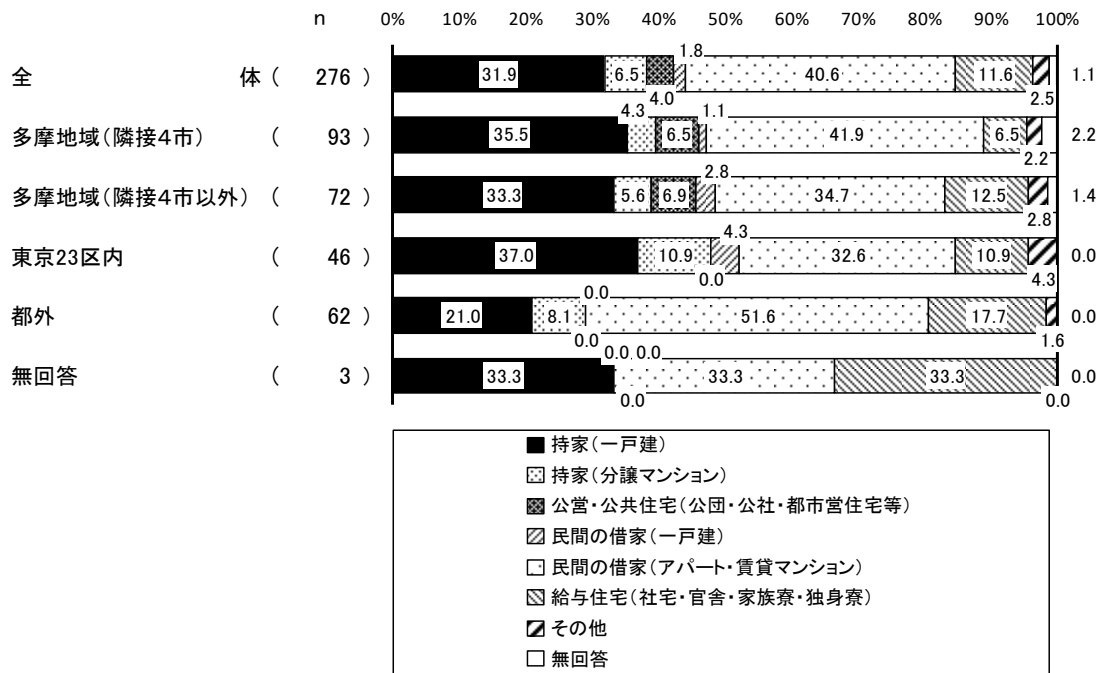
＜図表1-3-95＞転入後の住居所有状況／年代別



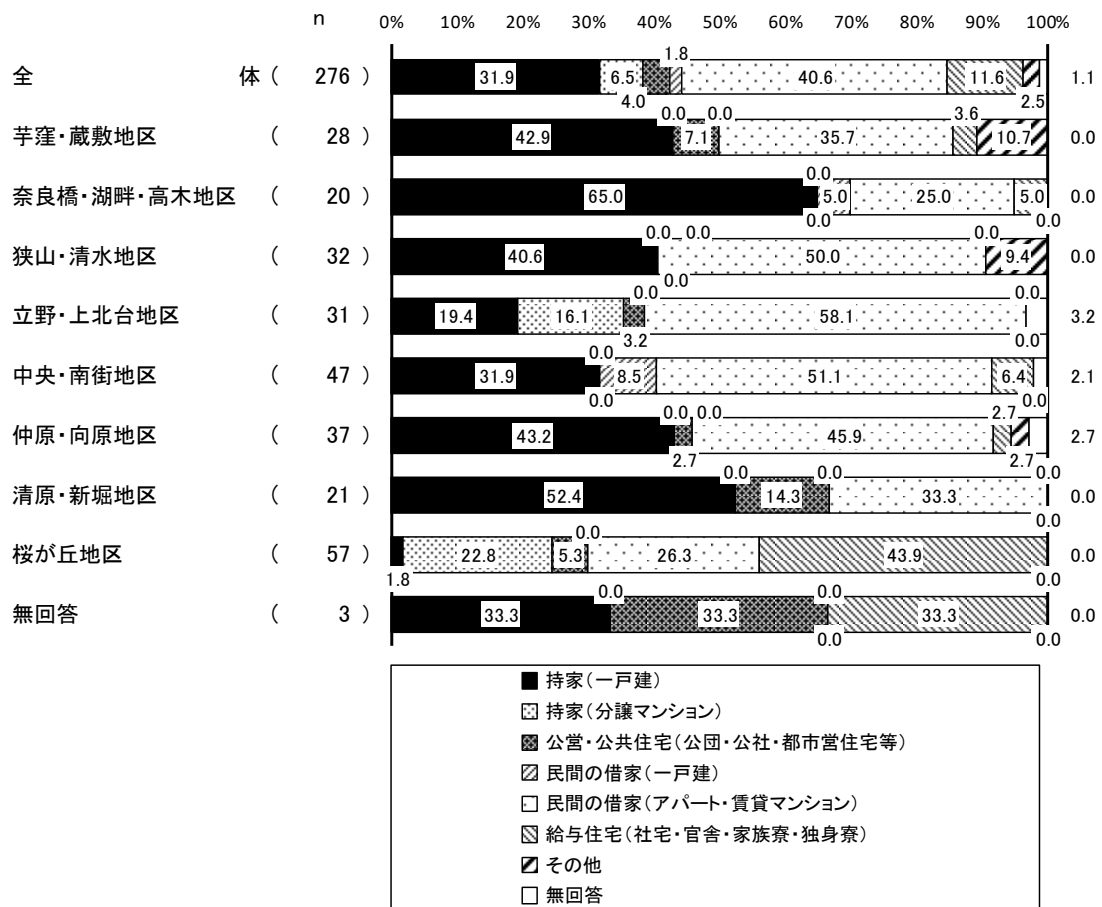
転入前の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は都外（51.6%）で5割強と最も高くなっている。（図表1-3-96）

転入後の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は立野・上北台地区（58.1%）で6割弱と最も高く、「持家（一戸建）」は奈良橋・湖畔・高木地区（65.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-97）

<図表 1-3-96> 転入後の住居所有状況／転入前の居住地域別



<図表 1-3-97> 転入後の住居所有状況／転入後の居住地域別



(12) 転入前と後での住居の床面積

問 26 転入前と後での住居の床面積は次のどれにあたりますか。(それぞれ1つ選択)

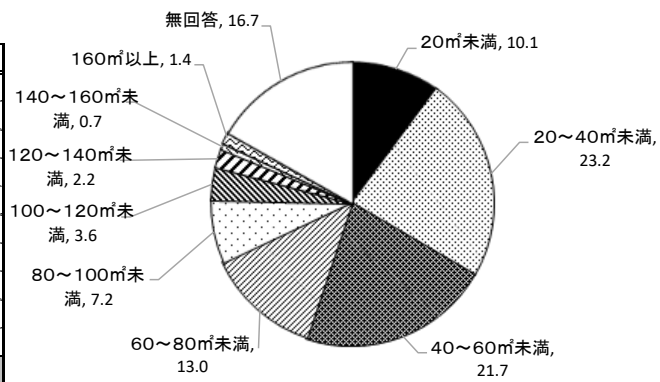
① 転入前の住宅の床面積

<図表 1-3-98> 転入前の住宅の床面積 / 全体

(n=276)

(%)

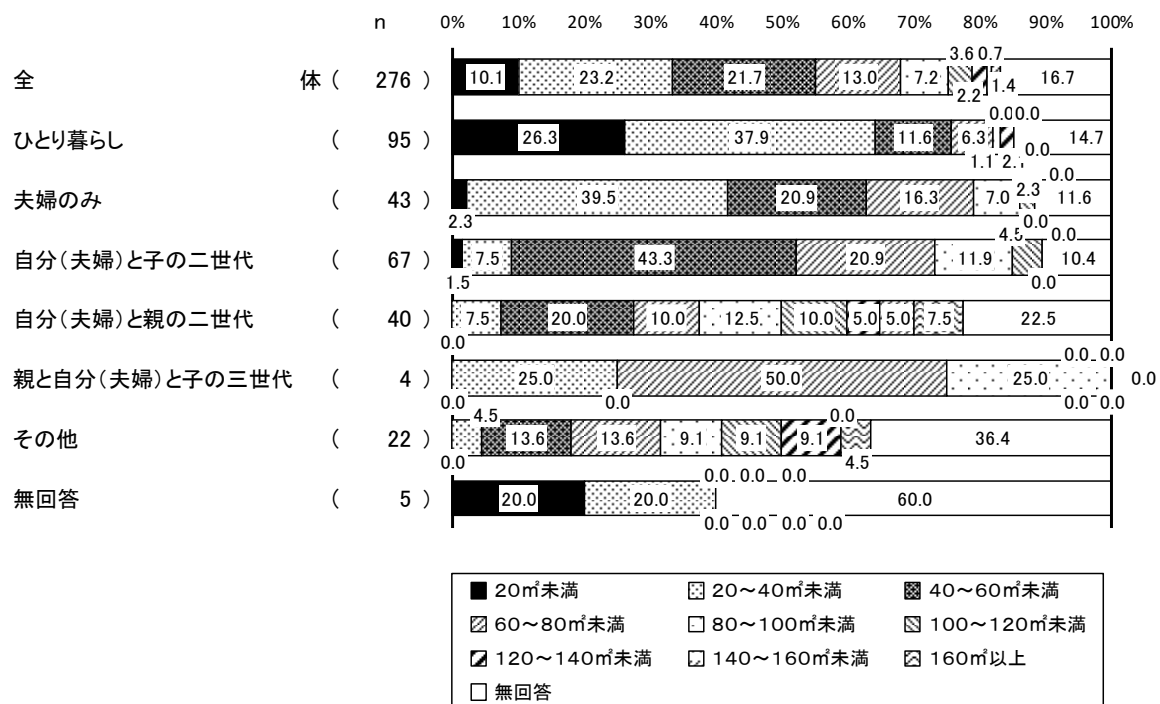
	件数	%
20㎡未満	28	10.1
20～40㎡未満	64	23.2
40～60㎡未満	60	21.7
60～80㎡未満	36	13.0
80～100㎡未満	20	7.2
100～120㎡未満	10	3.6
120～140㎡未満	6	2.2
140～160㎡未満	2	0.7
160㎡以上	4	1.4
無回答	46	16.7
調査数	276	100.0



全体では「20～40㎡未満」(23.2%) が2割強で最も高く、次いで「40～60㎡未満」(21.7%) が2割強となっている。(図表 1-3-98)

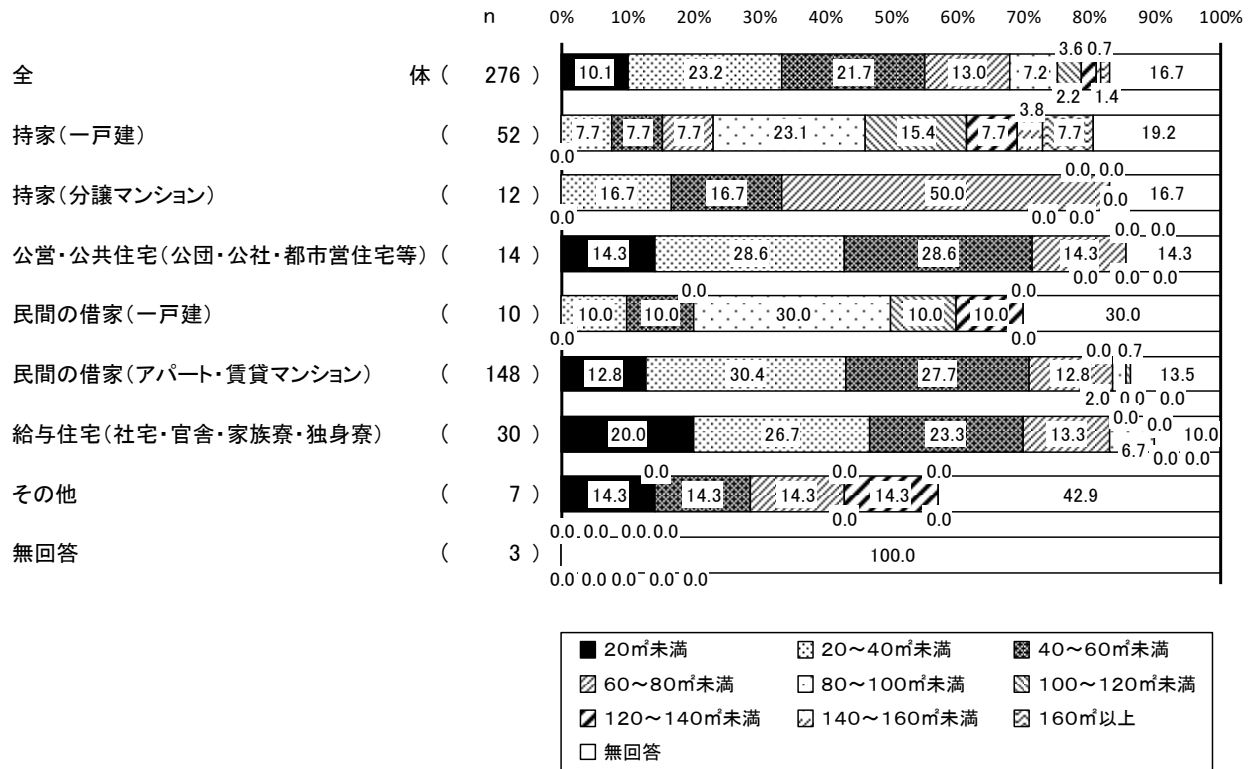
転入前の世帯構成別にみると、「20～40㎡未満」は夫婦のみ（39.5%）で約4割と最も高く、「40～60㎡未満」は自分（夫婦）と子の二世帯（43.3%）で4割強と最も高くなっている。（図表1-3-99）

<図表1-3-99> 転入前の住宅の床面積／転入前の世帯構成別



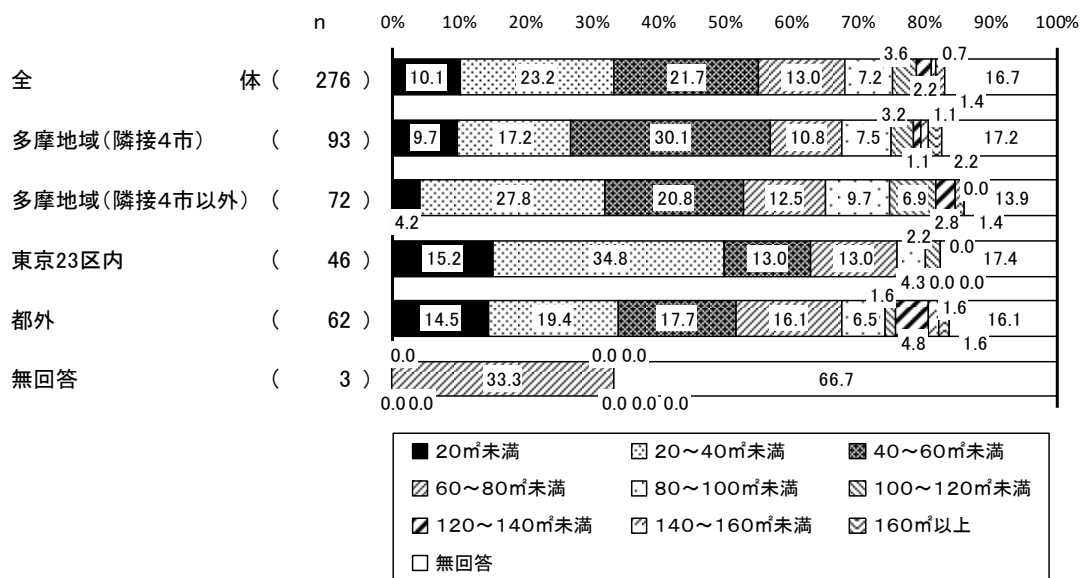
転入前の住居所有状況別にみると、「20～40㎡未満」は民間の借家（アパート・賃貸マンション）（30.4%）で約3割と最も高く、「40～60㎡未満」も民間の借家（アパート・賃貸マンション）（27.7%）で3割弱と最も高くなっている。（図表1-3-100）

<図表1-3-100> 転入前の住宅の床面積／転入前の住居所有状況別



転入前の居住地域別にみると、「20～40㎡未満」は東京23区内(34.8%)で3割台半ばと最も高く、「40～60㎡未満」は多摩地域(隣接4市)(30.1%)で約3割と最も高くなっている。(図表1-3-101)

<図表1-3-101> 転入前の住宅の床面積／転入前の居住地域別





問 26 転入前と後での住居の床面積は次のどれにあたりますか。(それぞれ1つ選択)

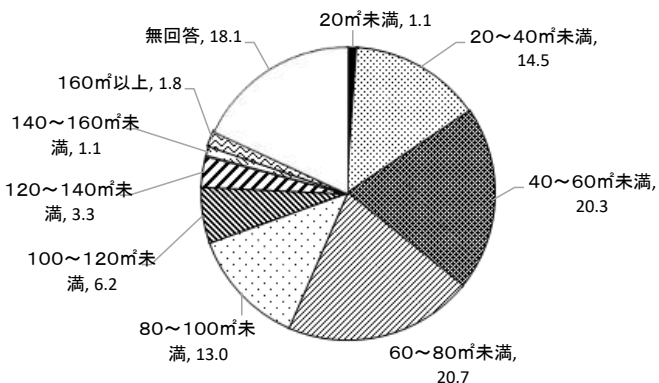
② 転入後の住宅の床面積

<図表 1-3-102> 転入後の住宅の床面積 / 全体

(n=276)

(%)

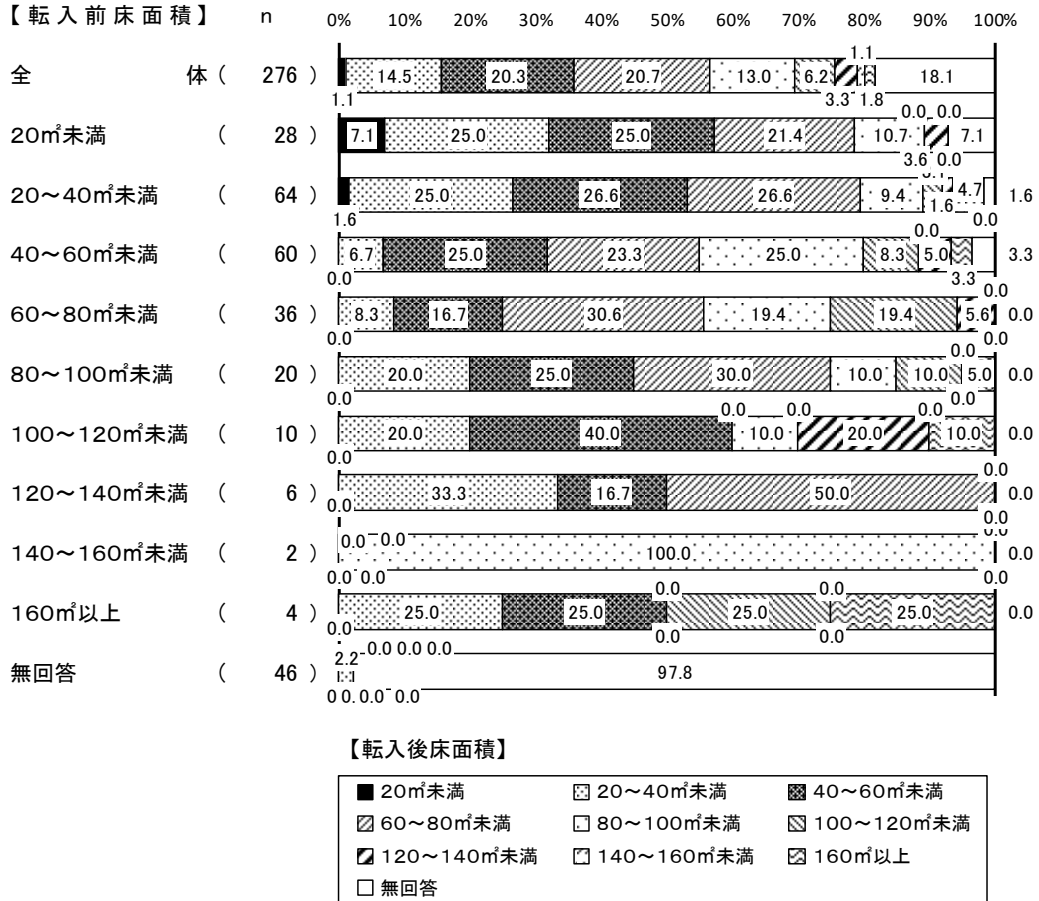
	件数	%
20㎡未満	3	1.1
20～40㎡未満	40	14.5
40～60㎡未満	56	20.3
60～80㎡未満	57	20.7
80～100㎡未満	36	13.0
100～120㎡未満	17	6.2
120～140㎡未満	9	3.3
140～160㎡未満	3	1.1
160㎡以上	5	1.8
無回答	50	18.1
調査数	276	100.0



全体では「60～80㎡未満」(20.7%) が約2割で最も高く、次いで「40～60㎡未満」(20.3%) が約2割となっている。(図表 1-3-102)

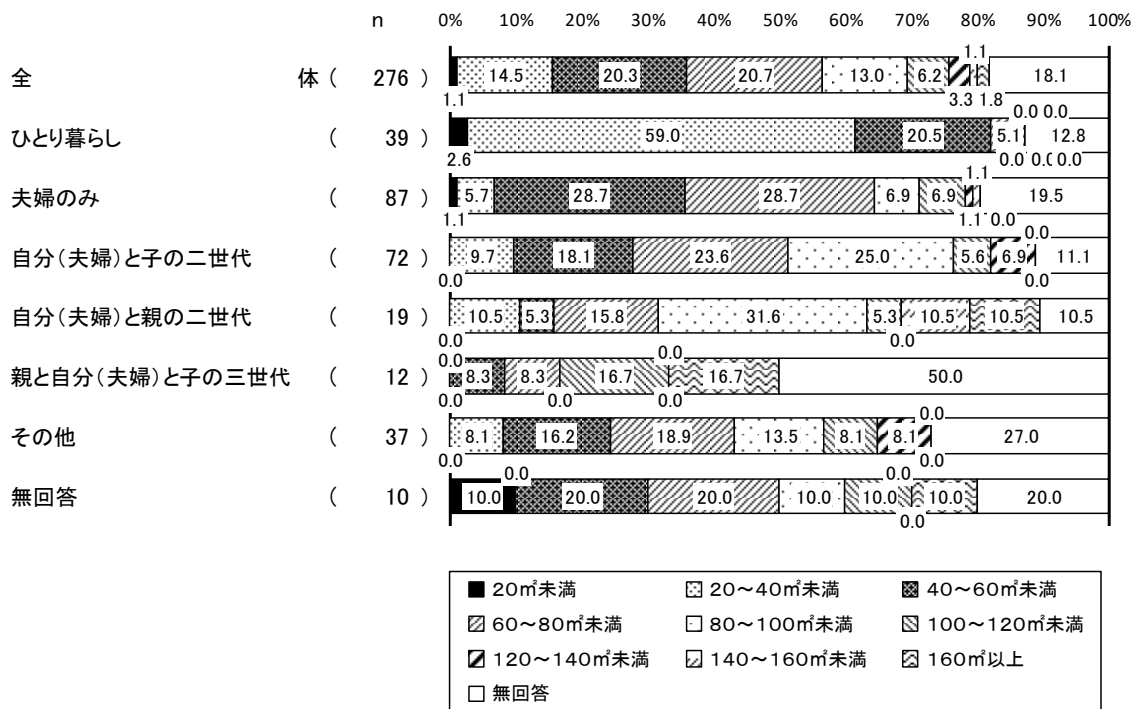
転入前の住宅の床面積別にみると、転入後の床面積「60～80㎡未満」は転入前の床面積「60～80㎡未満」(30.6%)で約3割と最も高く、転入後の床面積「40～60㎡未満」は転入前の床面積「20～40㎡未満」(26.6%)で3割弱と最も高くなっている。(図表1-3-103)

<図表1-3-103> 転入後の住宅の床面積／転入前の住宅の床面積別



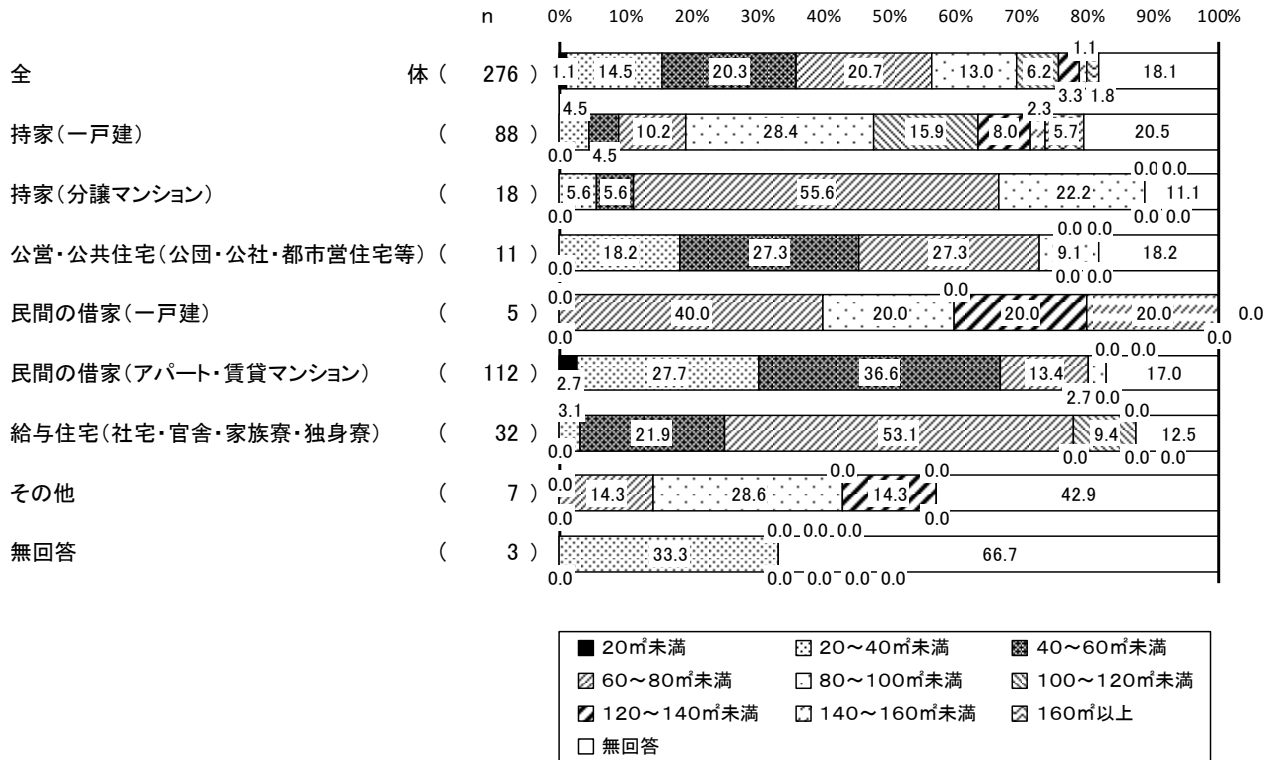
転入後の世帯構成別にみると、「60～80㎡未満」は夫婦のみ（28.7%）で3割弱と最も高く、「40～60㎡未満」も夫婦のみ（28.7%）で3割弱と最も高くなっている。（図表1-3-104）

＜図表1-3-104＞転入後の住宅の床面積／転入後の世帯構成別



転入後の住居所有状況別にみると、「60～80㎡未満」は給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）（53.1%）で5割強と最も高く、「40～60㎡未満」は民間の借家（アパート・賃貸マンション）（36.6%）で4割弱と最も高くなっている。（図表1-3-105）

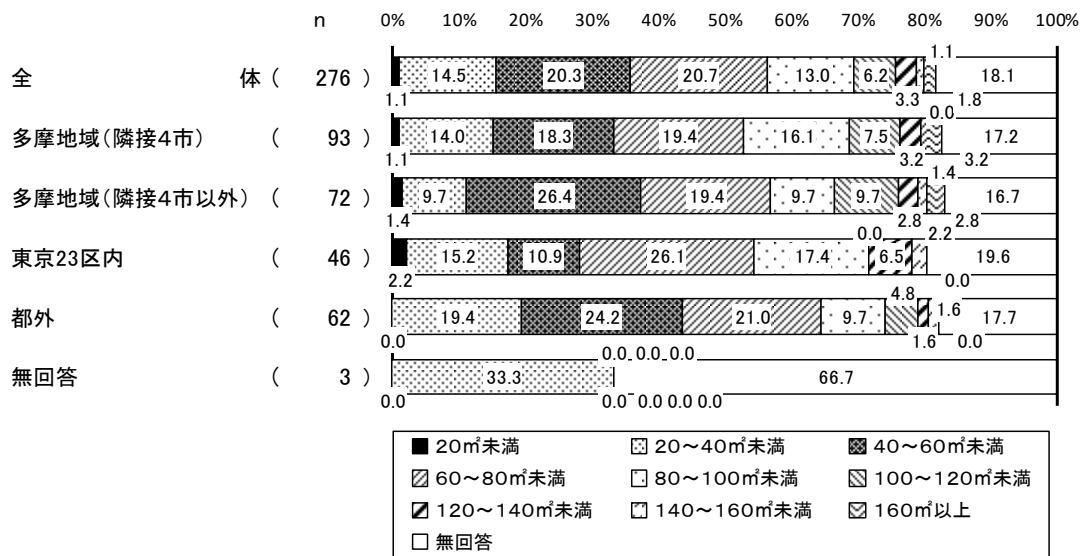
<図表1-3-105> 転入後の住宅の床面積／転入後の住居所有状況別



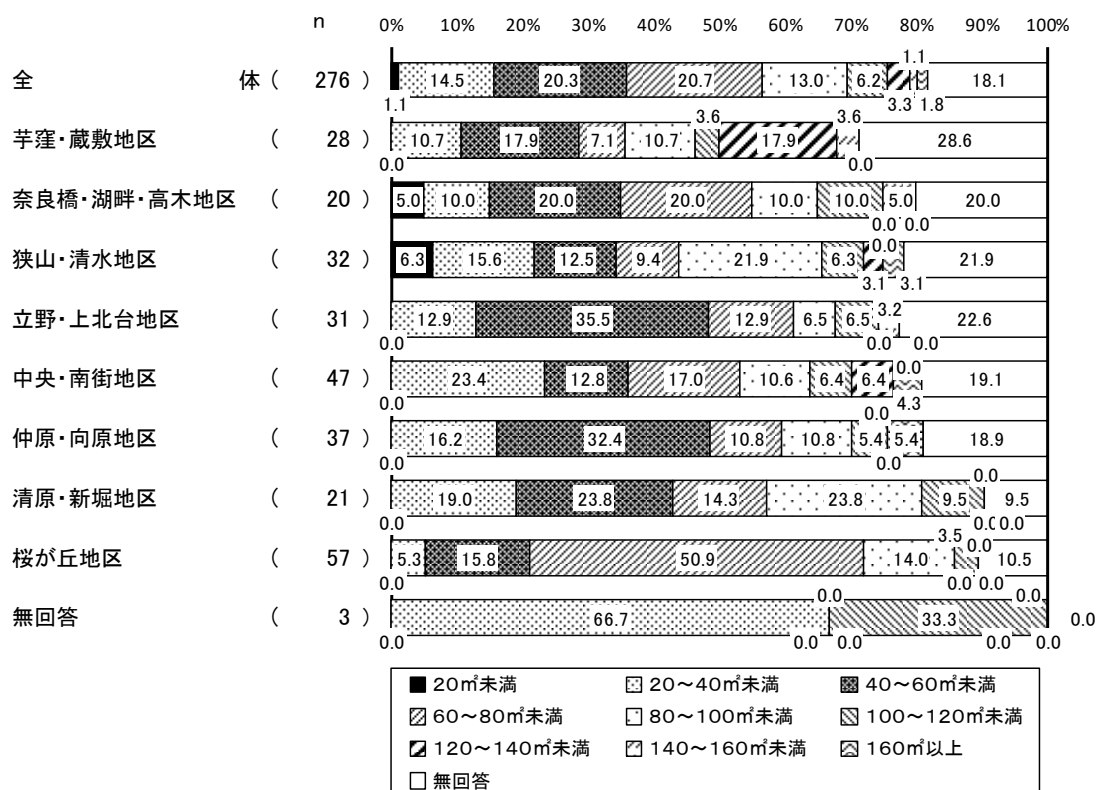
転入前の居住地域別にみると、「60～80㎡未満」は東京23区内（26.1%）で3割弱と最も高く、「40～60㎡未満」は多摩地域（隣接4市以外）（26.4%）で3割弱と最も高くなっている。（図表1-3-106）

転入後の居住地域別にみると、「60～80㎡未満」は桜が丘地区（50.9%）で約5割と最も高く、「40～60㎡未満」は立野・上北台地区（35.5%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表1-3-107）

＜図表1-3-106＞転入後の住宅の床面積／転入前の居住地域別



＜図表1-3-107＞転入後の住宅の床面積／転入後の居住地域別



### (13) 自由回答

問 27 東大和市では当市の魅力をより高め、広めていきたいと考えております。あなたが東大和市に住んで感じたこと、以前住んでいた所との違い、東大和市が選ばれるために必要な取り組みなどをお書きください。

東大和市に関する意見・要望等を聞いたところ、179 人から延べ 453 件の貴重な意見をいただいた。下記に分類し一覧を示す。(図表 1 - 3 - 108)

<図表 1 - 3 - 108> 自由回答集計結果

項目	件数
満足している・住みやすい	57
交通	54
自然環境	37
買い物	35
子育て	35
道路・下水道	30
公園	25
図書館など公共施設	25
ごみ	25
行政サービス	24
治安	16
住環境	15
医療	12
町の雰囲気	10
駐車場	10
防災	8
飲食店	8
住宅	7
住民・コミュニティ	6
教育	6
福祉	3
物価	1
その他	4

## 自由回答概要版

下記に各項目毎の代表的な意見・要望を概要版として示す。(図表1-3-109)

＜図表1-3-109＞代表的な意見・要望

<b>満足している・住みやすい 【計 57件】</b>
徒歩圏内で公園、スーパー、駅があり、住みやすい。
住環境（買い物・医療・自然）は良いと思う。
私が住んでいる中央は市役所、産婦人科、小児科などがすごく近いのでとても住みやすい。
<b>交通 【計 54件】</b>
ちょこバスの時間を増やしてほしい。外、内回りの路線で東大和市駅まで行ってほしい。
モノレールの延伸を望む。
モノレールの終電がもう少し遅いと助かる。
<b>自然環境 【計 37件】</b>
農地や緑地を活かした自然と共生する都市づくりを推進することで魅力を高める必要があると思う。
自然な環境のため、住みやすくて良い。花粉症も以前住んでいた（所沢市）より少なく、楽になってきたので良かった。
自然環境がとてもよい。利便性より自然を愛する人をねらって魅力を広めると良いのではないと思う。
<b>買い物 【計 35件】</b>
大きなショッピングモールを設置してほしい。
私が住んでいる清原は広い空き地が多いです。大型スーパーや施設等が作れる位の広さなので有効活用してほしい。
スーパーや買物が出来る場所が増えたら良いと思う。
<b>子育て 【計 35件】</b>
子育てしやすいと聞き転入した。近頃は同じように転入した方が多いせいか、保育園への希望に沿った入園が難しいと感じる。保育園環境（入りやすさ）を改善してほしい。
子育て支援（特に医療費の助成（中学卒業までにしてほしい）や補助金など）に力を入れてほしい。保育園の数は以前住んでいたところより多く、共働きする世代には良かったと思う。
どの地域でも子育ての難しさが叫ばれている中、同僚の評判だと東大和市はとても良い。都心へのアクセスもよく、子育てのしやすいベッドタウンとしての魅力を売りにするのが良いと感じた。
<b>道路・下水道 【計 30件】</b>
自然に恵まれている等快適な環境だが、道路の補修等が少し遅れているのが残念である。
仕事帰りの夜道が、とても暗くて、怖い。外灯を、増やしてほしい。
道路、歩道ががたがたで、ベビーカーを押していると危ない。市役所の歩道も保健センターまで段差があったりで大変である。
<b>公園 【計 25件】</b>
公園の遊具が古く、小さい子が遊べるものが少ない。
緑多く、空が広いと感じた。地域ごとに公園ひろばがあり、とても良い。
緑が多く、道も広いのは良いが、公園の環境があまりよくないと感じた。遊具が少なく、砂場にはゴミが落ちていたり…子育てしやすい街と言うからにはそういう所にも気をかけてほしい。

<b>図書館など公共施設 【計 25件】</b>
子どもたちが、たくさんの本に触れることができる環境、お年寄が役所に行くのに苦勞しない環境にしてほしい。郷土博物館や市民プールがあるのはとても素晴らしいと思う。
市民体育館や大きめの公園などが近くにあると嬉しい。
児童遊園の遊具の更新や、市民プールの機能維持等、子供ファーストな市政だと子連れに選ばれると思う。
<b>ごみ 【計 25件】</b>
ゴミ袋が高い。
ゴミの分別（有料の袋など）がちゃんとしている。以前住んでいた所はまだ有料の袋ではなく、ゴミの出し方が汚い人が多かった。
プラスチックゴミが無料になったら良いと思う。以前住んでいた立川市、国分寺市は無料だった。
<b>行政サービス 【計 24件】</b>
市民農園が減ってきているので、もっと広めてほしいのと、スペースも広くしてほしいです。
健康保険その他の税金が高いと思う。
東大和市民だけが得するような制度。例えば市民プールなど市内に住んでいる方は～円引きなど東大和市民を優遇する取り組みを増やしてほしい。
<b>治安 【計 16件】</b>
場所によっては、若者のたむろなど少し治安が悪い点が気になる。
毎夜のようにうるさいバイクが走り来たり、たまに深夜にさわいでいる酔っ払いがいたり、治安が良くないのではと感じたことがある。
夜間、バイクの騒音が気になる。
<b>住環境 【計 15件】</b>
東京のなかでも他の地域より治安が良いイメージがあり選んだ。大通りから中に入ると静かで住みやすい。
とても静かで良い。
高齢者の方が多く、買い物や公共交通機関の利用に苦勞している人がいる。環境はとても良いが、空き家が目立つようになり治安悪化が心配である。
<b>医療 【計 12件】</b>
医療関係、特に不妊治療関係の助成を更に充実してもらえたら良いと思う。
近くに公園など自然が多く、病院が多い。
家の近くにスーパーや医療機関があると有難い。
<b>町の雰囲気 【計 10件】</b>
とても落ちつきがあるが駅前のにぎわいがなく、夜など不安である。
東大和市駅、玉川上水駅両方とも駅前に活気がなく、買い物などは不便である。
駅前がもう少し充実するとよい。ゆっくりできるスペース（カフェ、休憩所等）があるのは、子育て世代にもお年寄りにも若手層にとってもプラスだと思う。
<b>駐車場 【計 10件】</b>
東大和市駅の駐輪場が高いと思う。（8hで100円等）現在は仕事の度に200円かかるので、負担を感じる。駐車場は（12hで500円等）安いと思う。
駐輪場が少ない（定期にしたいが、毎回、満車状態）。
玉川上水駅の駐輪場が1ヶ所を除き全て定期専用になってしまい困っている。
<b>防災 【計 8件】</b>
平成30年西日本豪雨災害、平成27年9月の関東・東北豪雨など、水害対策が気になる。大雨が降り続いて避難する場所を明らかにしてほしい。豪雨災害は決して他人事ではない身近なものだと感じる。
防災無線がききとれなかった時のためにテレホンサービスだけではなくHPなどで見られるよう、可視化された情報があるといい。（あるのかもしれないが、検索してヒットしなかった）
小学校の体育館の老朽化が気になる。避難場所になっているので早めの対策が必要だと思う。



<b>飲食店 【計 8件】</b>
駅前飲食店等が少なく、人が集まる環境がないように感じる。
駅前にもっとレストランや飲み屋があれば良いと思う。
スターバックスなどのカフェが増えると嬉しい。
<b>住宅 【計 7件】</b>
今後、東大和市で、持家を持ちたいと考えていても、主人の仕事が都心なため、あまり駅から遠い物件は考えられません。東大和市駅近くに新築物件などが増えると嬉しい。
転入してまだ1年の為、あまりまだ良くわからないが、家を建てる時は、東大和市にしようかと考えている。ただし、駅までの距離があるのが悩みである。
家賃が安い。
<b>住民・コミュニティ 【計 6件】</b>
ワンオペで頑張る母親が、追いつめられないような子育てのしやすい市になるよう、同じように頑張る母・父が気軽に遊びに行けるスポットが増えると良いと思う。ただ行ける場所ではなく、保育士さん等が積極的に話しかけてくれるような、そんな場がほしい。
人口減少しても、それはそれでありきり、明るい町に、地域の交流がより充実した町になればいいのではと思う。都会の中（東京都）にも、地方のような交流重視の町があってもいいのではないか。
空き家活用。子どもや親や若い人たちが集まれる場所をつくってほしい。
<b>教育 【計 6件】</b>
特に学校教育環境については教師ファーストになっていると言わざるを得ず大変残念な思いをしている。このまま公立の中学校に通わせるのに不安を感じる。
23区に比べると学力が心配である。各学校で努力もしていると思うが、学力の底上げができれば子育て世帯も安心してその土地に根づくと思う。
小・中・高・大学生と東大和市で暮らしていたが、（大学以外は公立）学力支えんに対する取り組みが良いと思えなかった。公立の学校のみである程度の学力を皆つけられるようにしてほしい。放課後や、休日に学習できる施設がほしかった。
<b>福祉 【計 3件】</b>
中負担、中福祉を掲げる立川市より、ほぼ全ての福祉支出が低いような気がする。
医療・福祉、子育て環境について、分かりやすくしてほしい。
病児保育が少なく、遠く、仕事してる母としては困る。病保が少ないので予約を取るのも大変で、最低でも市内3ヶ所はほしい。
<b>物価 【計 1件】</b>
モノレール、ゴミ袋代等物価が高く感じる。
<b>その他 【計 4件】</b>
東大和市に住んでいると言っても東京？埼玉？と言われることが多かった。
転入して感じるのは、今風に言うと「民度」が低く感じる。タバコの吸いぐらを平気で捨てたり、子供のことをすごいけんまくで起こっている人を見かけたことがある。
人口減少社会において、若年層を奪い合う方策は、単に課題の先送りに過ぎない。本市単独での“魅力”云々ではなく、近隣市との合併を含む、広域的・永続的に行政が機能を果たせる将来ビジョンを展開してほしい。



## Ⅱ 調査結果

### (Ⅱ) 転出者



# 1. あなたご自身について

## (1) 性別

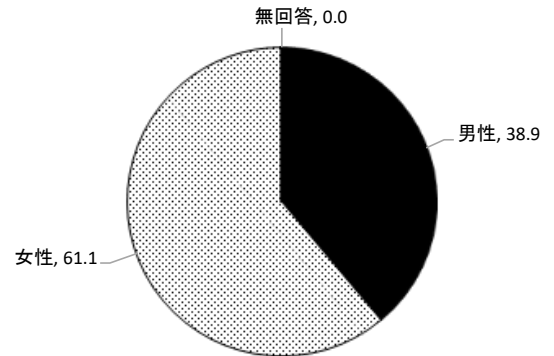
問1 あなたの性別は、どちらですか。

<図表2-1-1>性別/全体

(n=239)

(%)

	件数	%
男性	93	38.9
女性	146	61.1
無回答	0	0.0
調査数	239	100.0



## (2) 年齢

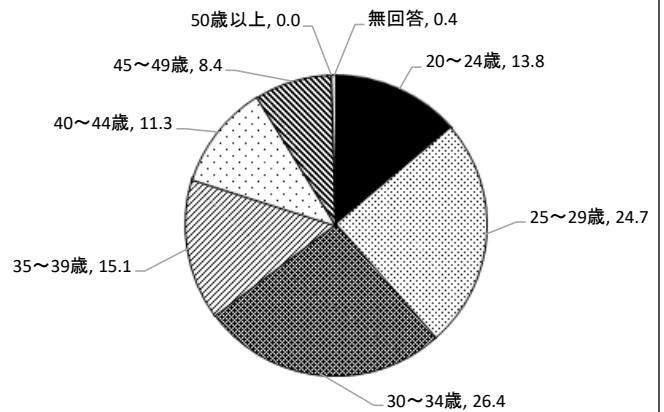
問2 東大和市から転出したときのあなたの年齢は、次のうちどれですか。

<図表2-1-2>年齢/全体

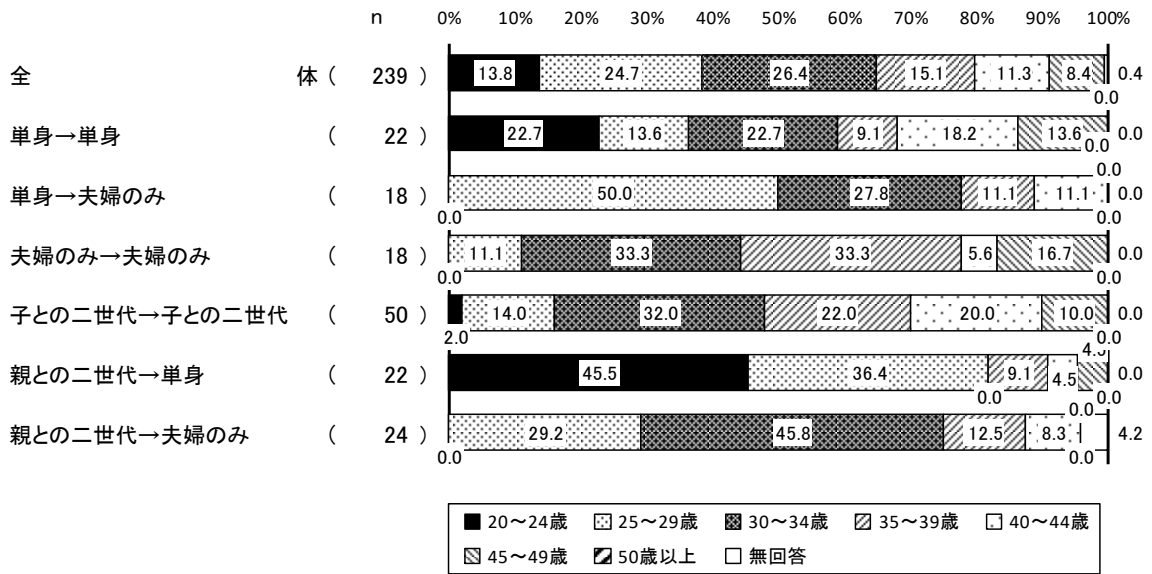
(n=239)

(%)

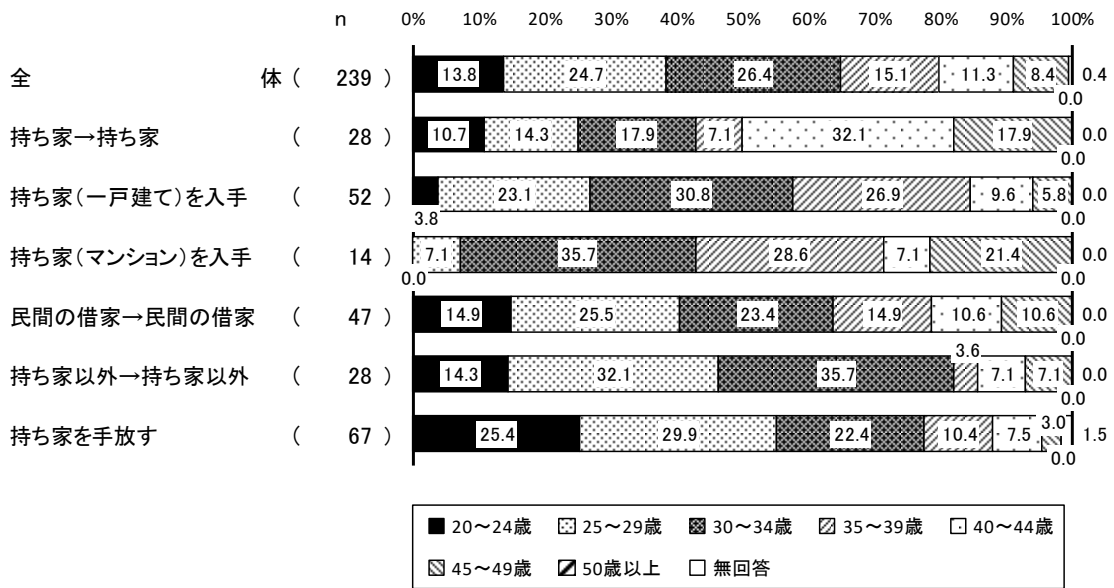
	件数	%
20~24歳	33	13.8
25~29歳	59	24.7
30~34歳	63	26.4
35~39歳	36	15.1
40~44歳	27	11.3
45~49歳	20	8.4
50歳以上	0	0.0
無回答	1	0.4
調査数	239	100.0



<図表 2-1-3> 年齢/世帯構成 転出前→転出後別



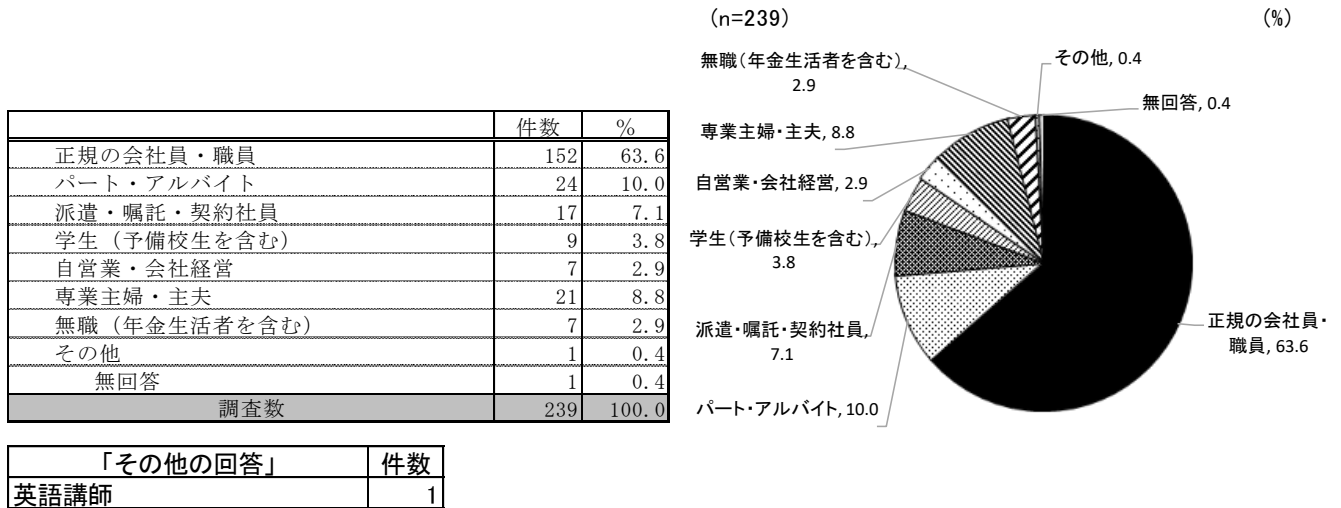
<図表 2-1-4> 年齢/住居区分 転出前→転出後別



### (3) 職業

問3 東大和市から転出したときのあなたのご職業は、次のうちどれですか。

<図表2-1-5> 職業/全体

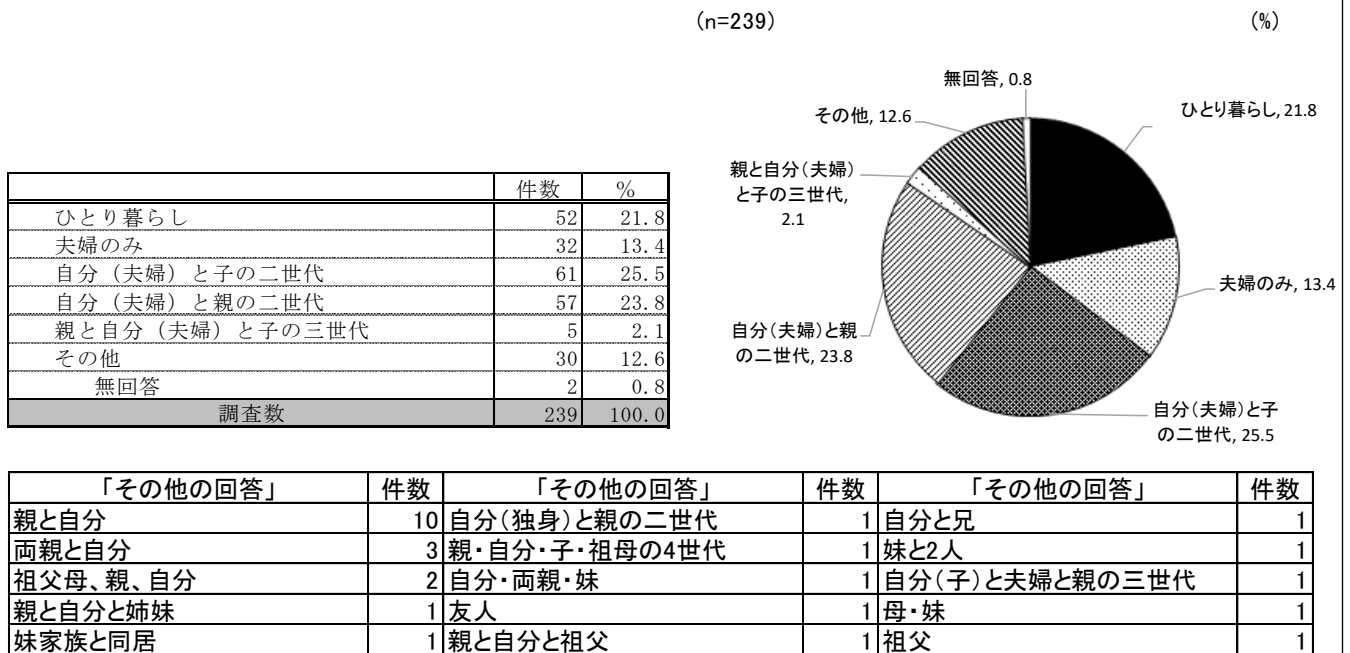


### (4) 世帯構成

問4 東大和市から転出した前後の世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。

#### ① 転出前の世帯構成

<図表2-1-6> 転出前の世帯構成/全体



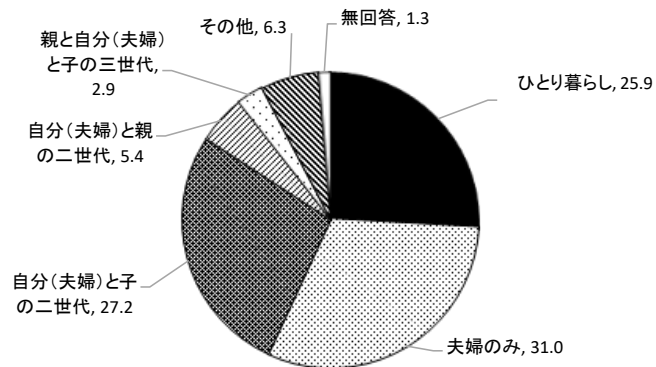
問4 東大和市から転出した前後の世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。

② 転出後の世帯構成

<図表2-1-7>② 転出後の世帯構成／全体

(n=239) (%)

	件数	%
ひとり暮らし	62	25.9
夫婦のみ	74	31.0
自分(夫婦)と子の二世帯	65	27.2
自分(夫婦)と親の二世帯	13	5.4
親と自分(夫婦)と子の三世帯	7	2.9
その他	15	6.3
無回答	3	1.3
調査数	239	100.0



「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数
同棲	5	親と自分と祖母の三世帯	1
親と自分	3	母・妹	1
自分・両親・妹	1	親と祖母	1
友人	1		
兄と	1		

(5) 同居している子どもの人数

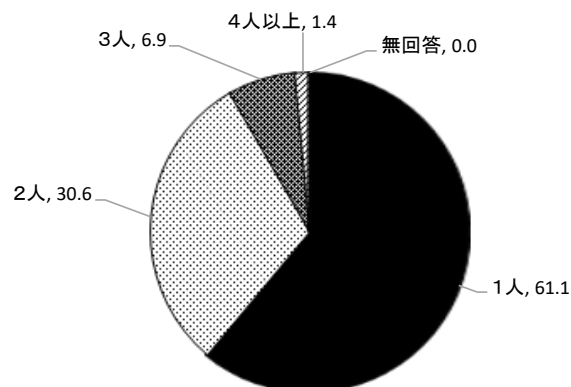
【問4 転出後の世帯構成で「3 自分(夫婦)と子の二世帯」または「5 親と自分(夫婦)と子の三世帯」とお答えの方に】

問5 現在、あなたと同居しているお子さんは何人いますか。(1つを選択)

<図表2-1-8>同居している子どもの人数／全体

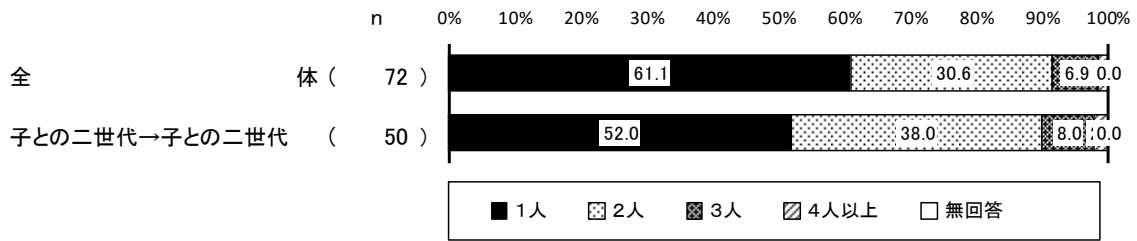
(n=72) (%)

	件数	%
1人	44	61.1
2人	22	30.6
3人	5	6.9
4人以上	1	1.4
無回答	0	0.0
調査数	72	100.0





<図表2-1-9>同居している子どもの人数/世帯構成 転出前→転出後別

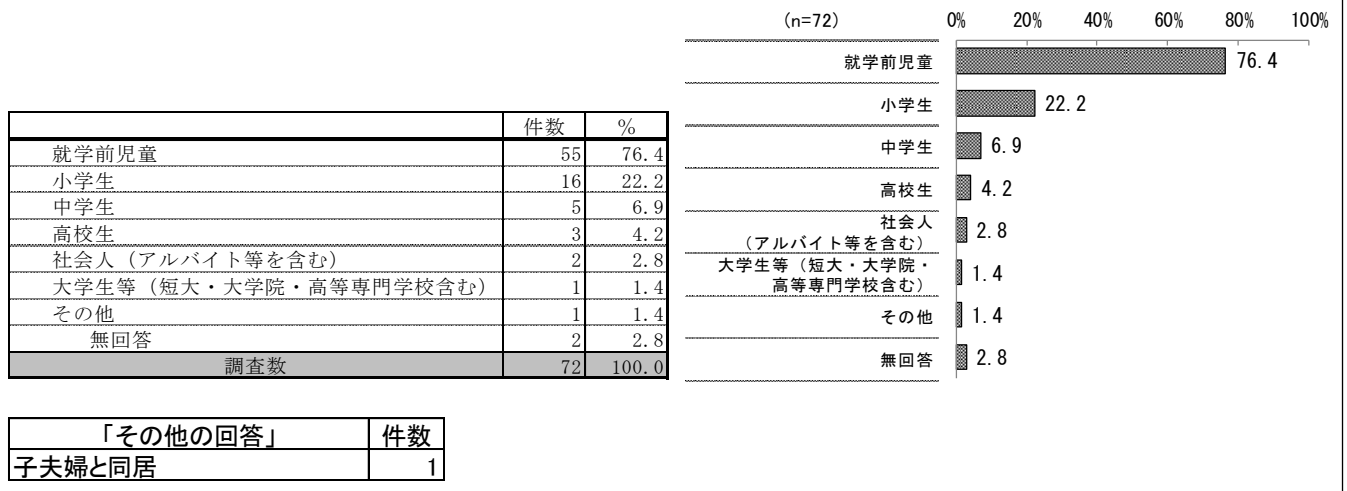


(6) 子どもについて

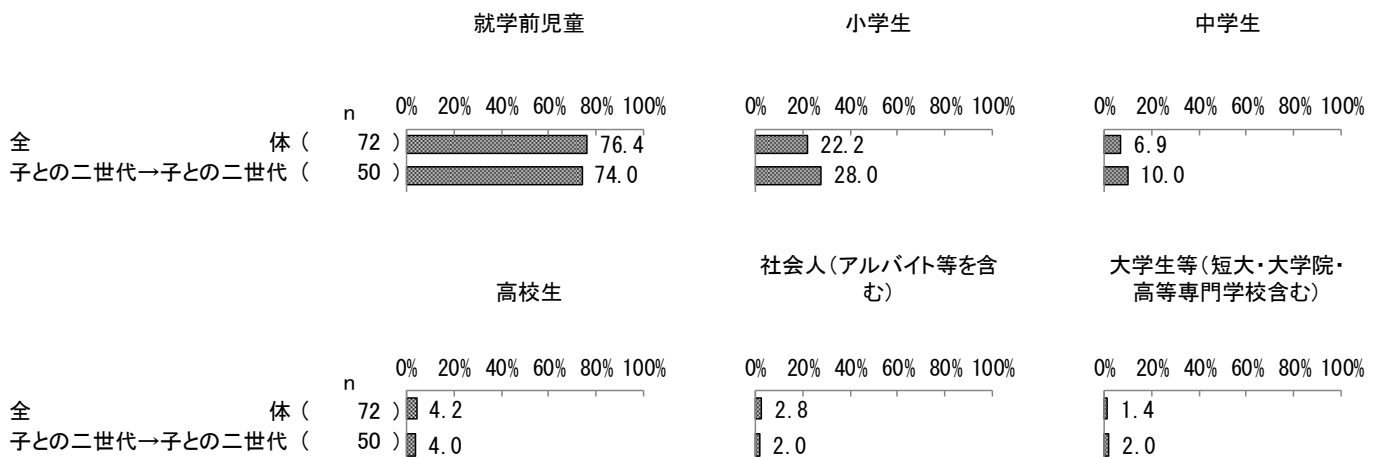
【問4 転出後の世帯構成で「3 自分(夫婦)と子の二世帯」または「5 親と自分(夫婦)と子の三世帯」とお答えの方に】

問6 お子さんはどちらにあてはまりますか。(あてはまるものすべてを選択)

<図表2-1-10>子どもについて/全体



<図表2-1-11>子どもについて/世帯構成 転出前→転出後別



(7) 転出後の居住地

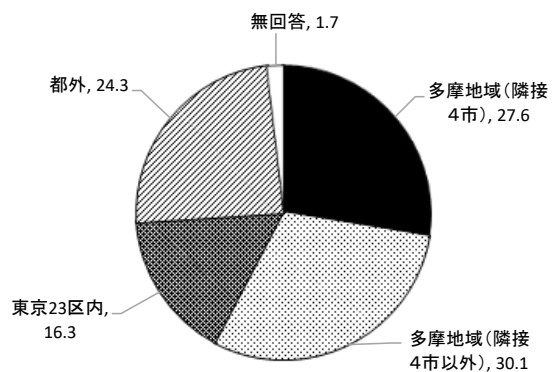
問7 東大和市から転出した直後は、どちらにお住まいでしたか。

<図表2-1-12> 転出後の居住地／全体

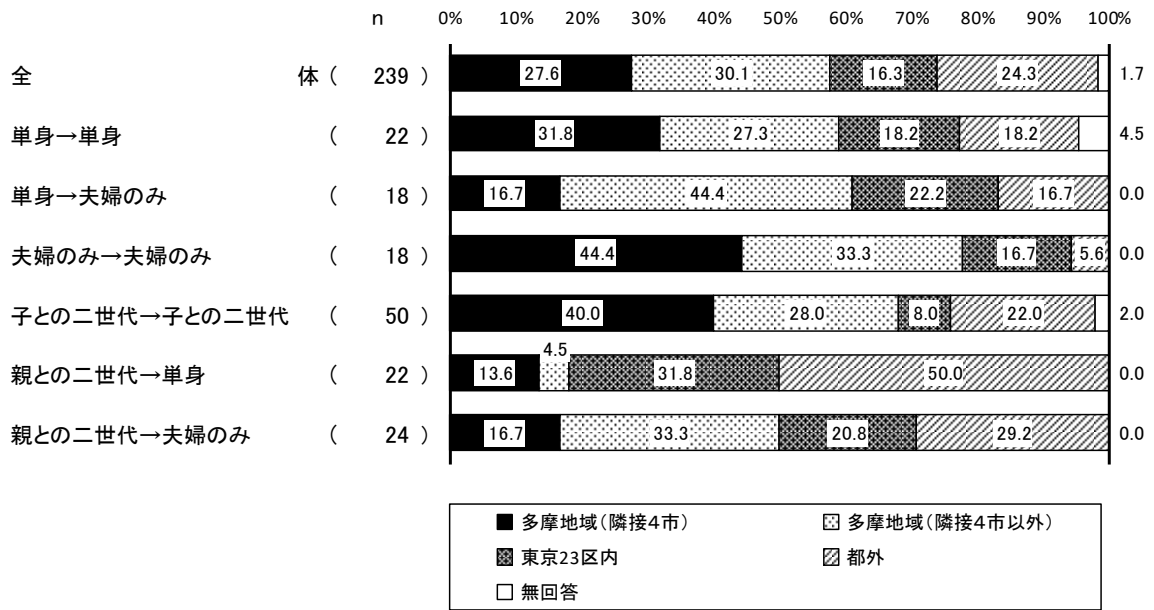
(n=239)

(%)

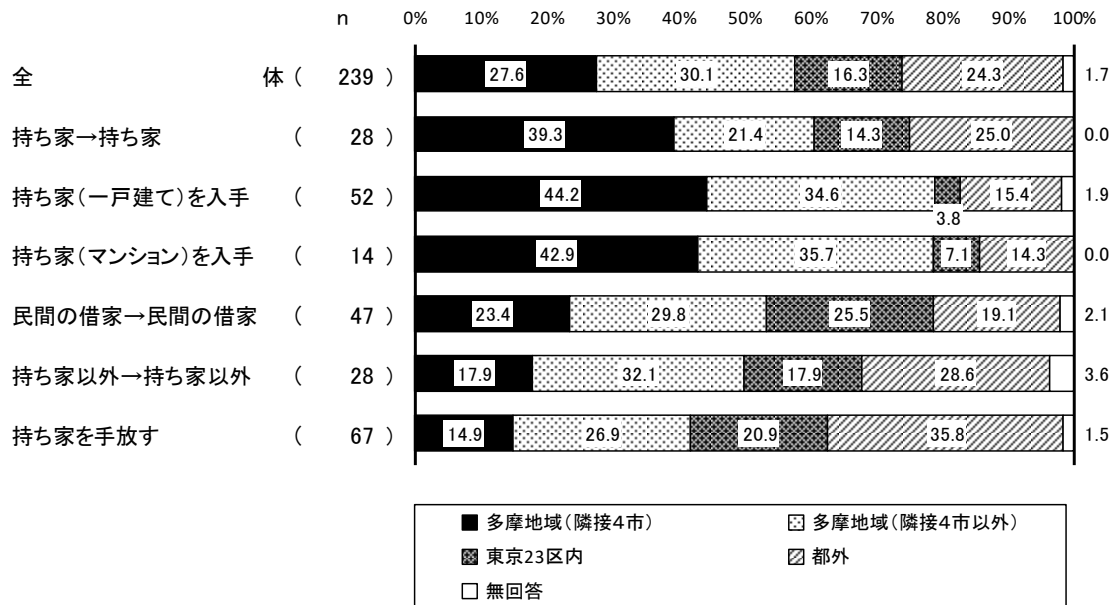
	件数	%
多摩地域 (隣接4市)	66	27.6
多摩地域 (隣接4市以外)	72	30.1
東京23区内	39	16.3
都外	58	24.3
無回答	4	1.7
調査数	239	100.0



<図表 2-1-13> 転出後の居住地/世帯構成 転出前→転出後別



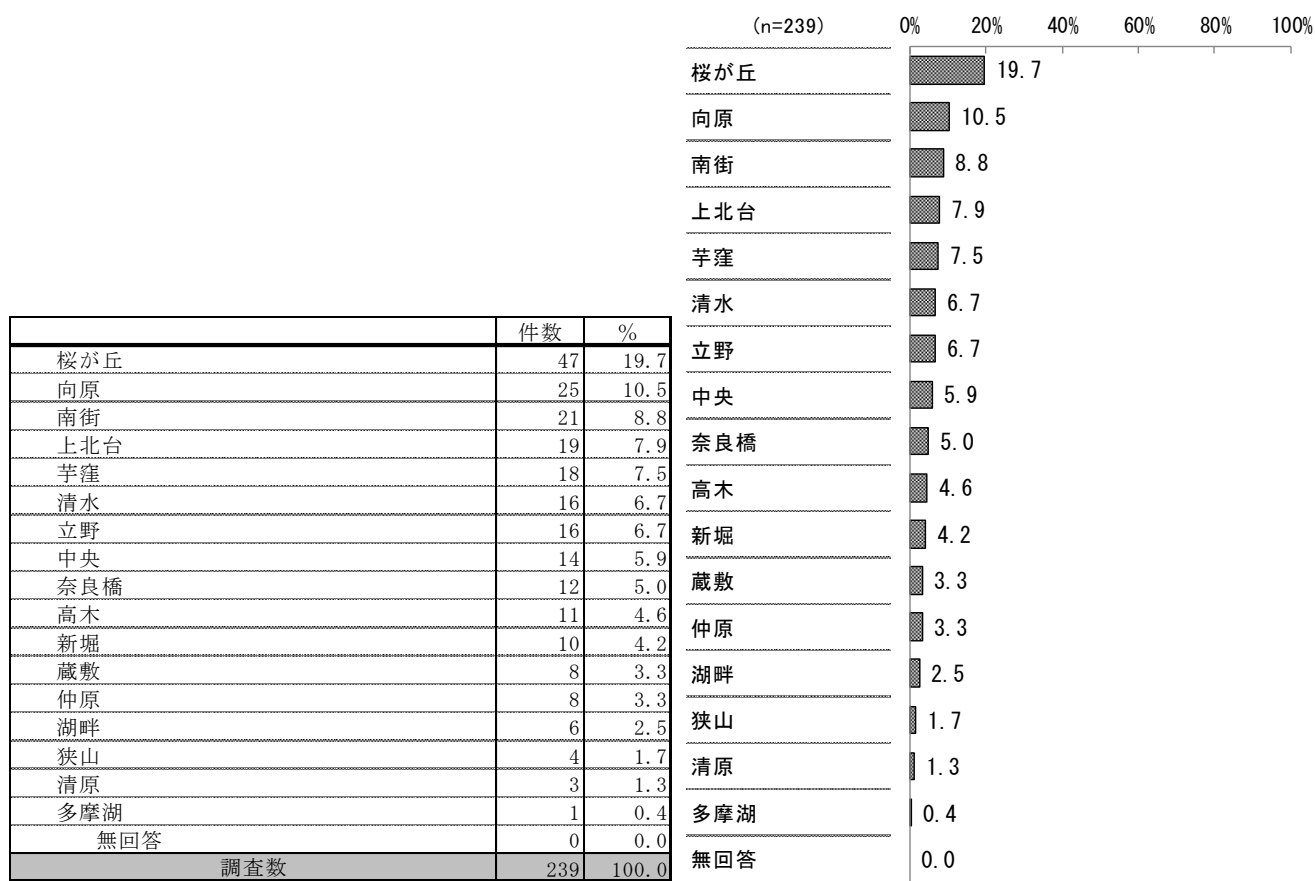
<図表 2-1-14> 転出後の居住地/住居区分 転出前→転出後別



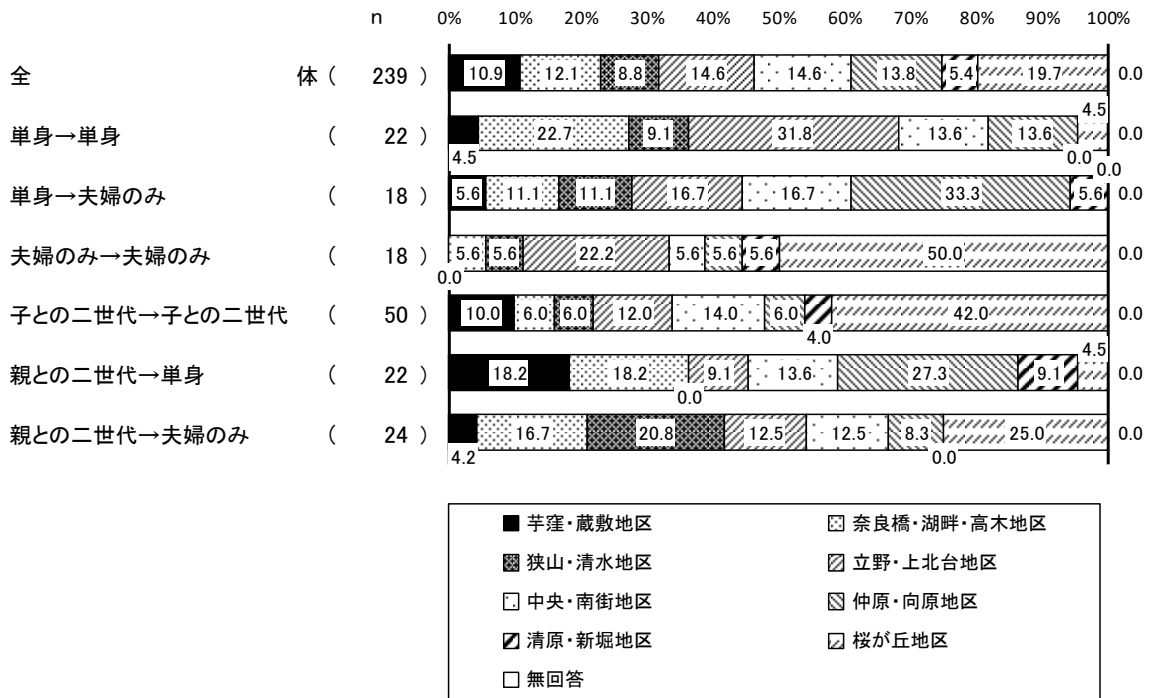
(8) 転出前の居住地

問8 転出する前は、東大和市内のどちらにお住まいでしたか。(1つを選択)

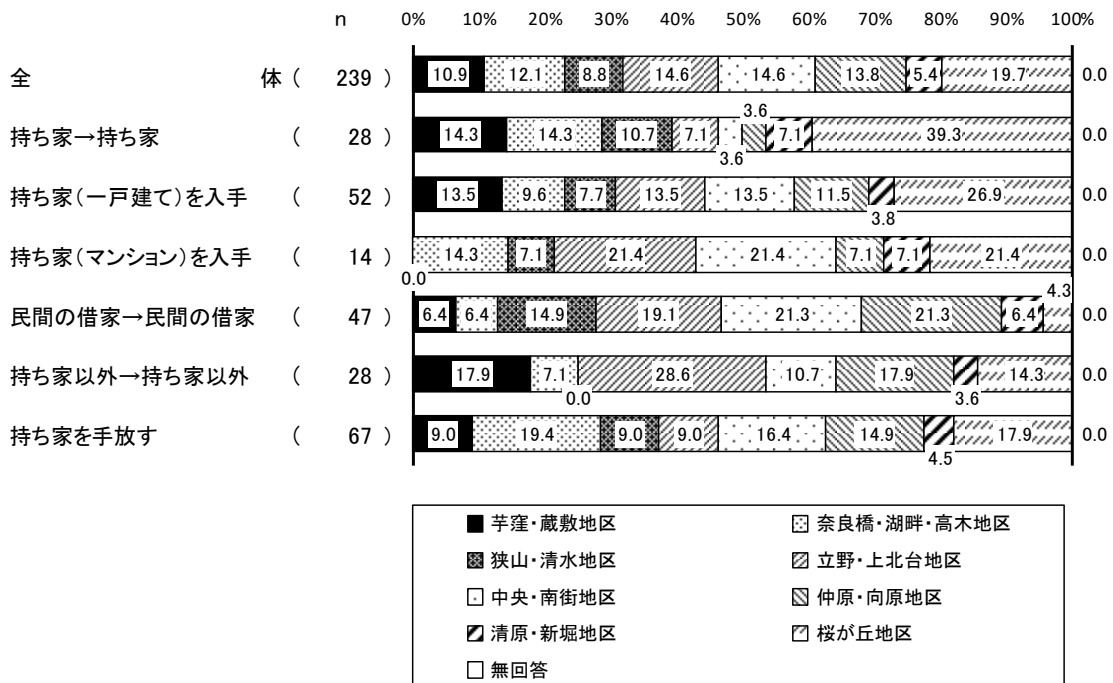
<図表2-1-15> 転出前の居住地／全体



<図表 2-1-16> 転出前の居住地／世帯構成 転出前→転出後別



<図表 2-1-17> 転出前の居住地／住居区分 転出前→転出後別

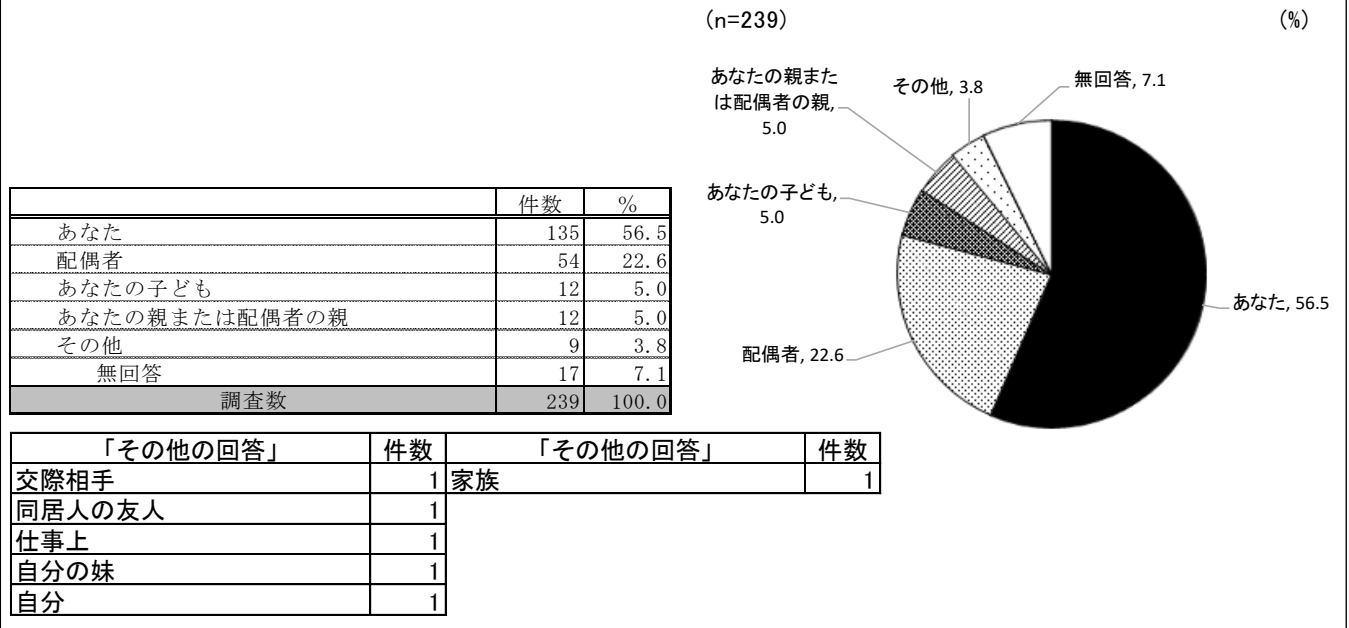


## 2. 転出において、世帯の中で最も大きな要因となった方について

### (1) 東大和市から転出した最も大きな要因となった方

問9 東大和市から転出した最も大きな要因となった方はどなたですか。(1つを選択)

<図表2-2-1>東大和市から転出した最も大きな要因となった方/全体



全体では「あなた」(56.5%)が6割弱で最も高く、次いで「配偶者」(22.6%)が2割強となっている。(図表2-2-1)

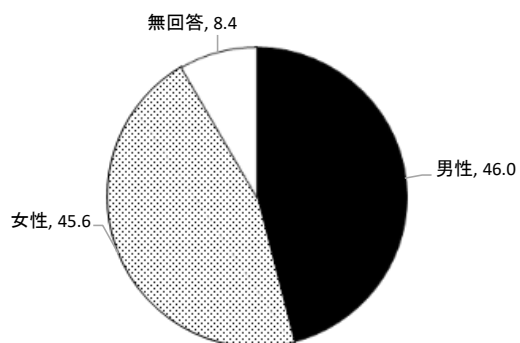
## (2) 最も大きな要因となった方の性別

問10 問9で選択した方の性別はどちらですか。

<図表2-2-2>最も大きな要因となった方の性別/全体

(n=239)

(%)



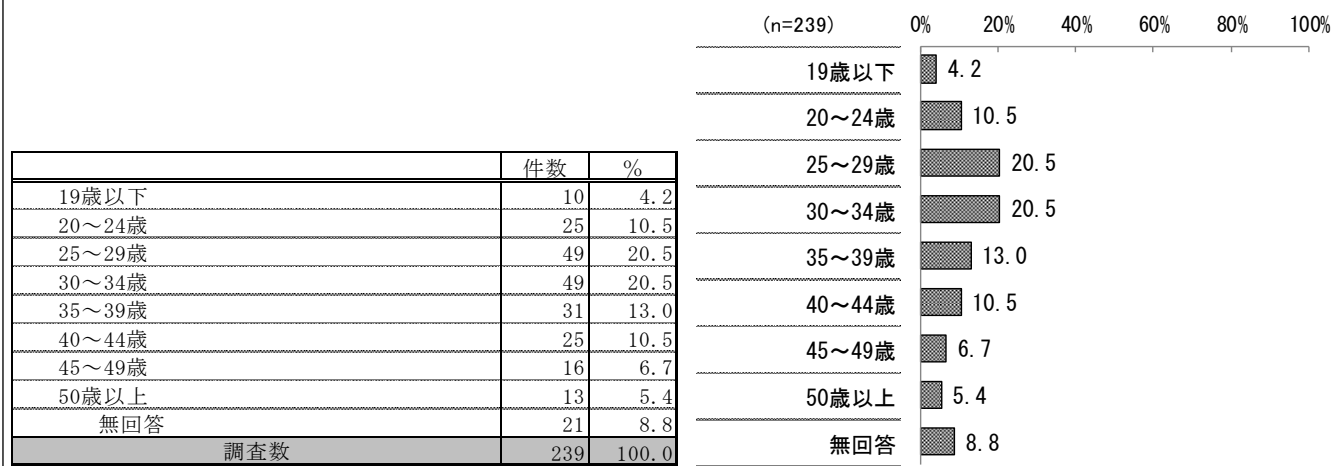
	件数	%
男性	110	46.0
女性	109	45.6
無回答	20	8.4
調査数	239	100.0

全体では『最も大きな要因となった方の性別が「男性」』(46.0%)が5割弱で、『最も大きな要因となった方の性別が「女性」』(45.6%)の4割台半ばより高くなっている。(図表2-2-2)

(3) 最も大きな要因となった方の年齢

問 11 問 9 で選択した方の年齢は、どちらになりますか。(1つを選択)

<図表 2-2-3> 最も大きな要因となった方の年齢 / 全体



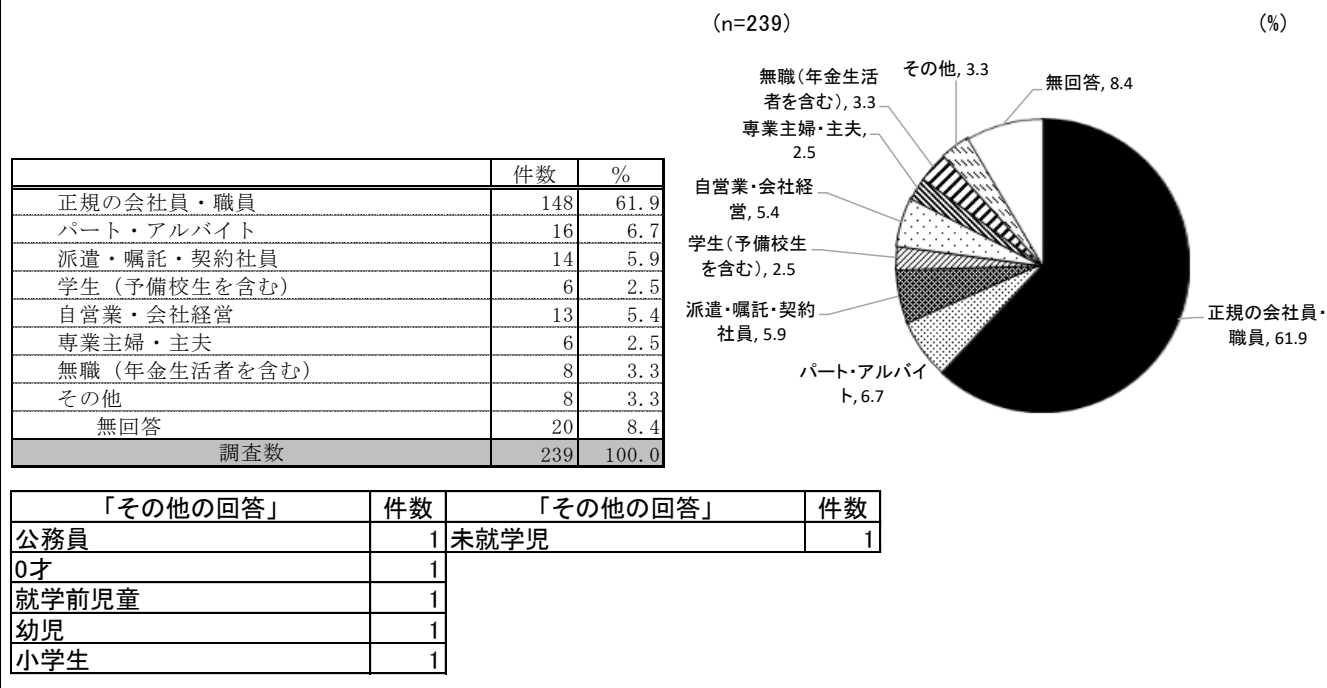
全体では「25~29歳」と「30~34歳」(20.5%)が約2割で最も高く、次いで「35~39歳」(13.0%)が1割強となっている。(図表 2-2-3)



(4) 最も大きな要因となった方の職業

問 12 問9で選択した方の職業はどちらになりますか。(1つを選択)

<図表 2-2-4> 最も大きな要因となった方の職業 / 全体



全体では「正規の会社員・職員」(61.9%)が6割強で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(6.7%)が1割弱となっている。(図表 2-2-4)

(5) 最も大きな要因となった方の東大和市での居住年数

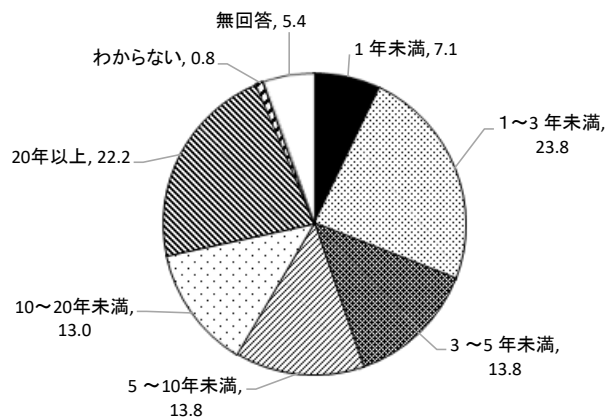
問 13 問9で選択した方は、東大和市に何年お住まいでしたか。(1つを選択)

<図表2-2-5>最も大きな要因となった方の東大和市での居住年数/全体

(n=239)

(%)

	件数	%
1年未満	17	7.1
1～3年未満	57	23.8
3～5年未満	33	13.8
5～10年未満	33	13.8
10～20年未満	31	13.0
20年以上	53	22.2
わからない	2	0.8
無回答	13	5.4
調査数	239	100.0



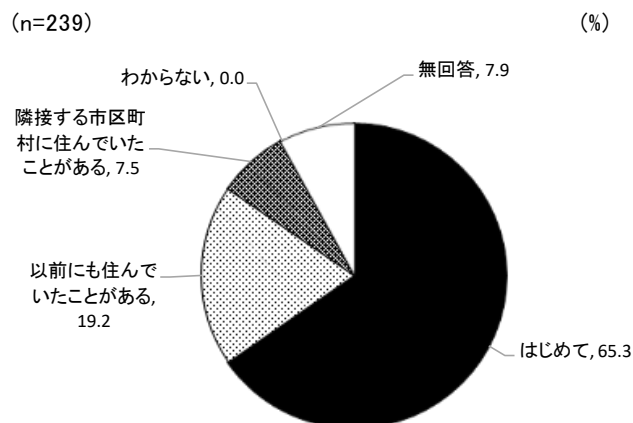
全体では「1～3年未満」(23.8%)が2割強で最も高く、次いで「20年以上」(22.2%)が2割強となっている。(図表2-2-5)

(6) 要因となった方が以前に現市区町村に住んだことがあるか

問 14 問9で選択した方は、以前にも現在お住まいの市区町村に住んだことがありますか。(1つを選択)

<図表2-2-6> 要因となった方が以前に現市区町村に住んだことがあるか／全体

	件数	%
はじめて	156	65.3
以前にも住んでいたことがある	46	19.2
隣接する市区町村に住んでいたことがある	18	7.5
わからない	0	0.0
無回答	19	7.9
調査数	239	100.0



全体では「はじめて」(65.3%)が6割台半ばで最も高く、次いで「以前にも住んでいたことがある」(19.2%)が約2割となっている。(図表2-2-6)

(7) 以前に現市区町村に住んでいた方の居住年数

【問 14 で「2 以前にも住んでいたことがある」とお答えの方に】

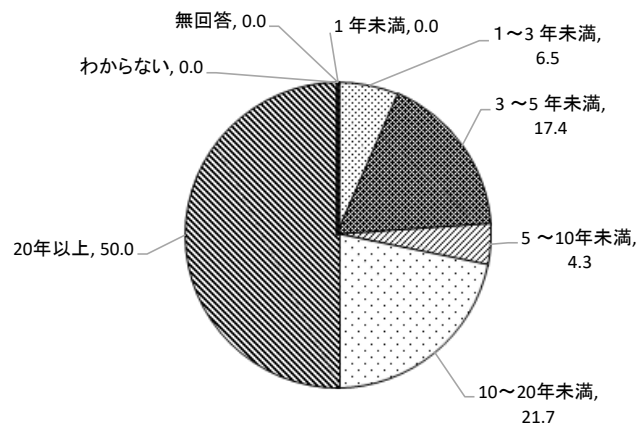
問 15 以前には現在お住まいの市区町村に何年住んでいましたか。(1つを選択)

<図表 2-2-7> 以前に現市区町村に住んでいた方の居住年数 / 全体

(n=46)

(%)

	件数	%
1 年未満	0	0.0
1 ~ 3 年未満	3	6.5
3 ~ 5 年未満	8	17.4
5 ~ 10年未満	2	4.3
10~20年未満	10	21.7
20年以上	23	50.0
わからない	0	0.0
無回答	0	0.0
調査数	46	100.0



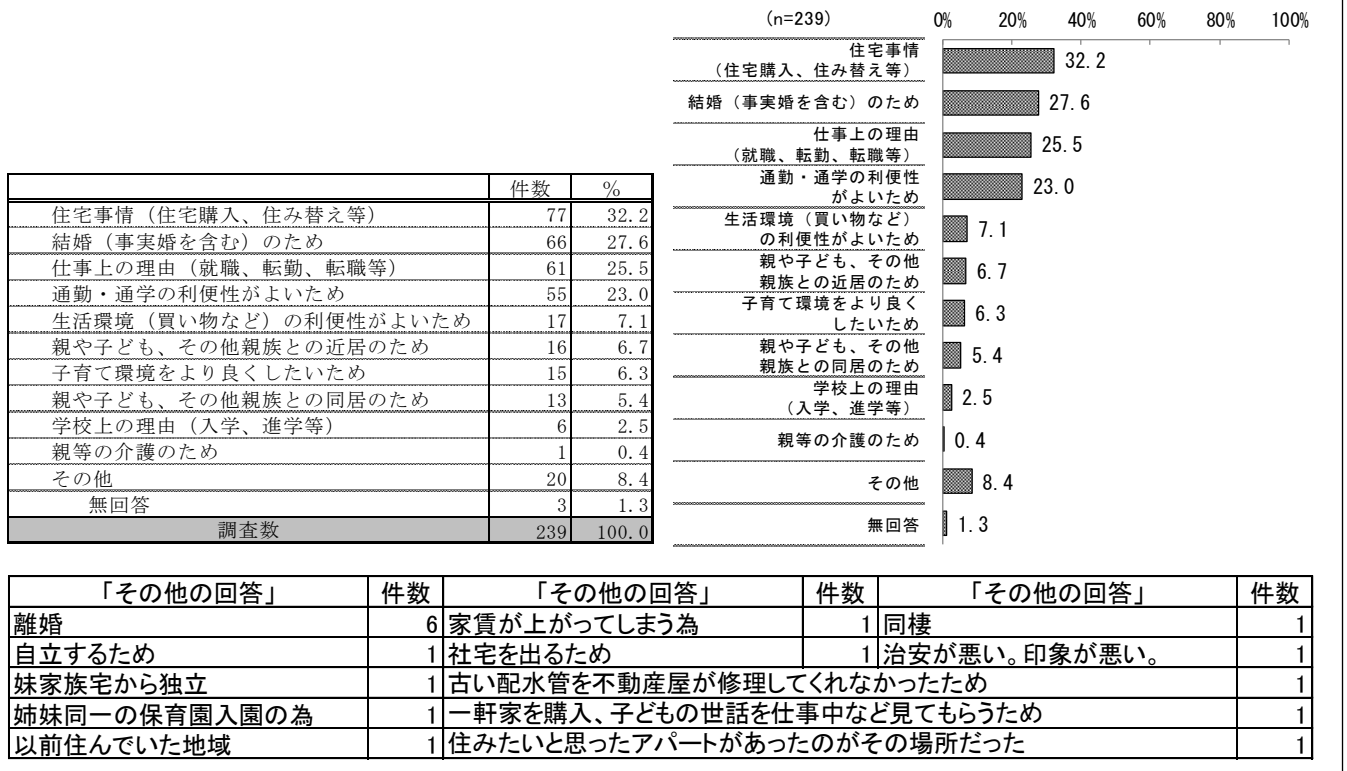
全体では「20年以上」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「10~20年未満」(21.7%)が2割強、「3~5年未満」(17.4%)が2割弱となっている。(図表 2-2-7)

### 3. 世帯での転出理由等

#### (1) 東大和市から転出した理由

問 16 東大和市から転出した理由を下記の中からすべて選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

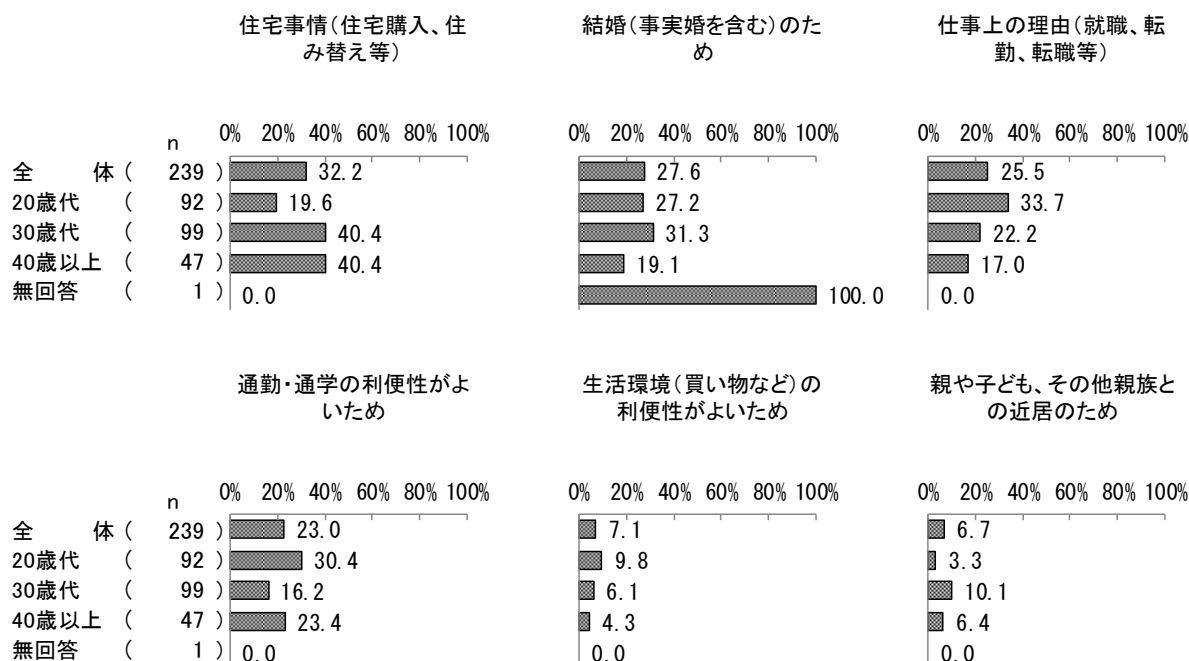
<図表2-3-1>東大和市から転出した理由／全体



全体では「住宅事情 (住宅購入、住み替え等)」(32.2%) が3割強で最も高く、次いで「結婚 (事実婚を含む) のため」(27.6%) が3割弱、「仕事上の理由 (就職、転勤、転職等)」(25.5%) が2割台半ば、「通勤・通学の利便性がよいため」(23.0%) が2割強となっている。(図表2-3-1)

年代別でみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は30歳代と40歳以上（40.4%）で約4割と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は30歳代（31.3%）で3割強と最も高くなっている。（図表2-3-2）

<図表2-3-2>東大和市から転出した理由／年代別（上位6項目）



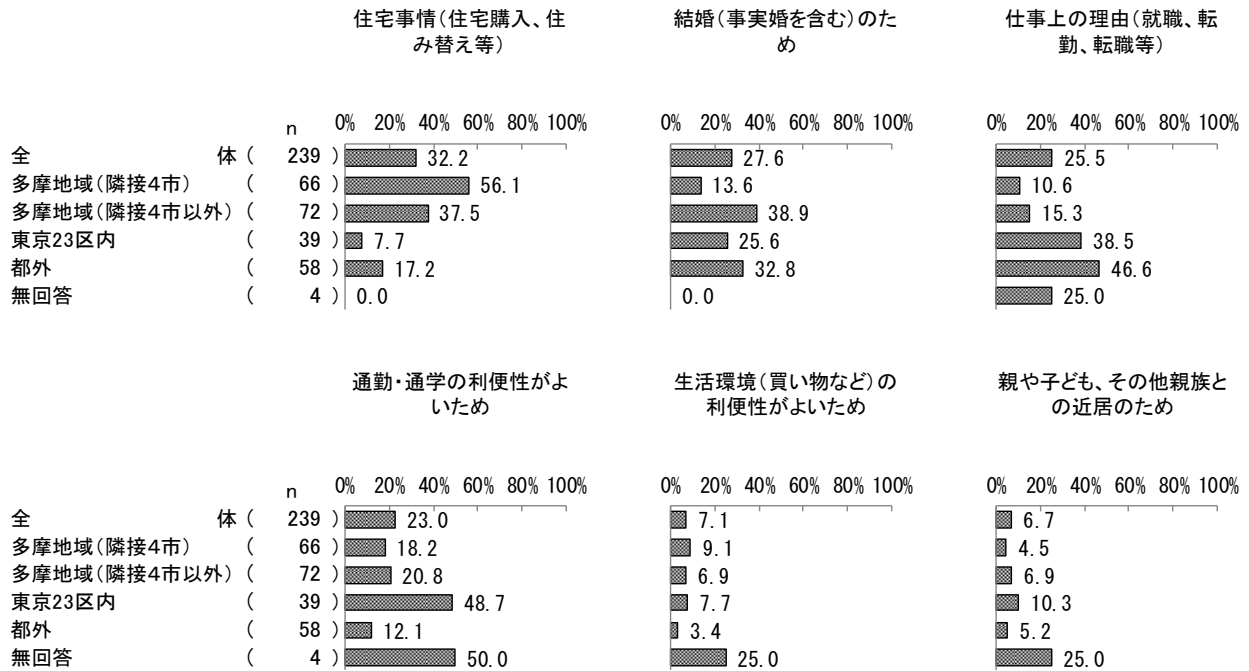
転出後の居住地域別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は多摩地域（隣接4市）（56.1%）で6割弱と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は多摩地域（隣接4市以外）（38.9%）で4割弱と最も高くなっている。（図表2-3-3）

転出前の居住地域別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は桜が丘地区（48.9%）で5割弱と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は狭山・清水地区（42.9%）で4割強と最も高くなっている。また、「仕事上の理由（就職、転勤、転職等）」は仲原・向原地区（45.5%）で4割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-4）

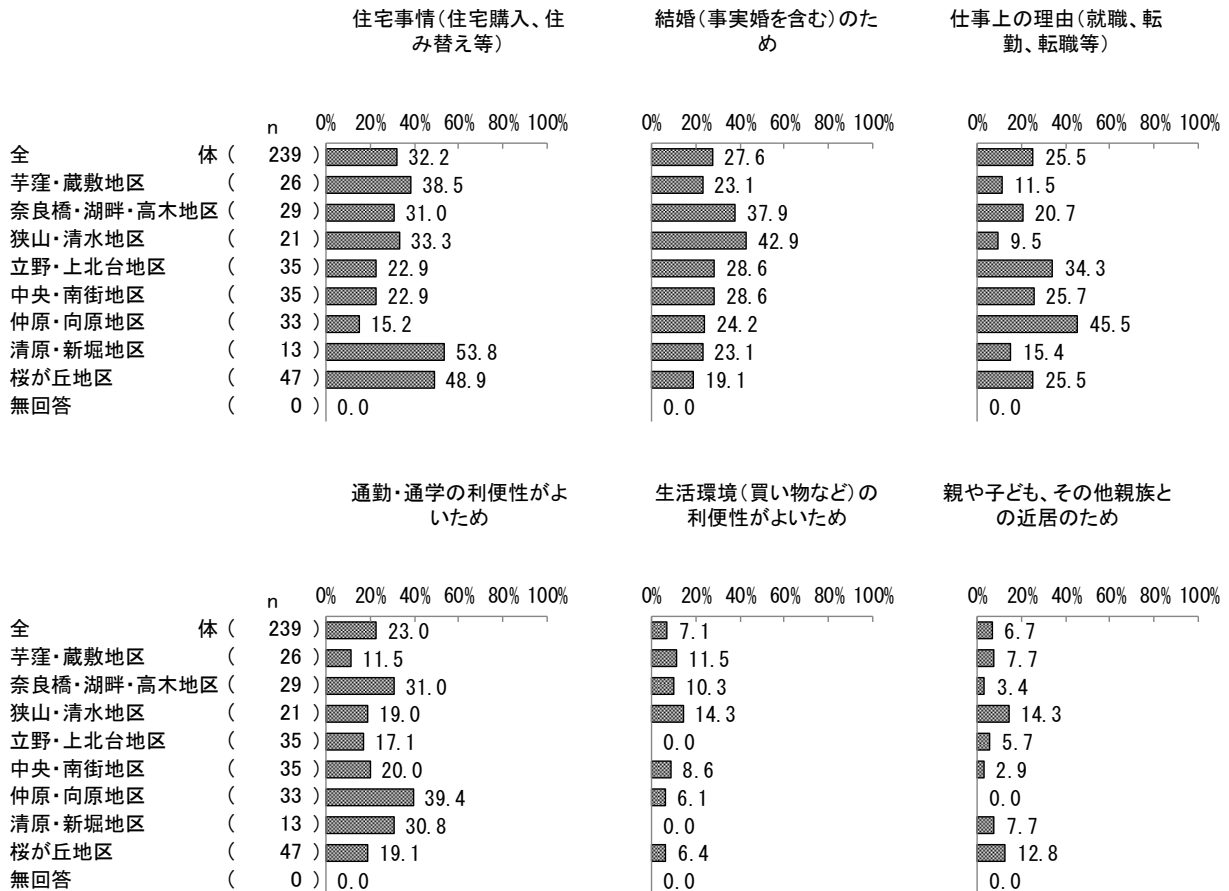
世帯構成別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は子との二世帯→子との二世帯（74.0%）で7割強と最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は親との二世帯→夫婦のみ（95.8%）で9割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-5）

住居区分別にみると、「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」は持ち家（一戸建て）を入手（75.0%）で7割台半ばと最も高く、「結婚（事実婚を含む）のため」は持ち家を手放す（46.3%）で5割弱と最も高くなっている。（図表2-3-6）

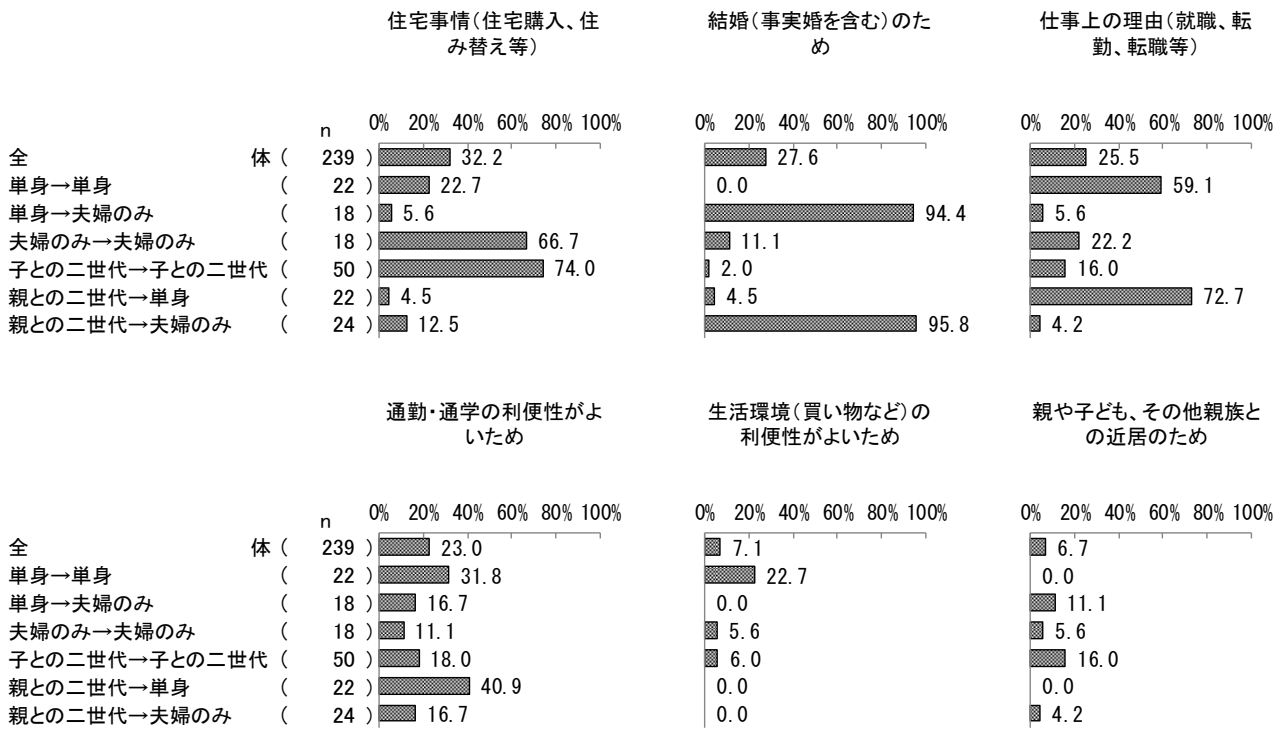
<図表 2-3-3> 東大和市から転出した理由／転出後の居住地域別（上位6項目）



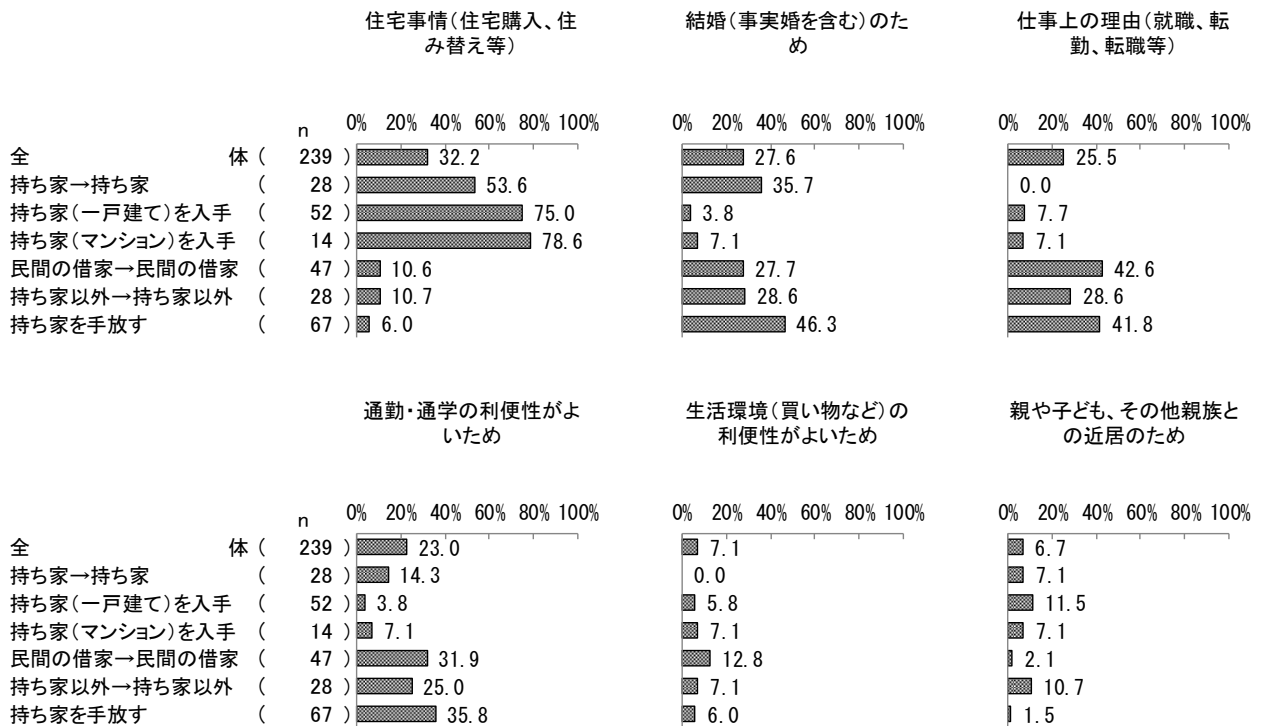
<図表 2-3-4> 東大和市から転出した理由／転出前の居住地域別（上位6項目）



<図表2-3-5>東大和市から転出した理由／世帯構成 転出前→転出後（上位6項目）



<図表2-3-6>東大和市から転出した理由／住居区分 転出前→転出後（上位6項目）



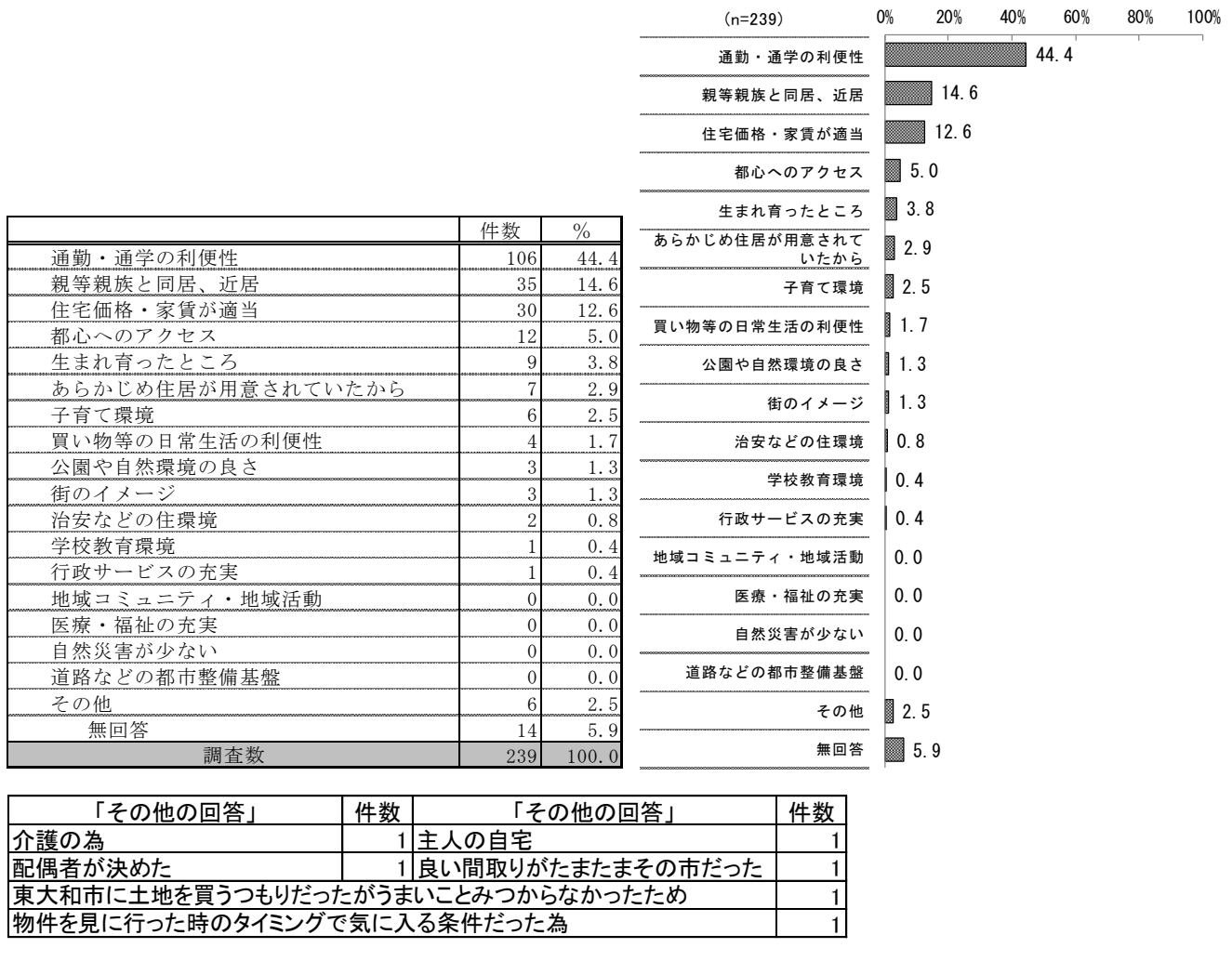


(2) 現市区町村を選んだ理由

問 17 居住地として現在のお住まいの市区町村を選択した理由について、選択肢より上位2つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

① 第1位

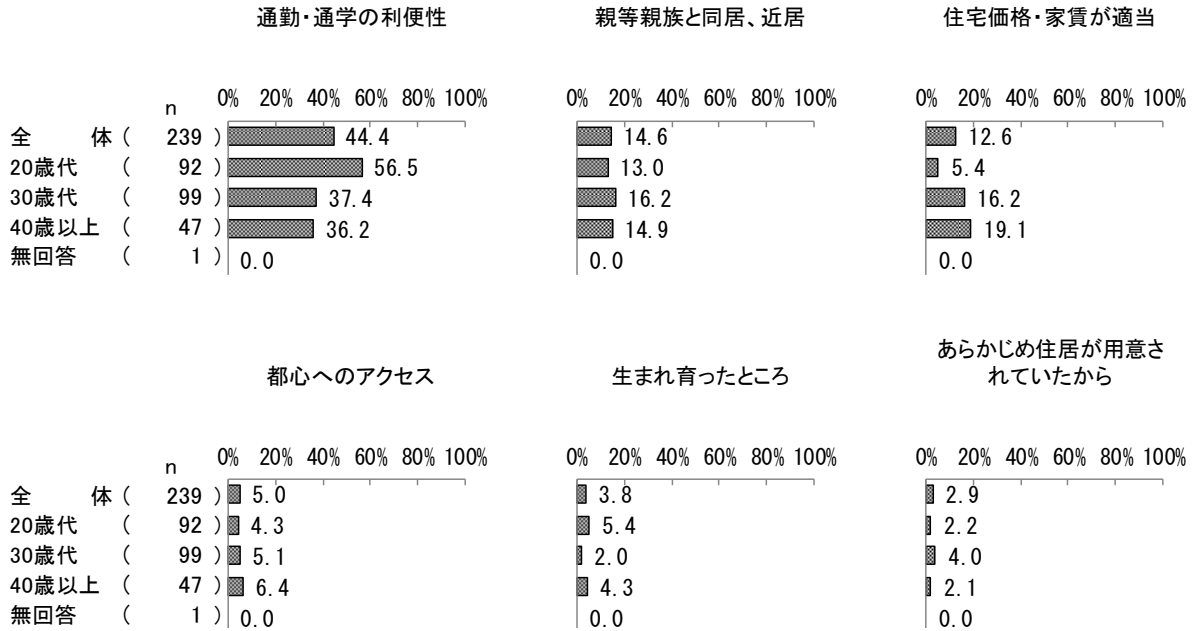
<図表2-3-7>現市区町村を選んだ理由(第1位) / 全体



全体では「通勤・通学の利便性」(44.4%)が4割台半ばで最も高く、次いで「親等親族と同居、近居」(14.6%)が1割台半ば、「住宅価格・家賃が適当」(12.6%)が1割強となっている。(図表2-3-7)

年代別でみると、「通勤・通学の利便性」は20歳代（56.5%）で6割弱と最も高くなっている。（図表2-3-8）

＜図表2-3-8＞現市区町村を選んだ理由（第1位）／年代別（上位6項目）



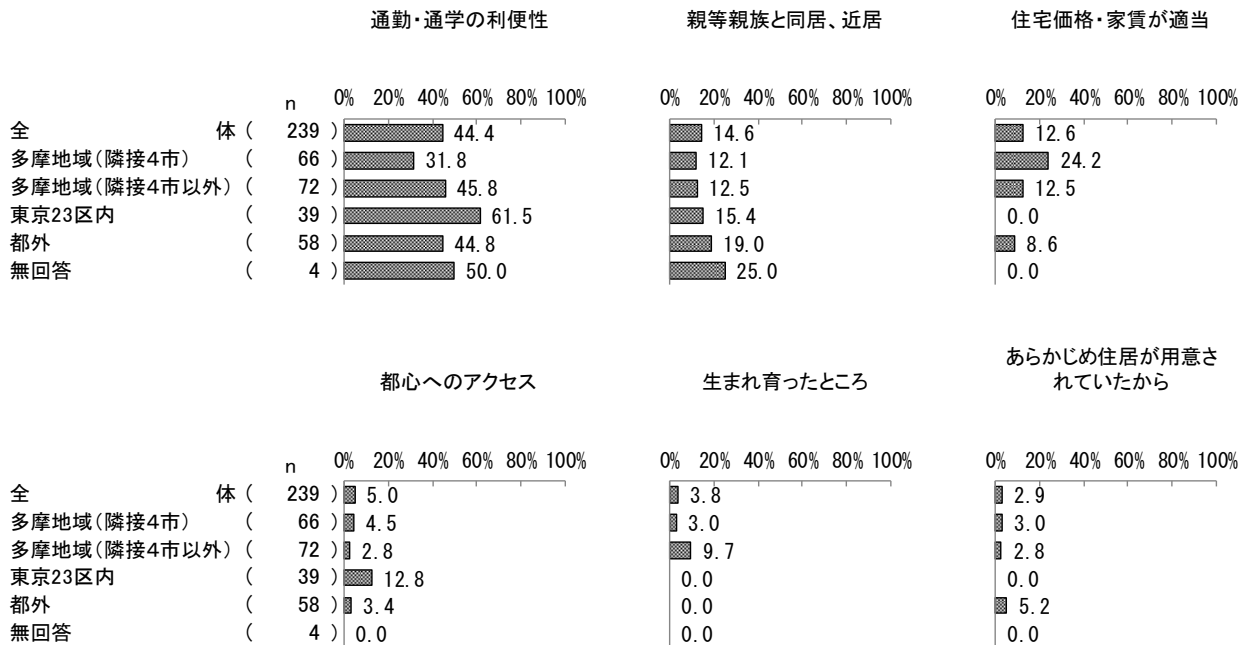
転出後の居住地域別にみると、「通勤・通学の利便性」は東京23区内（61.5%）で6割強と最も高く、「親等親族と同居、近居」は都外（19.0%）で2割弱と最も高くなっている。また、「住宅価格・家賃が適当」は多摩地域（隣接4市）（24.2%）で2割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-9）

転出前の居住地域別にみると、「通勤・通学の利便性」は奈良橋・湖畔・高木地区（58.6%）で6割弱と最も高く、仲原・向原地区（51.5%）でも5割強と高くなっている。また、「親等親族と同居、近居」は狭山・清水地区（28.6%）で3割弱と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は中央・南街地区（22.9%）で2割強と最も高くなっている。（図表2-3-10）

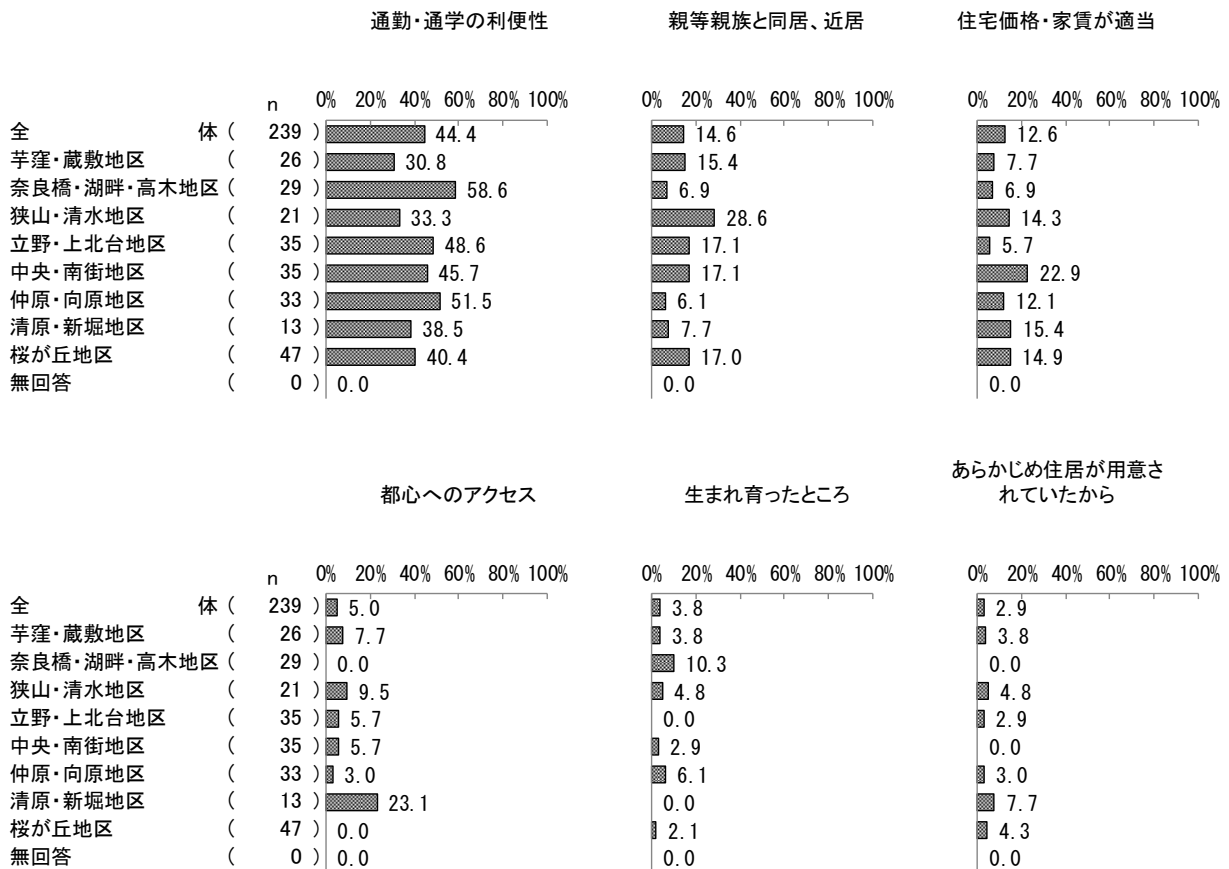
世帯構成別にみると、「通勤・通学の利便性」は単身→単身と親との二世帯→単身（63.6%）で6割強と最も高く、「親等親族と同居、近居」は親との二世帯→夫婦のみ（20.8%）で約2割と最も高くなっている。（図表2-3-11）

住居区分別にみると、「通勤・通学の利便性」は持ち家を手放す（70.1%）で約7割と最も高く、「親等親族と同居、近居」は持ち家（一戸建て）を入手（34.6%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-12）

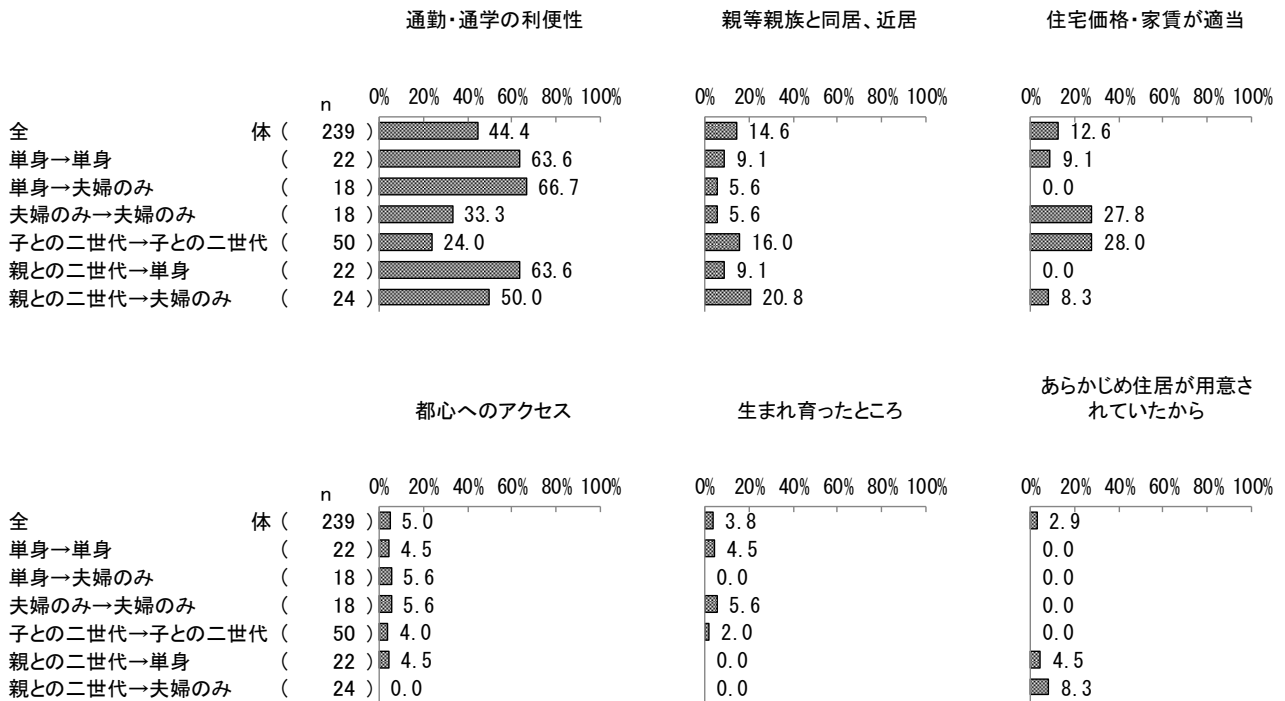
<図表 2-3-9> 現市区町村を選んだ理由（第1位）／転出後の居住地地域別（上位6項目）



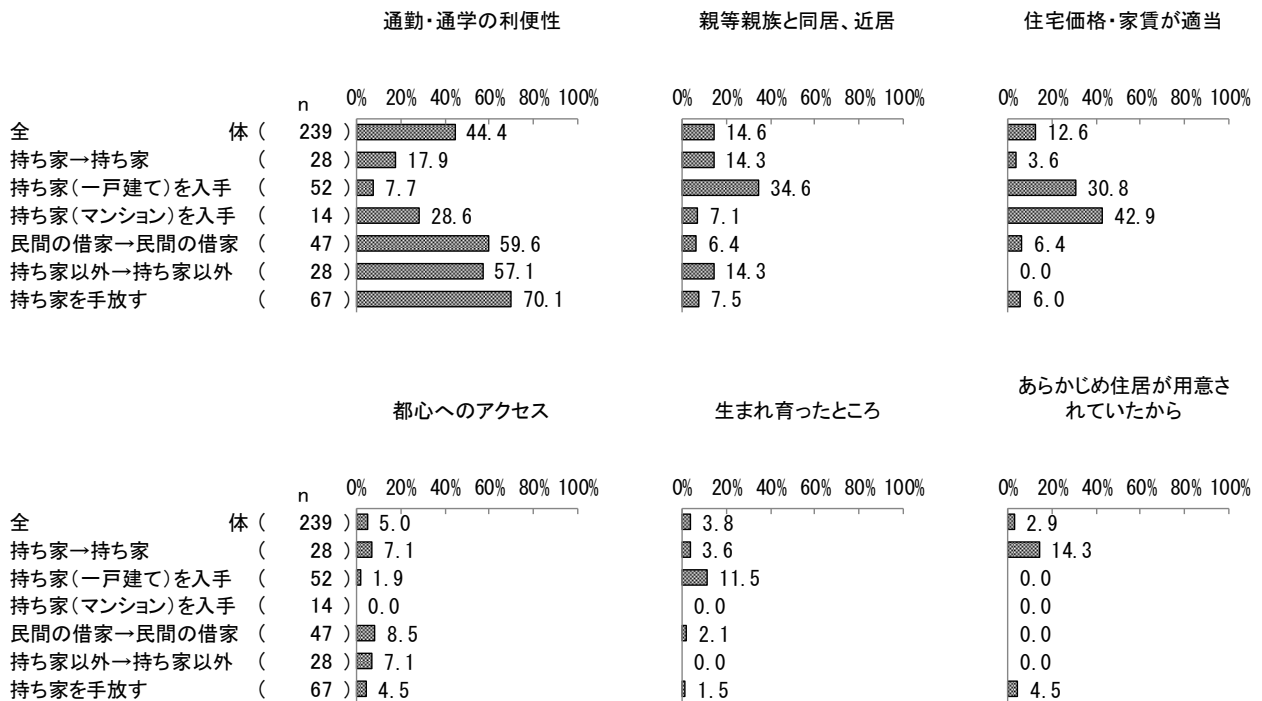
<図表 2-3-10> 現市区町村を選んだ理由（第1位）／転出前の居住地地域別（上位6項目）



<図表 2-3-11> 現市区町村を選んだ理由（第1位）／世帯構成 転出前→転出後（上位6項目）



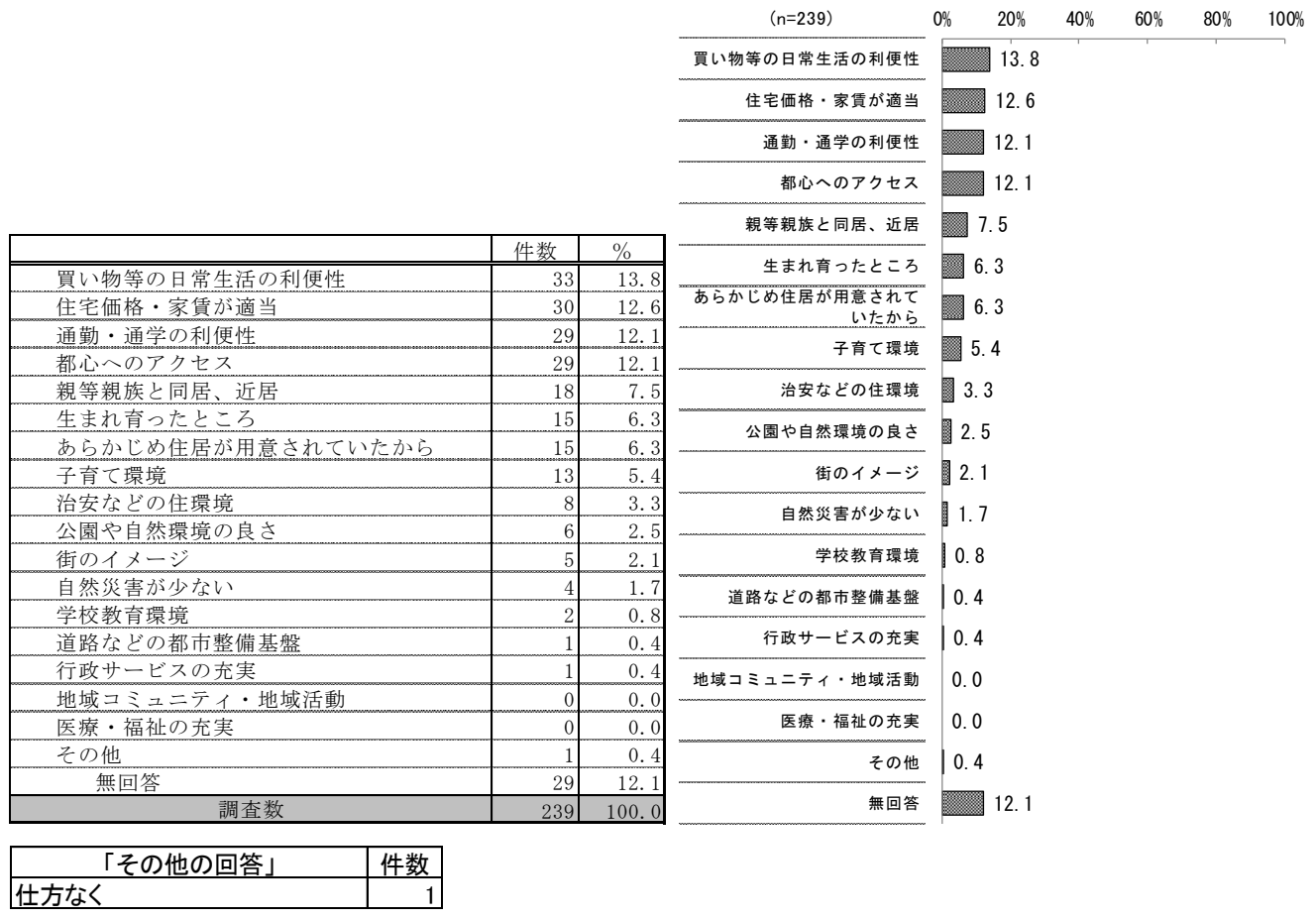
<図表 2-3-12> 現市区町村を選んだ理由（第1位）／住居区分 転出前→転出後（上位6項目）



問 17 居住地として現在のお住まいの市区町村を選択した理由について、選択肢より上位 2 つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

② 第 2 位

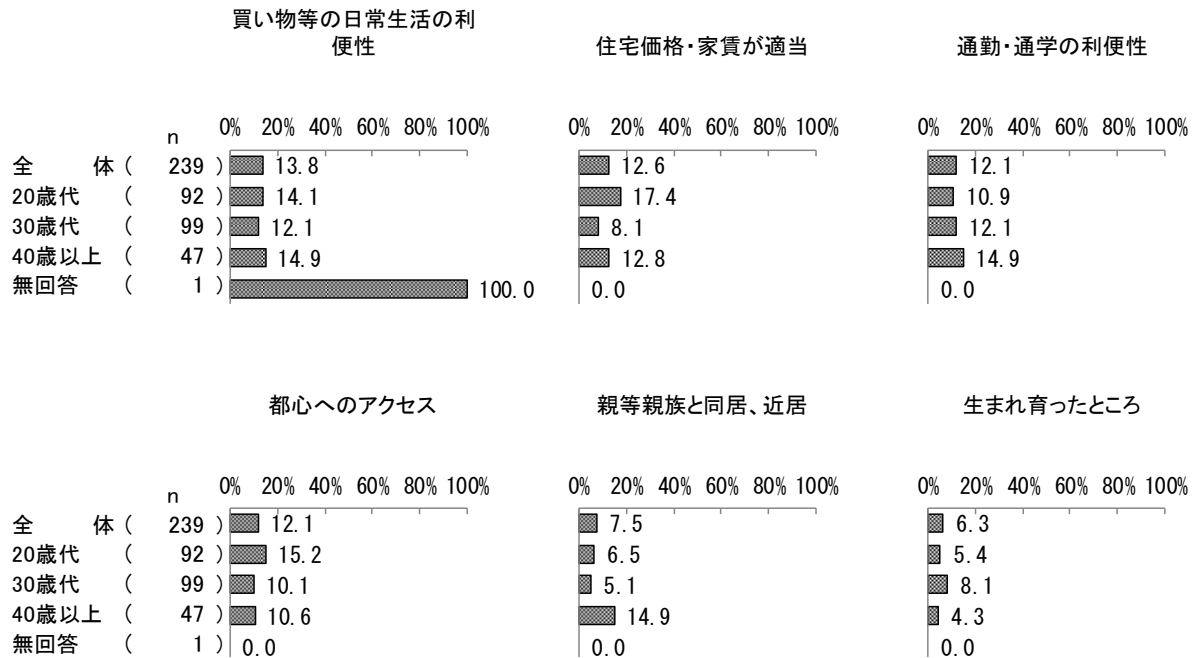
<図表 2-3-13> 現市区町村を選んだ理由（第 2 位）／全体



全体では「買い物等の日常生活の利便性」（13.8%）が 1 割強で最も高く、次いで「住宅価格・家賃が適当」（12.6%）が 1 割強、「通勤・通学の利便性」、「都心へのアクセス」（12.1%）が 1 割強となっている。（図表 2-3-13）

年代別でみると、「買い物等の日常生活の利便性」は40歳以上（14.9%）で1割台半ばと最も高く、20歳代（14.1%）も1割台半ばと高くなっている。（図表2-3-14）

＜図表2-3-14＞現市区町村を選んだ理由（第2位）／年代別（上位6項目）



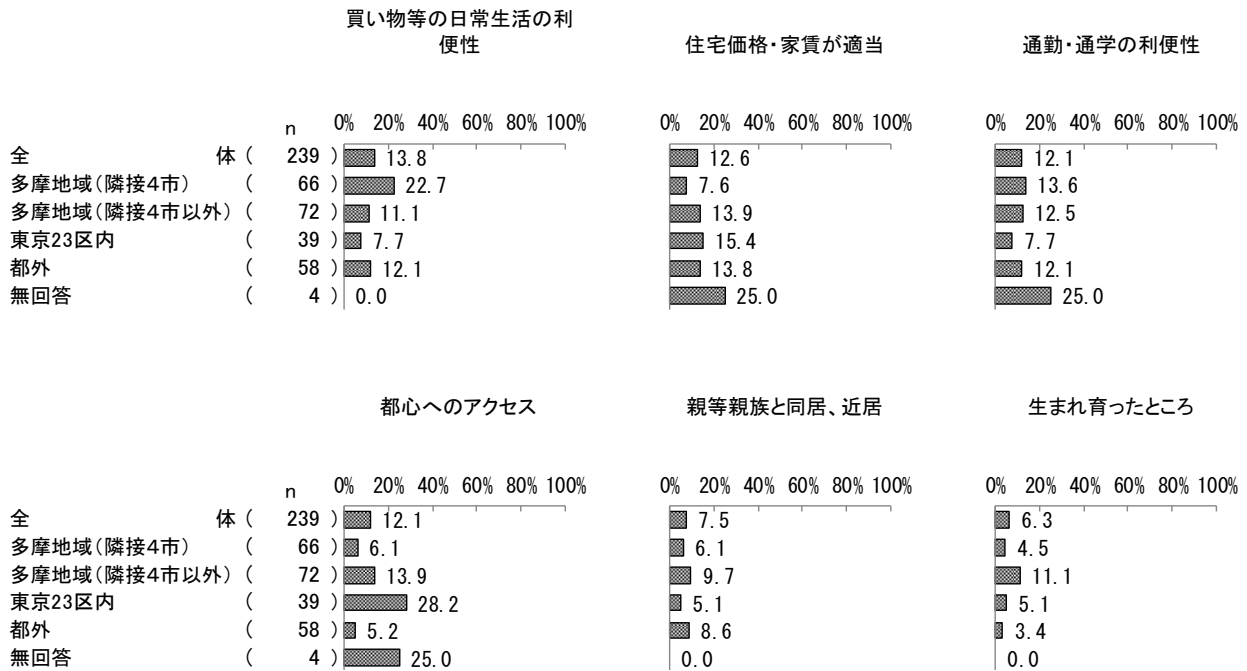
転出後の居住地域別にみると、「買い物等の日常生活の利便性」は多摩地域（隣接4市）（22.7%）で2割強と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は東京23区内（15.4%）で1割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-15）

転出前の居住地域別にみると、「買い物等の日常生活の利便性」は狭山・清水地区（28.6%）で3割弱と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は奈良橋・湖畔・高木地区（17.2%）で2割弱と最も高くなっている。（図表2-3-16）

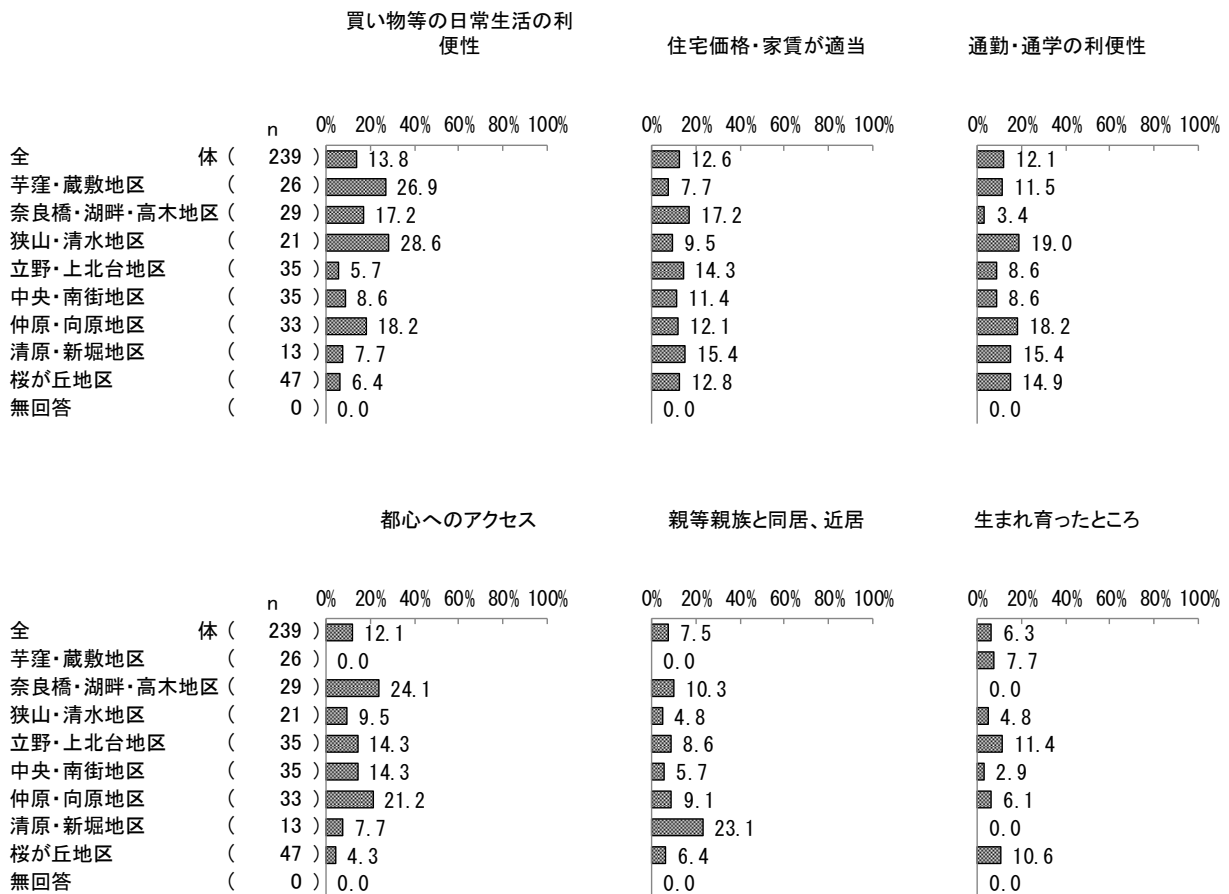
世帯構成別にみると、「買い物等の日常生活の利便性」は子との二世帯→子との二世帯（14.0%）で1割強と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は親との二世帯→夫婦のみ（25.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-17）

住居区分別にみると、「買い物等の日常生活の利便性」は民間の借家→民間の借家（19.1%）で約2割と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は持ち家を手放す（19.4%）で約2割と最も高くなっている。（図表2-3-18）

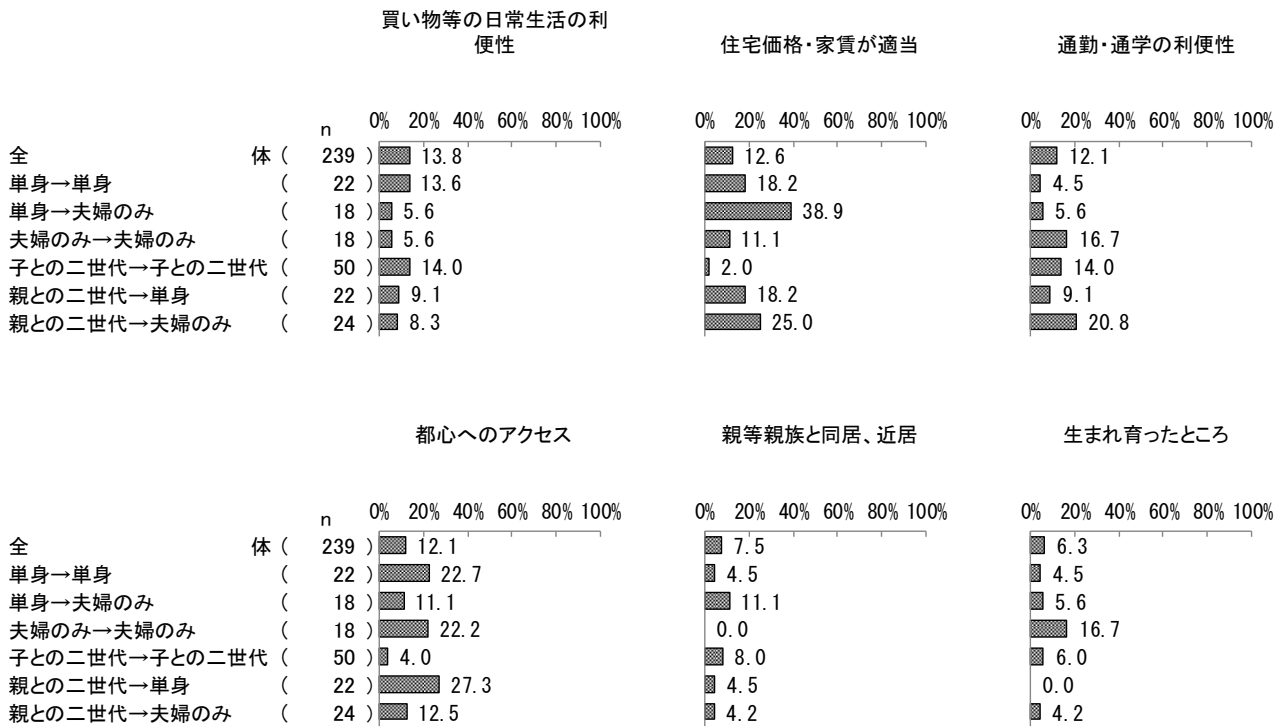
<図表 2-3-15> 現市区町村を選んだ理由（第2位）／転出後の居住地地域別（上位6項目）



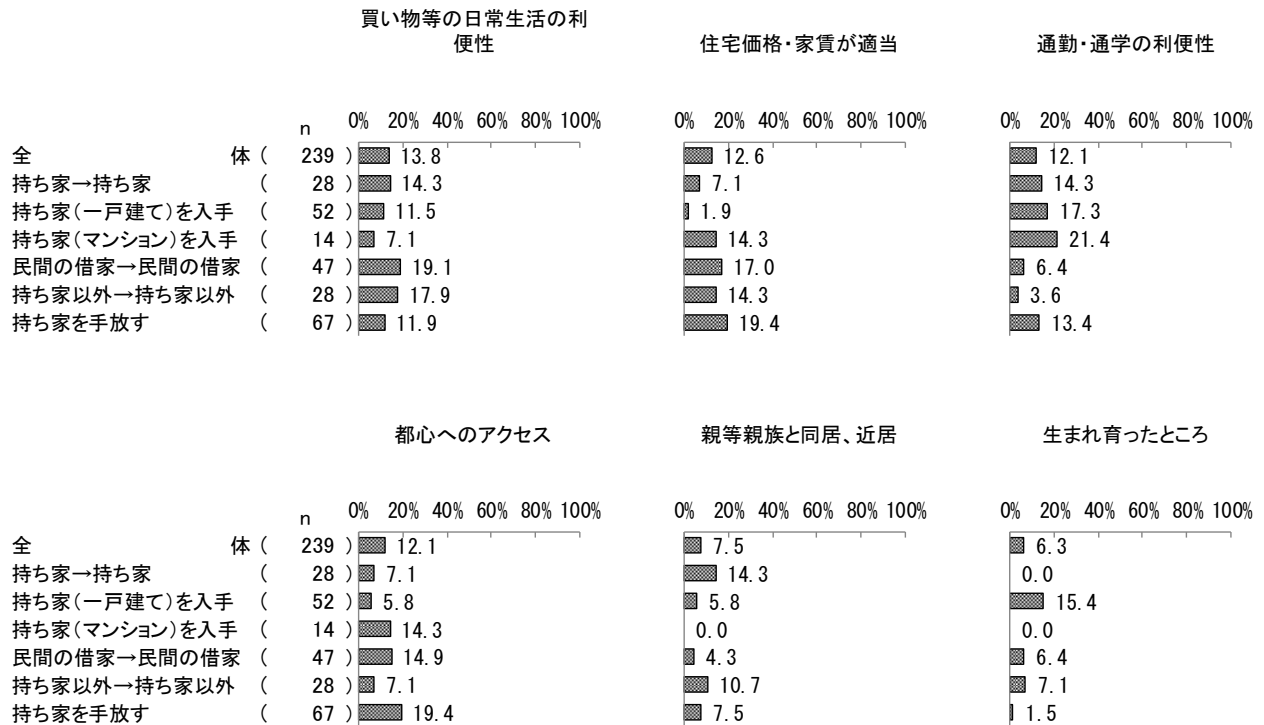
<図表 2-3-16> 現市区町村を選んだ理由（第2位）／転出前の居住地地域別（上位6項目）



<図表 2-3-17> 現市区町村を選んだ理由（第2位）／世帯構成 転出前→転出後（上位6項目）



<図表 2-3-18> 現市区町村を選んだ理由（第2位）／住居区分 転出前→転出後（上位6項目）

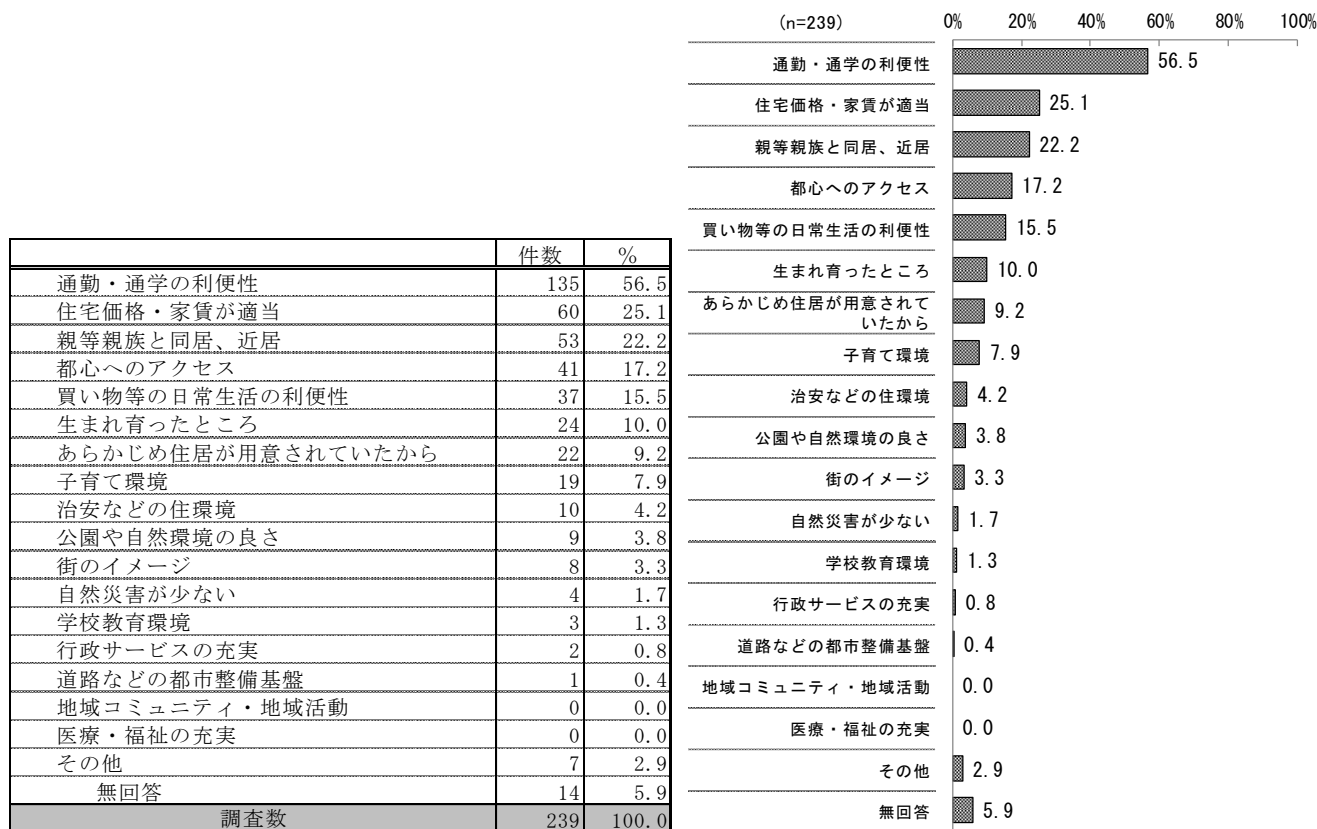




問 17 居住地として現在のお住まいの市区町村を選択した理由について、選択肢より上位 2 つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

③ 第 1 位と第 2 位の合計

<図表 2-3-19> 現市区町村を選んだ理由 (合計) / 全体

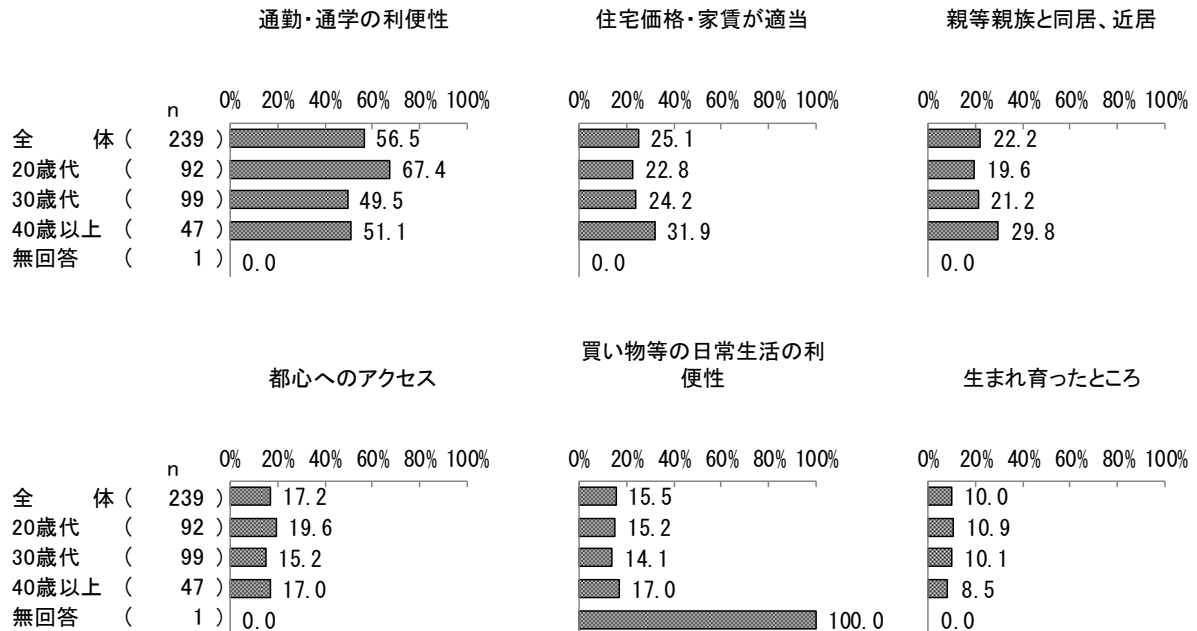


「その他の回答」	件数	「その他の回答」	件数
介護の為	1	主人の自宅	1
配偶者が決めた	1	良い間取りがたまたまその市だった	1
東大和市に土地を買うつもりだったがうまく見つからなかったため	1		
物件を見に行った時のタイミングで気に入る条件だった為	1		
仕方なく	1		

全体では「通勤・通学の利便性」(56.5%)が6割弱で最も高く、次いで「住宅価格・家賃が適当」(25.1%)が2割台半ば、「親等親族と同居、近居」(22.2%)が2割強となっている。(図表 2-3-19)

年代別でみると、「通勤・通学の利便性」は20歳代（67.4%）で7割強と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は40歳以上（31.9%）で3割強と最も高くなっている。（図表2-3-20）

＜図表2-3-20＞現市区町村を選んだ理由（合計）／年代別（上位6項目）



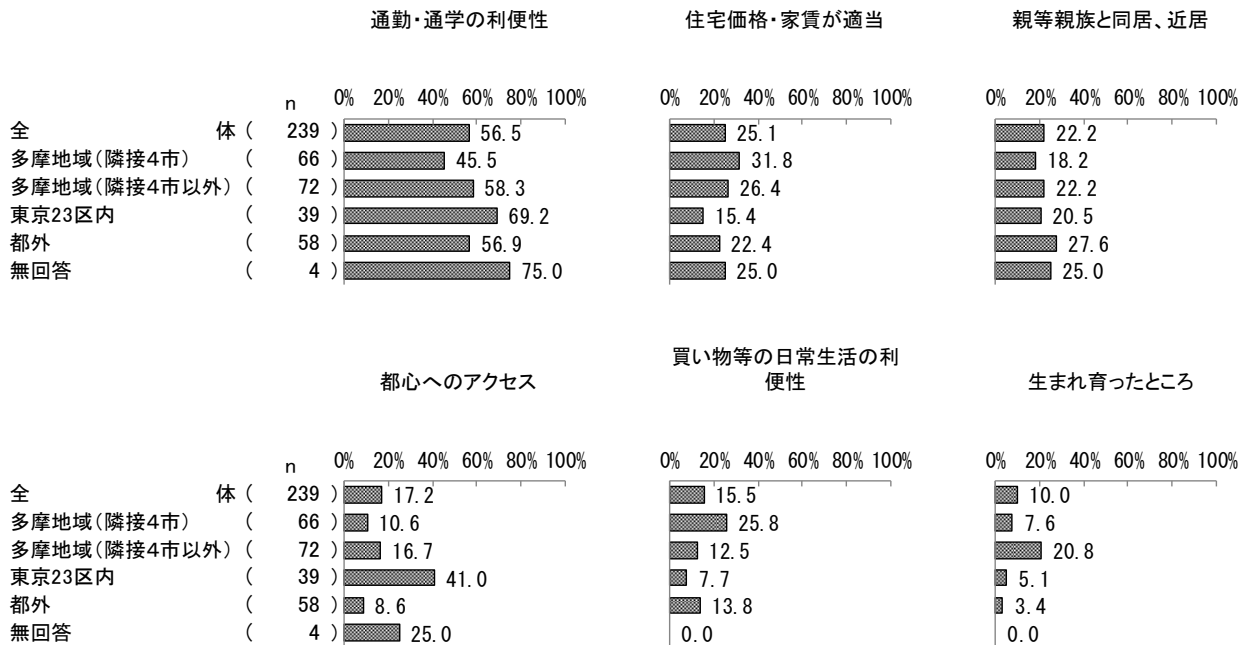
転出後の居住地域別にみると、「通勤・通学の利便性」は東京23区内（69.2%）で約7割と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は多摩地域（隣接4市）（31.8%）で3割強と最も高くなっている。（図表2-3-21）

転出前の居住地域別にみると、「通勤・通学の利便性」は仲原・向原地区（69.7%）で約7割と最も高く、奈良橋・湖畔・高木地区（62.1%）でも6割強と高くなっている。また、「住宅価格・家賃が適当」は中央・南街地区（34.3%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-22）

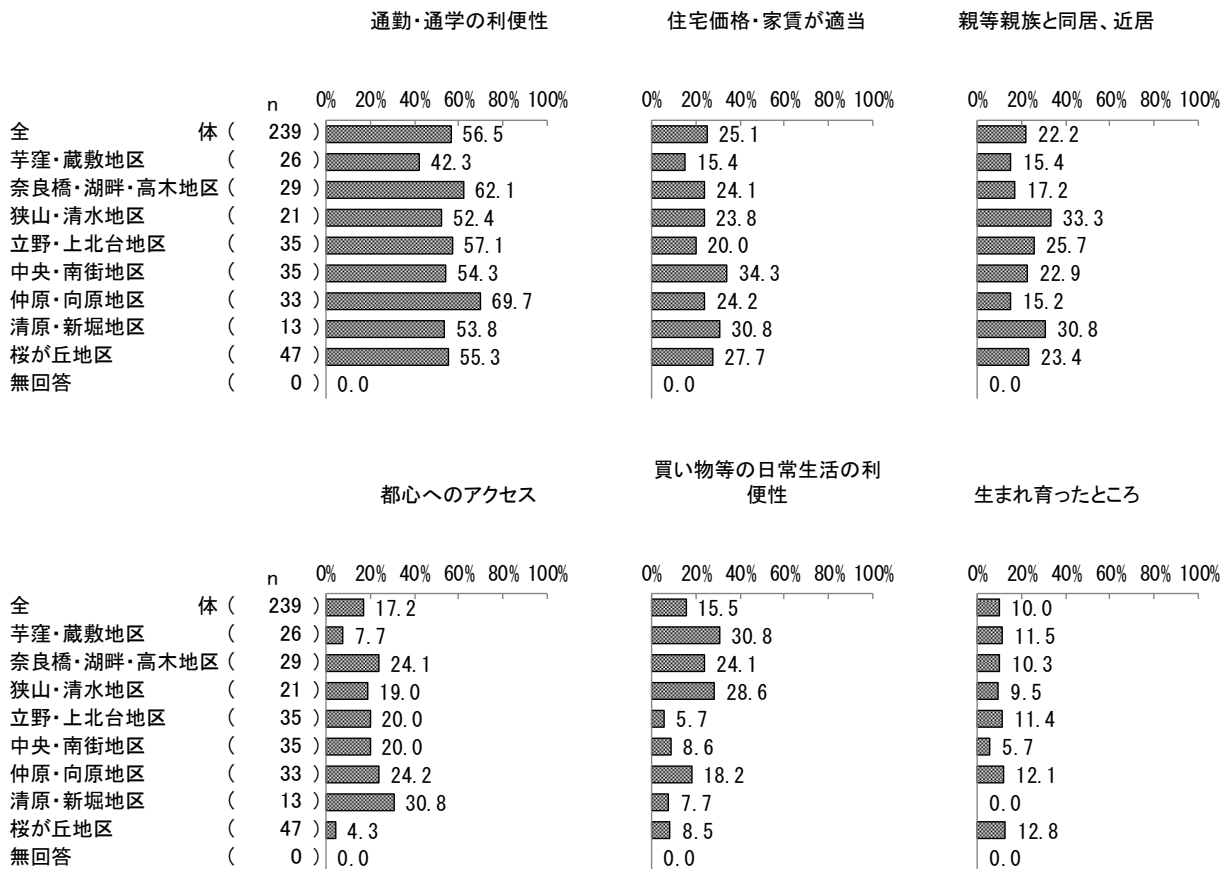
世帯構成別にみると、「通勤・通学の利便性」は親との二世帯→単身（72.7%）で7割強と最も高く、親との二世帯→夫婦のみ（70.8%）でも約7割と高くなっている。また、「住宅価格・家賃が適当」は親との二世帯→夫婦のみ（33.3%）で3割強と最も高くなっている。（図表2-3-23）

住居区分別にみると、「通勤・通学の利便性」は持ち家を手放す（83.6%）で8割強と最も高く、「住宅価格・家賃が適当」は持ち家（一戸建て）を入手（32.7%）で3割強と最も高くなっている。（図表2-3-24）

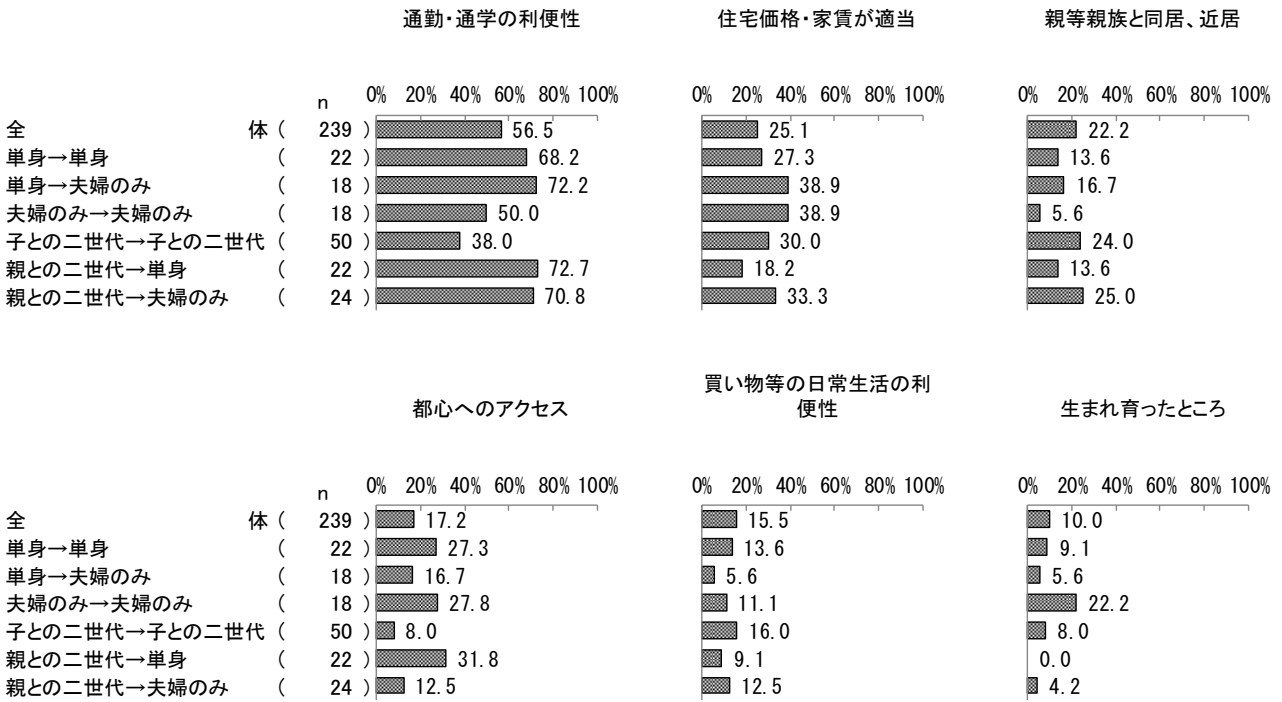
<図表 2-3-21> 現市区町村を選んだ理由（合計）／転出後の居住地域別（上位6項目）



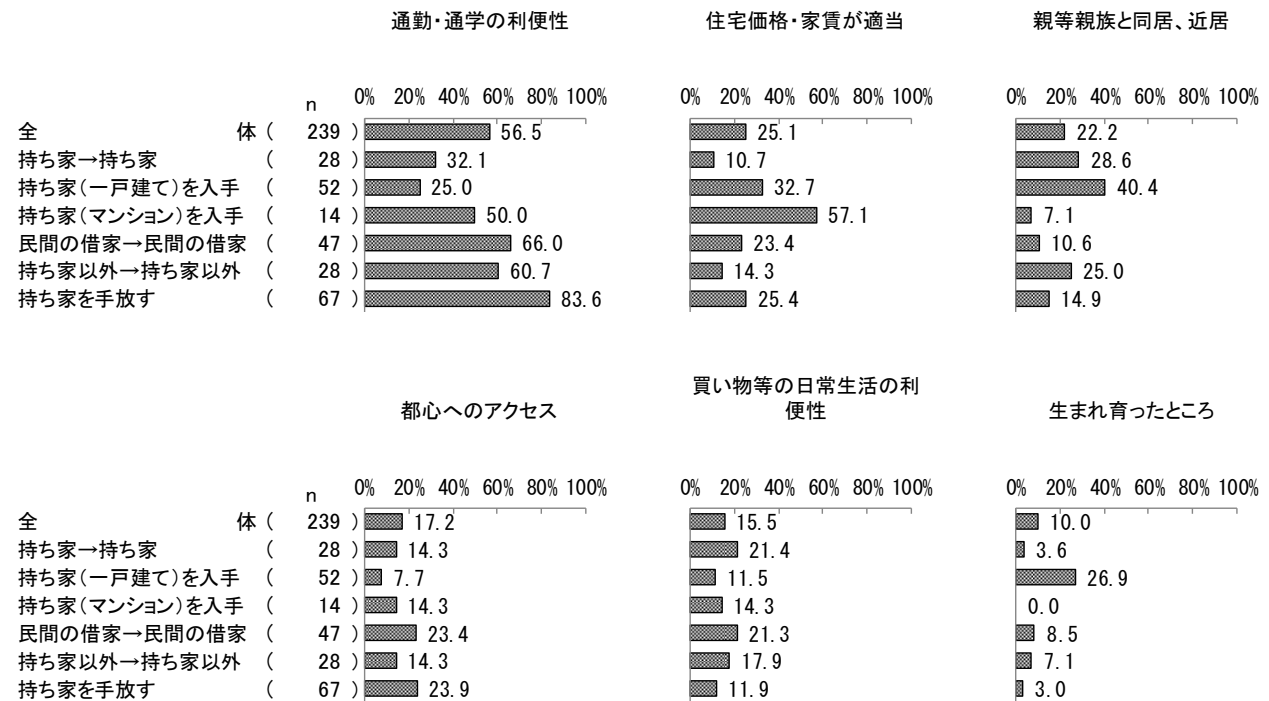
<図表 2-3-22> 現市区町村を選んだ理由（合計）／転出前の居住地域別（上位6項目）



<図表 2-3-23> 現市区町村を選んだ理由（合計）／世帯構成 転出前→転出後（上位 6 項目）



<図表 2-3-24> 現市区町村を選んだ理由（合計）／住居区分 転出前→転出後（上位 6 項目）



### (3) 通勤・通学先について

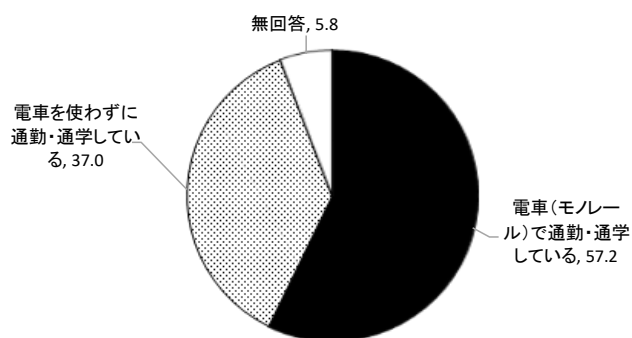
【問 16 で「4 通勤・通学の利便性」もしくは、問 17 で「1 通勤・通学の利便性」とお答えの方に】  
 問 18 通勤・通学先についてお答え下さい。(1つを選択し、枠内に詳細を記入)

<図表 2-3-25> 通勤・通学先について / 全体

(n=138)

(%)

	件数	%
電車(モノレール)で通勤・通学している	79	57.2
電車を使わずに通勤・通学している	51	37.0
無回答	8	5.8
調査数	138	100.0



全体では「電車(モノレール)で通勤・通学している」(57.2%)が6割弱で「電車を使わずに通勤・通学している」(37.0%)が4割弱よりも高かった。(図表 2-3-25)

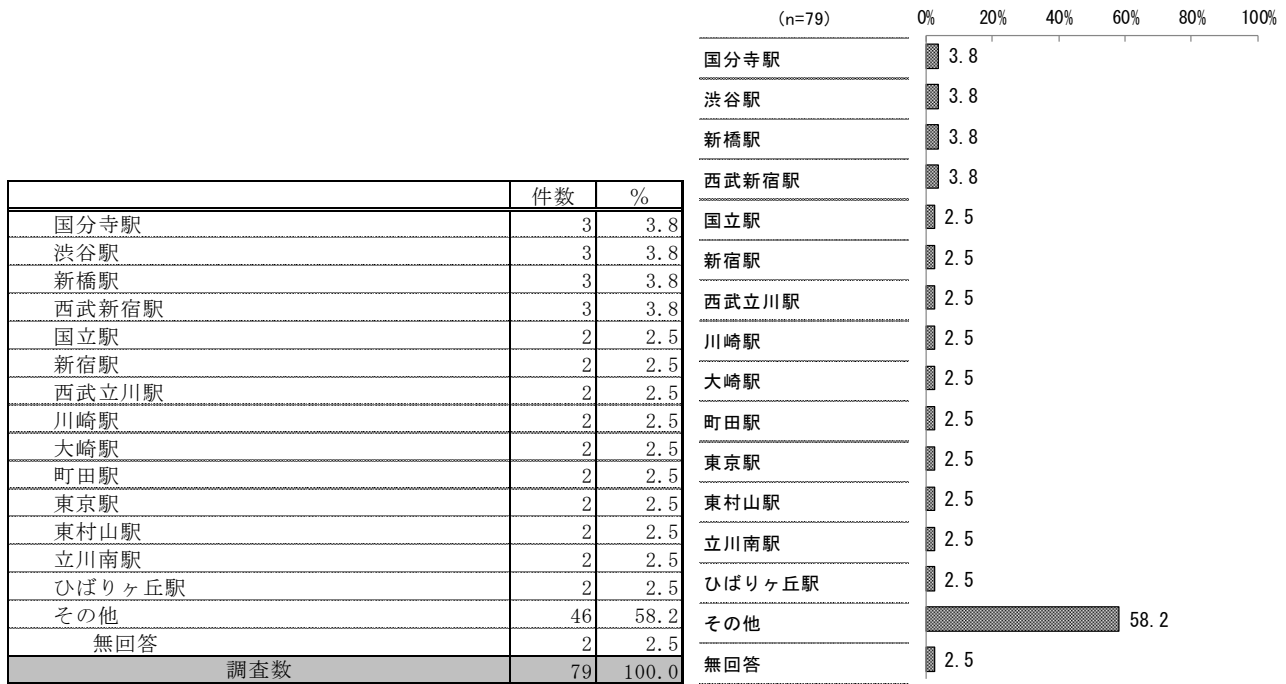
<図表 2-3-26> 電車(モノレール)で通勤・通学していると回答した方の通勤・通学先の路線一覧(複数回答を含む)

(n=79)

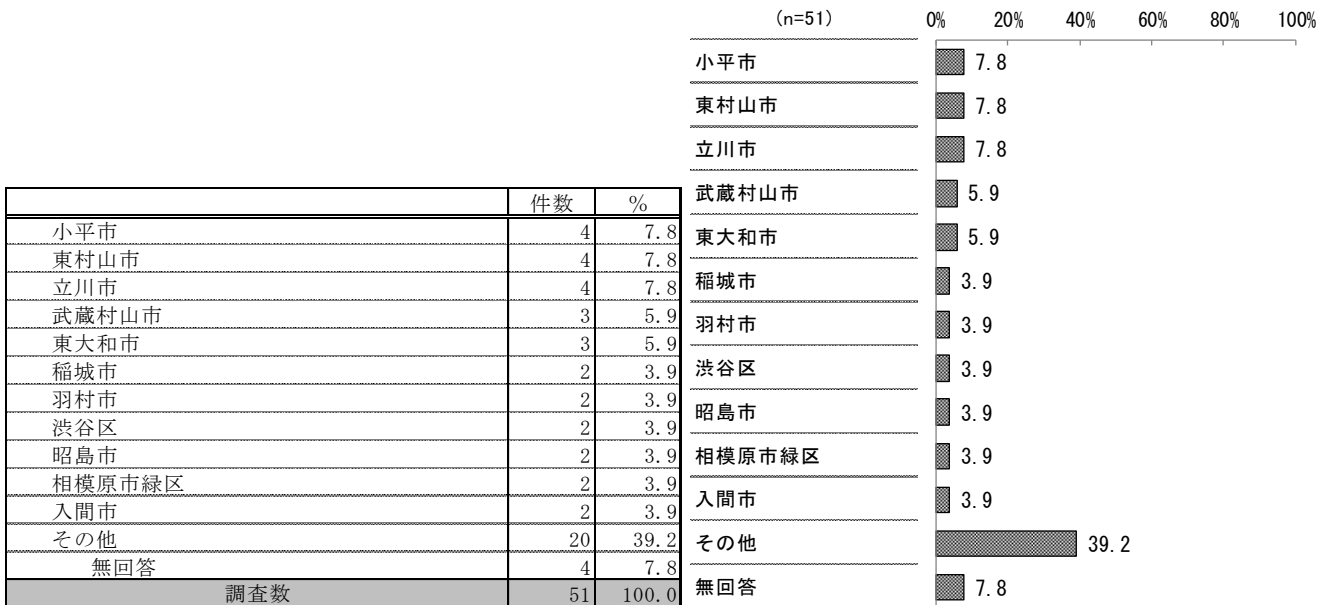
	件数	%
西武新宿線	12	15.2
JR中央線	10	12.7
JR	6	7.6
西武池袋線	5	6.3
多摩都市モノレール線	4	5.1
JR山手線	4	5.1
JR総武線	3	3.8
JR八高線	3	3.8
京王線	3	3.8
JR南武線	2	2.5
東京メトロ東西線	2	2.5
東京メトロ丸ノ内線	2	2.5
JR武蔵野線	2	2.5
西武線	2	2.5
小田急線	2	2.5
その他	17	21.5
無回答	4	5.1
調査数	79	100.0



<図表2-3-27> 電車（モノレール）で通勤・通学していると回答した方の通勤・通学先の最寄り駅一覧（複数回答を含む）

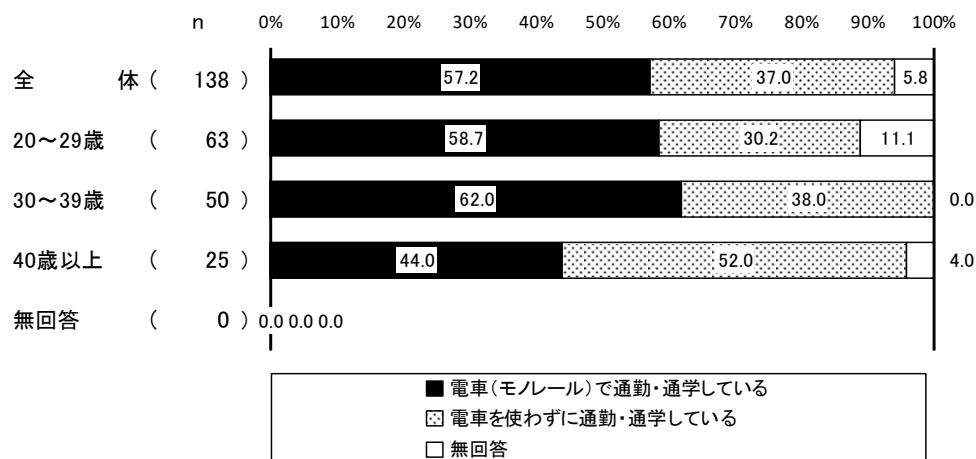


<図表2-3-28> 電車を使わずに通勤・通学していると回答した方の通勤・通学先の市区町村名（複数回答を含む）



年代別でみると、「電車（モノレール）で通勤・通学している」は30歳代（62.0%）で6割強となっている。（図表2-3-29）

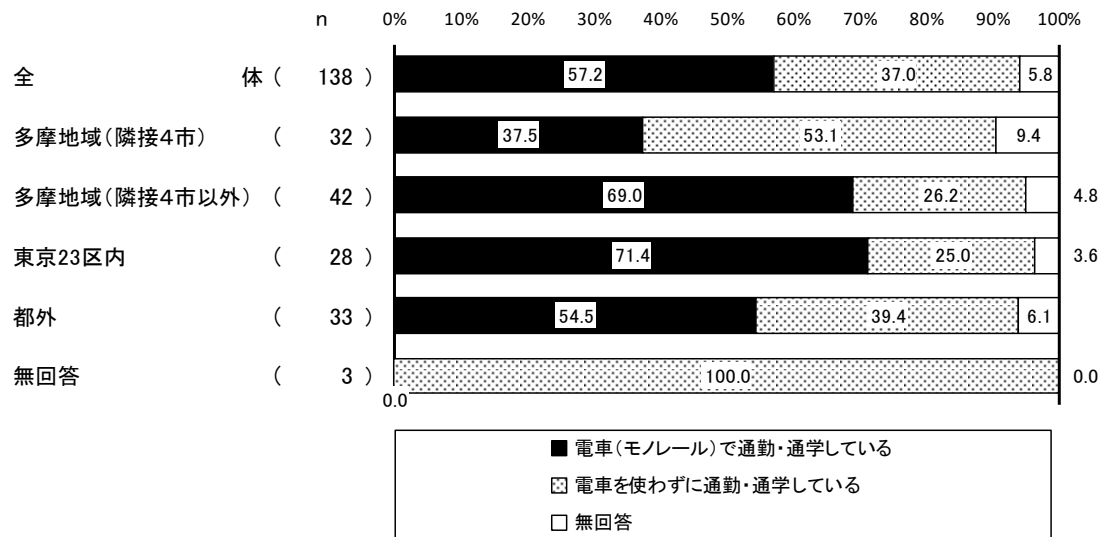
＜図表2-3-29＞通勤・通学先について／年代別



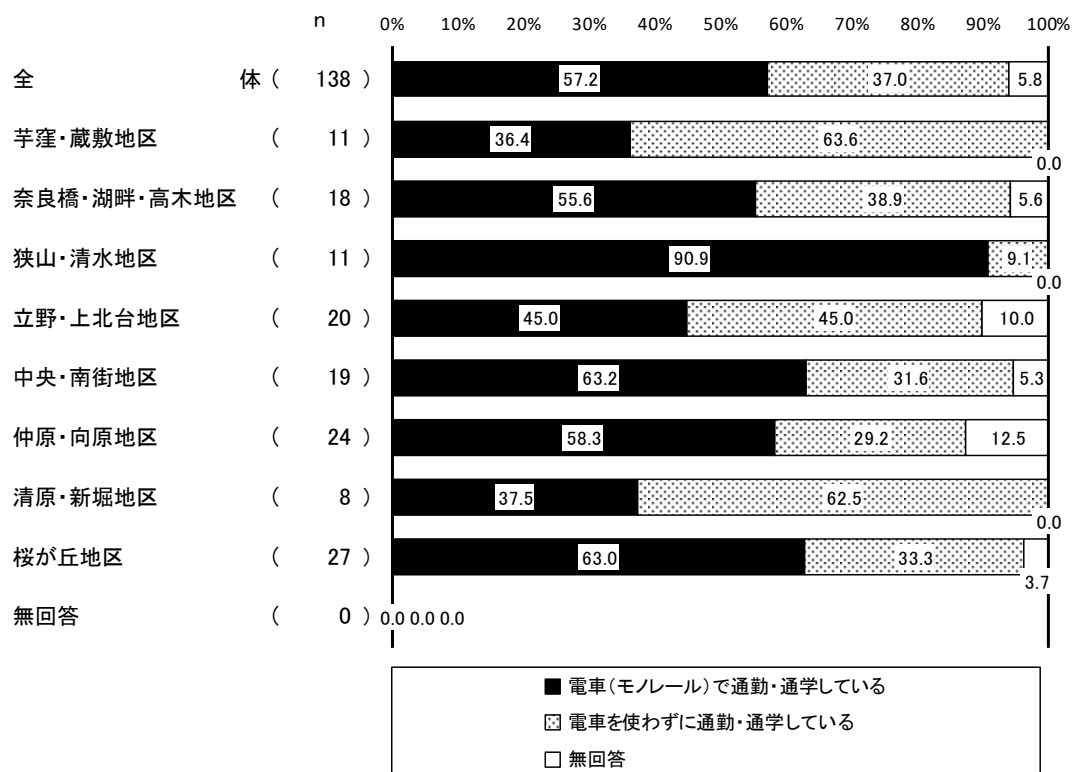
転出後の居住地域別にみると、「電車（モノレール）で通勤・通学している」は東京23区内（71.4%）で7割強と最も高く、「電車を使わずに通勤・通学している」は多摩地域（隣接4市）（53.1%）で5割強と最も高くなっている。（図表2-3-30）

転出前の居住地域別にみると、「電車（モノレール）で通勤・通学している」は桜が丘地区（63.0%）で6割強となっている。（図表2-3-31）

<図表2-3-30> 通勤・通学先について／転出後の居住地域別



<図表2-3-31> 通勤・通学先について／転出前の居住地域別





(4) 現市区町村で子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由

【問 17 で「5 子育て環境」または「6 学校教育環境」とお答えの方に】

問 19 あなたが、現在お住まいの市区町村の子育て環境や学校教育環境がよいと思ったのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてを選択)

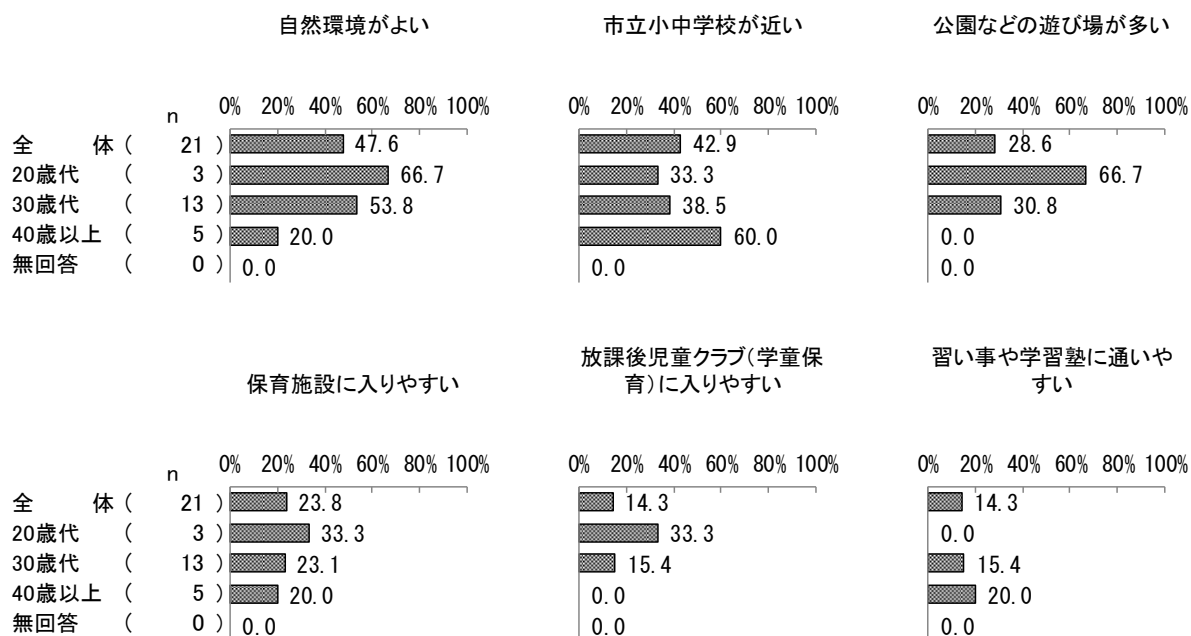
<図表 2-3-32> 現市区町村で子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由／全体



全体では「自然環境がよい」(47.6%)が5割弱で最も高く、次いで「市立小中学校が近い」(42.9%)が4割強、「公園などの遊び場が多い」(28.6%)が3割弱、「保育施設に入りやすい」(23.8%)が2割強となっている。(図表 2-3-32)

年代別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表2-3-33)

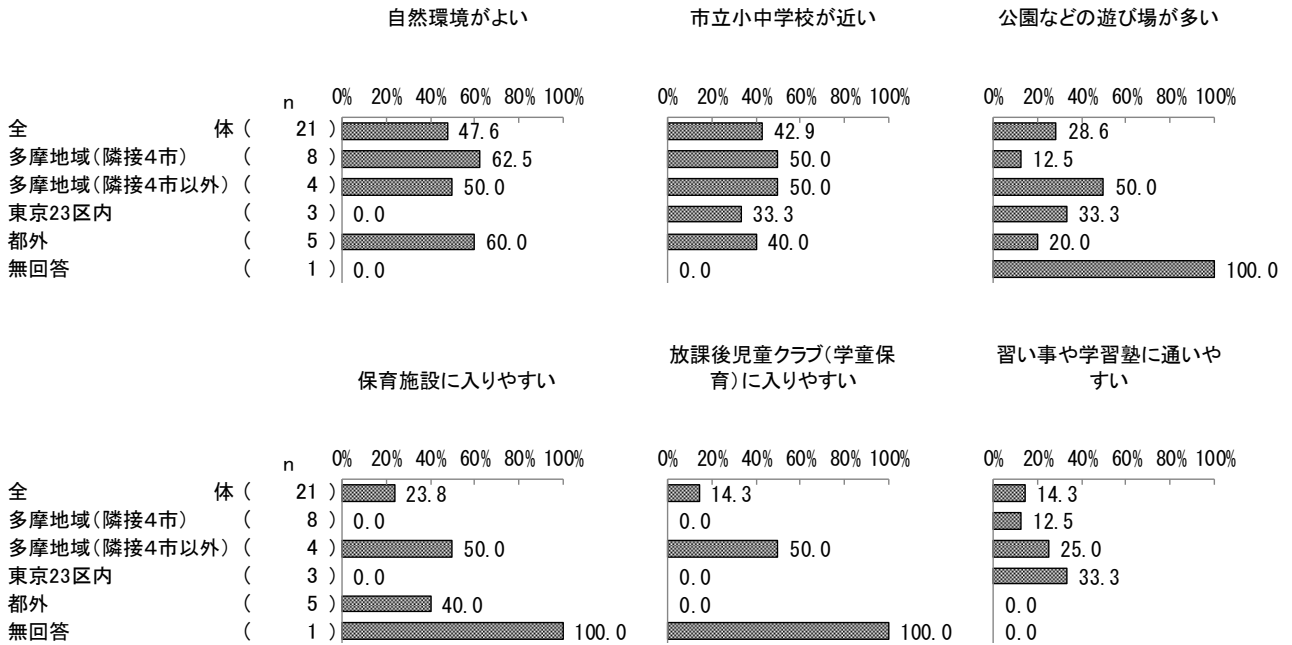
＜図表2-3-33＞現市区町村で子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由  
／年代別（上位6項目）



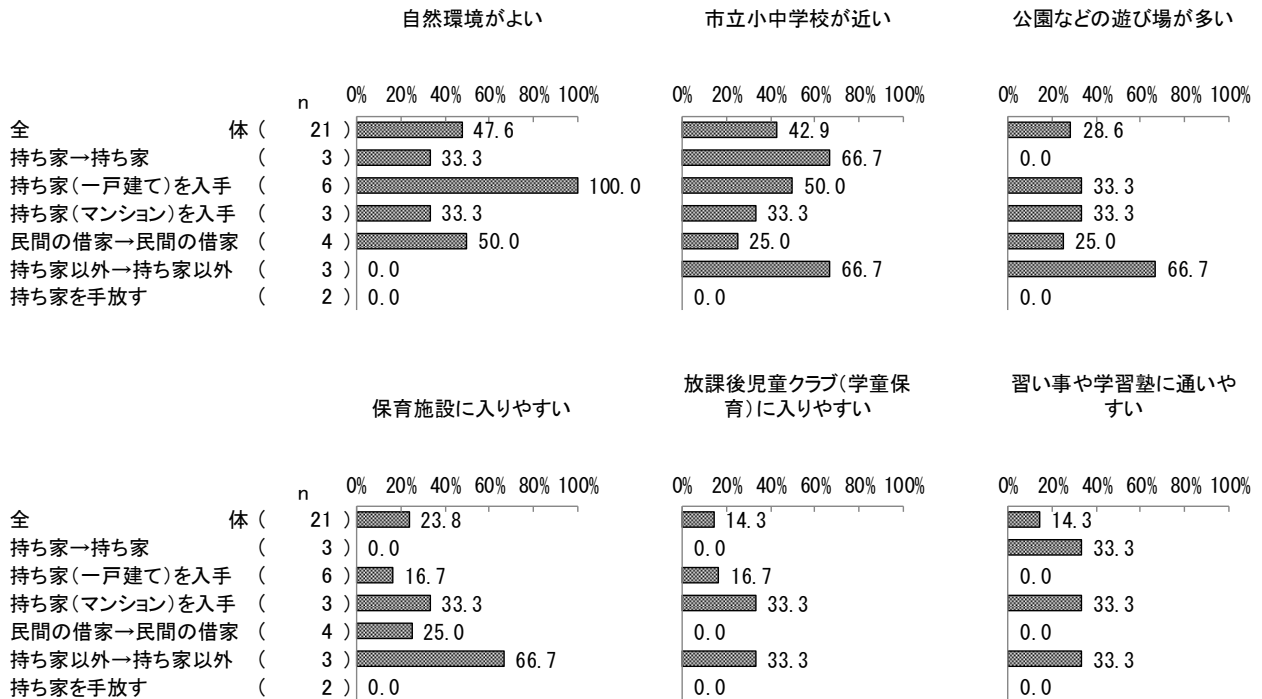
転出後の居住地域別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表2-3-34)

住居区分別については、サンプル数が少ないため参考として図を掲載するに留める。(図表2-3-35)

＜図表 2-3-34＞現市区町村で子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由  
／転出後の居住地別（上位 6 項目）



＜図表 2-3-35＞現市区町村で子育て環境や学校教育環境がよいと思う理由／住居区分 転出前→転出後（上位 6 項目）



(5) 転出前に東大和市内で住まいを探したか

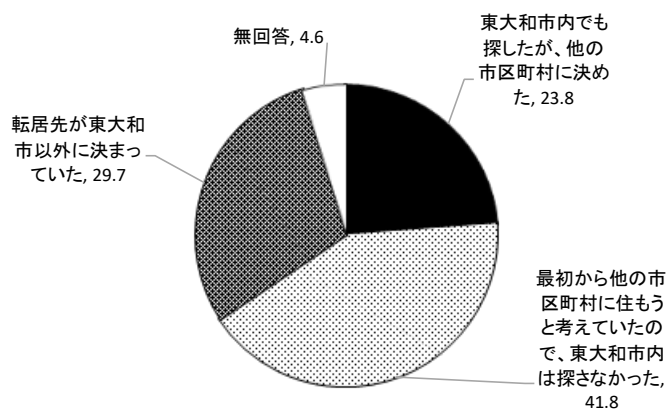
問 20 転出するにあたって、東大和市内でもお住まいを探しましたか。(1つを選択)

<図表 2-3-36> 転出前に東大和市内で住まいを探したか／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
東大和市内でも探したが、他の市区町村に決めた	57	23.8
最初から他の市区町村に住もうと考えていたので、東大和市内は探さなかった	100	41.8
転居先が東大和市以外に決まっていた	71	29.7
無回答	11	4.6
調査数	239	100.0



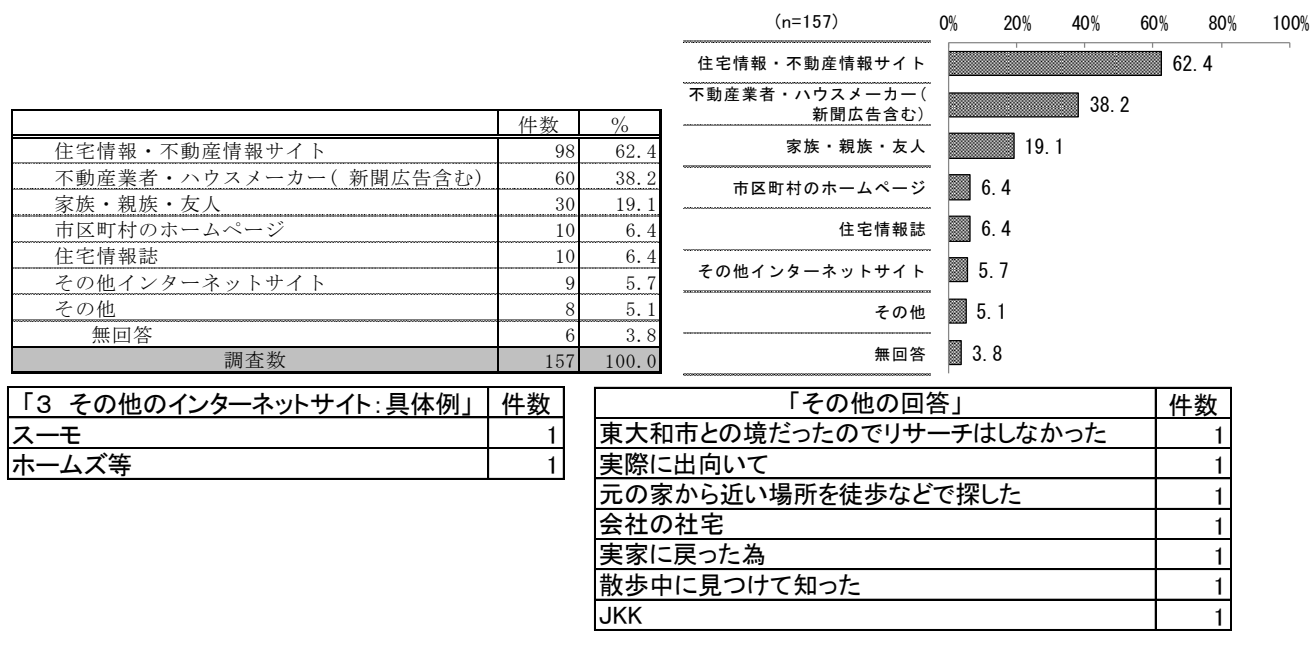
全体では「最初から他の市区町村に住もうと考えていたので、東大和市内は探さなかった」(41.8%)が4割強で最も高く、次いで「転居先が東大和市以外に決まっていた」(29.7%)が約3割、「東大和市内でも探したが、他の市区町村に決めた」(23.8%)が2割強となっている。(図表 2-3-36)

## (6) 転出先の地域を探したときの情報源

【問 20 で「1 東大和市内でも探した」または「2 最初から他の市区町村に住もうと考えていた」とお答えの方に】

問 21 転出先の地域を探したときの情報源は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

<図表 2-3-37> 転出先の地域を探したときの情報源／全体



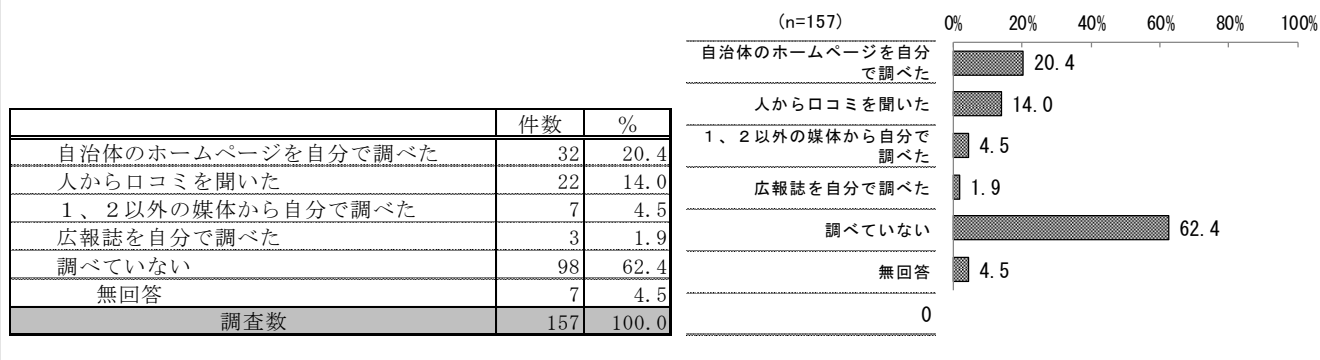
全体では「住宅情報・不動産情報サイト」(62.4%)が6割強で最も高く、次いで「不動産業者・ハウスメーカー(新聞広告含む)」(38.2%)が4割弱、「家族・親族・友人」(19.1%)が約2割となっている。(図表 2-3-37)

(7) 転出先自治体の行政サービスや施策を調べたか

【問 20 で「1 東大和市内でも探した」または「2 最初から他の市区町村に住もうと考えていた」とお答えの方に】

問 22 転出先を決めるにあたり、転出先自治体の行政サービスや施策を調べましたか。(あてはまるものすべてを選択)

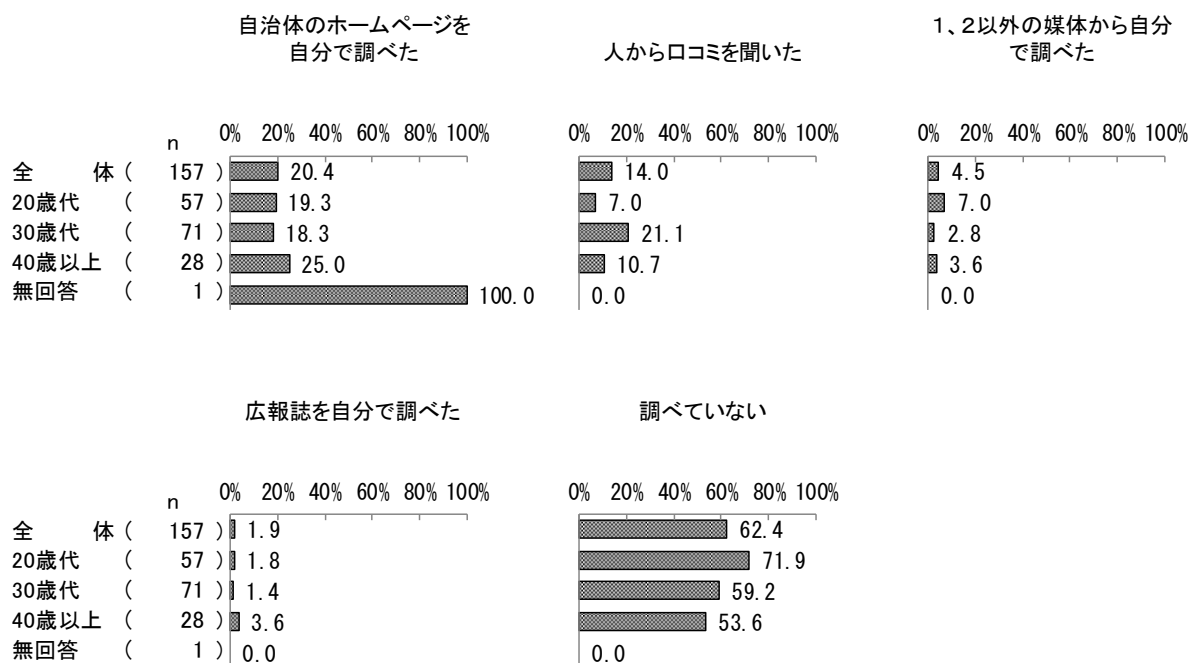
<図表 2-3-38> 転出先自治体の行政サービスや施策を調べたか / 全体



全体では「調べていない」(62.4%)が6割強で最も高く、調べたと回答の中では「自治体のホームページを自分で調べた」(20.4%)が約2割で最も高く、「人から口コミを聞いた」(14.0%)が1割強となっている。(図表 2-3-38)

年代別でみると、「自治体のホームページを自分で調べた」は40歳以上（25.0%）が2割台半ばと最も高く、「人から口コミを聞いた」は30歳代（21.1%）が最も高くなっている。一方、「調べていない」は20歳代（71.9%）が7割強と最も高くなっている。（図表2-3-39）

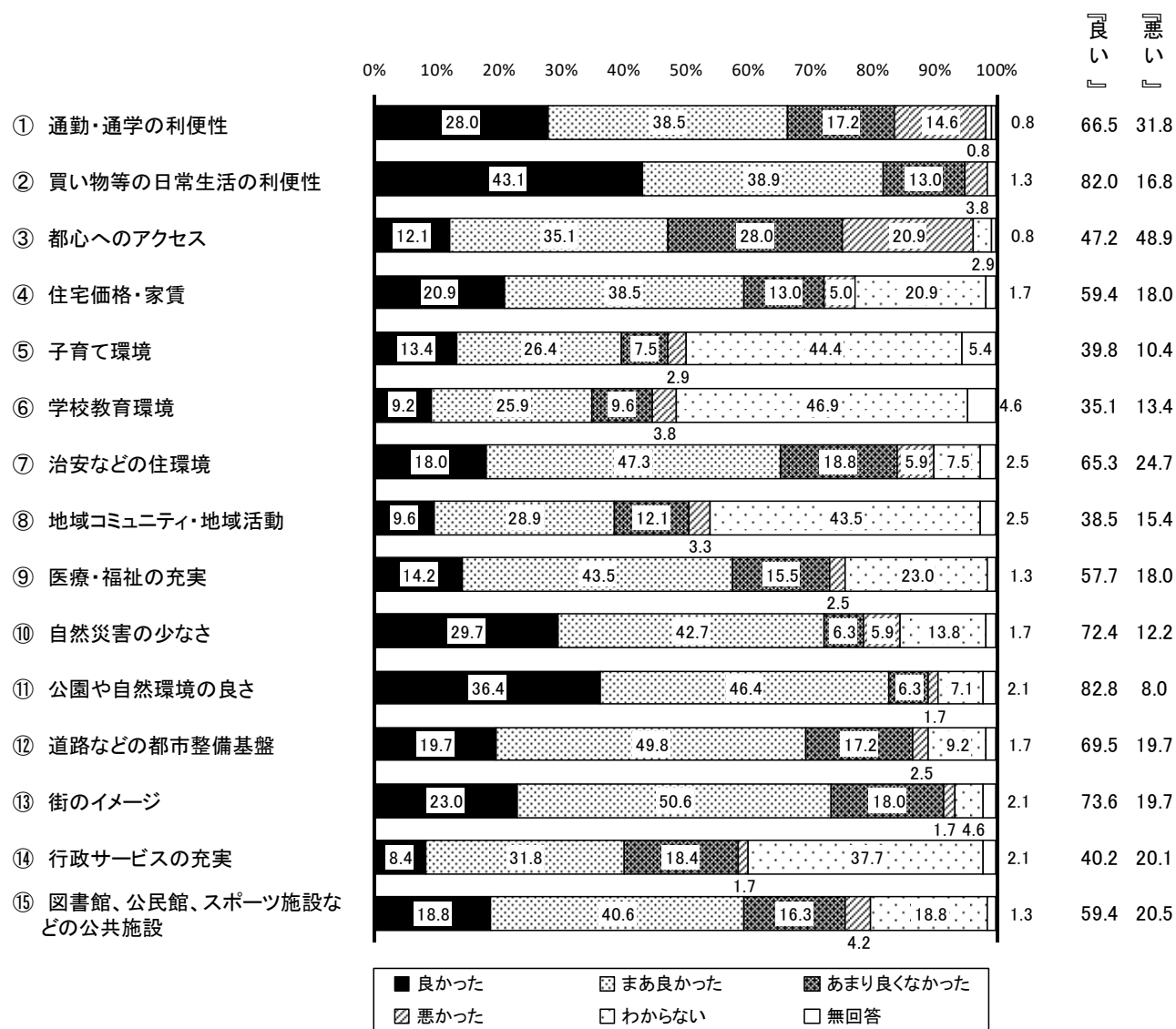
＜図表2-3-39＞ 転出先自治体の行政サービスや施策を調べたか／年代別



(8) 東大和市に住んでいたときに感じた印象

問 23 東大和市に住んでいたときに感じた印象をお聞きます。(それぞれ1つ選択)

<図表 2-3-40> 東大和市に住んでいたときに感じた印象/全体



東大和市に住んでいたときに感じた印象ついて15項目に分けて聞いたところ、「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』の項目は、⑪公園や自然環境の良さ(82.8%)が8割強で最も高く、次いで②買い物等の日常生活の利便性(82.0%)が8割強、⑬街のイメージ(73.6%)が7割強となっている。

一方、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』の項目は、③都心へのアクセス(48.9%)が5割弱で最も高く、次いで①通勤・通学の利便性(31.8%)が3割強、⑦治安などの住環境(24.7%)が2割台半ばとなっている。(図表2-3-40)



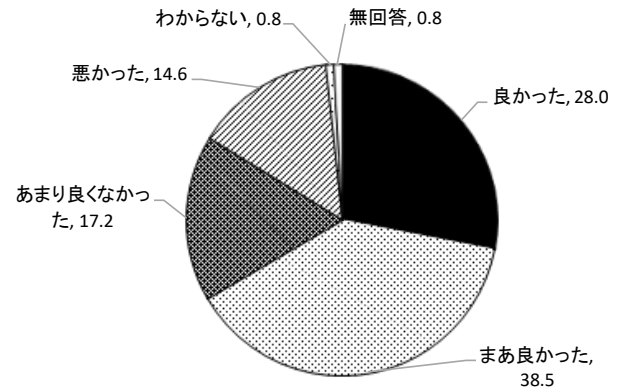
① 通勤・通学の利便性

<図表 2-3-41> ①通勤・通学の利便性／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	67	28.0
まあ良かった	92	38.5
あまり良くなかった	41	17.2
悪かった	35	14.6
わからない	2	0.8
無回答	2	0.8
調査数	239	100.0



	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	159	66.5
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	76	31.8

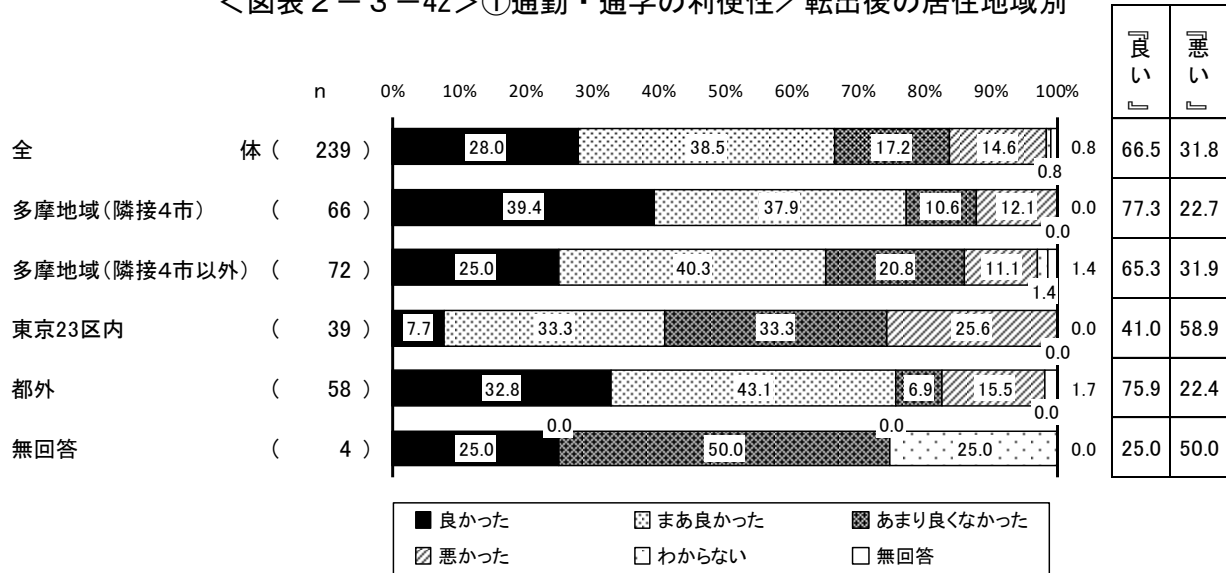
全体では「まあ良かった」(38.5%)が4割弱で最も高く、次いで「良かった」(28.0%)が3割弱、「あまり良くなかった」(17.2%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(66.5%)は7割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(31.8%)は3割強となっている。(図表 2-3-41)

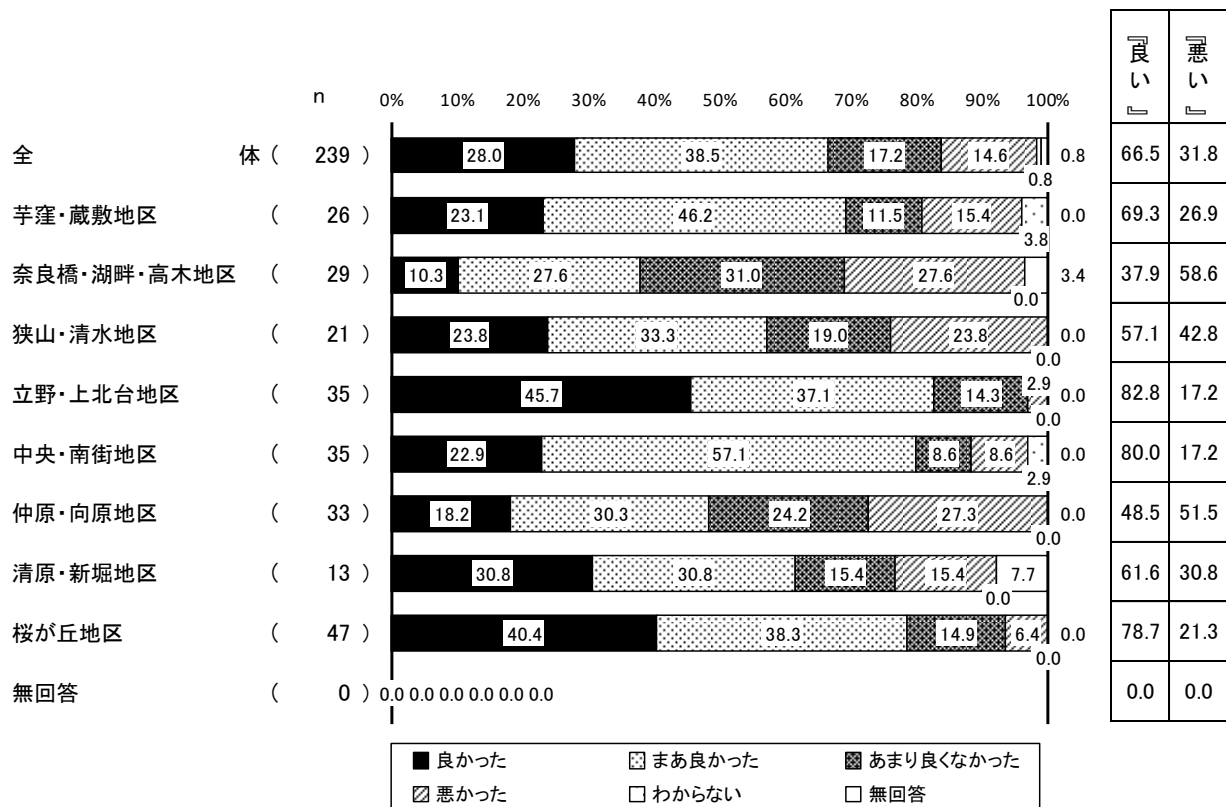
転出後の居住地域別にみると、『良い』は多摩地域（隣接4市）（77.3%）が8割弱と最も高く、『悪い』は東京23区内（58.9%）が6割弱と最も高くなっている。（図表2-3-42）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は立野・上北台地区（82.8%）が8割強と最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区（58.6%）が6割弱と最も高くなっている。（図表2-3-43）

<図表2-3-42>①通勤・通学の利便性／転出後の居住地域別



<図表2-3-43>①通勤・通学の利便性／転出前の居住地域別



## ② 買い物等の日常生活の利便性

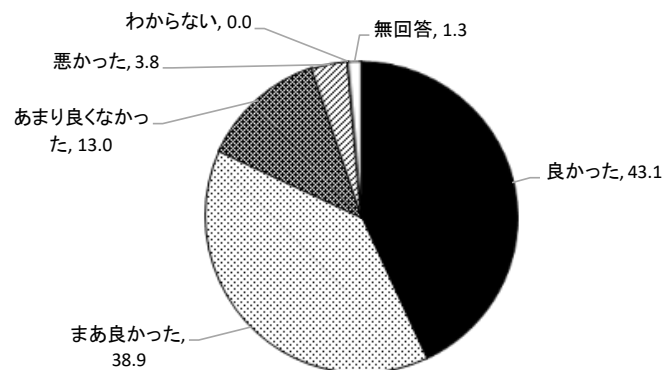
＜図表 2－3－44＞②買い物等の日常生活の利便性／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	103	43.1
まあ良かった	93	38.9
あまり良くなかった	31	13.0
悪かった	9	3.8
わからない	0	0.0
無回答	3	1.3
調査数	239	100.0

	件数	%
『良い』（良かった＋まあ良かった）	196	82.0
『悪い』（あまり良くなかった＋悪かった）	40	16.8



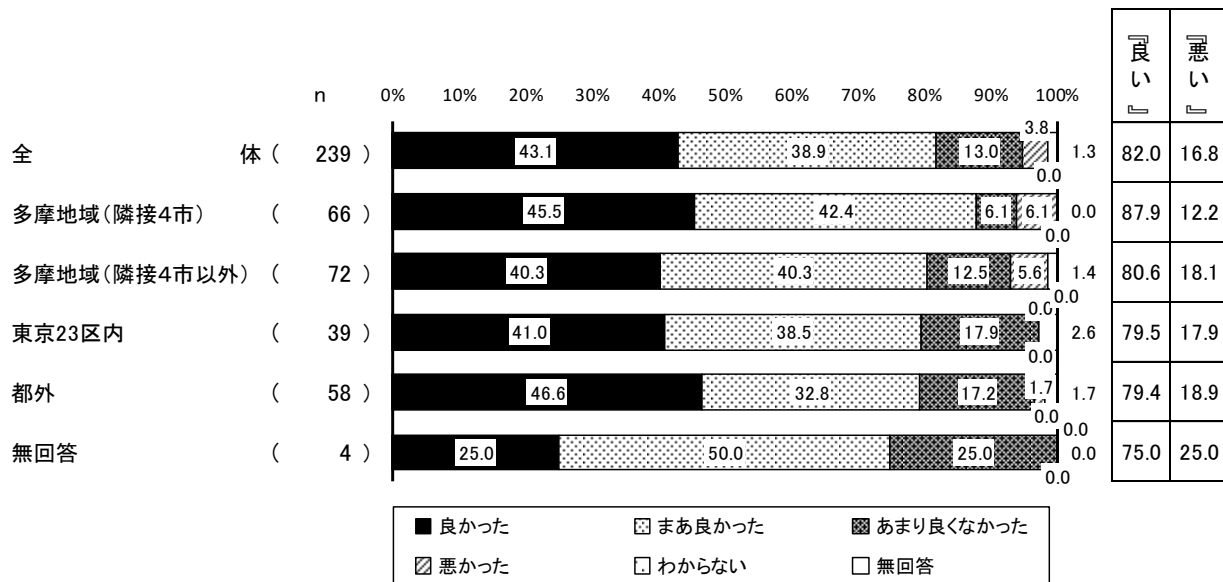
全体では「良かった」（43.1％）が4割強で最も高く、次いで「まあ良かった」（38.9％）が4割弱、「あまり良くなかった」（13.0％）が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』（82.0％）は8割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』（16.8％）は2割弱となっている。（図表 2－3－44）

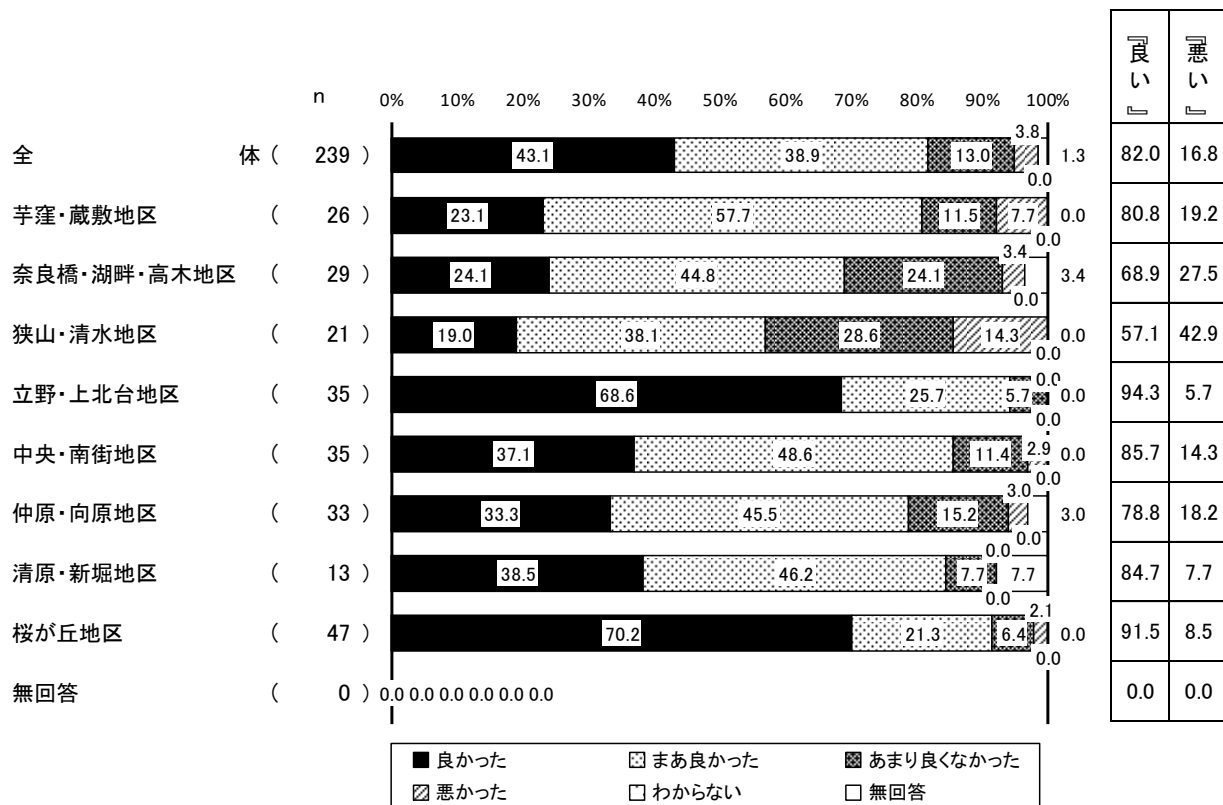
転出後の居住地域別にみると、『良い』は多摩地域（隣接4市）（87.9%）が9割弱と最も高く、『悪い』は都外（18.9%）が2割弱と最も高くなっている。（図表2-3-45）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は立野・上北台地区（94.3%）が9割台半ばと最も高く、『悪い』は狭山・清水地区（42.9%）が4割強と最も高くなっている。（図表2-3-46）

<図表2-3-45>②買い物等の日常生活の利便性／転出後の居住地域別



<図表2-3-46>②買い物等の日常生活の利便性／転出前の居住地域別



### ③ 都心へのアクセス

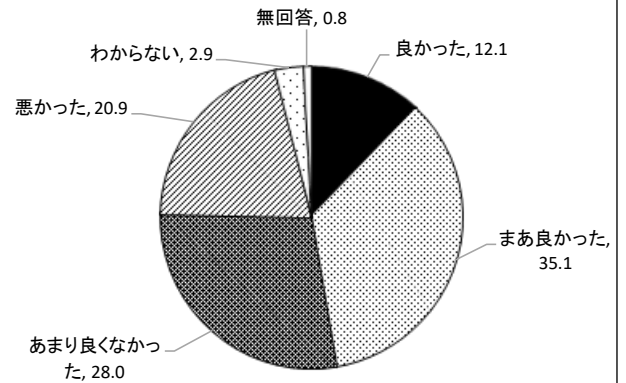
＜図表 2-3-47＞③都心へのアクセス／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	29	12.1
まあ良かった	84	35.1
あまり良くなかった	67	28.0
悪かった	50	20.9
わからない	7	2.9
無回答	2	0.8
調査数	239	100.0

	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	113	47.2
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	117	48.9



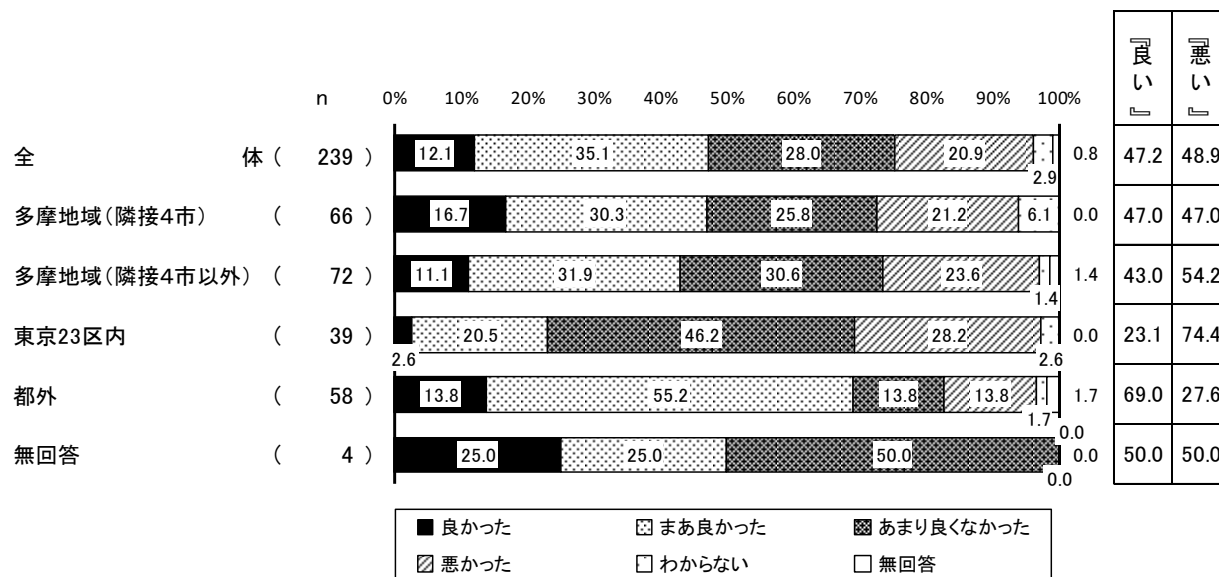
全体では「まあ良かった」(35.1%)が3割台半ばで最も高く、次いで「あまり良くなかった」(28.0%)が3割弱、「悪かった」(20.9%)が約2割となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(47.2%)は5割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(48.9%)も5割弱となっている。(図表 2-3-47)

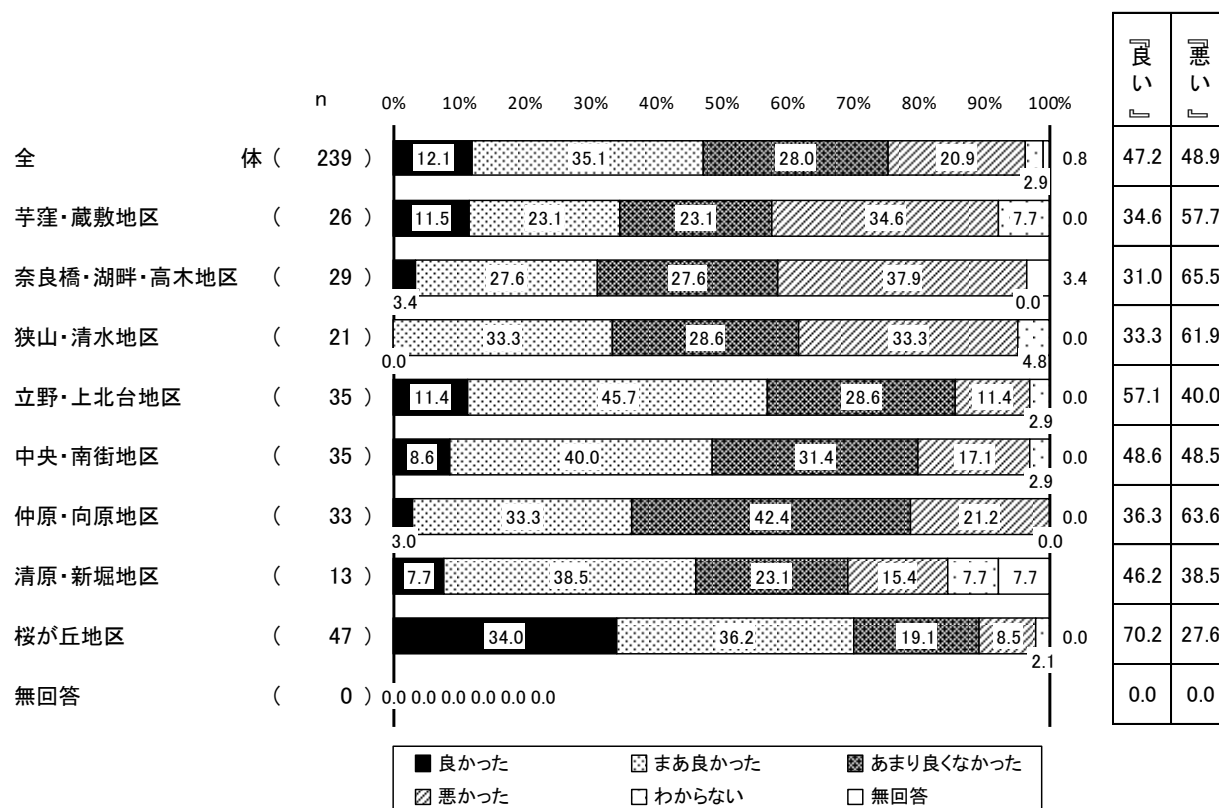
転出後の居住地域別にみると、『良い』は都外（69.0%）が7割弱と最も高く、『悪い』は東京23区内（74.4%）が7割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-48）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（70.2%）が約7割と最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区（65.5%）が6割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-49）

<図表2-3-48>③都心へのアクセス／転出後の居住地域別



<図表2-3-49>③都心へのアクセス／転出前の居住地域別



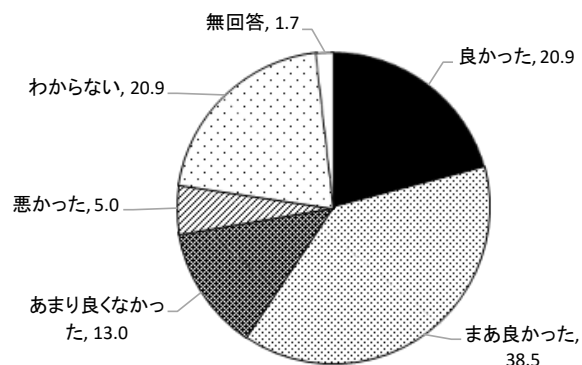
#### ④ 住宅価格・家賃

＜図表 2－3－50＞④住宅価格・家賃／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	50	20.9
まあ良かった	92	38.5
あまり良くなかった	31	13.0
悪かった	12	5.0
わからない	50	20.9
無回答	4	1.7
調査数	239	100.0



	件数	%
『良い』（良かった＋まあ良かった）	142	59.4
『悪い』（あまり良くなかった＋悪かった）	43	18.0

全体では「まあ良かった」(38.5%)が4割弱で最も高く、次いで「良かった」と「わからない」(20.9%)が約2割となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(59.4%)は約6割、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(18.0%)は2割弱となっている。(図表 2－3－50)

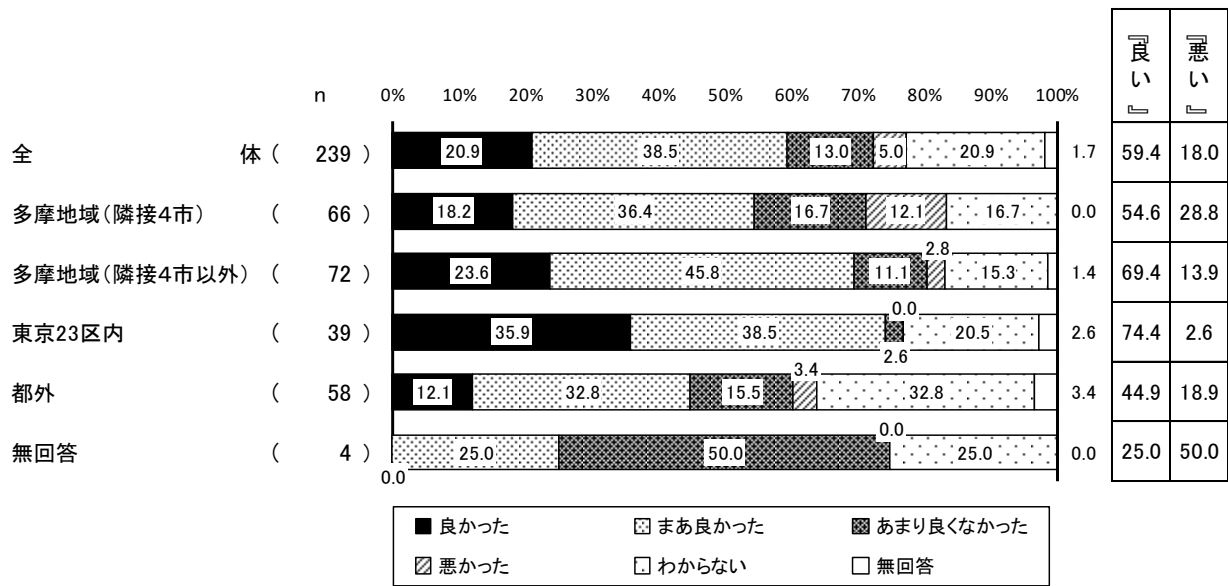
転出後の居住地域別にみると、『良い』は東京23区内(74.4%)が7割台半ばと最も高く、『悪い』は多摩地域(隣接4市)(28.8%)が3割弱と最も高くなっている。(図表 2－3－51)

転出前の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区(72.3%)が7割強と最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区(27.5%)が3割弱と最も高くなっている。(図表 2－3－52)

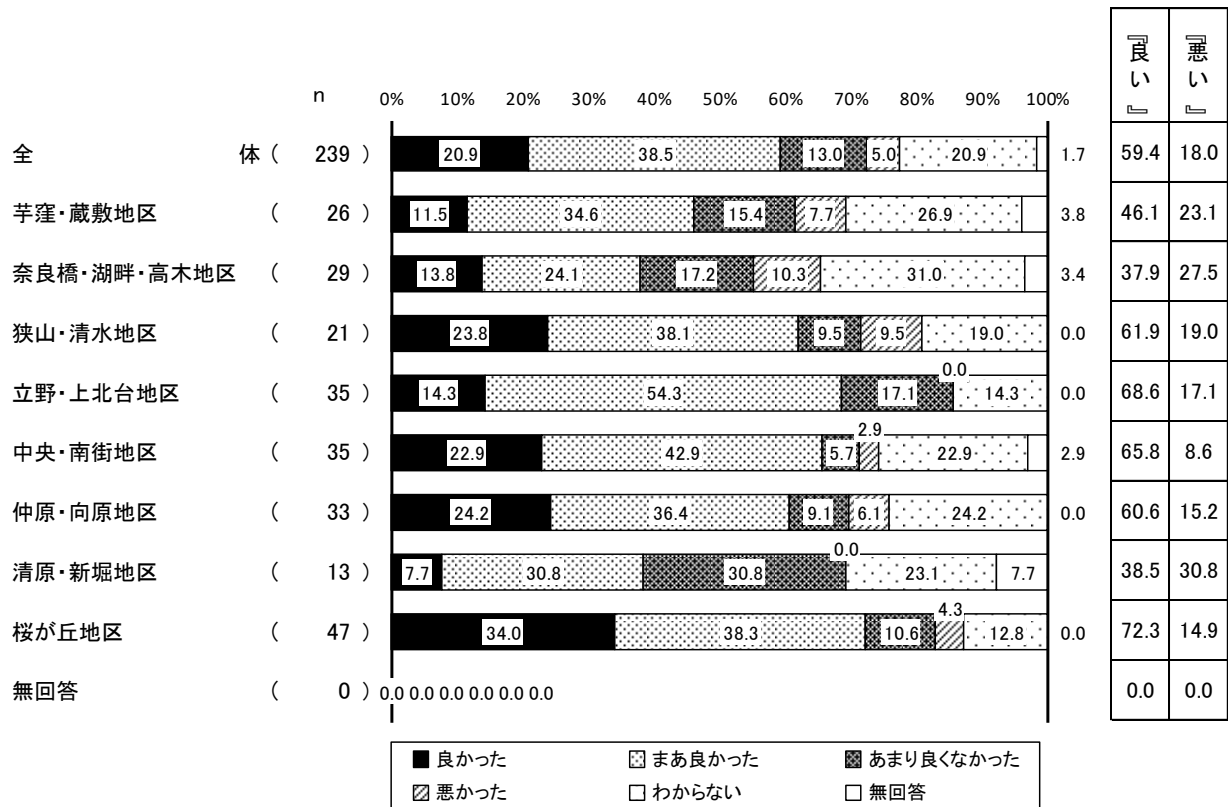
世帯構成別にみると、『良い』は子との二世帯→子との二世帯(76.0%)が8割弱と最も高く、『悪い』は単身→単身(31.8%)が3割強と最も高くなっている。(図表 2－3－53)

住居区分別にみると、『良い』は民間の借家→民間の借家(83.0%)が8割強と最も高く、『悪い』は持ち家(一戸建て)を入手(30.7%)が約3割と最も高くなっている。(図表 2－3－54)

<図表 2-3-51>④住宅価格・家賃／転出後の居住地域別

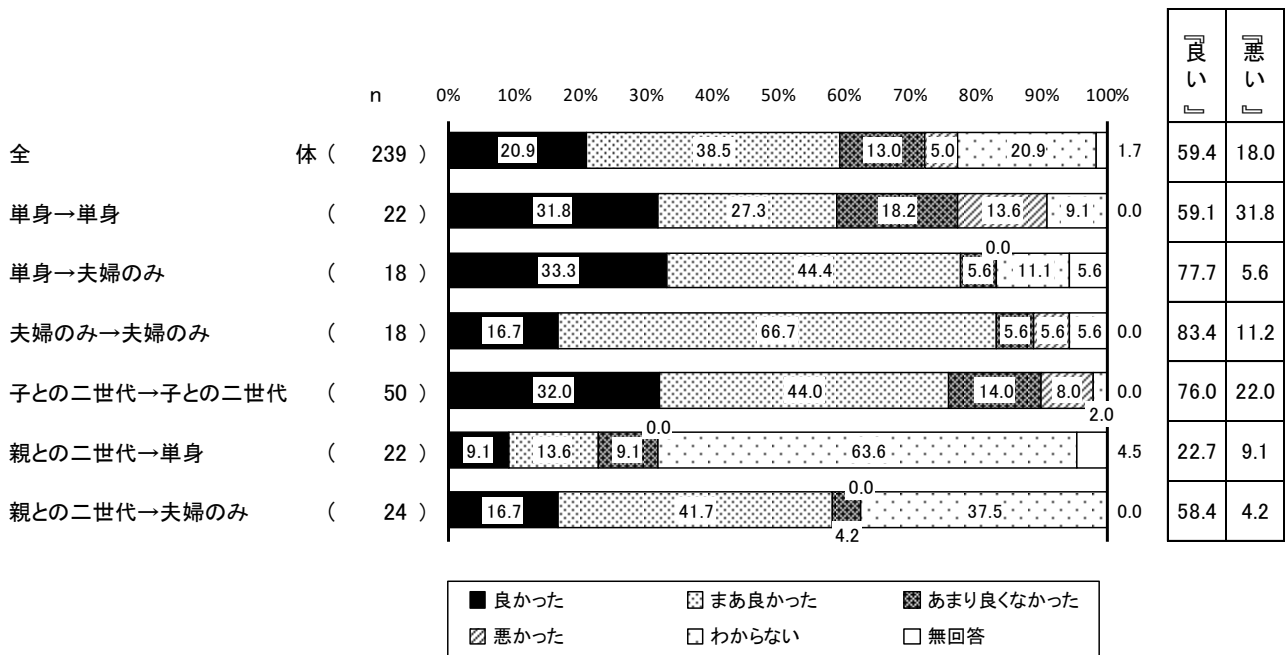


<図表 2-3-52>④住宅価格・家賃／転出前の居住地域別

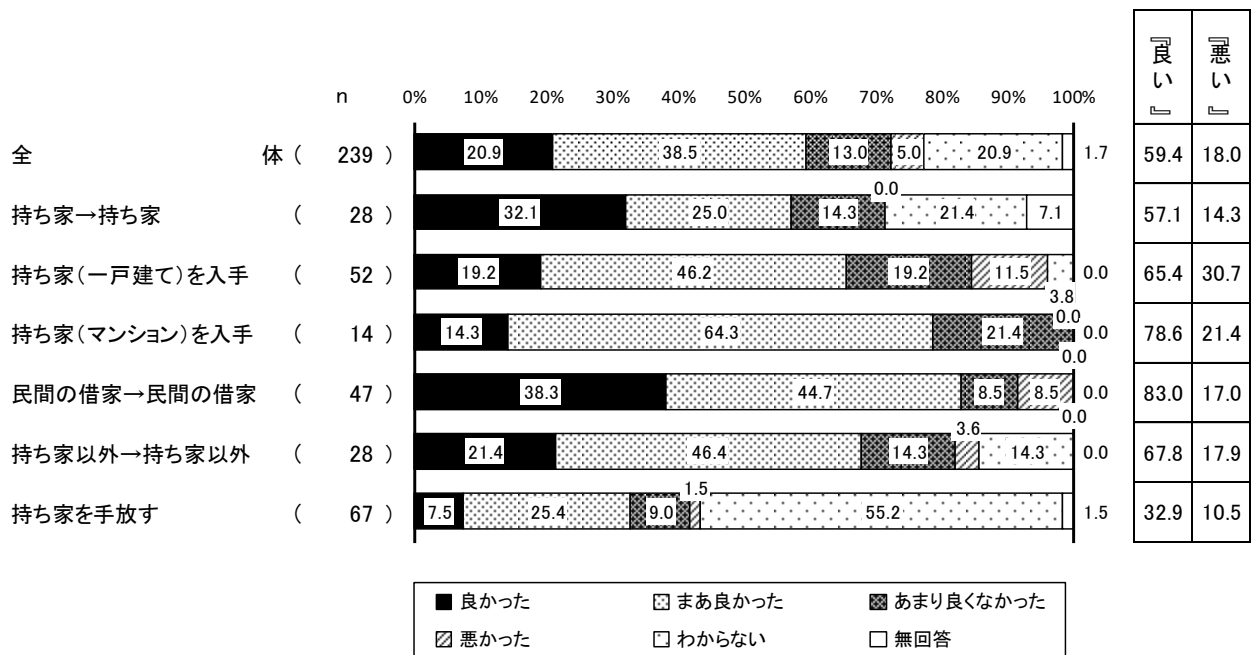




<図表 2-3-53>④住宅価格・家賃／世帯構成 転出前→転出後別



<図表 2-3-54>④住宅価格・家賃／住居区分 転出前→転出後別



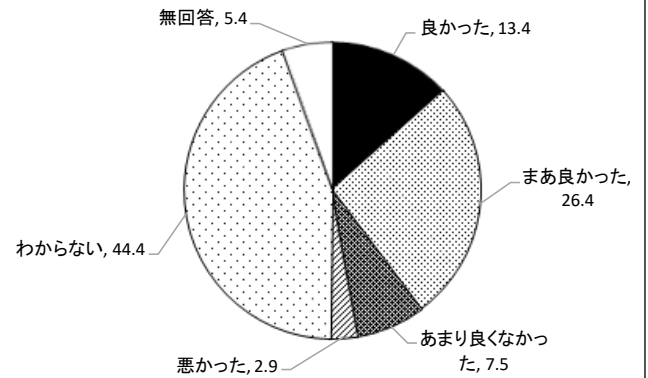
⑤ 子育て環境

<図表 2-3-55> ⑤子育て環境／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	32	13.4
まあ良かった	63	26.4
あまり良くなかった	18	7.5
悪かった	7	2.9
わからない	106	44.4
無回答	13	5.4
調査数	239	100.0



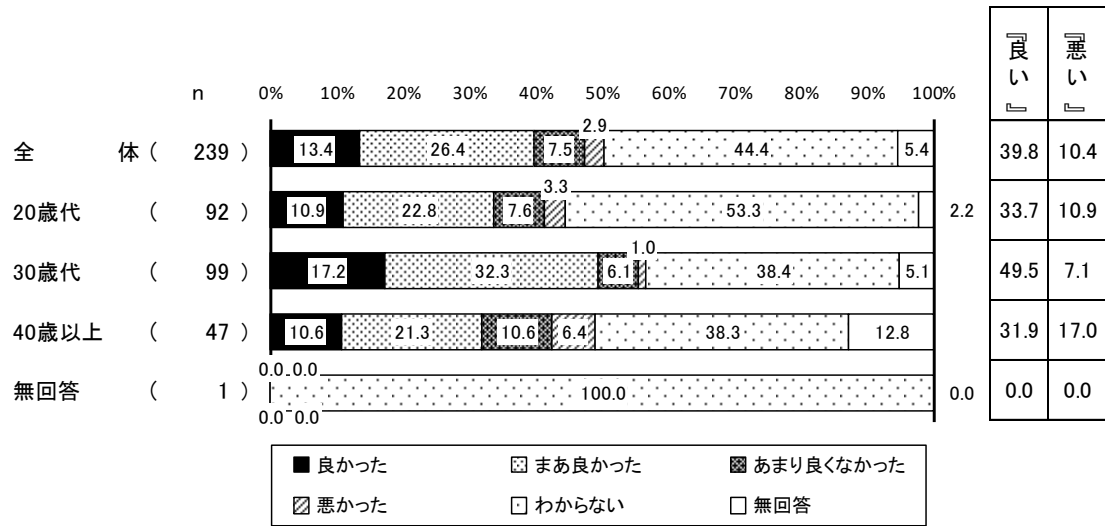
	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	95	39.8
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	25	10.4

全体では「わからない」(44.4%)が4割台半ばと最も高く、次いで「まあ良かった」(26.4%)が3割弱、「良かった」(13.4%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(39.8%)は約4割、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(10.4%)は約1割となっている。(図表 2-3-55)

年代別でみると、『良い』は30歳代（49.5%）が約5割と最も高く、『悪い』は40歳以上（17.0%）が2割弱と最も高くなっている。（図表2-3-56）

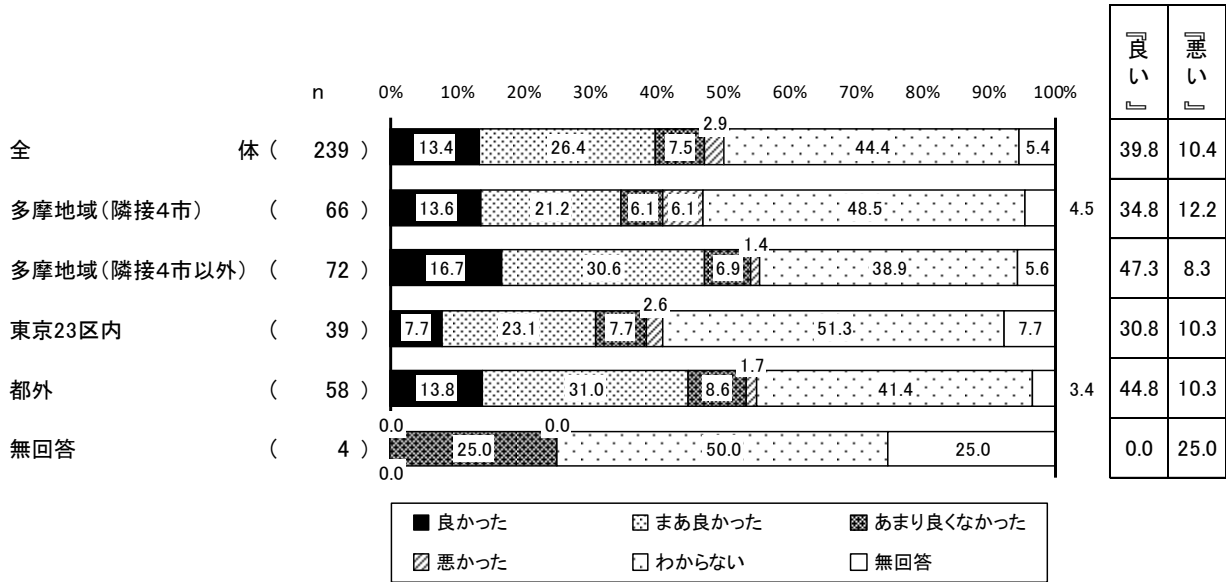
<図表2-3-56>⑤子育て環境／年代別



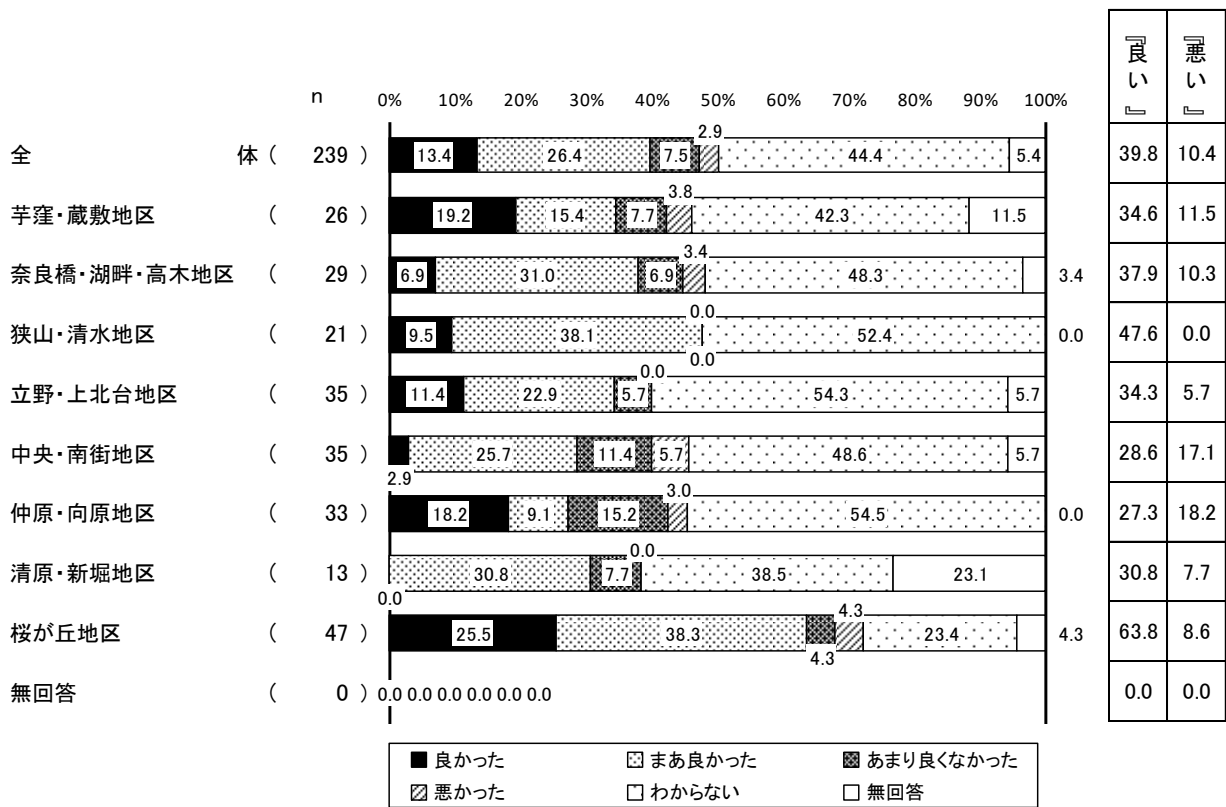
転出後の居住地域別にみると、『良い』は多摩地域（隣接4市以外）（47.3%）が5割弱と最も高く、『悪い』は多摩地域（隣接4市）（12.2%）が1割強と最も高くなっている。（図表2-3-57）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（63.8%）が6割強と最も高く、『悪い』は仲原・向原地区（18.2%）が2割弱と最も高くなっている。（図表2-3-58）

<図表2-3-57>⑤子育て環境／転出後の居住地域別



<図表2-3-58>⑤子育て環境／転出前の居住地域別



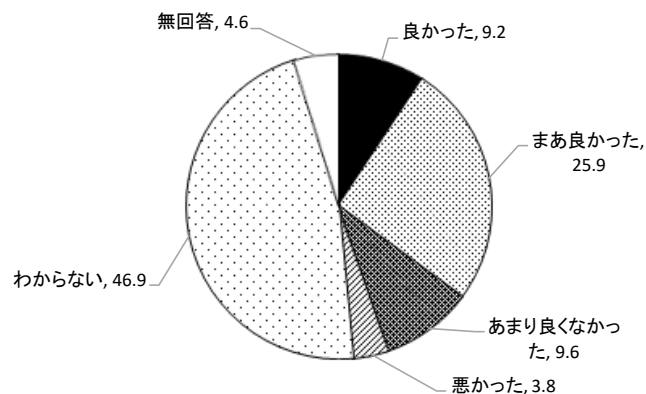
⑥ 学校教育環境

<図表 2 - 3 - 59> ⑥学校教育環境 / 全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	22	9.2
まあ良かった	62	25.9
あまり良くなかった	23	9.6
悪かった	9	3.8
わからない	112	46.9
無回答	11	4.6
調査数	239	100.0



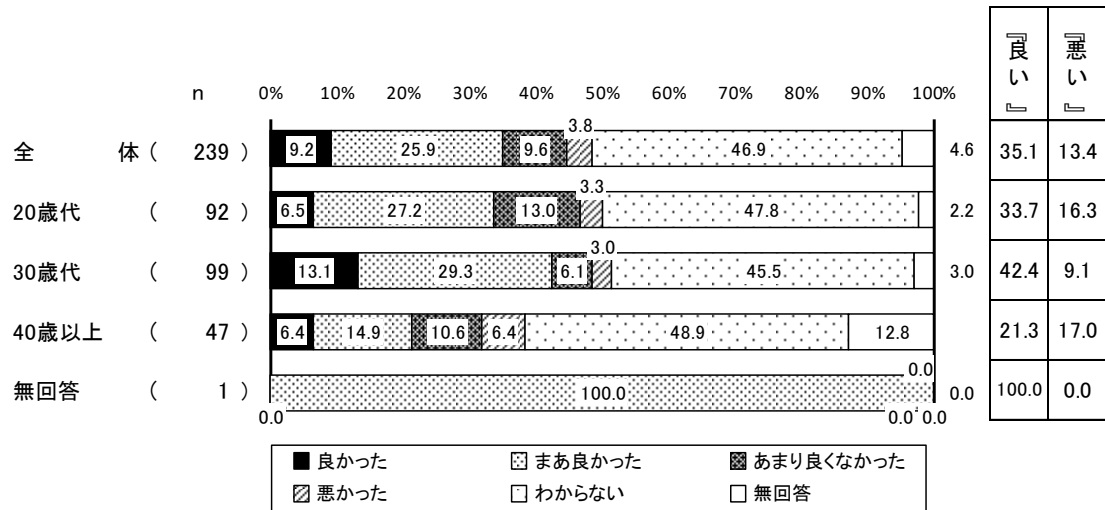
	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	84	35.1
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	32	13.4

全体では「わからない」(46.9%)が5割弱で最も高く、次いで「まあ良かった」(25.9%)が2割台半ば、「あまり良くなかった」(9.6%)が約1割となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(35.1%)は3割台半ば、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(13.4%)は1割強となっている。(図表 2 - 3 - 59)

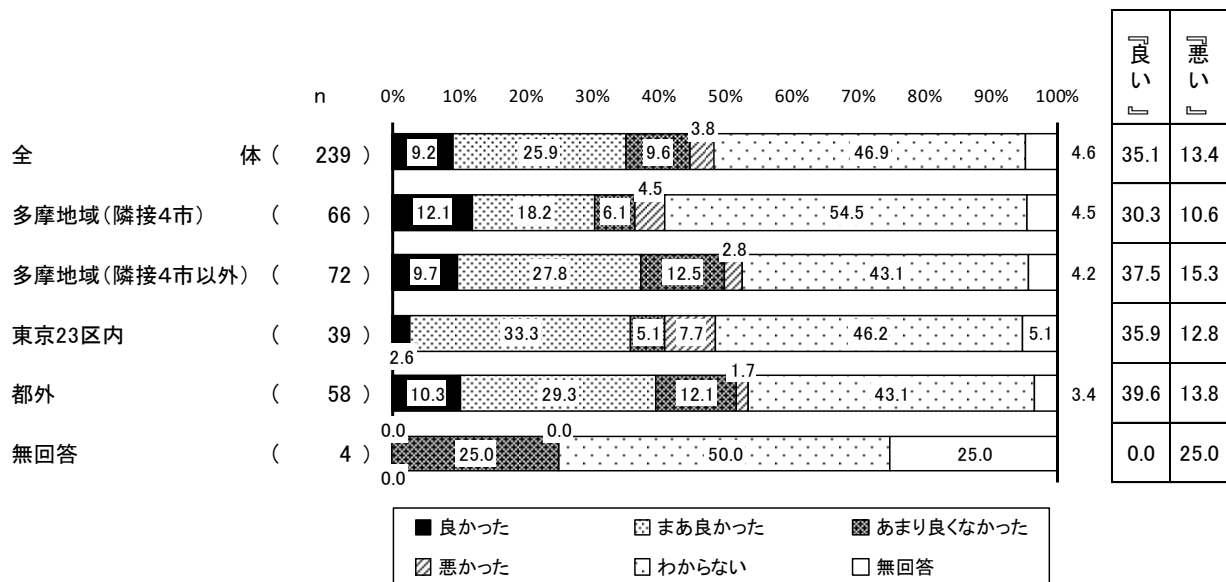
年代別でみると、『良い』は30歳代（42.4%）が4割強と最も高く、『悪い』は40歳以上（17.0%）が2割弱と最も高くなっている。（図表2-3-60）

＜図表2-3-60＞⑥学校教育環境／年代別



転出後の居住地域別にみると、『良い』は都外（39.6%）が約4割と最も高く、『悪い』は多摩地域（隣接4市以外）（15.3%）が1割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-61）

<図表2-3-61>⑥学校教育環境／転出後の居住地域別



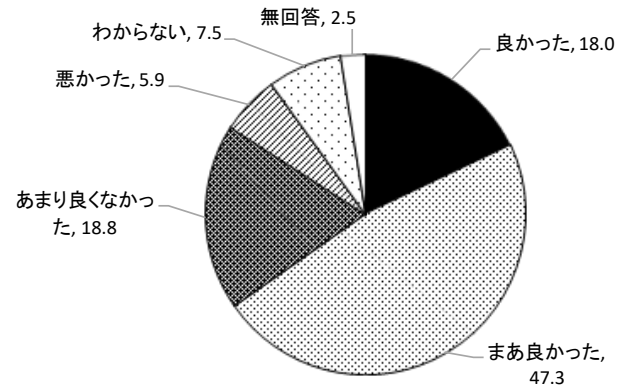
⑦ 治安などの住環境

<図表 2-3-62> ⑦治安などの住環境／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	43	18.0
まあ良かった	113	47.3
あまり良くなかった	45	18.8
悪かった	14	5.9
わからない	18	7.5
無回答	6	2.5
調査数	239	100.0



	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	156	65.3
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	59	24.7

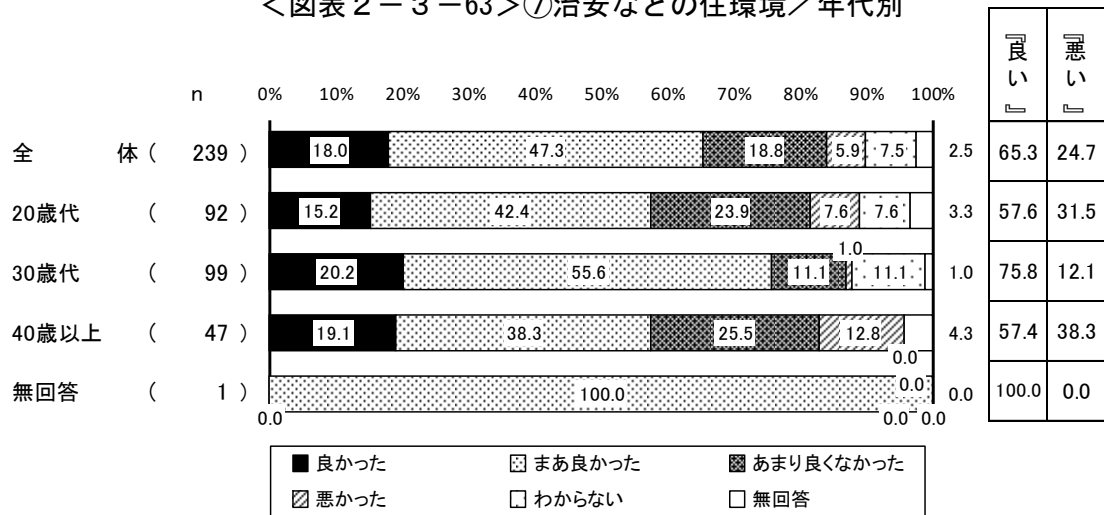
全体では「まあ良かった」(47.3%)が5割弱で最も高く、次いで「あまり良くなかった」(18.8%)が2割弱、「良かった」(18.0%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(65.3%)は6割台半ば、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(24.7%)は2割台半ばとなっている。(図表 2-3-62)



年代別でみると、『良い』は30歳代（75.8%）が7割台半ばと最も高く、『悪い』は40歳以上（38.3%）が4割弱と最も高くなっている。（図表2-3-63）

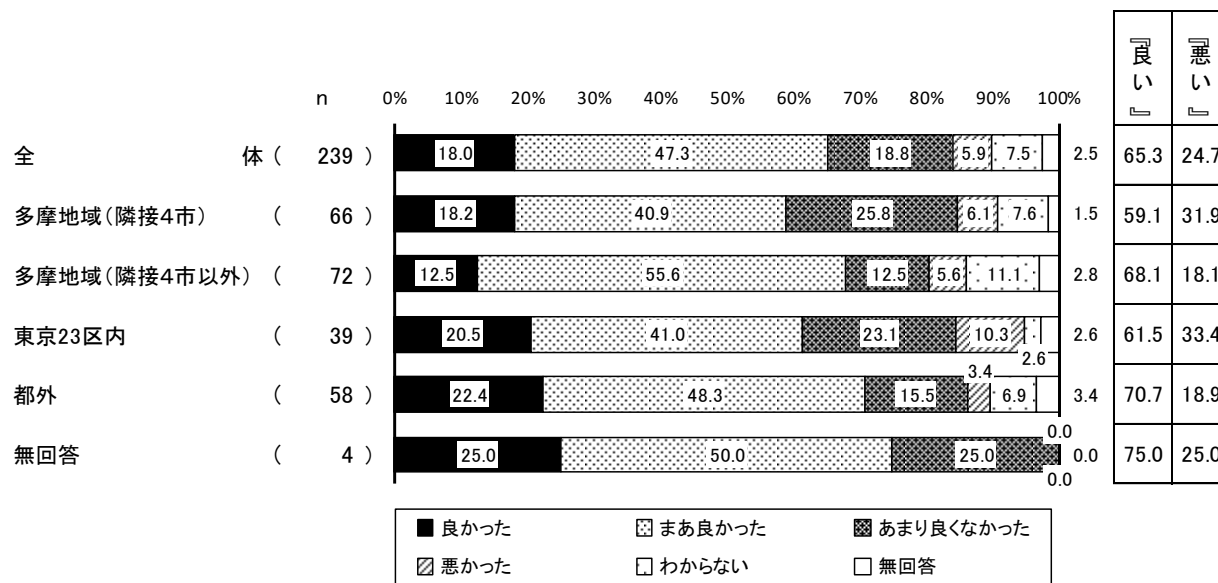
＜図表2-3-63＞⑦治安などの住環境／年代別



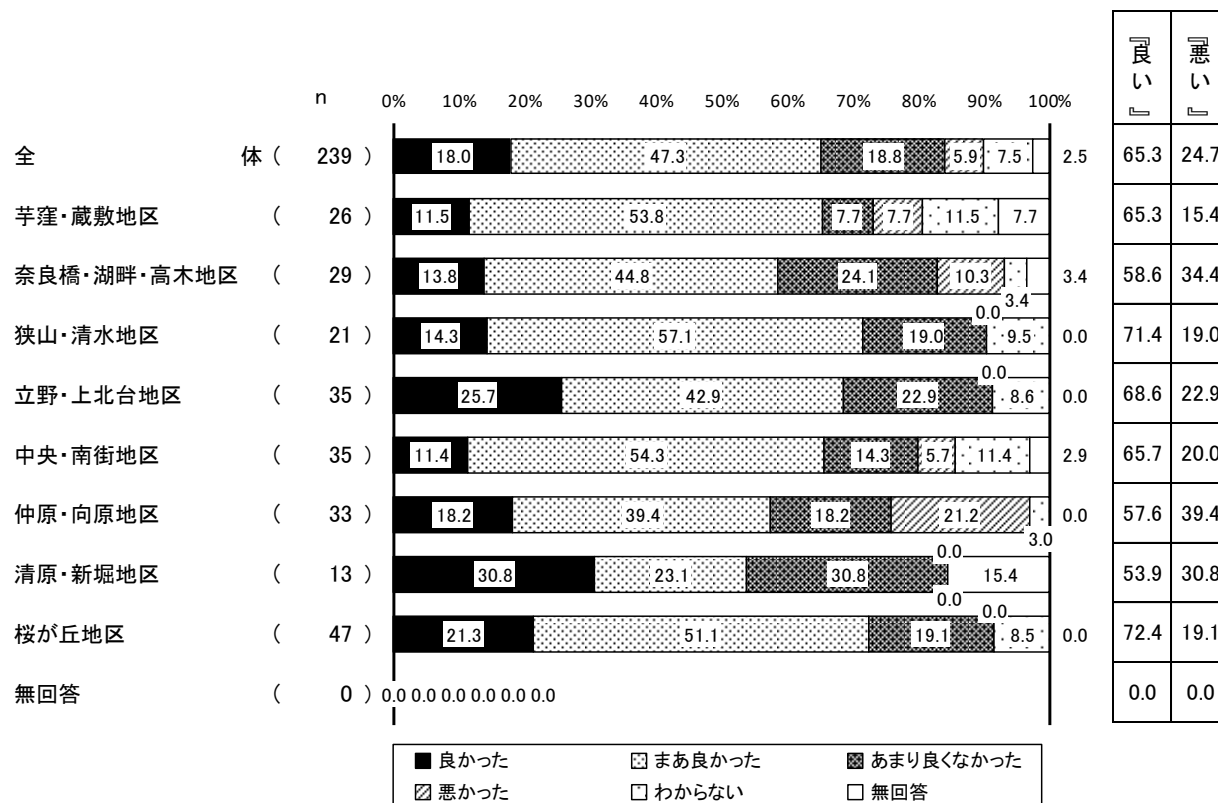
転出後の居住地域別にみると、『良い』は都外（70.7%）が約7割と最も高く、『悪い』は東京23区内（33.4%）が3割強と最も高くなっている。（図表2-3-64）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（72.4%）が7割強と最も高く、『悪い』は仲原・向原地区（39.4%）が約4割と最も高くなっている。（図表2-3-65）

<図表2-3-64>⑦治安などの住環境／転出後の居住地域別



<図表2-3-65>⑦治安などの住環境／転出前の居住地域別



⑧ 地域コミュニティ・地域活動

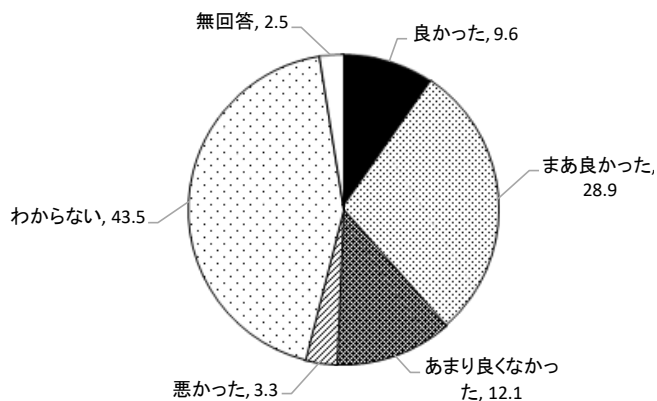
<図表 2-3-66> ⑧地域コミュニティ・地域活動／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	23	9.6
まあ良かった	69	28.9
あまり良くなかった	29	12.1
悪かった	8	3.3
わからない	104	43.5
無回答	6	2.5
調査数	239	100.0

	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	92	38.5
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	37	15.4



全体では「わからない」(43.5%)が4割強で最も高く、次いで「まあ良かった」(28.9%)が3割弱、「あまり良くなかった」(12.1%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(38.5%)は4割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(15.4%)は1割台半ばとなっている。(図表 2-3-66)

⑨ 医療・福祉の充実

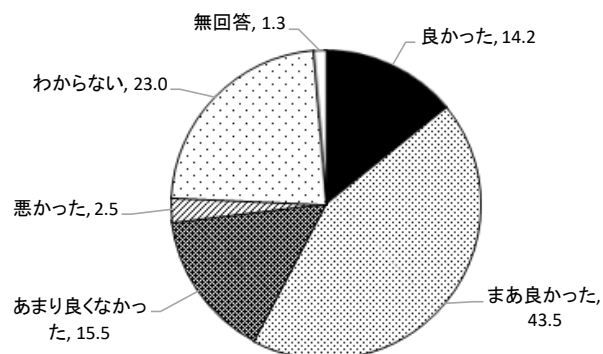
<図表2-3-67>⑨医療・福祉の充実／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	34	14.2
まあ良かった	104	43.5
あまり良くなかった	37	15.5
悪かった	6	2.5
わからない	55	23.0
無回答	3	1.3
調査数	239	100.0

	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	138	57.7
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	43	18.0



全体では「まあ良かった」(43.5%)が4割強で最も高く、次いで「わからない」(23.0%)が2割強、「あまり良くなかった」(15.5%)が1割台半ばとなっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(57.7%)は6割弱、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(18.0%)は2割弱となっている。(図表2-3-67)

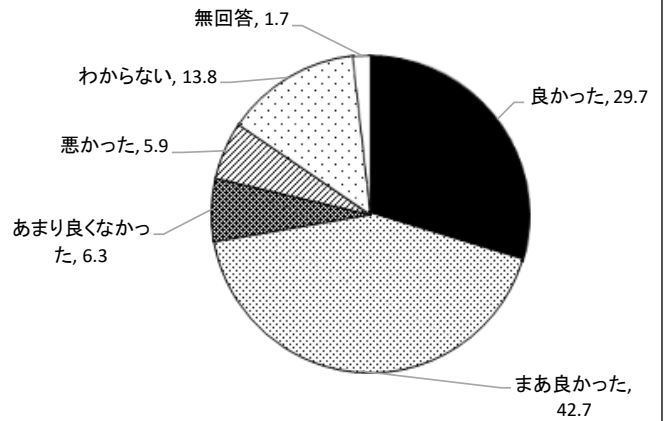
⑩ 自然災害の少なさ

<図表 2-3-68> ⑩自然災害の少なさ／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	71	29.7
まあ良かった	102	42.7
あまり良くなかった	15	6.3
悪かった	14	5.9
わからない	33	13.8
無回答	4	1.7
調査数	239	100.0



	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	173	72.4
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	29	12.2

全体では「まあ良かった」(42.7%)が4割強で最も高く、次いで「良かった」(29.7%)が約3割、「わからない」(13.8%)が1割強となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(72.4%)は7割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(12.2%)は1割強となっている。(図表 2-3-68)

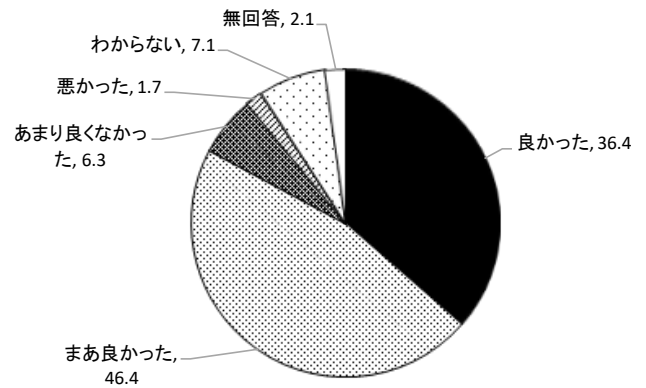
⑪ 公園や自然環境の良さ

<図表 2 - 3 - 69> ⑪公園や自然環境の良さ／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	87	36.4
まあ良かった	111	46.4
あまり良くなかった	15	6.3
悪かった	4	1.7
わからない	17	7.1
無回答	5	2.1
調査数	239	100.0



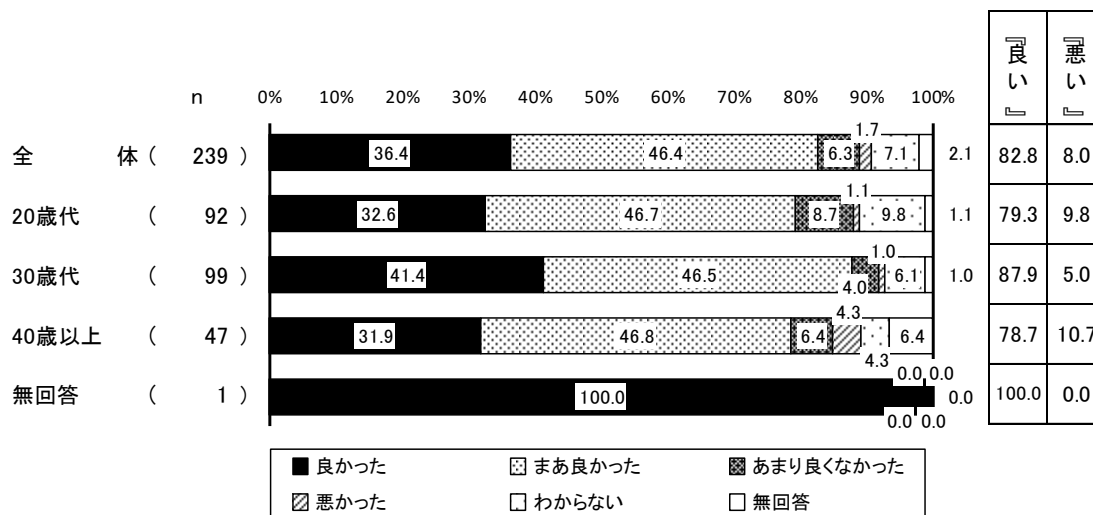
	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	198	82.8
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	19	8.0

全体では「まあ良かった」(46.4%)が5割弱で最も高く、次いで「良かった」(36.4%)が4割弱、「わからない」(7.1%)が1割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(82.8%)は8割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(8.0%)は1割弱となっている。(図表 2 - 3 - 69)

年代別でみると、『良い』は30歳代（87.9%）が9割弱と最も高く、『悪い』は40歳以上（10.7%）が約1割と最も高くなっている。（図表2-3-70）

＜図表2-3-70＞⑪公園や自然環境の良さ／年代別

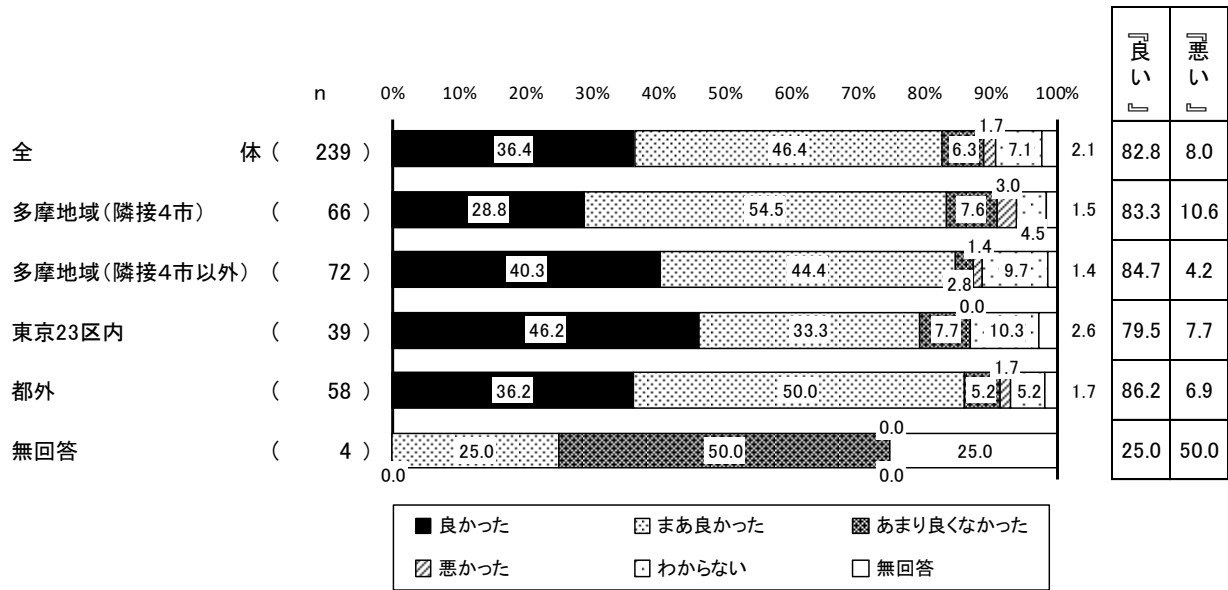


転出後の居住地域別にみると、『良い』は都外（86.2%）が9割弱と最も高く、『悪い』は多摩地域（隣接4市）（10.6%）が約1割と最も高くなっている。（図表2-3-71）

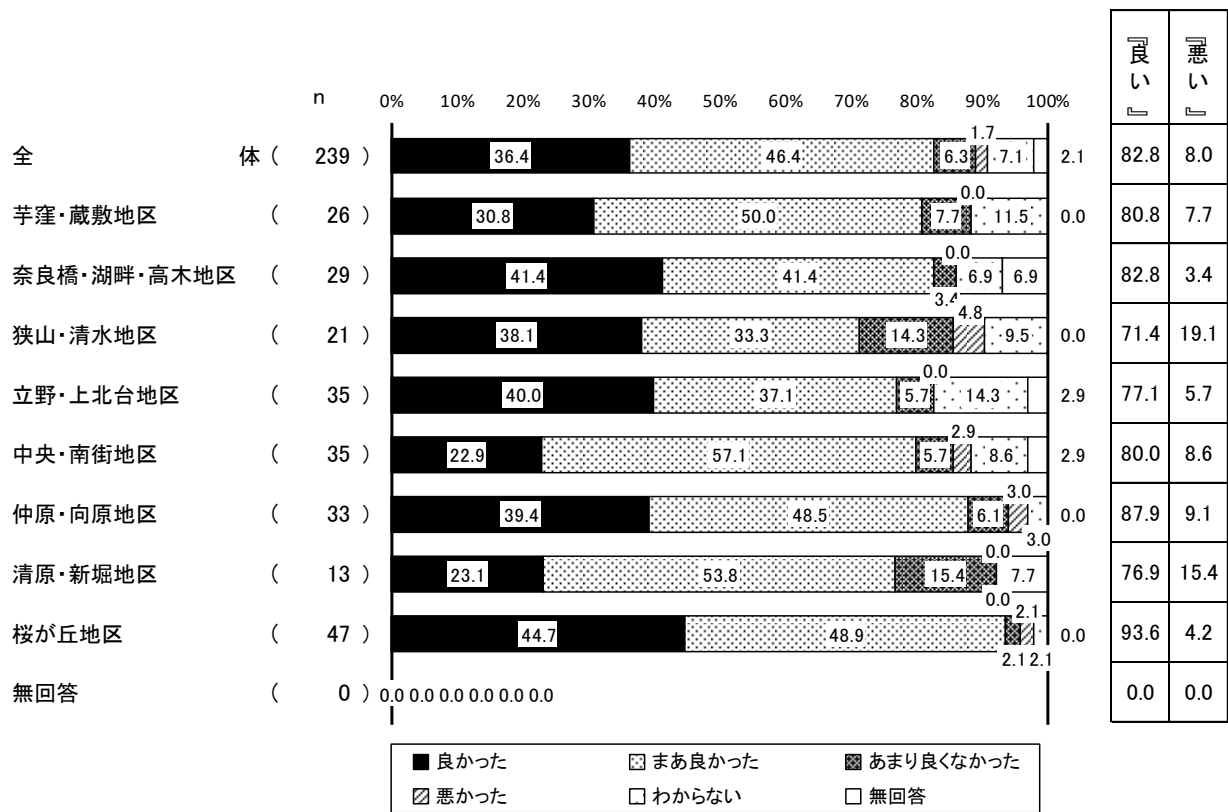
転出前の居住地域別にみると、『良い』は桜が丘地区（93.6%）が9割強と最も高く、『悪い』は狭山・清水地区（19.1%）が約2割と最も高くなっている。（図表2-3-72）

世帯構成別にみると、『良い』は'親との二世帯→単身（90.9%）が約9割と最も高く、『悪い』は子との二世帯→子との二世帯（10.0%）が1割と最も高くなっている。（図表2-3-73）

<図表 2-3-71> ⑪公園や自然環境の良さ／転出後の居住地域別

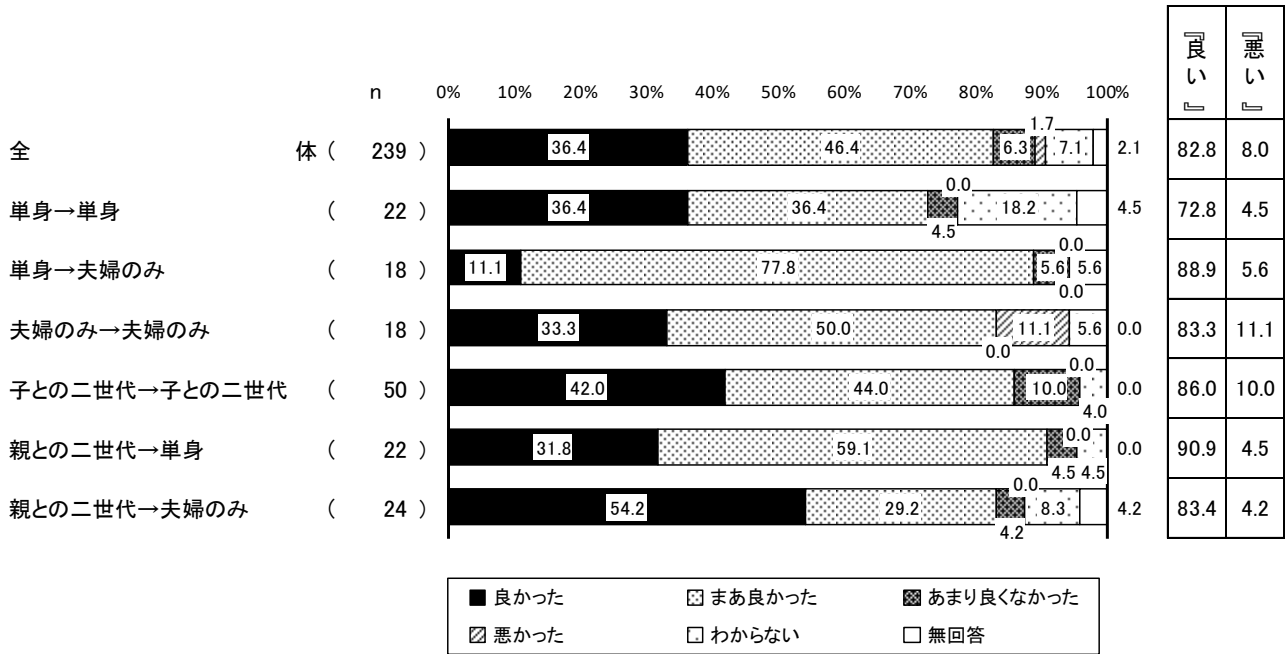


<図表 2-3-72> ⑪公園や自然環境の良さ／転出前の居住地域別





<図表 2-3-73> ⑪公園や自然環境の良さ／世帯構成 転出前→転出後別



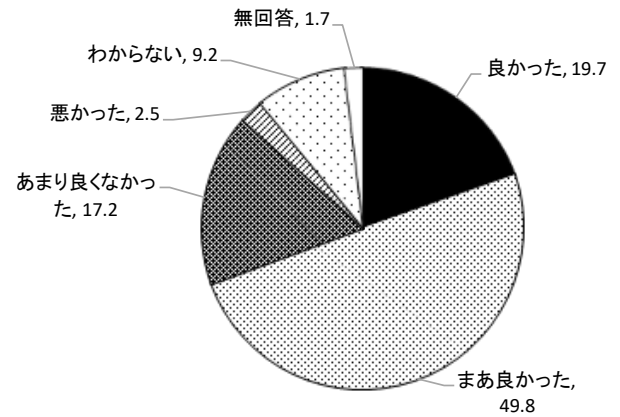
⑫ 道路などの都市整備基盤

＜図表 2-3-74＞道路などの都市整備基盤／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	47	19.7
まあ良かった	119	49.8
あまり良くなかった	41	17.2
悪かった	6	2.5
わからない	22	9.2
無回答	4	1.7
調査数	239	100.0

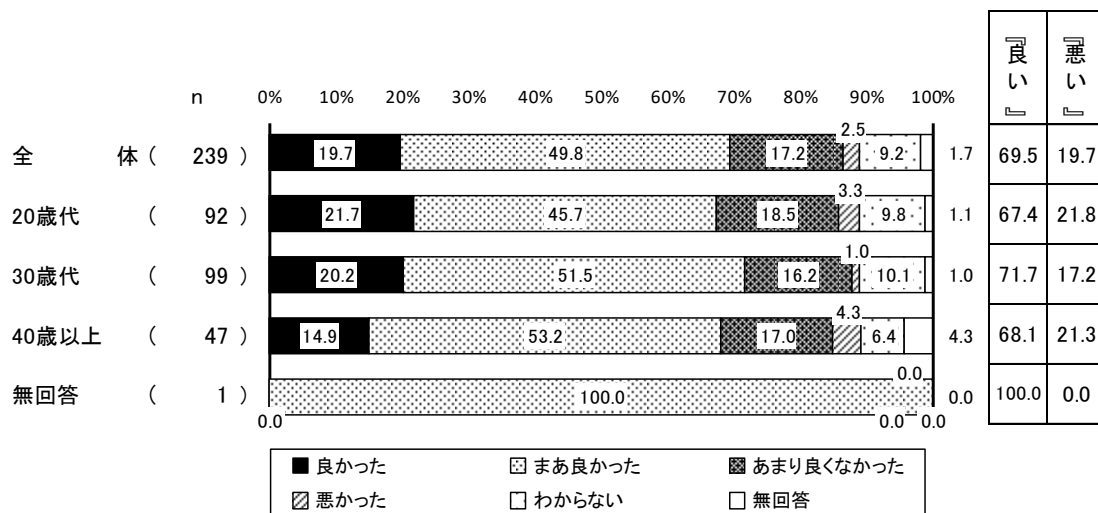


全体では「まあ良かった」(49.8%)が約5割で最も高く、次いで「良かった」(19.7%)が約2割、「あまり良くなかった」(17.2%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(69.5%)は約7割、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(19.7%)は約2割となっている。(図表 2-3-74)

年代別でみると、『良い』は30歳代（71.7%）が7割強と最も高く、『悪い』は20歳代（21.8%）と40歳以上（21.3%）が2割強と高くなっている。（図表2-3-75）

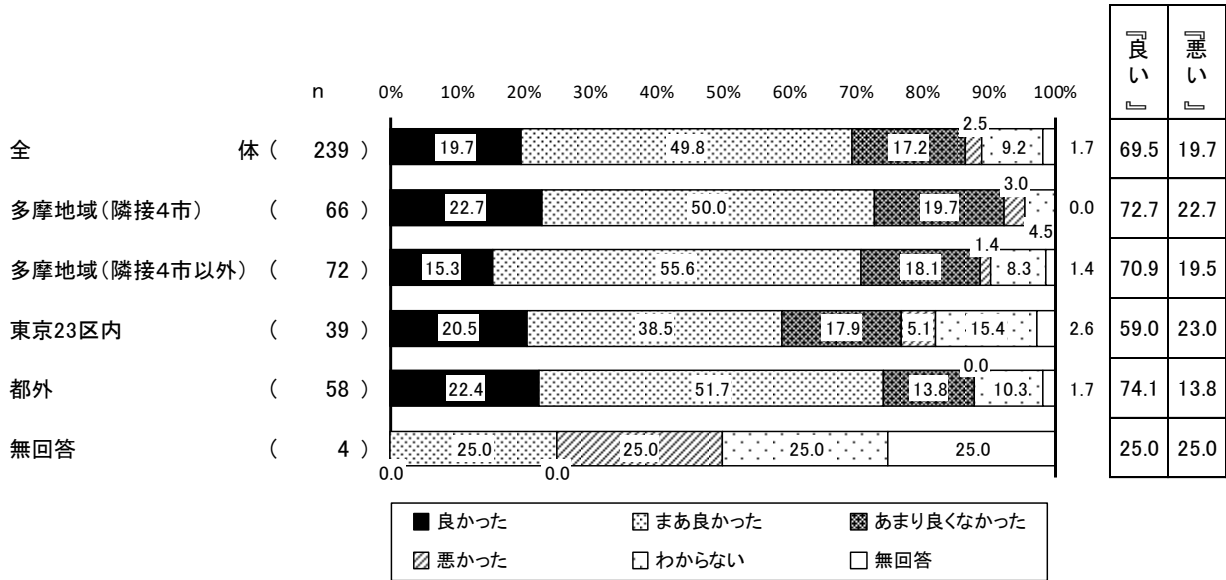
<図表2-3-75>⑫道路などの都市整備基盤／年代別



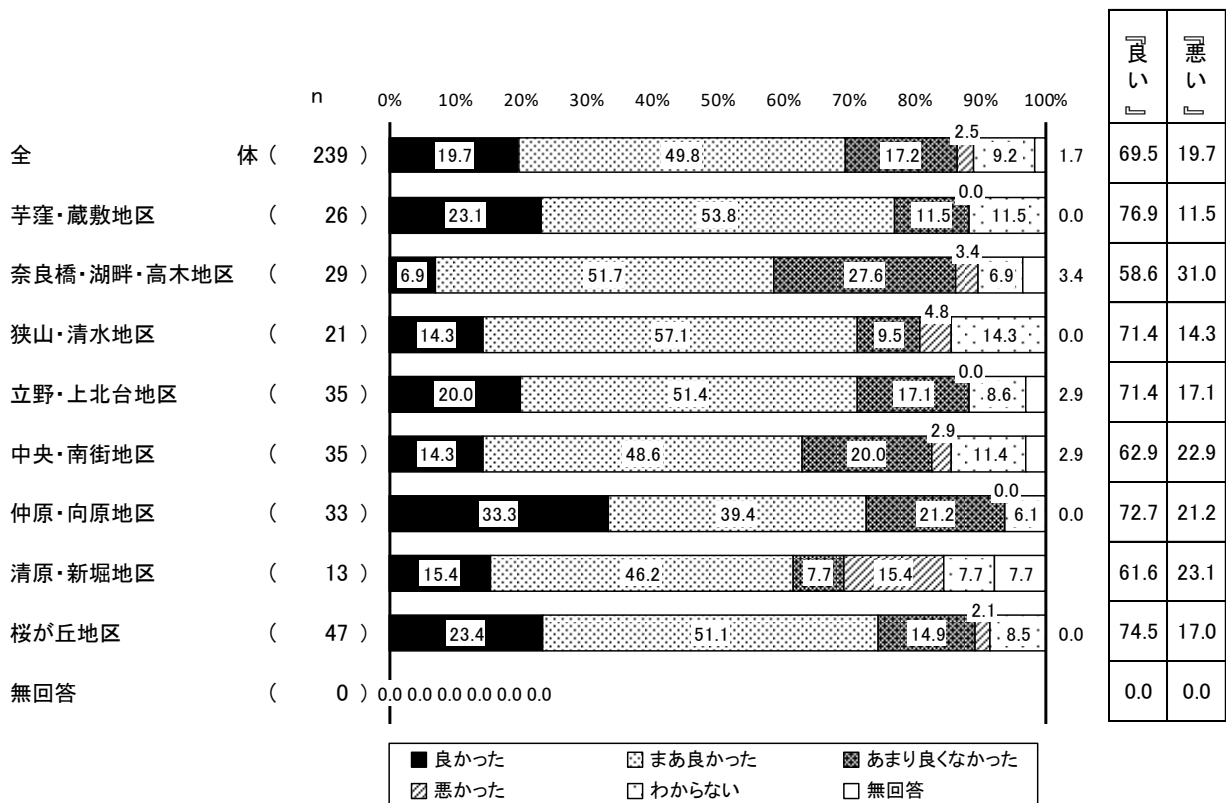
転出後の居住地域別にみると、『良い』は都外（74.1%）が7割台半ばと最も高く、『悪い』は東京23区内（23.0%）が2割強と最も高くなっている。（図表2-3-76）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は芋窪・蔵敷地区（76.9%）が8割弱と最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区（31.0%）が3割強と最も高くなっている。（図表2-3-77）

<図表2-3-76>⑫道路などの都市整備基盤／転出後の居住地域別



<図表2-3-77>⑫道路などの都市整備基盤／転出前の居住地域別



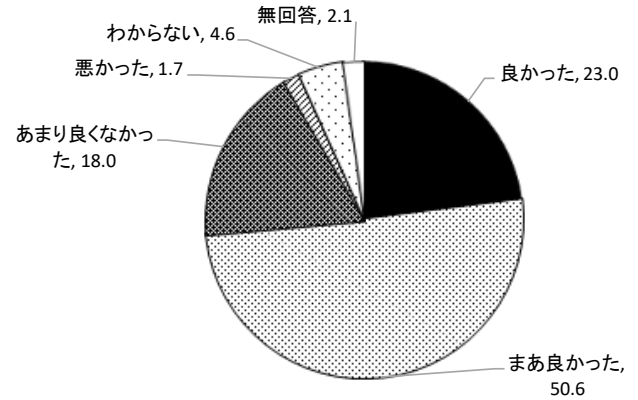
⑬ 街のイメージ

<図表 2-3-78> ⑬街のイメージ／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	55	23.0
まあ良かった	121	50.6
あまり良くなかった	43	18.0
悪かった	4	1.7
わからない	11	4.6
無回答	5	2.1
調査数	239	100.0



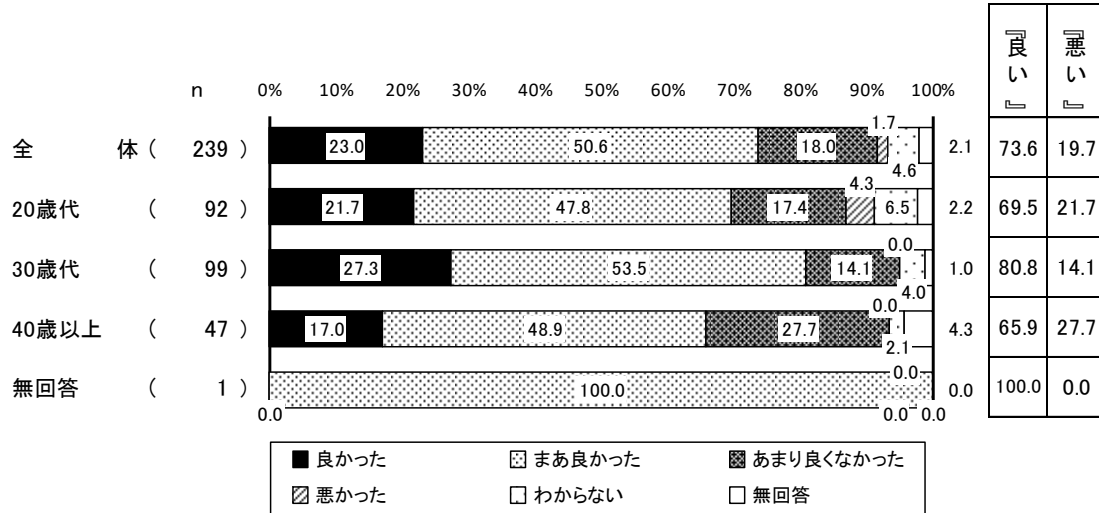
	件数	%
『良い』 (良かった+まあ良かった)	176	73.6
『悪い』 (あまり良くなかった+悪かった)	47	19.7

全体では「まあ良かった」(50.6%)が約5割で最も高く、次いで「良かった」(23.0%)が2割強、「あまり良くなかった」(18.0%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(73.6%)は7割強、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(19.7%)は約2割となっている。(図表 2-3-78)

年代別でみると、『良い』は30歳代（80.8%）が約8割と最も高く、『悪い』は40歳以上（27.7%）が3割弱と最も高くなっている。（図表2-3-79）

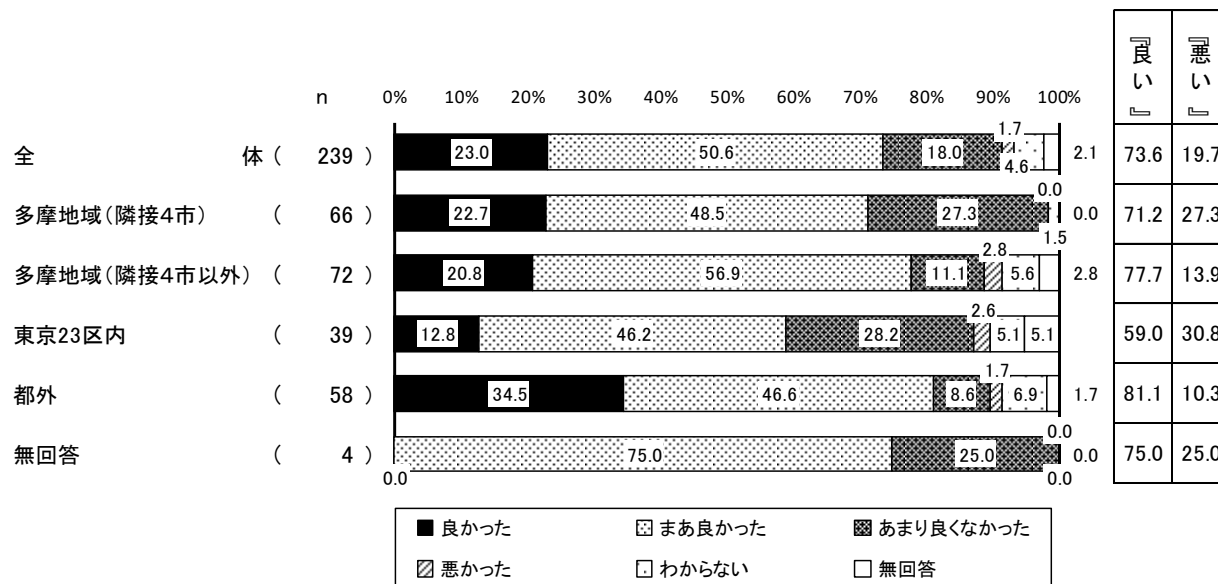
＜図表2-3-79＞⑬街のイメージ／年代別



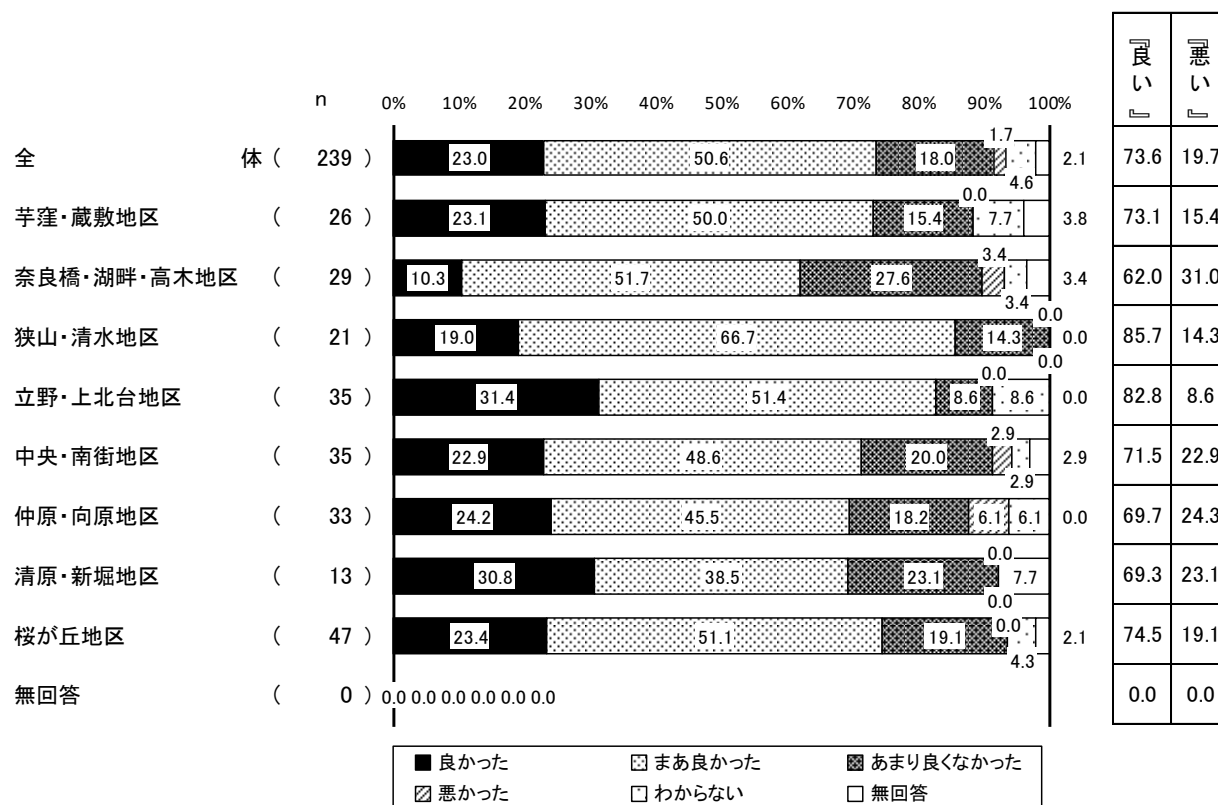
転出後の居住地域別にみると、『良い』は都外（81.1%）が8割強と最も高く、『悪い』は東京23区内（30.8%）が約3割と最も高くなっている。（図表2-3-80）

転出前の居住地域別にみると、『良い』は狭山・清水地区（85.7%）が8割台半ばと最も高く、『悪い』は奈良橋・湖畔・高木地区（31.0%）が3割強と最も高くなっている。（図表2-3-81）

<図表2-3-80>⑬街のイメージ／転出後の居住地域別



<図表2-3-81>⑬街のイメージ／転出前の居住地域別



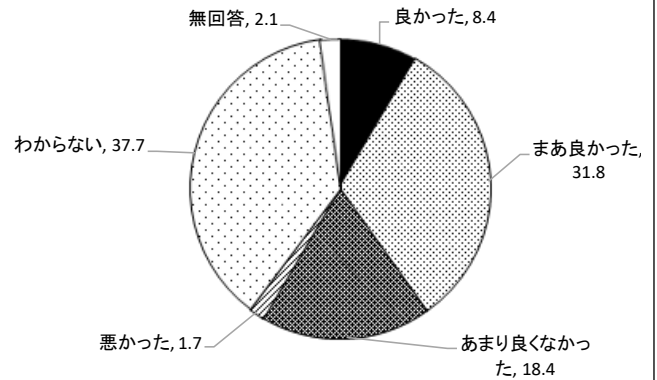
⑭ 行政サービスの充実

＜図表 2 - 3 - 82＞⑭行政サービスの充実／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	20	8.4
まあ良かった	76	31.8
あまり良くなかった	44	18.4
悪かった	4	1.7
わからない	90	37.7
無回答	5	2.1
調査数	239	100.0



	件数	%
『良い』（良かった+まあ良かった）	96	40.2
『悪い』（あまり良くなかった+悪かった）	48	20.1

全体では「わからない」(37.7%)が4割弱で最も高く、次いで「まあ良かった」(31.8%)が3割強、「あまり良くなかった」(18.4%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(40.2%)は約4割、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(20.1%)は約2割となっている。(図表 2 - 3 - 82)



⑮ 図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設

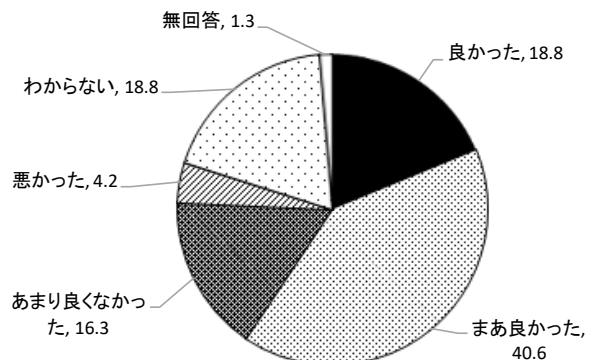
<図表 2-3-83> ⑮図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
良かった	45	18.8
まあ良かった	97	40.6
あまり良くなかった	39	16.3
悪かった	10	4.2
わからない	45	18.8
無回答	3	1.3
調査数	239	100.0

	件数	%
『良い』(良かった+まあ良かった)	142	59.4
『悪い』(あまり良くなかった+悪かった)	49	20.5



全体では「まあ良かった」(40.6%)が約4割で最も高く、次いで「良かった」と「わからない」(18.8%)が2割弱となっている。

「良かった」、「まあ良かった」の合計『良い』(59.4%)は約6割、「あまり良くなかった」、「悪かった」の合計『悪い』(20.5%)は約2割となっている。(図表 2-3-83)

(9) 住居所有状況

問 24 転出前と後でのあなたのお住まい(住居)は次のどれにあたりますか。(それぞれ1つ選択)

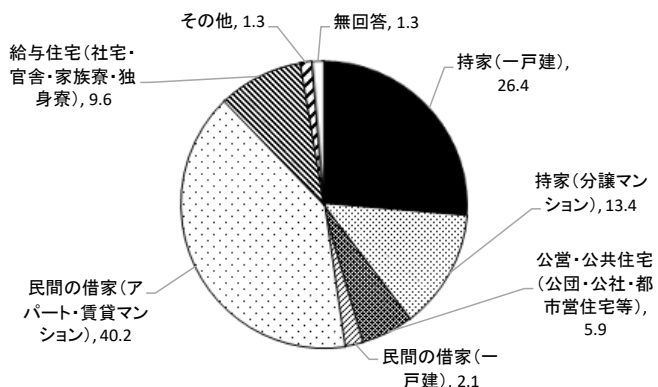
① 転出前の住居所有状況

<図表 2-3-84> 転出前の住居所有状況 / 全体

(n=239)

(%)

	件数	%
持家(一戸建)	63	26.4
持家(分譲マンション)	32	13.4
公営・公共住宅(公団・公社・都市営住宅等)	14	5.9
民間の借家(一戸建)	5	2.1
民間の借家(アパート・賃貸マンション)	96	40.2
給与住宅(社宅・官舎・家族寮・独身寮)	23	9.6
その他	3	1.3
無回答	3	1.3
調査数	239	100.0

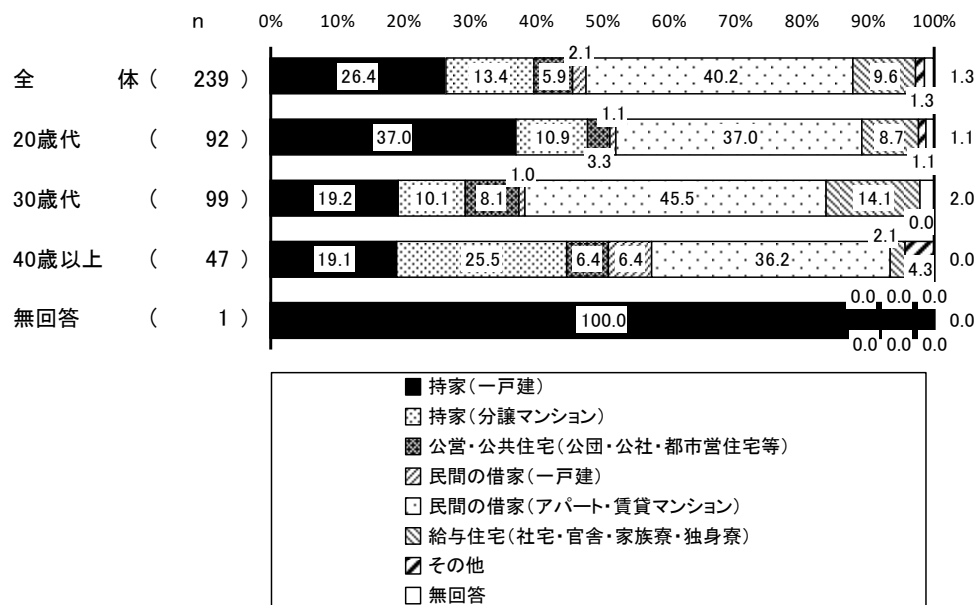


「その他の回答」	件数
妹家族持家一戸建	1
親の持家	1
実家	1

全体では「民間の借家(アパート・賃貸マンション)」(40.2%)が約4割で最も高く、次いで「持家(一戸建)」(26.4%)が3割弱、「持家(分譲マンション)」(13.4%)が1割強となっている。(図表2-3-84)

年代別でみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は30歳代（45.5%）で4割台半ばと最も高く、「持家（一戸建）」は20歳代（37.0%）で4割弱と最も高くなっている。（図表2-3-85）

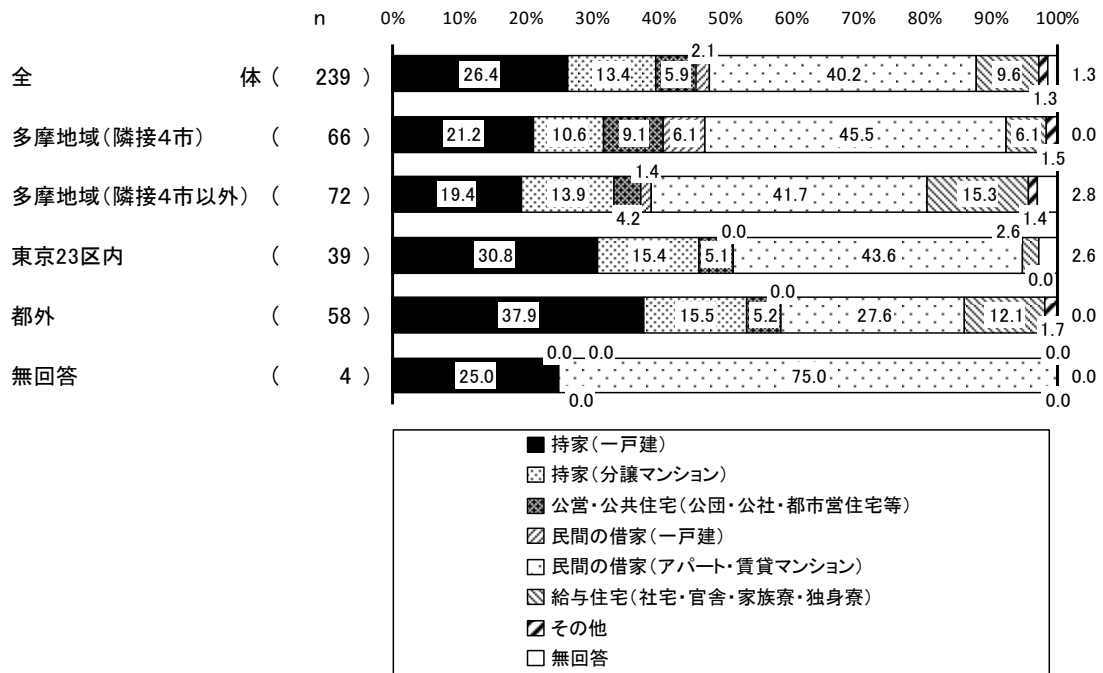
＜図表2-3-85＞ 転出前の住居所有状況／年代別



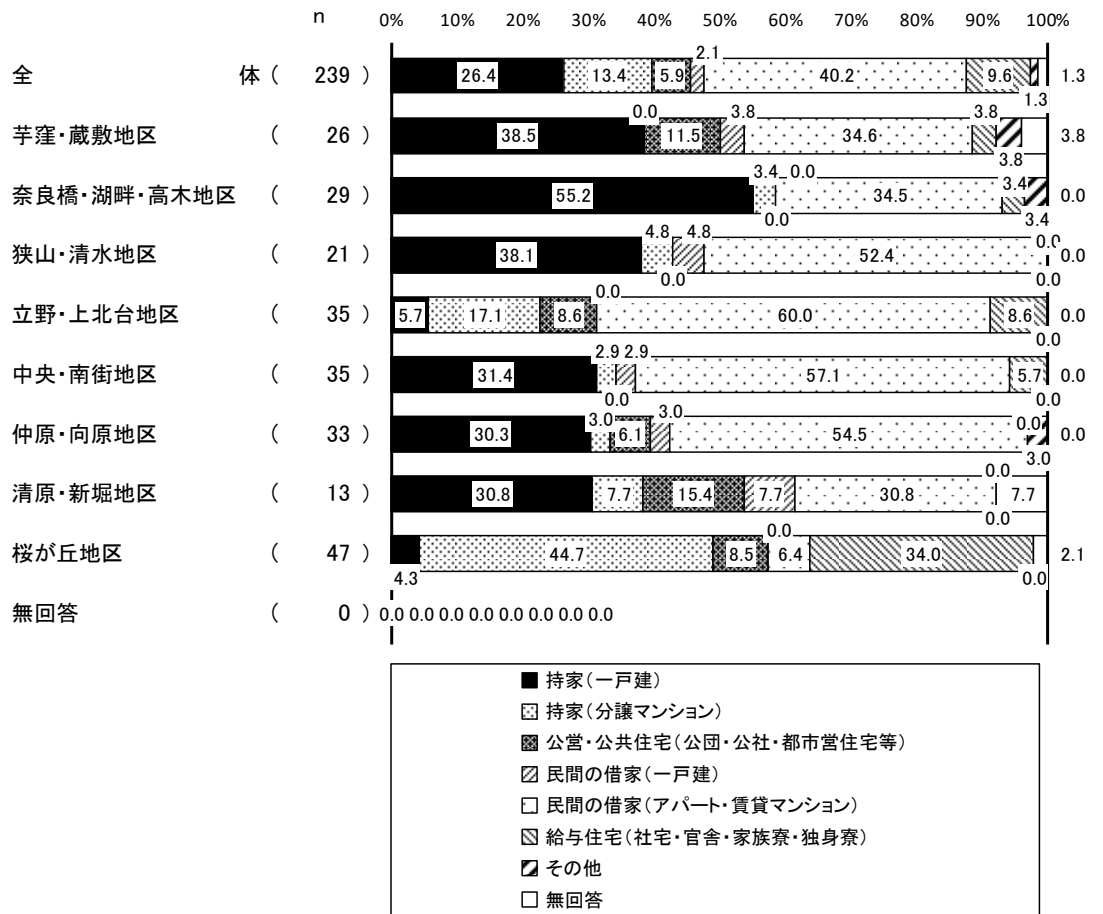
転出後の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は多摩地域（隣接4市）（45.5%）で4割台半ばと最も高く、東京23区内（43.6%）でも4割強と高くなっている。（図表2-3-86）

転出前の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は立野・上北台地区（60.0%）で6割と最も高く、中央・南街地区（57.1%）でも6割弱と高くなっている。また、「持家（一戸建）」は奈良橋・湖畔・高木地区（55.2%）で5割台半ばと最も高く、「持家（分譲マンション）」は桜が丘地区（44.7%）で4割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-87）

<図表 2-3-86> 転出前の住居所有状況／転出後の居住地域別



<図表 2-3-87> 転出前の住居所有状況／転出前の居住地域別



問 24 転出前と後でのあなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（それぞれ1つ選択）

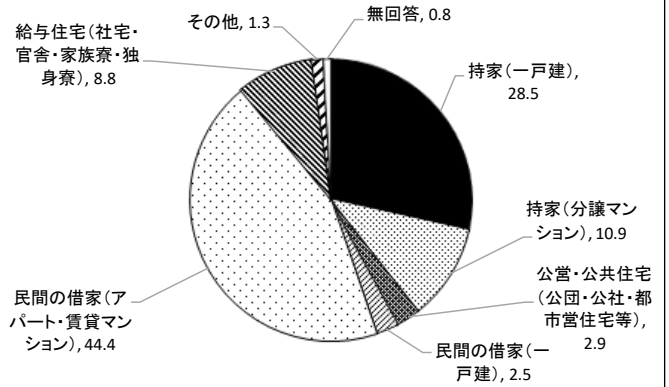
② 転出後の住居所有状況

＜図表 2－3－88＞ 転出後の住居所有状況／全体

(n=239)

(%)

	件数	%
持家（一戸建）	68	28.5
持家（分譲マンション）	26	10.9
公営・公共住宅（公団・公社・都市営住宅等）	7	2.9
民間の借家（一戸建）	6	2.5
民間の借家（アパート・賃貸マンション）	106	44.4
給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）	21	8.8
その他	3	1.3
無回答	2	0.8
調査数	239	100.0

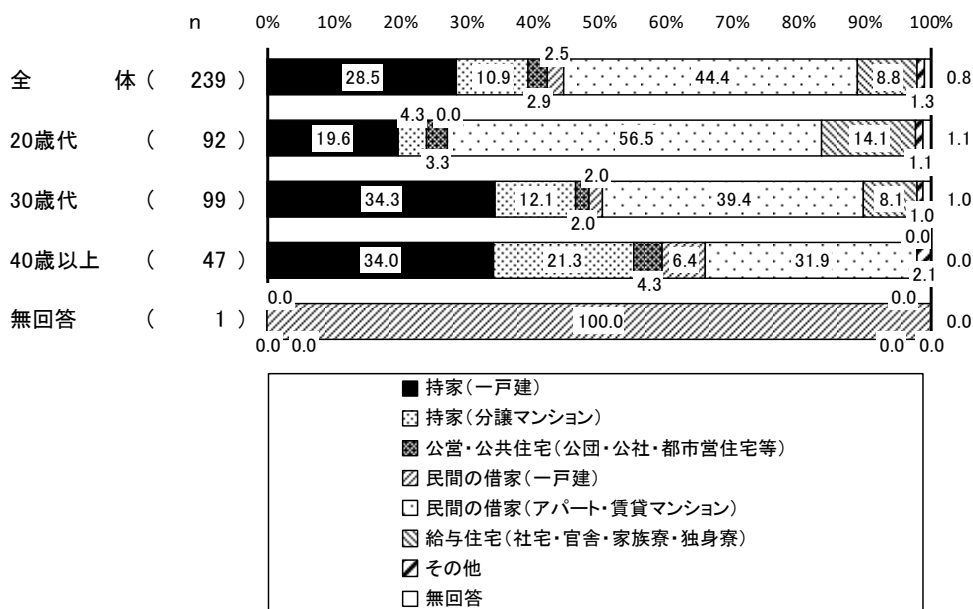


「その他の回答」	件数
実家	2
家族所有の戸建	1

全体では「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」（44.4%）が4割台半ばで最も高く、次いで「持家（一戸建）」（28.5%）が3割弱、「持家（分譲マンション）」（10.9%）が約1割となっている。（図表 2－3－88）

年代別でみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は20歳代（56.5%）で6割弱と最も高く、「持家（一戸建）」は30歳代（34.3%）で3割台半ばと最も高く、40歳以上（34.0%）も3割強と高くなっている。（図表2-3-89）

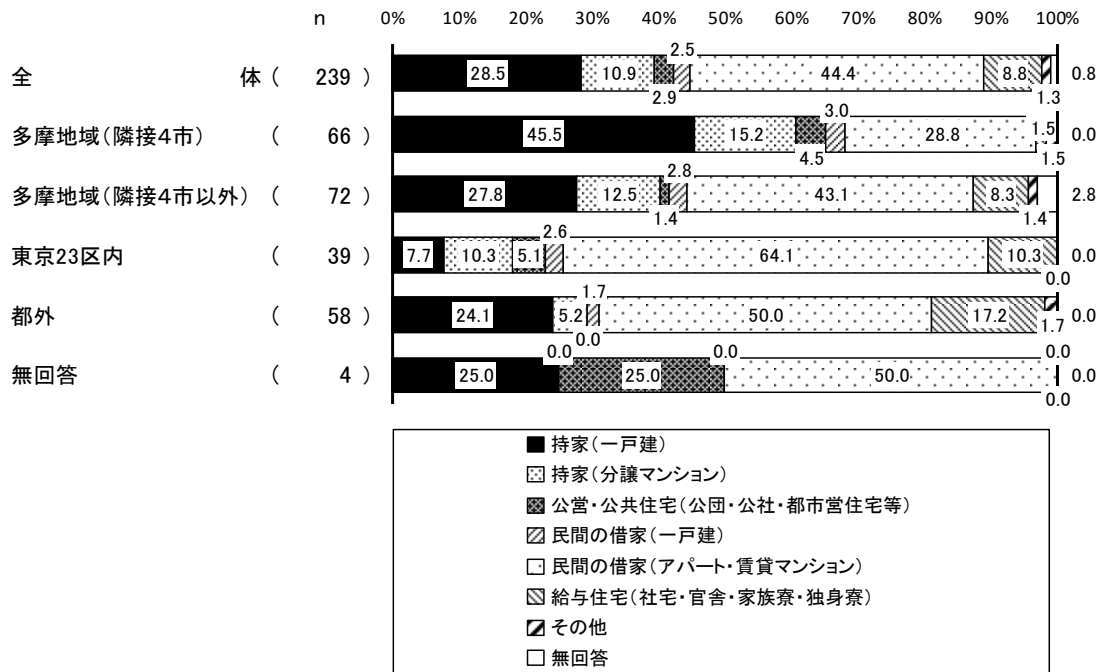
＜図表2-3-89＞ 転出後の住居所有状況／年代別



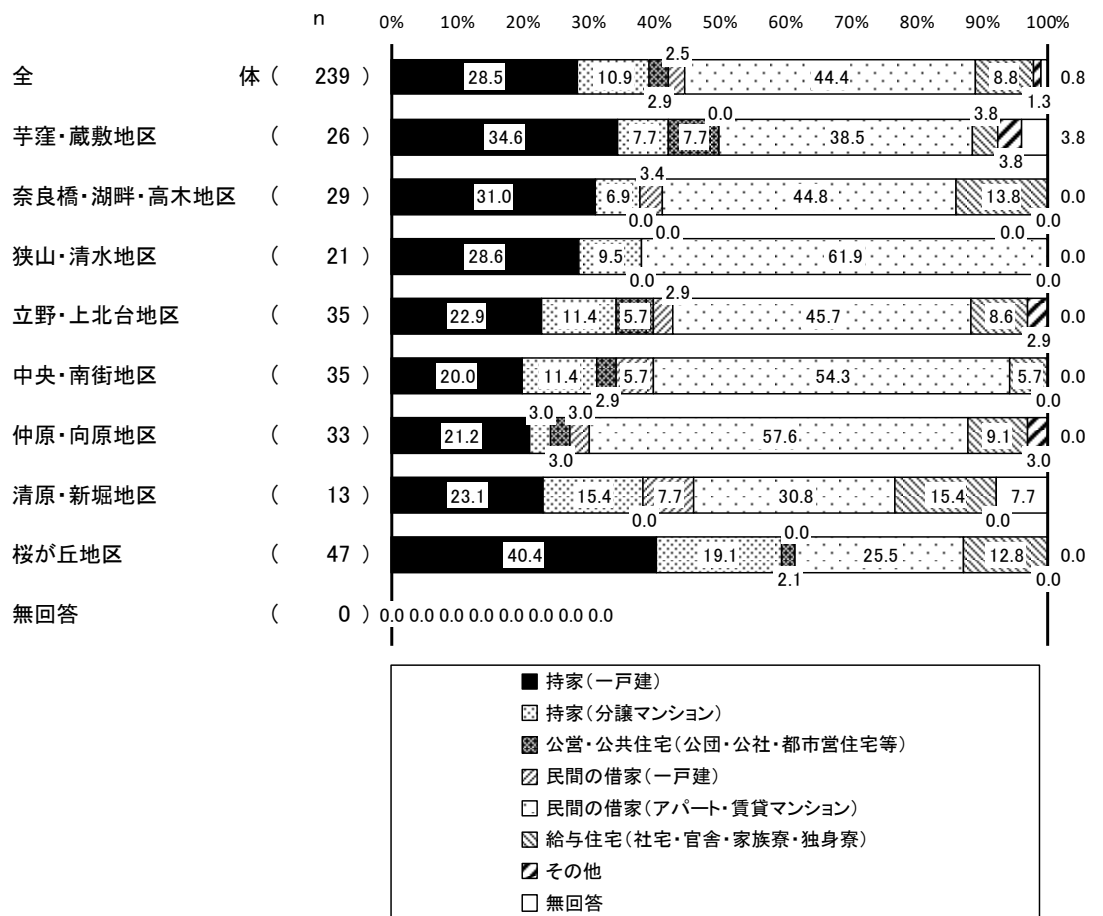
転出後の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は東京23区内（64.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-90）

転出前の居住地域別にみると、「民間の借家（アパート・賃貸マンション）」は狭山・清水地区（61.9%）で6割強と最も高く、「持家（一戸建）」は桜が丘地区（40.4%）で約4割と最も高くなっている。（図表2-3-91）

<図表 2-3-90> 転出後の住居所有状況／転出後の居住地域別



<図表 2-3-91> 転出後の住居所有状況／転出前の居住地域別

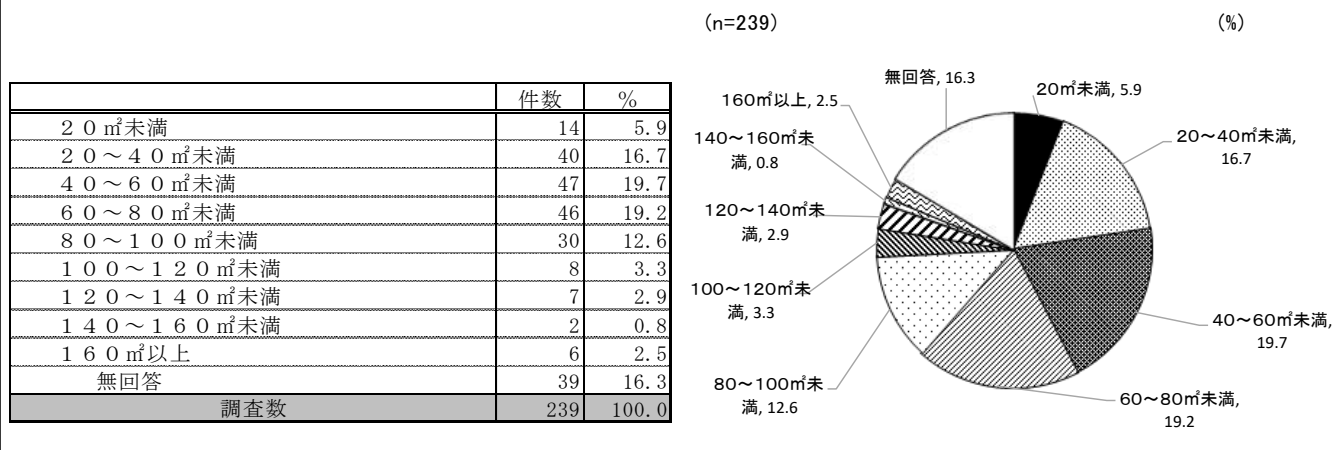


(10) 転出前と後での住居の床面積

問 25 転出前と後での住居の床面積は次のどれにあたりますか。(それぞれ1つ選択)

① 転出前の住宅の床面積

<図表 2-3-92> 転出前の住宅の床面積 / 全体

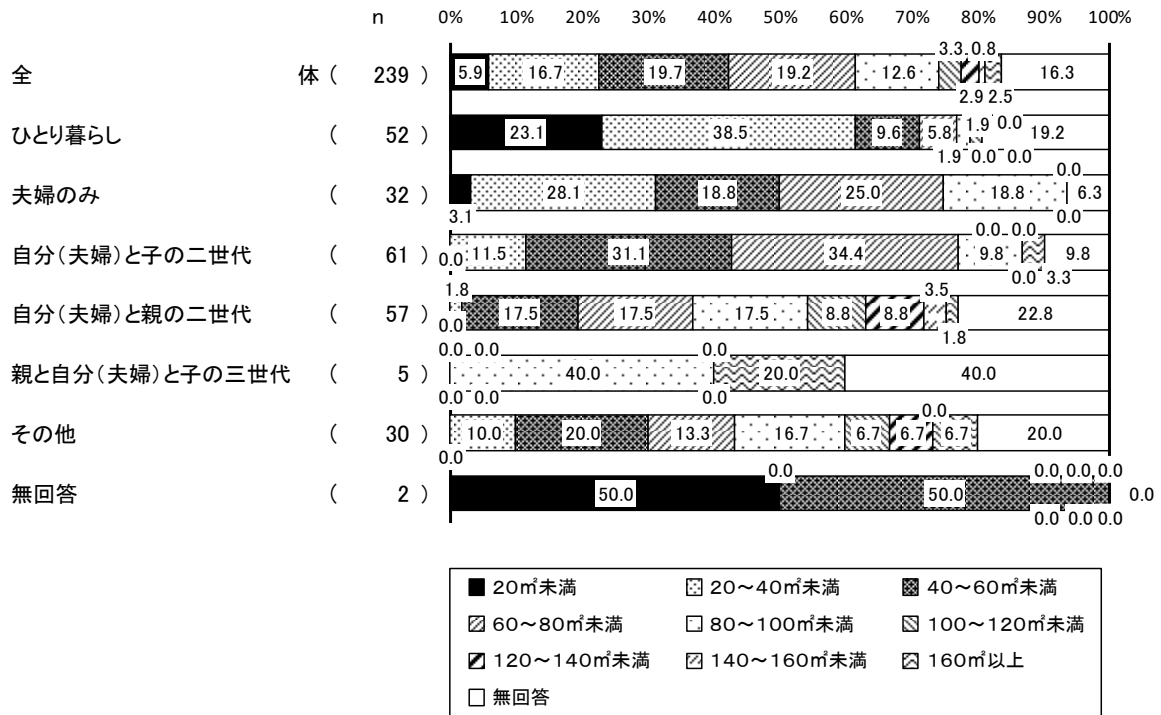


全体では「40～60㎡未満」(19.7%) が約2割で最も高く、次いで「60～80㎡未満」(19.2%) が約2割、「20～40㎡未満」(16.7%) が2割弱となっている。(図表 2-3-92)



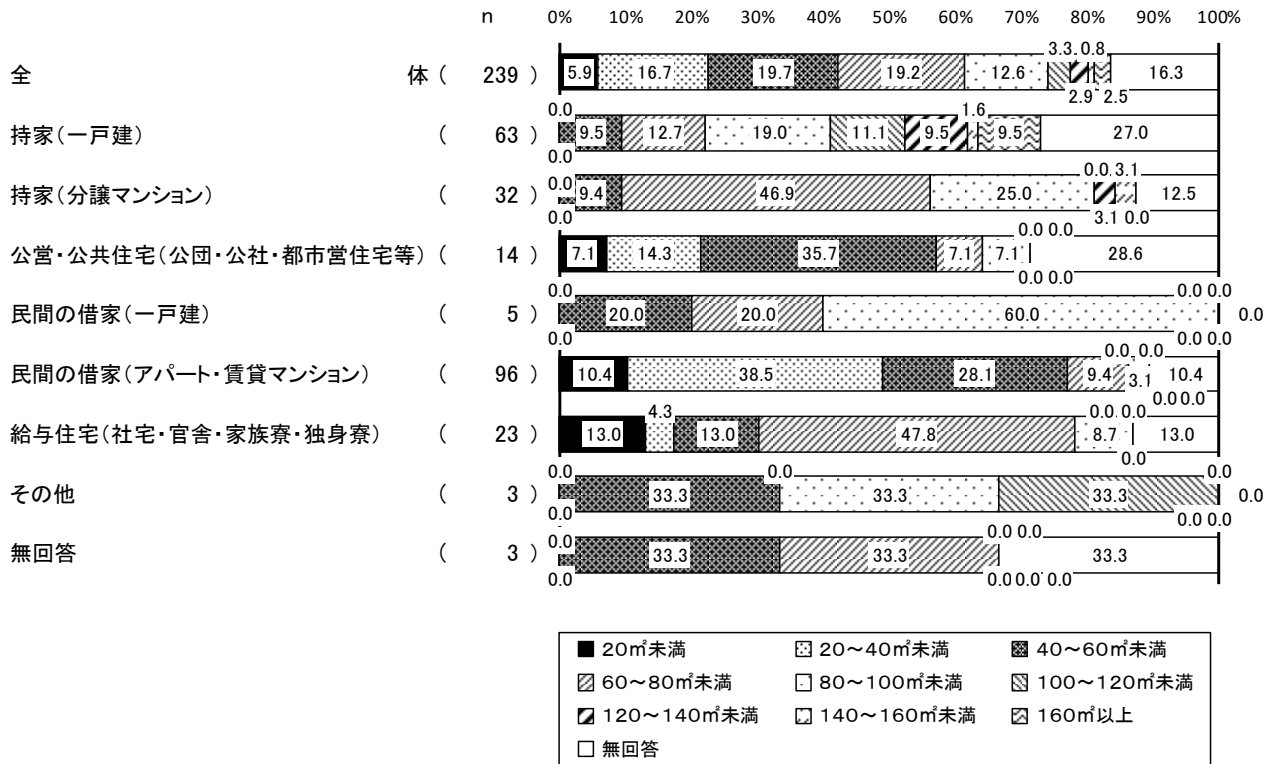
転出前の世帯構成別にみると、「40～60㎡未満」は自分（夫婦）と子の二世帯（31.1%）で3割強と最も高く、「60～80㎡未満」も自分（夫婦）と子の二世帯（34.4%）で3割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-93）

<図表2-3-93> 転出前の住宅の床面積／転出前の世帯構成別



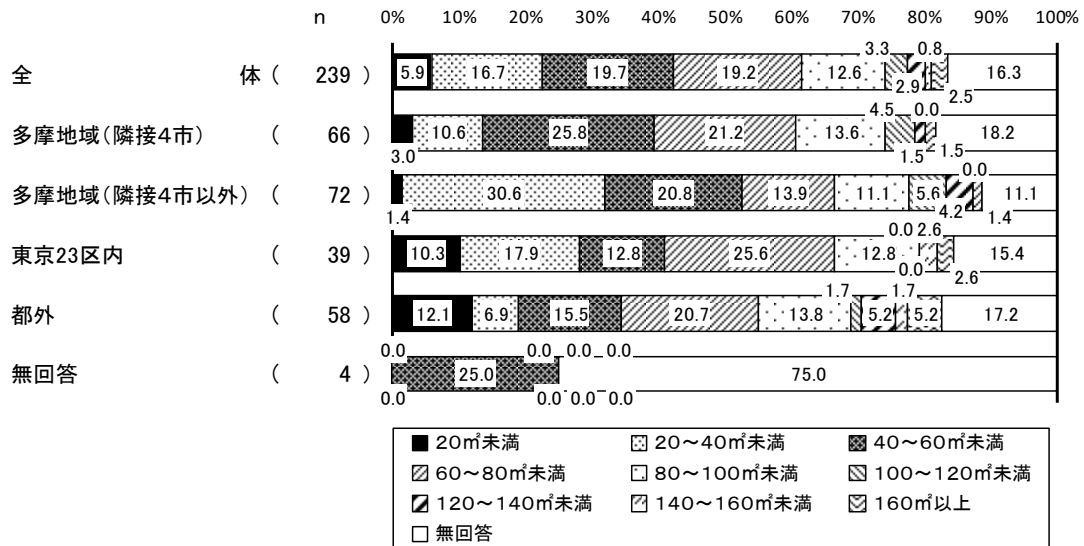
転出前の住居所有状況別にみると、「40～60㎡未満」は民間の借家（アパート・賃貸マンション）（28.1%）で3割弱と最も高く、「60～80㎡未満」は給与住宅（社宅・官舎・家族寮・独身寮）（47.8%）で5割弱と最も高くなっている。（図表2-3-94）

＜図表2-3-94＞転出前の住宅の床面積／転出前の住居所有状況別



転出後の居住地域別にみると、「40～60㎡未満」は多摩地域（隣接4市）（25.8%）で2割台半ばと最も高く、「60～80㎡未満」は東京23区内（25.6%）で2割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-95）

<図表2-3-95> 転出前の住宅の床面積／転出後の居住地域別



問 25 転出前と後での住居の床面積は次のどれにあたりますか。(それぞれ1つ選択)

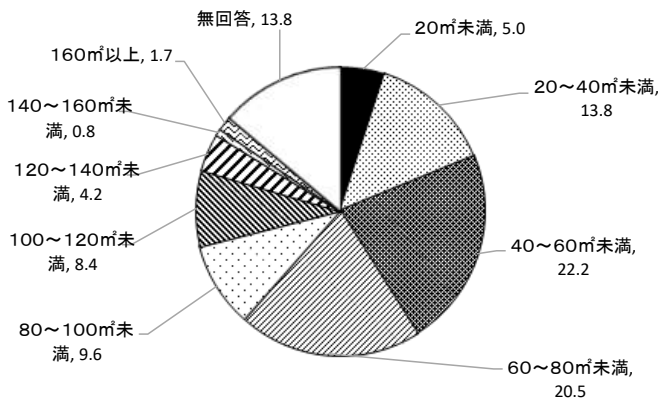
② 転出後の住宅の床面積

＜図表 2 - 3 - 96＞ 転出後の住宅の床面積 / 全体

(n=239)

(%)

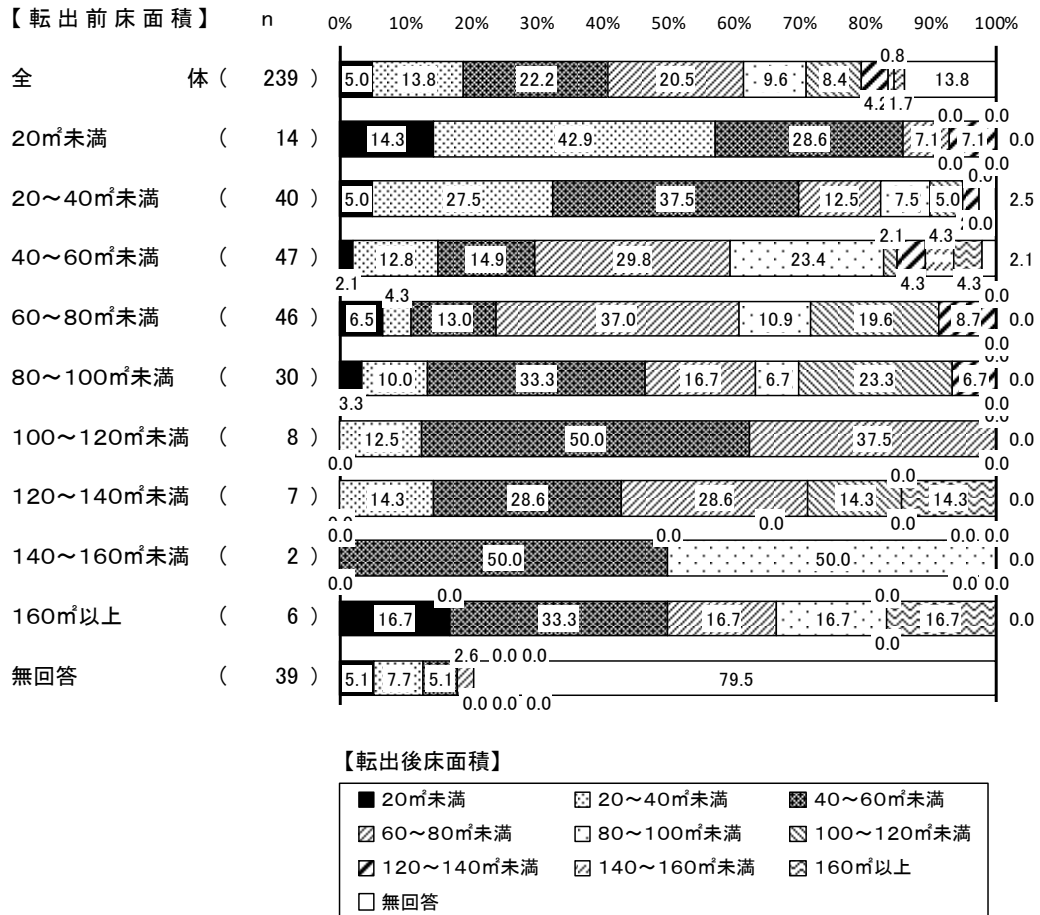
	件数	%
20㎡未満	12	5.0
20～40㎡未満	33	13.8
40～60㎡未満	53	22.2
60～80㎡未満	49	20.5
80～100㎡未満	23	9.6
100～120㎡未満	20	8.4
120～140㎡未満	10	4.2
140～160㎡未満	2	0.8
160㎡以上	4	1.7
無回答	33	13.8
調査数	239	100.0



全体では「40～60㎡未満」(22.2%)が2割強で最も高く、次いで「60～80㎡未満」(20.5%)が約2割、「20～40㎡未満」(13.8%)が1割強となっている。(図表 2 - 3 - 96)

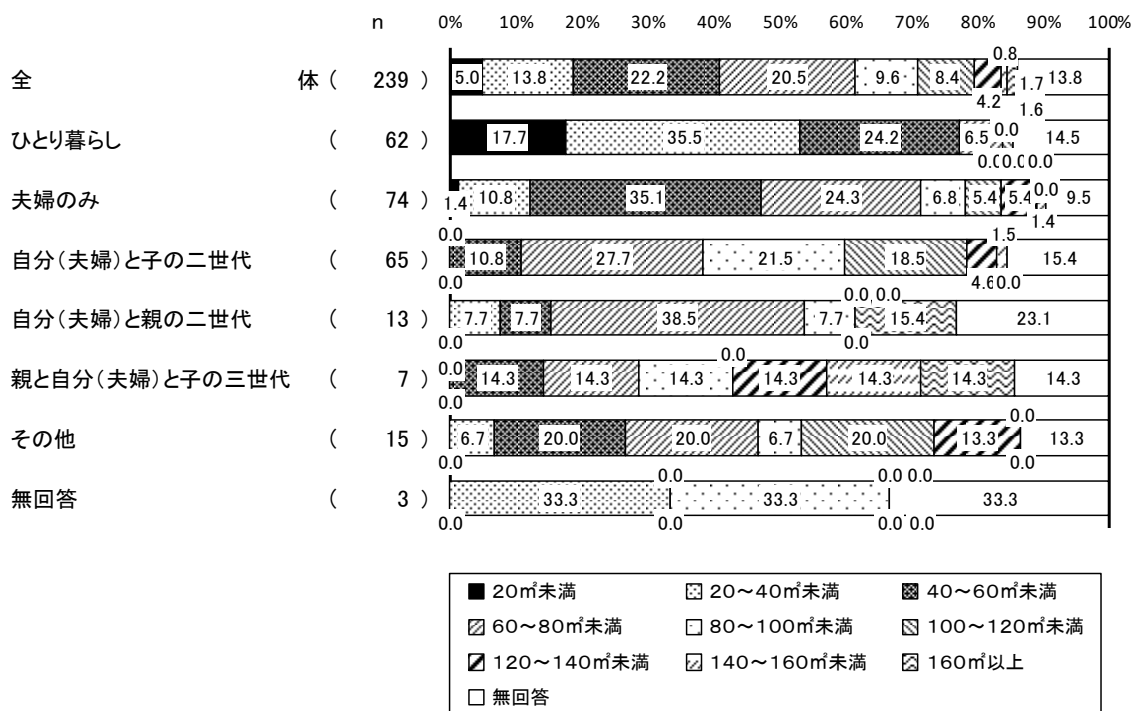
転出前の住宅の床面積別にみると、転出後の床面積「40～60㎡未満」は転出前の床面積「20～40㎡未満」(37.5%)で4割弱と最も高く、転出後の床面積「60～80㎡未満」は転出前の床面積「60～80㎡未満」(37.0%)で4割弱と最も高くなっている。(図表2-3-97)

<図表2-3-97> 転出後の住宅の床面積／転出前の住宅の床面積別



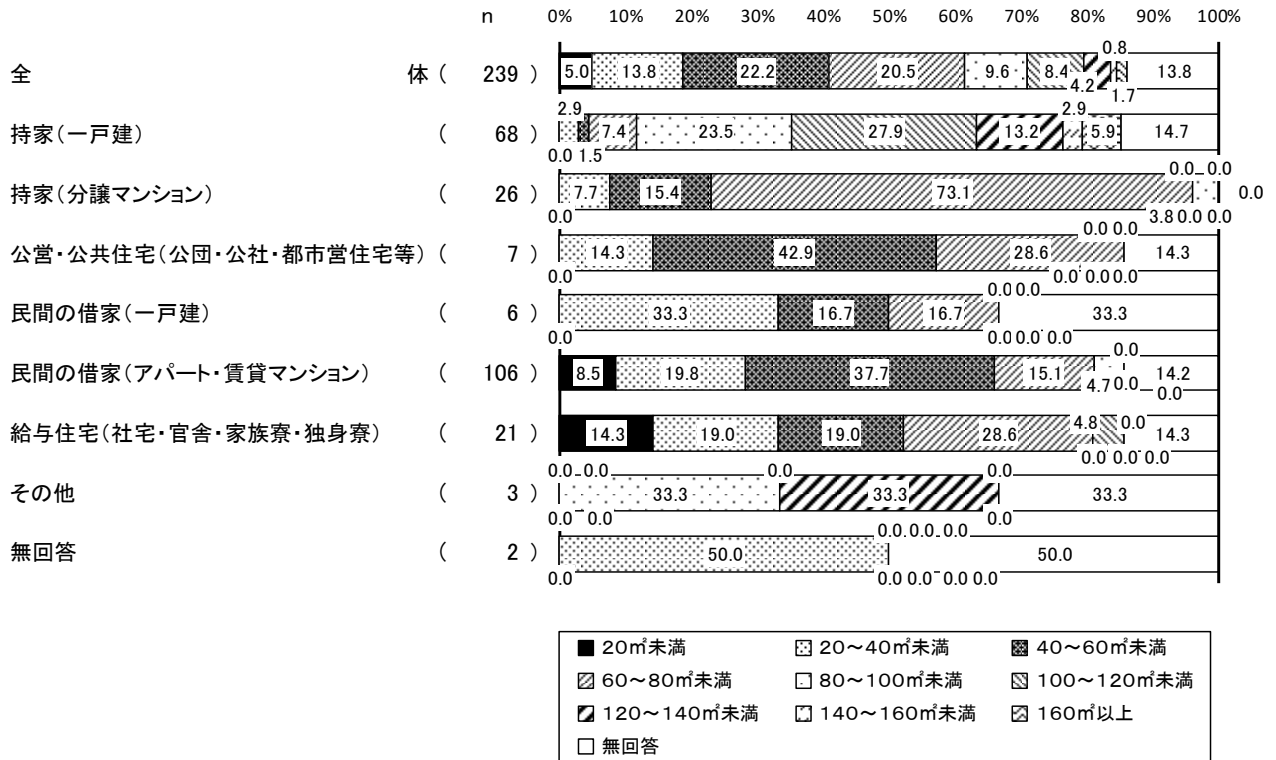
転出後の世帯構成別にみると、「40～60㎡未満」は夫婦のみ（35.1%）で3割台半ばと最も高く、「60～80㎡未満」は自分（夫婦）と子の二世帯（27.7%）で3割弱と最も高くなっている。（図表2-3-98）

<図表2-3-98> 転出後の住宅の床面積／転出後の世帯構成別



転出後の住居所有状況別にみると、「40～60㎡未満」は民間の借家（アパート・賃貸マンション）（37.7%）で4割弱と最も高く、「60～80㎡未満」は持家（分譲マンション）（73.1%）で7割強と最も高くなっている。（図表2-3-99）

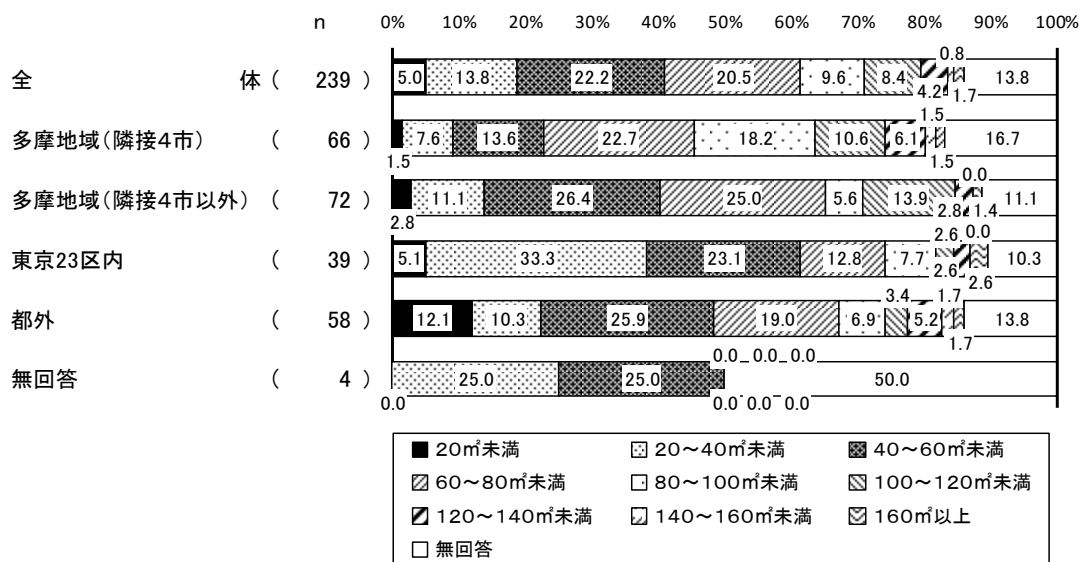
<図表2-3-99> 転出後の住宅の床面積／転出後の住居所有状況別



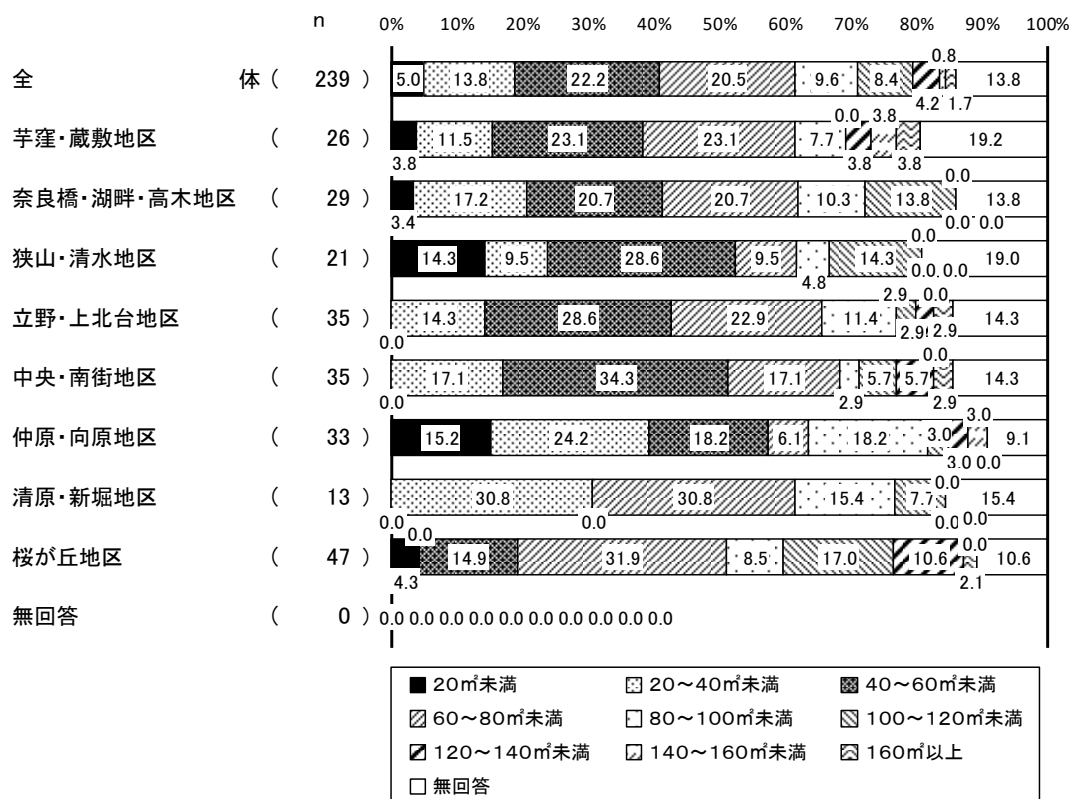
転出後の居住地域別にみると、「40～60㎡未満」は多摩地域（隣接4市以外）（26.4%）で3割弱と最も高く、「60～80㎡未満」も多摩地域（隣接4市以外）（25.0%）で2割台半ばと最も高くなっている。（図表2-3-100）

転出前の居住地域別にみると、「40～60㎡未満」は中央・南街地区（34.3%）で3割台半ばと最も高く、「60～80㎡未満」は桜が丘地区（31.9%）で3割強と最も高くなっている。（図表2-3-101）

＜図表2-3-100＞転出後の住宅の床面積／転出後の居住地域別



＜図表2-3-101＞転出後の住宅の床面積／転出前の居住地域別





## (11) 自由回答

問 26 東大和市では当市の魅力をより高め、広めていきたいと考えております。あなたが東大和市に住んでいて感じたこと、現在住んでいる所との違い、東大和市が選ばれるために必要な取り組みなどをお書きください。

東大和市に関する意見・要望等を聞いたところ、145 人から延べ 476 件の貴重な意見をいただいた。下記に分類し一覧を示す。(図表 2 - 3 - 102)

<図表 2 - 3 - 102> 自由回答集計結果

項目	件数
満足している・住みやすい	73
交通	64
買い物	33
自然環境	32
子育て	30
住環境	28
行政サービス	27
図書館など公共施設	19
医療	18
住宅	17
道路・下水道	17
住民・コミュニティ	16
公園	15
治安	14
町の雰囲気	13
ごみ	11
教育	8
福祉	7
防災	4
物価	3
その他	27

## 自由回答概要版

下記に各項目毎の代表的な意見・要望を概要版として示す。(図表2-3-103)

＜図表2-3-103＞代表的な意見・要望

<b>満足している・住みやすい 【計 73件】</b>
3歳から去年まで長きに渡り暮らしたが、とても住み心地がよい市だと思う。
東大和市で育ち、大きな公園や高い建物が無いのどかさが良いと出てから思った。
東大和には自然も多く、住みやすい所でありながら都心へのアクセスも良い。
<b>交通 【計 64件】</b>
都心へのアクセスがもう少し良くなれば良い。
モノレールの運賃が高く、終電が早いのは少し不便に感じた。
立川までバスやモノレールで行けるのは良いが、車がないと不便に感じる部分があった。
<b>買い物 【計 33件】</b>
通常の生活をする分には、スーパーや飲食店もあり便利だった。
マーケットプレイスやイトーヨーカドー等大型ショッピングセンターがあり良かった。
現在住んでいる所との比較だと、やはりアクセスが良く、便利なお店が印象がある。
<b>自然環境 【計 32件】</b>
街中や多摩湖など、自然がとても多く、春になると桜がとてもきれいな場所が多い。
多摩湖の景観が美しく、公園も整備されてとてもキレイで好きだった。
東大和市は自然も多く静かに暮らせるが、どうしても地味な印象がある。
<b>子育て 【計 30件】</b>
現在の所は、子育てに対して保育料・医療費など、お金が前以上に掛かり驚いた。
大和は特に子育て環境や支援制度を強みにしたら良いと思う。
母子手帳が、他の区より可愛く、内容が充実していると思う。
<b>住環境 【計 28件】</b>
静かで良い市だと思う。
大きな商業施設やマンションが密集しており、やや圧迫感というか落ちつかない雰囲気があった。多摩湖方面は静かで、自然豊かでとても好きだった。
静かで住みやすかった。
<b>行政サービス 【計 27件】</b>
転入時に東大和市の特産品を渡したり、住んでいる間の福祉サービスの充実があれば良いと思う。
市役所の職員の方が親切だなあと感じていた。何かひとつ、東大和らしさをアピールできると良いと思う。
市の職員の対応が、親切丁寧で、気持ちの良いものだった。電話でも、対面でもいい人ばかりで、安心して相談等させてもらった。
<b>図書館など公共施設 【計 19件】</b>
図書館の閉館日が多い。
市役所が駅から遠いので不便だった。
上北台に住んでいたなら市役所が少し遠かったのが、近くにサポートを受けられる施設があったら良いと思った。
<b>医療 【計 18件】</b>
小児科専門のクリニックが多かったのが良かった。
子どもの医療費が無料になれば良いと思った。
東大和市は健康診断やがん検診が無料だったので利用していた。

<b>住宅 【計 17件】</b>
分譲マンション開発ではなく、住宅街、貸家街を整備した魅力発信が良いと思う。
東大和市はマンションが少ないと思った。
一戸建を購入するにあたり、収入に合う土地の値ではなく、高いことから諦めた。
<b>道路・下水道 【計 17件】</b>
道も狭い所に交通量が多かったりと息苦しく、危険を感じる事があった。
住宅街の道幅がせまく曲がりくねっている為、車での通行が見とおしが悪く危険を感じる事があった。
道の幅が狭くて怖かったので広くなると嬉しい。街灯も欲しい。
<b>住民・コミュニティ 【計 16件】</b>
街のコミュニケーションが好きだった。
外国人が少ない。住民が温かい人が多いと感じた。
マンションが駅前周辺にでき色々な地区から引っ越して来た人達なので人とのコミュニケーションなど薄まった感じがした。
<b>公園 【計 15件】</b>
自然を生かした公園が多いと思うが、遊具の充実やイベントなど増やして欲しかった。
自然豊かで、公園なども多く、子供たちを遊ばせる所も多かったと思う。
大きな公園もあり、散歩が気持ち良かった。
<b>治安 【計 14件】</b>
女性の一人暮らしだったが、危ない思いをしたことがなかったので良かった。
治安の改善をして欲しい。夜になると若者がたむろしていたり、暴走するバイクの音が気になったりした。
不審者等、夜は怖さを感じた事がある。車・バイクの音が気になった。
<b>町の雰囲気 【計 13件】</b>
せつかく大きな駅ロータリーがあるのに（東大和市駅）すこしさみしげな印象だった。是非駅前の発展で東大和を盛り上げてほしいと思う。
駅周辺がさびれてきた。空きテナントが多い。
駅付近の施策が不足しているため駅付近の整備をよりよくするともっと住みやすくなると思った。
<b>ごみ 【計 11件】</b>
ゴミ袋を無料にしてほしかった。
ゴミの仕分けの細かさに関して、都心の方が良いと思った。ゴミの有料袋は高く感じた。
排プラ施設建設はできればやめてほしかった（イメージ問題）。
<b>教育 【計 9件】</b>
公立小・中学校の学力のレベルを上げて欲しい。公立が荒れていた所以で私立を選んだ。
小学校では夏休みプールに講習に充実していた。
東大和の教育も、もっと様々な体験ができて、学校の雰囲気が明るくなると良い。
<b>福祉 【計 7件】</b>
子供、高齢者手当の引き上げや特典などがあれば差別化でき良いと思う。
高齢者の支援体制が、他自治体に比べ薄いと思う。
子育てしやすい街をめざして支援教育にもぜひ力を入れてほしい。
<b>防災 【計 4件】</b>
雨の際の冠水が気になるので、整備すればより住みやすい市になると思う。
大雨が降るたびに、冠水してしまっていたので、対応してほしい。
駅まわりや市内のあちこちで冠水場所が多すぎる。公共工事の基本（治水）が蔑ろにされている。

<b>物価 【計 3件】</b>
家賃が高い。
物価は安いくはないと感じた。
東大和市に住みたかったが地価が高くて無理だった。
<b>その他 【計 27件】</b>
東大和市自体が知られていないので、まずは知ってもらうことが重要になってくるのではないと思う。現代ならSNSでの拡散、また、人が集まるようなイベントを行うべきだと感じた。
良い意味でも悪い意味でも『東京感がまったくない土地』というイメージだった。東大和市に住んでいたときは東京と思われることがほとんどなかった。
知名度が低い為、よく東大和と東村山市をまちがえられた。うまべえはかわいくて好きだった。

### **Ⅲ 調査結果の考察**



## 1. 東大和市に転入する人は住宅事情を理由とする傾向にある

「東大和市へ転入した理由」をみると、全体では「住宅事情（住宅購入、住み替え等）」の比率が最も高くなっている。転入前と転入後の持家（一戸建）の結果を比較すると、転入前では2割弱であったのが、転入後では3割強となっている。また、転入前と転入後の住宅の床面積の比較をみると、転入前は20～40㎡未満が最も高かったのに対し、転入後は60～80㎡未満が最も高くなっている。また、転入者の世帯構成の変化を見ると、単身から夫婦へ世帯構成が変わるときや、世帯構成は変わらないが子供が成長する過程で東大和市に転入している可能性が伺われる。

このことから、世帯構成の変化や子供の成長などに合わせて、住宅を購入したり住み替え等を行うため東大和市に転入している傾向があると言える。

## 2. 東大和市を選んだ一番の理由は親等親族と同居、近居が最も高い

東大和市を選んだ一番の理由としては、親等親族と同居、近居が最も高い回答となった。年代別にみると、30歳代と40歳以上で3割弱と高い回答となっている。30歳代では子育て環境を良くしたいという回答があり、親等親族を頼って東大和市に転入している傾向があるのではないかと考えられる。

## 3. 自然環境や日常生活の利便性が好印象

東大和市に対する印象について、転入者・転出者に共通した項目の上位を挙げてみると、良い印象では、公園や自然環境の良さ、買い物等の日常生活の利便性の比率が高く、悪い印象では、都心へのアクセス、通勤・通学の利便性の回答が高かった。このことから東大和市への印象は、自然に恵まれた環境の中で、日常生活を便利に豊かに過ごすことができるが、通勤・通学先が遠い人にとっては不便を感じていることが伺われる。

## 4. 転出先を選んだ理由は通勤通学の利便性がトップ

転出者に現在お住まいの転出先を選んだ理由について聞いたところ、第1位の理由として、通勤・通学の利便性が4割台半ばと他の理由と比較して突出して高い比率となった。

地域別に見ると、通勤・通学の利便性と回答した地域は、最寄りの鉄道駅から遠い地域と一致しており、このことから問題解決にはインフラの整備に引き続き取り組む必要があるとされている。

## 5. 自治体の行政サービスを活用してもらうのが課題

転入・転出先を決めるに当たり、自治体の行政サービスや施策を調べたかどうかをみると、転入・転出者のどちらも調べていないという回答が6割以上となった。このことから、行政サービスや施策がうまく伝わらないまま転入・転出先が決められていると考えられる。ホームページやSNS等を効果的に活用し東大和市の良さをアピールすることが求められていると言える。





## IV 調査票



## 1. 転入者向けアンケート調査票

### 東大和市へ転入された皆様へ

### ～アンケート調査へのご協力をお願いします～

日頃から市政の推進にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

東大和市では、少子化による人口減少が進行する中、人口減少を抑制し、いつまでも「住みやすい」「住み続けたいまち」として選ばれるため、定住促進の施策を推進しています。

この調査は、東大和市にお住まいの皆様の転入の動機、転入前後の生活環境の変化等についてお伺いし、人口減少時代に選ばれるための施策づくりに役立てるために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

アンケート調査を実施するにあたっては、平成29年4月～平成30年3月において、東大和市に転入された20歳以上の皆様から、無作為抽出により1,000人を選び、お願いしております。

平成30年9月

東大和市長 尾崎 保夫

#### ご回答にあたってのお願い

1. この調査の回答は、あて名のご本人がご記入いただきますようお願いいたします。
2. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。○印の数等は各問の指示に従ってください。また、問16は、あてはまる番号を数値で記入してください。
3. 「その他」にあてはまる場合は、( ) にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

#### ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月8日(月)**までにご投函ください(切手不要)。

(問合せ先) 東大和市企画財政部企画課

住所 〒207-8585 東大和市中心3-930

電話 042-563-2111(内線1422)



I あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別は、どちらですか。

- 1 男性                      2 女性

問2 東大和市に転入したときのあなたの年齢は、次のうちどれですか。

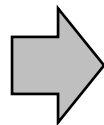
- 1 20～24歳              2 25～29歳              3 30～34歳              4 35～39歳  
5 40～44歳              6 45～49歳              7 50歳以上

問3 東大和市に転入したときのあなたのご職業は、次のうちどれですか。

- 1 正規の会社員・職員              2 パート・アルバイト  
3 派遣・嘱託・契約社員              4 学生（予備校生を含む）  
5 自営業・会社経営              6 専業主婦・主夫  
7 無職（年金生活者を含む）              8 その他（                      ）

問4 東大和市に転入した前後の世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。  
（それぞれ1つ選択）

転入前の世帯構成	
1	ひとり暮らし
2	夫婦のみ
3	自分（夫婦）と子の二世帯
4	自分（夫婦）と親の二世帯
5	親と自分（夫婦）と子の三世帯
6	その他（                      ）



転入後の世帯構成	
1	ひとり暮らし
2	夫婦のみ
3	自分（夫婦）と子の二世帯
4	自分（夫婦）と親の二世帯
5	親と自分（夫婦）と子の三世帯
6	その他（                      ）

【問4 転入後の世帯構成で「3 自分（夫婦）と子の二世帯」または「5 親と自分（夫婦）と子の三世帯」とお答えの方に】←

問5 現在、あなたと同居しているお子さんは何人いますか。（1つを選択）

- 1 1人                      2 2人                      3 3人                      4 4人以上

【問4 転入後の世帯構成で「3 自分（夫婦）と子の二世帯」または「5 親と自分（夫婦）と子の三世帯」とお答えの方に】←

問6 お子さんはどちらにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1 就学前児童              2 小学生                      3 中学生                      4 高校生  
5 大学生等（短大・大学院・高等専門学校含む）              6 社会人（アルバイト等を含む）  
7 その他（                      ）

問7 東大和市に転入する前は、どちらにお住まいでしたか。

都道府県名

市区町村名

(例：立川市、横浜市中区)

問8 あなたは東大和市に転入したときどちらにお住まいでしたか。(1つを選択)

- |       |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1 多摩湖 | 2 芋窪  | 3 蔵敷  | 4 奈良橋 | 5 湖畔   |
| 6 高木  | 7 狭山  | 8 清水  | 9 上北台 | 10 桜が丘 |
| 11 立野 | 12 中央 | 13 南街 | 14 仲原 | 15 向原  |
| 16 清原 | 17 新堀 |       |       |        |

II 問9～問14は、東大和市への転入において、世帯の中で最も大きな要因となった方についてお聞きします。

問9 東大和市へ転入した最も大きな要因となった方はどなたですか。(1つを選択)

1 あなた → 問13へ

2 配偶者

3 あなたの子ども

4 あなたの親または配偶者の親

5 その他 ( )

【問10～12】

問10 問9で選択した方の性別はどちらですか。

1 男性

2 女性

問11 問9で選択した方の年齢は、どちらになりますか。(1つを選択)

1 19歳以下

2 20～24歳

3 25～29歳

4 30～34歳

5 35～39歳

6 40～44歳

7 45～49歳

8 50～59歳

9 60～69歳

10 70～79歳

11 80歳以上

問12 問9で選択した方の職業はどちらになりますか。(1つを選択)

1 正規の会社員・職員

2 パート・アルバイト

3 派遣・嘱託・契約社員

4 学生(予備校生を含む)

5 自営業・会社経営

6 専業主婦・主夫

7 無職(年金生活者を含む)

8 その他 ( )

問13 問9で選択した方は、以前にも東大和市に住んだことがありますか。(1つを選択)

- 1 はじめて
- 2 以前にも住んでいたことがある
- 3 隣接する市に住んでいたことがある
- 4 わからない

【問13で「2 以前にも住んでいたことがある」とお答えの方に】

問14 以前には何年東大和市に住んでいましたか。(1つを選択)

- |           |            |          |         |
|-----------|------------|----------|---------|
| 1 1年未満    | 2 1～3年未満   | 3 3～5年未満 |         |
| 4 5～10年未満 | 5 10～20年未満 | 6 20年以上  | 7 わからない |

Ⅲ これ以降は、世帯での転入理由等についてお聞きします。

問15 東大和市へ転入した理由を下記の中からすべて選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 仕事上の理由(就職、転勤、転職等)
- 2 学校上の理由(入学、進学等)
- 3 住宅事情(住宅購入、住み替え等)
- 4 通勤・通学の利便性がよいため  $\implies$  問16を回答の後、問17も回答
- 5 生活環境(買い物など)の利便性がよいため
- 6 親や子ども、その他親族との同居のため
- 7 親や子ども、その他親族との近居のため
- 8 結婚(事実婚を含む)のため
- 9 子育て環境をより良くしたいため
- 10 親等の介護のため
- 11 その他 ( )

問16 居住地として他の市区町村ではなく東大和市を選択した理由について、選択肢より上位2つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

第1位	第2位

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 通勤・通学の利便性          | 2 買い物等の日常生活の利便性 |
| 3 都心へのアクセス           | 4 住宅価格・家賃が適当    |
| 5 子育て環境              | 6 学校教育環境        |
| 7 治安などの住環境           | 8 地域コミュニティ・地域活動 |
| 9 医療・福祉の充実           | 10 自然災害が少ない     |
| 11 公園や自然環境の良さ        | 12 道路などの都市整備基盤  |
| 13 生まれ育ったところ         | 14 親等親族と同居、近居   |
| 15 あらかじめ住居が用意されていたため | 16 街のイメージ       |
| 17 行政サービスの充実         | 18 その他 ( )      |

【問15で「4 通勤・通学の利便性」もしくは問16で「1 通勤・通学の利便性」とお答えの方に】

問17 通勤・通学先についてお答え下さい。(1つを選択し、枠内に詳細を記入)

※世帯の中で通勤・通学している方が複数いる場合は、通勤・通学の利便性を最も重視した方を一人選んでご記入下さい。

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 電車(モノレール)で通勤・通学している<br>通勤・通学先の最寄駅⇒    | (例: 西武新宿線 西武新宿駅)<br>線 駅 |
| 2 電車を使わずに通勤・通学している<br>通勤・通学先の市区町村⇒市区町村名 | (例: 立川市、横浜市中区)<br>      |

(問16で「5 子育て環境」または「6 学校教育環境」とお答えの方に)

問18 あなたが、東大和市の子育て環境や学校教育環境がよいと思ったのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 保育施設に入りやすい                                      | 2 保育料が安い               |
| 3 保育サービスが充実している(病児・病後児保育室、お迎えサービス等)               |                        |
| 4 幼稚園が充実している                                      |                        |
| 5 放課後児童クラブ(学童保育)やランドセル来館事業等により子どもの放課後の居場所が確保されている |                        |
| 6 市立小中学校が近い                                       | 7 国立・私立の学校に通学しやすい      |
| 8 習い事や学習塾が通いやすい                                   | 9 自然環境がよい              |
| 10 公園などの遊び場が多い                                    | 11 図書館・スポーツ施設などが充実している |
| 12 その他 ( )  |                        |

問19 転入するにあたって、東大和市以外の市区町村でもお住まいを探しましたか。  
(1つを選択)

- |   |
|---|
| 1 他市区町村でも探したが、東大和市に決めた                                  |
| 2 最初から東大和市に住もうと考えていたので、他市区町村は探さなかった                     |
| 3 転居先が東大和市内に決まっていた<br>(例：社宅・寮や同居を始める家族の住宅が東大和市内にあった など) |

→ 【問19で「1 他市区町村でも探した」とお答えの方に】

問20 居住地を検討するにあたり、どちらの地域を探しましたか。(あてはまるものすべてを選択)

- |          |            |         |
|----------|------------|---------|
| 1 立川市    | 2 東村山市     | 3 武蔵村山市 |
| 4 小平市    | 5 埼玉県所沢市   | 6 八王子市  |
| 7 西東京市   | 8 国分寺市     | 9 府中市   |
| 10 東京23区 | 11 その他 ( ) |         |

→ 【問19で「1 他市区町村でも探した」とお答えの方に】

問21 転入先の地域を探したときの情報源は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 市区町村のホームページ           | 2 住宅情報・不動産情報サイト         |
| 3 その他インターネットサイト (具体的に ) |                         |
| 4 住宅情報誌                 | 5 不動産業者・ハウスメーカー(新聞広告含む) |
| 6 家族・親族・友人              | 7 その他 ( )               |

→ 【問19で「1 他市区町村でも探した」とお答えの方に】

問22 転入先を決めるにあたり、転入先自治体の行政サービスや施策を調べましたか。  
(あてはまるものすべてを選択)

- |                     |
|---------------------|
| 1 自治体のホームページを自分で調べた |
| 2 広報誌を自分で調べた        |
| 3 1、2以外の媒体から自分で調べた  |
| 4 人から口コミを聞いた        |
| 5 調べていない            |



問23 東大和市へ転入する前の東大和市との関係について教えてください。(あてはまるものすべてを選択)

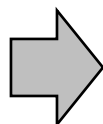
1 自然や公園に訪れたことがある	2 買い物や食事に訪れたことがある
3 イベントや祭に参加したことがある	4 通勤・通学で通ったことがある
5 以前に住んだことがある	6 家族や親族が住んでいる (いた)
7 友人や知人が住んでいる (いた)	
8 東大和市を紹介する Web ページやチラシを見たことがある	
9 特に関係性はなかった	
10 その他 ( )	

問24 前住所地と比較して、東大和市に住んでみて感じた印象をお聞きします。(それぞれ1つ選択)

項目	良かった	まあ良かった	あまり良くなかった	悪かった	わからない
① 通勤・通学の利便性	1	2	3	4	5
② 買い物等の日常生活の利便性	1	2	3	4	5
③ 都心へのアクセス	1	2	3	4	5
④ 住宅価格・家賃	1	2	3	4	5
⑤ 子育て環境	1	2	3	4	5
⑥ 学校教育環境	1	2	3	4	5
⑦ 治安などの住環境	1	2	3	4	5
⑧ 地域コミュニティ・地域活動	1	2	3	4	5
⑨ 医療・福祉の充実	1	2	3	4	5
⑩ 自然災害の少なさ	1	2	3	4	5
⑪ 公園や自然環境の良さ	1	2	3	4	5
⑫ 道路などの都市整備基盤	1	2	3	4	5
⑬ 街のイメージ	1	2	3	4	5
⑭ 行政サービスの充実	1	2	3	4	5
⑮ 図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設	1	2	3	4	5

問 2 5 転入前と後でのあなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。  
（それぞれ1つ選択）

転入前の住宅所有状況	
1	持家（一戸建）
2	持家（分譲マンション）
3	公営・公共住宅 （公団・公社・都市営住宅等）
4	民間の借家（一戸建）
5	民間の借家 （アパート・賃貸マンション）
6	給与住宅 （社宅・官舎・家族寮・独身寮）
7	その他（ ）



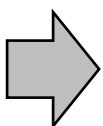
転入後の住宅所有状況	
1	持家（一戸建）
2	持家（分譲マンション）
3	公営・公共住宅 （公団・公社・都市営住宅等）
4	民間の借家（一戸建）
5	民間の借家 （アパート・賃貸マンション）
6	給与住宅 （社宅・官舎・家族寮・独身寮）
7	その他（ ）

問 2 6 転入前と後での住居の床面積は次のどれにあたりますか。（それぞれ1つ選択）

※居住室の床面積のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れ等を含めてください。ただし、営業用の部分及び他の世帯が使用している部分は除いてください。

※床面積は1坪（2畳）を3.3㎡に換算してください。

転入前の住宅の床面積	
1	20㎡未満
2	20～40㎡未満
3	40～60㎡未満
4	60～80㎡未満
5	80～100㎡未満
6	100～120㎡未満
7	120～140㎡未満
8	140～160㎡未満
9	160㎡以上



転入後の住宅の床面積	
1	20㎡未満
2	20～40㎡未満
3	40～60㎡未満
4	60～80㎡未満
5	80～100㎡未満
6	100～120㎡未満
7	120～140㎡未満
8	140～160㎡未満
9	160㎡以上

問 2 7 東大和市では当市の魅力をより高め、広めていきたいと考えております。  
あなたが東大和市に住んで感じたこと、以前住んでいた所との違い、東大和市が  
選ばれるために必要な取り組みなどをお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 2. 転出者向けアンケート調査票

### 東大和市から転出された皆様へ

#### ～アンケート調査へのご協力をお願いします～

日頃から市政の推進にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。  
東大和市では、少子化による人口減少が進行する中、人口減少を抑制し、いつまでも「住みやすい」「住み続けたいまち」として選ばれるため、定住促進の施策を推進しています。

この調査は、東大和市にお住まいだった皆様の転出の動機、転出前後の生活環境の変化等についてお伺いし、人口減少時代に選ばれるための施策づくりに役立てるために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

アンケート調査を実施するにあたっては、平成29年4月～平成30年3月において、東大和市から転出された20歳以上の皆様から、無作為抽出により1,000人を選び、お願いしております。

平成30年9月

東大和市長 尾崎 保夫

#### ご回答にあたってのお願い

1. この調査の回答は、あて名のご本人がご記入いただきますようお願いいたします。
2. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。○印の数等は各問の指示に従ってください。また、問17は、あてはまる番号を数値で記入してください。
3. 「その他」にあてはまる場合は、( ) にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

#### ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月8日(月)**までにご投函ください(切手不要)。

(問合せ先) 東大和市企画財政部企画課

住所 〒207-8585 東大和市中心3-930

電話 042-563-2111(内線1422)



I あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別は、どちらですか。

- 1 男性                      2 女性

問2 東大和市から転出したときのあなたの年齢は、次のうちどれですか。

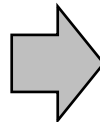
- 1 20～24歳                  2 25～29歳                  3 30～34歳                  4 35～39歳  
5 40～44歳                  6 45～49歳                  7 50歳以上

問3 東大和市から転出したときのあなたのご職業は、次のうちどれですか。

- 1 正規の会社員・職員                  2 パート・アルバイト  
3 派遣・嘱託・契約社員              4 学生（予備校生を含む）  
5 自営業・会社経営                  6 専業主婦・主夫  
7 無職（年金生活者を含む）          8 その他（                      ）

問4 東大和市から転出した前後の世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。  
（それぞれ1つ選択）

転出前の世帯構成	
1	ひとり暮らし
2	夫婦のみ
3	自分（夫婦）と子の二世帯
4	自分（夫婦）と親の二世帯
5	親と自分（夫婦）と子の三世帯
6	その他（                      ）



転出後の世帯構成	
1	ひとり暮らし
2	夫婦のみ
3	自分（夫婦）と子の二世帯
4	自分（夫婦）と親の二世帯
5	親と自分（夫婦）と子の三世帯
6	その他（                      ）

【問4 転出後の世帯構成で「3 自分（夫婦）と子の二世帯」または「5 親と自分（夫婦）と子の三世帯」とお答えの方に】←

問5 現在、あなたと同居しているお子さんは何人いますか。（1つを選択）

- 1 1人                      2 2人                      3 3人                      4 4人以上

【問4 転出後の世帯構成で「3 自分（夫婦）と子の二世帯」または「5 親と自分（夫婦）と子の三世帯」とお答えの方に】←

問6 お子さんはどちらにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択）

- 1 就学前児童                  2 小学生                  3 中学生                  4 高校生  
5 大学生等（短大・大学院・高等専門学校含む）      6 社会人（アルバイト等を含む）  
7 その他（                      ）

問7 東大和市から転出した直後は、どちらにお住まいでしたか。

都道府県名

市区町村名

(例：立川市、横浜市中区)

問8 転出する前は、東大和市内のどちらにお住まいでしたか。(1つを選択)

- |       |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1 多摩湖 | 2 芋窪  | 3 蔵敷  | 4 奈良橋 | 5 湖畔   |
| 6 高木  | 7 狭山  | 8 清水  | 9 上北台 | 10 桜が丘 |
| 11 立野 | 12 中央 | 13 南街 | 14 仲原 | 15 向原  |
| 16 清原 | 17 新堀 |       |       |        |

II 問9～問15は、東大和市からの転出において、世帯の中で最も大きな要因となった方についてお聞きします。

問9 東大和市から転出した最も大きな要因となった方はどなたですか。(1つを選択)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1 あなた           | ⇒ 問13へ    |
| 2 配偶者           | 3 あなたの子ども |
| 4 あなたの親または配偶者の親 | 5 その他 ( ) |

【問10～12】

問10 問9で選択した方の性別はどちらですか。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問11 問9で選択した方の年齢は、どちらになりますか。(1つを選択)

- |          |           |          |          |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1 19歳以下  | 2 20～24歳  | 3 25～29歳 | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40～44歳  | 7 45～49歳 | 8 50～59歳 |
| 9 60～69歳 | 10 70～79歳 | 11 80歳以上 |          |

問12 問9で選択した方の職業はどちらになりますか。(1つを選択)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 正規の会社員・職員    | 2 パート・アルバイト   |
| 3 派遣・嘱託・契約社員   | 4 学生(予備校生を含む) |
| 5 自営業・会社経営     | 6 専業主婦・主夫     |
| 7 無職(年金生活者を含む) | 8 その他 ( )     |

問13 問9で選択した方は、東大和市に何年お住まいでしたか。(1つを選択)

- |           |            |          |         |
|-----------|------------|----------|---------|
| 1 1年未満    | 2 1～3年未満   | 3 3～5年未満 |         |
| 4 5～10年未満 | 5 10～20年未満 | 6 20年以上  | 7 わからない |

問14 問9で選択した方は、以前にも現在お住まいの市区町村に住んだことがありますか。(1つを選択)

- |                       |
|-----------------------|
| 1 はじめて                |
| 2 以前にも住んでいたことがある      |
| 3 隣接する市区町村に住んでいたことがある |
| 4 わからない               |

【問14で「2 以前にも住んでいたことがある」とお答えの方に】

問15 以前には現在お住まいの市区町村に何年住んでいましたか。(1つを選択)

- |           |            |          |         |
|-----------|------------|----------|---------|
| 1 1年未満    | 2 1～3年未満   | 3 3～5年未満 |         |
| 4 5～10年未満 | 5 10～20年未満 | 6 20年以上  | 7 わからない |

III これ以降は、世帯での転出理由等についてお聞きします。

問16 東大和市から転出した理由を下記の中からすべて選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

- |                        |
|------------------------|
| 1 仕事上の理由(就職、転勤、転職等)    |
| 2 学校上の理由(入学、進学等)       |
| 3 住宅事情(住宅購入、住み替え等)     |
| 4 通勤・通学の利便性がよいため       |
| 5 生活環境(買い物など)の利便性がよいため |
| 6 親や子ども、その他親族との同居のため   |
| 7 親や子ども、その他親族との近居のため   |
| 8 結婚(事実婚を含む)のため        |
| 9 子育て環境をより良くしたいため      |
| 10 親等の介護のため            |
| 11 その他( )              |

⇒ 問17を回答の後、問18も回答

問17 居住地として現在のお住まいの市区町村を選択した理由について、選択肢より上位2つを選んで下記の四角の中に番号を一つずつ記入して下さい。

第1位	第2位

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 通勤・通学の利便性          | 2 買い物等の日常生活の利便性 |
| 3 都心へのアクセス           | 4 住宅価格・家賃が適当    |
| 5 子育て環境              | 6 学校教育環境        |
| 7 治安などの住環境           | 8 地域コミュニティ・地域活動 |
| 9 医療・福祉の充実           | 10 自然災害が少ない     |
| 11 公園や自然環境の良さ        | 12 道路などの都市整備基盤  |
| 13 生まれ育ったところ         | 14 親等親族と同居、近居   |
| 15 あらかじめ住居が用意されていたから | 16 街のイメージ       |
| 17 行政サービスの充実         | 18 その他 ( )      |

【問16で「4 通勤・通学の利便性」もしくは、問17で「1 通勤・通学の利便性」とお答えの方に】

問18 通勤・通学先についてお答え下さい。(1つを選択し、枠内に詳細を記入)

※世帯の中で通勤・通学している方が複数いる場合は、通勤・通学の利便性を最も重視した方を一人選んでご記入下さい。

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1 電車(モノレール)で通勤・通学している<br>通勤・通学先の最寄駅⇒    | (例: 西武新宿線 西武新宿駅) |
|   | 線 駅              |
| 2 電車を使わずに通勤・通学している<br>通勤・通学先の市区町村⇒市区町村名 | (例: 立川市、横浜市中区)   |
|   |                  |

【問17で「5 子育て環境」または「6 学校教育環境」とお答えの方に】

問19 あなたが、現在お住まいの市区町村の子育て環境や学校教育環境がよいと思ったのは、どのような点ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- |                                     |                  |
|-------------------------------------|------------------|
| 1 保育施設に入りやすい                        | 2 保育料が安い         |
| 3 保育サービスが充実している(病児・病後児保育室、お迎えサービス等) |                  |
| 4 幼稚園が充実している                        |                  |
| 5 放課後児童クラブ(学童保育)に入りやすい              |                  |
| 6 市立小中学校が近い                         | 7 市立小中学校の教育水準が高い |
| 8 国立・私立の学校に通学しやすい                   | 9 習い事や学習塾に通いやすい  |
| 10 自然環境がよい                          | 11 公園などの遊び場が多い   |
| 12 図書館・スポーツ施設などが充実している              |                  |
| 13 その他 ( )                          |                  |

問20 転出するにあたって、東大和市内でもお住まいを探しましたか。(1つを選択)

- 1 東大和市内でも探したが、他の市区町村に決めた
- 2 最初から他の市区町村に住もうと考えていたので、東大和市内は探さなかった
- 3 転居先が東大和市以外に決まっていた  
(例：社宅・寮や同居を始める家族の住宅が市外にあった など)

【問20で「1 東大和市内でも探した」または「2 最初から他の市区町村に住もうと考えていた」とお答えの方に】

問21 転出先の地域を探したときの情報源は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 市区町村のホームページ
- 2 住宅情報・不動産情報サイト
- 3 その他インターネットサイト (具体的に )
- 4 住宅情報誌
- 5 不動産業者・ハウスメーカー(新聞広告含む)
- 6 家族・親族・友人
- 7 その他 ( )

【問20で「1 東大和市内でも探した」または「2 最初から他の市区町村に住もうと考えていた」とお答えの方に】

問22 転出先を決めるにあたり、転出先自治体の行政サービスや施策を調べましたか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 自治体のホームページを自分で調べた
- 2 広報誌を自分で調べた
- 3 1、2以外の媒体から自分で調べた
- 4 人から口コミを聞いた
- 5 調べていない

問23 東大和市に住んでいたときに感じた印象をお聞きします。(それぞれ1つ選択)

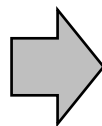
項目	良かった	まあ良かった	あまり良くなかった	悪かった	わからない
① 通勤・通学の利便性	1	2	3	4	5
② 買い物等の日常生活の利便性	1	2	3	4	5
③ 都心へのアクセス	1	2	3	4	5
④ 住宅価格・家賃	1	2	3	4	5
⑤ 子育て環境	1	2	3	4	5
⑥ 学校教育環境	1	2	3	4	5
⑦ 治安などの住環境	1	2	3	4	5
⑧ 地域コミュニティ・地域活動	1	2	3	4	5



項 目	良 か つ た	ま あ 良 か つ た	あ ま り 良 く な か つ た	悪 か つ た	わ か ら な い
⑨ 医療・福祉の充実	1	2	3	4	5
⑩ 自然災害の少なさ	1	2	3	4	5
⑪ 公園や自然環境の良さ	1	2	3	4	5
⑫ 道路などの都市整備基盤	1	2	3	4	5
⑬ 街のイメージ	1	2	3	4	5
⑭ 行政サービスの充実	1	2	3	4	5
⑮ 図書館、公民館、スポーツ施設などの公共施設	1	2	3	4	5

問 2 4 転出前と後でのあなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。  
（それぞれ1つ選択）

転出前の住宅所有状況	
1	持家（一戸建）
2	持家（分譲マンション）
3	公営・公共住宅 （公団・公社・都市営住宅等）
4	民間の借家（一戸建）
5	民間の借家 （アパート・賃貸マンション）
6	給与住宅 （社宅・官舎・家族寮・独身寮）
7	その他（ ）



転出後の住宅所有状況	
1	持家（一戸建）
2	持家（分譲マンション）
3	公営・公共住宅 （公団・公社・都市営住宅等）
4	民間の借家（一戸建）
5	民間の借家 （アパート・賃貸マンション）
6	給与住宅 （社宅・官舎・家族寮・独身寮）
7	その他（ ）

<裏面に続く>

問25 転出前と後での住居の床面積は次のどれにあたりますか。

(それぞれ1つ選択)

※居住室の床面積のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れ等を含めてください。ただし、営業用の部分及び他の世帯が使用している部分は除いてください。

※床面積は1坪(2畳)を3.3㎡に換算してください。

転出前の住宅の床面積		転出後の住宅の床面積	
1	20㎡未満	1	20㎡未満
2	20～40㎡未満	2	20～40㎡未満
3	40～60㎡未満	3	40～60㎡未満
4	60～80㎡未満	4	60～80㎡未満
5	80～100㎡未満	5	80～100㎡未満
6	100～120㎡未満	6	100～120㎡未満
7	120～140㎡未満	7	120～140㎡未満
8	140～160㎡未満	8	140～160㎡未満
9	160㎡以上	9	160㎡以上

問26 東大和市では当市の魅力をより高め、広めていきたいと考えております。

あなたが東大和市に住んでいて感じたこと、現在住んでいる所との違い、東大和市が選ばれるために必要な取り組みなどをお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

東大和市 転入転出者アンケート調査 報告書

発行：平成31年3月 東大和市

企画・編集：東大和市企画財政部企画課  
株式会社アストジェイ

〒207-8585 東京都東大和市中心3丁目930番地

電話番号 042-563-2111（代表）